

ながくて幸せのモノサシづくり 事業報告書

平成29年3月
長久手市

目 次

第1編

ながくて幸せのモノサシづくり事業報告書

はじめに

1 背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2 事業を始めるにあたって・・・・・・・・	3
3 事業の進め方・・・・・・・・・・・・・・	4
4 本書について・・・・・・・・・・・・・・	4

第1章 事業概要及び取組内容

1 事業期間及び参加者等・・・・・・・・	5
2 取組経過及び内容・・・・・・・・・・	5
3 市民協働の取組・・・・・・・・・・・・・	6

第2章 幸せのモノサシ

1 幸せのモノサシとは・・・・・・・・・・	12
2 ながくて幸せのモノサシの構造と内容・・・・・・・・	14
3 ながくて幸せのモノサシの活用方法・・・・・・・・	18

第3章 総括

1 事業の成果・・・・・・・・・・・・・・・・	20
2 関わったメンバーの所感・・・・・・・・・・	21

資料編

平成28年度ながくて幸せ実感広め隊の活動記録・・・・・・・・	27
--------------------------------	----

(1) 健康的な暮らし (問 8 (1))	95
(2) 居住地域の運動環境 (問 8 (2))	95
(3) 健康的な食生活 (問 8 (3))	96
(4) 精神的安らぎ (問 8 (4))	96
(5) 心豊かな生活 (問 8 (5))	97
(6) 病院等の充実度 (問 8 (6))	97
4-2 子育て・教育について (問 9)	98
(1) 出産・育児 (問 9 (1))	101
(2) 地域における子どもの成長 (問 9 (2))	102
(3) 地域における子育て環境 (問 9 (3))	103
(4) 子育て・教育に関する相談 (問 9 (4))	104
(5) 家庭内における子どもとのコミュニケーション (問 9 (5) -1)	105
(6) 地域における子どもとのコミュニケーション (問 9 (5) -2)	105
4-3 自然やごみなどの環境について (問 10)	107
(1) 豊かな自然環境 (問 10 (1))	110
(2) 公園や遊び場 (問 10 (2))	110
(3) 街並み (景観・風景) (問 10 (3))	111
(4) ごみの分別 (問 10 (4))	111
(5) 環境に配慮した生活 (問 10 (5))	112
4-4 人や地域のつながりについて (問 11)	113
(1) 地域を盛り上げていく活動や行事への参加ー1 (問 11 (1) -1)	116
(2) 地域を盛り上げていく活動や行事への参加ー2 (問 11 (1) -2)	116
(3) あいさつや近所づきあいー1 (問 11 (2) -1)	117
(4) あいさつや近所づきあいー2 (問 11 (2) -2)	117
(5) あいさつや近所づきあいー3 (問 11 (2) -3)	117
(6) 自宅以外の居場所 (問 11 (3))	119
(7) 「たつせ」があるか (問 11 (4))	119
(8) 困ったときに頼りになる相談相手ー1 (問 11 (5) -1)	120
(9) 困ったときに頼りになる相談相手ー2 (問 11 (5) -2)	120
(10) 困ったときに頼りになる相談相手ー3 (問 11 (5) -3)	120
(11) 国籍・文化の異なる人にとっての住みやすさ (問 11 (6))	122
4-5 防災・防犯について (問 12)	123
(1) 災害に備えた話し合いや防災訓練への参加 (問 12 (1))	125
(2) 家庭内での災害に対する自主的備え (問 12 (2))	126
(3) 災害時における避難場所、避難方法の周知 (問 12 (3))	127
(4) 地域における治安 (問 12 (4))	128

第2編

平成28年度ながくて幸せ実感アンケート調査報告書

序章 調査の概要	37
（1）調査の目的	37
（2）調査対象及び調査方法	37
（3）調査票の回収状況	37
（4）グラフの見方等	37
（5）本文のコメントについて	38
（6）問3（P.68）及び問8～問18（P.93～P.154）の評点の算出方法	38
第1章 回答者の属性	39
（1）性別（問19（1））	39
（2）年齢（問19（2））	39
（3）職業（問19（3））	40
（4）年収（問19（4））	41
（5）通勤先・通学先（問19（5））	42
（6）住まい（問19（6））	43
（7）配偶者の有無（問19（7））	43
（8）家族形態（問19（8））	44
（9）同居の家族（問19（9））	45
（10）小学校区（問19（10））	46
（11）居住歴（問19（11））	47
第2章 幸せ感について	48
（1）幸せ感の点数とその点数を選んだ理由（問1）	48
（2）大事だと思う分野（問2）	65
（3）生活の満足度（問3）	68
第3章 住み心地について	72
（1）住みよいまちだと思いか（前回比較）（問4）	72
（2）愛着を感じているか（問5）	75
（3）今後も住み続けたいか（問6）	78
（4）魅力的な点・魅力的でない点（問7）	81
第4章 暮らしやお住まいの地域（生活実感）について	89
4-1 健康について（問8）	93

(5) 地域における安全安心の取り組み (問 12 (5))	129
4-6 福祉について (問 13)	130
(1) 地域の助け合い (問 13 (1))	132
(2) 市・業者による福祉サービスの周知 (問 13 (2))	133
(3) 高齢者や障がい者を手助けできるか (問 13 (3))	134
(4) 自分または家族の介護についての不安 (問 13 (4))	135
(5) 地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいかー1 (問 13 (5) -1)	136
(6) 地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいかー2 (問 13 (5) -2)	136
4-7 文化・生涯学習について (問 14)	138
(1) 伝統・文化への関心 (問 14 (1))	140
(2) 芸術文化に接する機会 (問 14 (2))	140
(3) 知識・能力を伸ばす機会 (問 14 (3))	141
(4) 地域における自慢すべき「宝」の有無 (問 14 (4))	142
4-8 生活インフラについて (問 15)	144
(1) 買い物、通院の便 (問 15 (1))	147
(2) 出かける際の移動の便 (問 15 (2))	147
(3) 出かける際の移動の安全 (問 15 (3))	148
(4) 就業環境 (問 15 (4))	149
(5) インターネットや電子メールの利用 (問 15 (5))	150
4-9 まちづくりにおける地域の役割について (問 16) ～ (問 18)	151
(1) 地域における社会貢献の意思 (問 16)	153
(2) 課題解決におけるコミュニティの重要性 (問 17)	153
(3) 地域コミュニティへの参加の意思 (問 18)	154
第5章 考察	157
(1) アドバイザーによる考察	157
(2) 担当職員による考察	164
資料編	171
1 評点算出結果一覧表 (年齢別、小学校区別)	173
2 ながくて幸せ実感アンケート調査票 (平成 28 年度実施分)	182

第 1 編

ながくて幸せのモノサシづくり 事業報告書

はじめに

1 背景と目的

これまでの右肩上がりの経済成長を迫及してきた社会とは異なる、心の豊かさや幸せ感を実現していく社会の発展がより求められる時代になりました。

そこで、本市では、3つのフラッグ「つながり」、「あんしん」、「みどり」を基本的な理念として掲げ、「日本一の福祉のまち＝一人ひとりの幸福度の高いまち」を目指して、だれもが地域で役割や居場所がある「たつせがある」まちづくりを進めています。

目指すまちの実現のためには、市民自らが地域のことを考え、地域の困りごととは自分たちで解決していかなければなりません。そのためには、①市民生活や地域社会の状況はどうなのか、②まちづくりは目指す方向に向かって着実に進んでいるのか、について、市民とともに確認していくための道具としてのモノサシが必要ではないかと考え、市民目線による「ながくて幸せのモノサシづくり」に取り組みました。

2 事業を始めるにあたって

本市が目指す将来像の実現に向けては、市民一人ひとりの主体的な活動が鍵となることから、「幸せのモノサシ」をつくる一連の取組過程そのものが、市民自らが動き始めるための「人づくり」であり、「仕組みづくり」であると位置づけました。

そして、その取組に必要なプロセスを、次のとおり整理しました。

「幸せのモノサシ」をつくるための4つのプロセス

プロセス1 地域独自、長久手独自のよりよい将来像を持つこと

プロセス2 地域のことや暮らしをよく知り、把握すること

プロセス3 地域の暮らしとそのビジョン、将来像が結びつく指標を見つけること

プロセス4 地域の暮らしの質を高める工夫を考えて、実際に行動すること

また、本事業に、市民の主体的な活動を支える職員（若手）が市民と同じ立場で事業に参加しました。市民との関わりを通して、職員がこれからの市民協働のあり方や仕事の進め方を見直す機会としました。

3 事業の進め方

本事業は、図1の第1～3ステップで進めました。

前述の4つのプロセスに沿って説明すると、まず、プロセス1として、2050年に向けた「長久手未来まちづくりビジョン」（平成27年度策定）をもとに、まちの将来像を具体的にイメージしました。

プロセス2として、現状把握のためのアンケート調査項目の設定、調査結果の分析を行いました。

そして、プロセス3として「幸せのモノサシづくり」、それと並行しプロセス4として幸せ実感を高める市民主体の活動の実践を始めました。

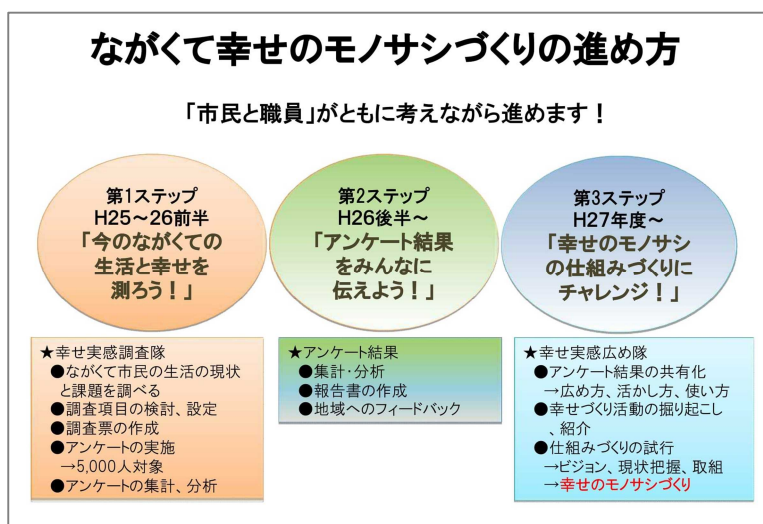


図1 ながくて幸せのモノサシづくりの進め方

4 本書について

本書の第1編では、取組が始まった平成25年度から「ながくて幸せのモノサシ」が完成した平成29年度までの事業概要及び取組内容、特に本事業の主軸となった市民協働の取組内容をまとめています。

そして、市民協働によって導き出された「ながくて幸せのモノサシ」の内容をまとめています。

第2編では、平成28年度に実施した第2回目の幸せ実感調査アンケート結果についてまとめています。

第 1 章 事業概要及び取組内容

1 事業期間及び参加者等

(1) 事業期間

平成 25 年 8 月から平成 29 年 3 月まで

(2) 参加者

事業全体の中で、いずれかの段階で関わった参加者数は次のとおりです。

ア 公募市民 30 人（登録人数）

広報、HP 等により参加者を公募。

イ 市職員 18 人（登録人数）

概ね 20 代から 30 代の若手職員を庁内公募。

(3) アドバイザー

草郷 孝好（関西大学 社会学部教授）

「ながくて幸せのモノサシづくり」を市民と職員とで進めていくに当たり、専門的な立場から事業全般に対する助言又は提言していただくため、本事業に関するアドバイザー制度を導入し、草郷氏に委嘱しました。

2 取組経過及び内容

(1) 初動（平成 25 年度）

本事業の立ち上げにあたって、方針や進め方について整理するとともに、市民協働の取組に向けて、市民及び職員の事業に対する理解や共感を促すための講演会及び勉強会を行いました。

ア 地域づくり講演会「ながくての幸せのモノサシ～みんなでつくる、みんなの幸せ～」

日時：平成 25 年 8 月 28 日（月）午後 2 時～午後 4 時 30 分

場所：福祉の家 集会室

参加者：70 人

内容：幸せをキーワードにしたブータンの取組や国内の様々な事例紹介、「長久手」の幸せについての講演及びワークショップ

講師：関西大学 社会学部教授 草郷 孝好

イ 職員勉強会

日時：平成 25 年 10 月 28 日（月）午後 2 時～午後 4 時 30 分

場所：西庁舎 3 階研修室

対象：各課等の職員 50～60 人

内容：本市の目指す姿と幸せのモノサシづくり事業との関係性についての説明及び長久手の望ましい姿や幸せを構成する領域についてのワークショップ

講師：関西大学 社会学部教授 草郷 孝好

(2) 幸せのモノサシづくりに向けた取組（平成25年度～平成28年度）

ア ながくて幸せ実感アンケート調査（基礎調査）の実施

「今のながくての生活と幸せを測ろう！」をテーマに、市民の生活の現状と課題等について把握するため、平成25年度及び平成28年度に、18歳以上の市民5,000人にアンケート調査を実施しました。

調査票の設計にあたっては、公募市民と市職員で「ながくて幸せ実感調査隊」を結成し、20問の項目で構成する調査票を作成しました。

イ 調査結果の分析、活用方法の検討

調査結果は、幸せ感、住み心地、生活実感と年齢や居住地等の個人の属性との相関分析も行い、市民の幸せや住みよさの向上のために、今後伸ばしていくべき点、改善するべき点や、地域ごとの特徴を確認し、報告書にまとめました。また、「ながくて幸せ実感調査隊」でも、調査結果を共有・分析するとともに、調査の活用方法やまちづくり活動のアイデア出しを行いました。

ウ 調査結果の活用及び市民主体の活動への展開

調査結果を周知し、市民による活用を促すとともに、市民主体で幸せ実感を高める活動を実践するため、「ながくて幸せ実感調査隊」から「ながくて幸せ実感広め隊」へ活動を展開しました。

具体的には、幸せにつながる活動をしている市民や市民団体を掘り起こし、紹介することで、本事業への参加と理解を促すとともに、地域の人と人とのつながりや、市民の地域活動への参加を促すことを目指して活動を行いました。

3 市民協働の取組

本事業では、公募市民と職員で構成するグループを結成し、その活動を中心に進めてきました。

(1) ながくて幸せ実感調査隊（平成25年度～平成26年度）

ながくて幸せ実感調査隊は、市民生活の当事者である市民が、まちの望ましい姿を描き、幸せにつながる要素を検討し、調査票の質問項目を作成しました。その過程では、ながくて市民まつりに出展し、来場者インタビューをするなど、幸せの要素について参考となる情報を集めました。

ながくて幸せ実感調査隊開催経過及び内容

回	日時	内容
第1回	平成25年 10月28日	・将来の望ましい長久手の姿の検討 ・今後の活動内容の検討
市民まつり	11月10日	インタビューテーマ： ・あなたの幸福度は何点？その理由は？ ・長久手市の幸福度は何点？その理由は？
第2回	11月25日	・長久手の幸せのモノサシづくりとは ・幸せ実感調査隊の進め方の検討 ・市民インタビュー結果報告 ・幸せ実感アンケートづくり
第3回	12月9日	幸せ実感調査アンケートづくり
第4回	12月20日	幸せ実感調査の質問項目の検討
第5回	平成26年 1月29日	幸せ実感調査における調査票案の確認
第6回	2月6日	幸せ実感調査における調査票案の確認
第7回	2月12日	・アンケート調査票の完成 ・市長への報告
第8回	5月9日	・アンケート集計結果から読み取れること ・さらに分析したいこと
第9回	7月4日	・アンケート結果の共有、分析、広め方の検討
第10回	8月22日	・アンケート結果の今後の活用方法、広め方の検討



ミーティングの様子1



ミーティングの様子2

(2) ながくて幸せ実感広め隊（平成27年度～平成28年度）

平成27年度は、広め隊が数人のグループ単位で、幸せにつながる活動に取り組む市民や市民団体を「幸せマイスター」として取材しました。平成28年3月には、まとめとして「幸せ実感フェスティバル」を開催し、それらの活動を紹介するとともに、活動の周知を図りました。なお、同フェスティバルは、広め隊が企画・運営を担いました。

ながくて幸せ実感広め隊（平成27年度）開催記録及び内容

回	日時	内容
第1回	平成27年 6月19日	・ガイダンス ・アンケート結果から読み取れることの共有
第2回	7月24日	広め隊の活動内容の検討
第3回	8月12日	・幸せ感をアップする分野の検討
第4回	9月15日	取材対象者の検討、取材の段取り確認
第5回	10月28日	・取材チームの成果発表及び意見交換 ・市民まつりのアイデア出し
市民まつり	11月8日	インタビューテーマ： 最近あった幸せなことは何ですか？
第6回	11月25日	・市民まつりの振り返り ・取材フォーマットの検討
第7回	12月21日	取材経過報告
第8回	平成28年 1月26日	・チームの取材報告 ・フォーラムの検討 ・今後の活動についての意見交換
第9回	2月23日	・チームの取材報告 ・幸せ実感フェスティバルの検討 ・今後の活動についての意見交換
幸せ実感フェスティバル検討会	2月9日 3月3日	幸せ実感フェスティバルに向けた内容の企画、運営体制等の検討
幸せ実感フェスティバル	3月26日	場所：市役所西庁舎3階研修室 参加者：83人 テーマ：あったかい幸せのカケラあなたにもおすそ分け！ 内容：・幸せのモノサシづくりと広め隊活動の周知 ・幸せマイスターの活動紹介



ミーティングの様子



幸せ実感フェスティバルの様子



長久手市棒の手保存会

長久手市棒の手保存会
副会長浅井智志氏の協力により
著作『山』 豊城院にて



B チーム ▶ テーマ: 交流・子供

私たち B チームは交流・子供のテーマをもとに、長久手市棒の手保存会さんが町の人々とのように関わることで、どんな幸せを感じ、何を伝えて活動してみえるのか、副会長浅井智志さんの協力によりメンバーの皆さんにお話を伺いました！




棒の手ってなに？

棒の手は愛知県の代表的な民俗芸能

「長久手の棒の手」は昭和31年6月21日に県の無形民俗文化財に指定されています。

棒の手の起源は？

棒の手の起源ははっきりした資料がなく定説がない。一説には本郷城主(現在の日進市内) 丹羽若狭守氏清が、城下の農民に武術を習得させたのが始まりで、丹羽氏の勢力が増大するに従って各地に広まったとする説や、着物をはじめ棒の手の内容に関する記録には修験道などの影響が強いところから、修験道に起源を求めた説もある。

棒の手の歴史は？

五節曲・新り、作物の収穫に感謝するお祭りとして、1523年に初めて日進市のオマント賢園祭の時、棒の手も白山宮に奉納した。

1653年頃から、猿投の神社にそれぞれの地区の棒の手奉納を行うようになった。

1830年代には、各地域で賢園祭が進んできた。



～ 皆の幸せを自分の幸せに。自分の幸せを皆の幸せに。～

あそびすと 古賀めぐみさん



取材報告

学生時代から児童会・生徒会・大学祭実行委員などたくさんのお話をされてきた古賀さん。現在は、4人のお子さんを持つお母さんです。いつも笑顔な古賀さんに「幸せのヒント」を教えていただきました。

【テーマ・キーワード】
子ども・つながり・交流



団 体 名	あそびすと	設 立	2 年前
開 会 先	古賀 めぐみさん	会 員 数	11 名
主 な 活 動 場 所	長久手市内		
主 な 活 動 内 容	子ども達が主体的にボランティア活動を行う。		
そ の 他 (備 考)	企画から参加するプロジェクト会員、イベント情報が届くメール会員どちらも募集中。		
ホ ー ム ペ ー ジ	-		
	連 絡 先	090-9336-0654	

■子ども地域の一員！

一あそびすとを始めたきっかけは？
引越した先に子ども会がなかったのが一番のきっかけです。子ども会は、こどもも、忙しい、入る人が少ないため減少の傾向にあります。ないなら作ってしまおう。それも、お母さんが主体で子どもがお客さんの子ども会ではなく、こども地域の一員であるこどもたち自身でやるような、こども自身が考えて、作っていく集まりを作ろう！



幸せマイスターの取材記録（一部抜粋）

平成 28 年度は、最終的にとりまとめる「ながくて幸せのモノサシ」のイメージを描きながら、活動を進めました。

平成 27 年度に行った「幸せマイスター」の取材活動を、継続的な活動にしていくために、より身近な活動にもスポットを当てることとし、取材対象者を「幸せマイスター」から長久手未来まちづくりビジョン（後述）に合わせた「長久手人（ながくてびと）」とし、取材活動を行いました。活動の中で市民と交流することを通して、幸せのモノサシのヒントを集めていきました。

ながくて幸せ実感広め隊（平成 28 年度）開催記録及び内容

回	日時	内容
第 1 回	平成 28 年 4 月 25 日	・ 幸せ実感フェスティバル振り返り ・ 平成 28 年度の幸せ実感広め隊の活動内容の検討
第 2 回	5 月 16 日	「幸せマイスター発掘・紹介」活動の目標、スケジュールの検討
第 3 回	6 月 20 日	「幸せマイスター発掘・紹介」活動の仕組みの検討
第 4 回	7 月 16 日	取材対象者の情報の共有
第 5 回	8 月 29 日	・ お試し取材、質問の検討 ・ 幸せアンケートの調査項目の検討
第 6 回	9 月 12 日	・ 幸せ実感アンケートの頭紙の検討 ・ 取材の際に活用する「広め隊」紹介シートの検討
第 7 回	10 月 5 日	幸せのモノサシのイメージの共有
第 8 回	11 月 2 日	・ 幸せのモノサシのイメージの具体化 ・ 市民まつりブース出店内容検討
市民まつり	11 月 13 日	インタビューテーマ： “幸せ”につながる大切なコトって何ですか？
第 9 回	12 月 12 日	・ 市民まつりの振り返り ・ モノサシづくりに向けたスケジュールの確認
第 10 回	平成 29 年 1 月 23 日	・ 幸せのモノサシ案の検討 ・ 幸せのモノサシのイメージ検討
第 11 回	3 月 1 日	・ アンケート結果速報の確認 ・ 幸せのモノサシの検討
第 12 回	3 月 27 日	幸せのモノサシの確認



ミーティングの様子



市民まつりでのインタビューの様子

取材日：平成 28 年 12 月 16 日

長久手人 File No 1

長久手人の氏名
西尾 寿江

活動内容 長久手市劇団 座☆NAGAKUTEの劇団員として演技を披露し、奮闘中！

Q1 活動内容と始めたきっかけは？
平成24年に入団、3年目になります。高校時代に演劇部に所属していましたが、それ以降はお芝居ができる環境に恵まれませんでした。けれど、心の中にずっとやりたい気持ちは残っていました。地元に戻ってきたとき、またま団員募集の要項をみかけ、応募しました。稽古を見学した時、70歳の方も頑張っている姿に感動し、自分にもまだできるのではなにかと奮い立ち、参加しようと思いました。長年の夢が、叶いました。

Q2 「この」活動の「ここ」がおもしろい！やりにくいがある！と思う事は？
演出家の先生の話を聞いたり、先輩方の積み重ねられてきた演技を見たりできることに感動し、ため息をつくこともしばしば…。しかし、役者をやっている喜びもあり、楽しみもあふれる練習場の中で、出来上がっていく自分そのものに充実感があります。今は『長久手人物語』の劇のなかでとてもいい役をさせていただくことに、感謝しています。次の公演に向けて家の中でも猛練習中、役者としてやりとげられるのも、一緒に暮らしている家族の協力があってこそできること。ありがたいです。

Q3 ずばり！あなたが考える「幸せ」とは？
家族が安定しているので、孫と遊んだり、仕事もやり、趣味のお芝居もすることができ、とても充実していることに幸せを感じています。家族がいるから、頑張れる。そんな今が一番幸せです。

Q4 フリーメッセージ
(例) 将来の目標、参加の呼びかけ
孫の将来のためにも、もっともっと住みよい長久手市になってほしいです。具体的には、自分の住んでいる地区には公園が少ないので、まず公園をもっとほしいです。自分としては長生きができ、座をずっと続けられるしたいと思います。

取材者(たらし&ともこさん)のコメント
とてもお孫さんがいるとは思えない程、きれいな方でした。その姿には家族への思いや、充実した環境が映し出されているのだなあと感じました。趣味のお芝居も、一人で行くことはできませんよね。なので、色々な人と関わり合いながら送る生活が充実感を生み出すのかなと思います。これからも素敵な市になるよう役者として発信していきましょう。

取材日：平成 28 年 12 月 19 日

長久手人 File No 2

長久手人の氏名
NPO法人 長久手楽楽ファーマーズ

活動内容 「農業を楽しむ」ことをベースに、安心安全な野菜作りと市民を巻き込んだ食育活動、またその活動を通じて地域の交流の場作り。

Q1 活動内容と始めたきっかけは？
立上げのきっかけは、平成18年の農業校卒業生。現在の活動者は12〜13人。野菜作りを通して健康になりたい、自分の時間を充実させたい、安心・安全な野菜を子どもに食べさせたいなど、それぞれの活動のきっかけはあるものの、みんなの共通点は「農業に興味がある！」こと。

Q2 「この」活動の「ここ」がおもしろい！やりにくいがある！と思う事は？
春はジャガイモ、秋はさつまいもの収穫体験を親子を中心(約60組)に実施！参加者と一緒に作物を育てる楽しさと収穫の喜びを共有できることが何よりのやりがい。また、無農薬で作っているため、気候や虫など様々な問題が発生するが、それを乗り越えて収穫できる喜びや発見もやりがい。そして、おいしく食べる！ことも次に繋がるやりがい。

Q3 ずばり！あなたが考える「幸せ」とは？
この活動を通して、なんでも言い合える仲間ができたこと。健康でこの活動ができること。とにかく出て協働、みんなで仕事すること。孤独じゃないこと。そんなことが「幸せ」かな。でも、意外と幸せについて考えないことが「幸せ」なのかも。

Q4 フリーメッセージ
(例) 将来の目標、参加の呼びかけ
ぜひ、若い人に入ってもらいたい！農業校卒業生歓迎！年齢を重ね、健康を考えると「しんどい」時が増えました。でも、子どもたちに安心安全な野菜を届けたい、元気な作物を育てたい、日々の新しい発見を糧に情熱を持って楽しんでやろう！と思っています。

取材者(かずちゃん、ユッキー)のコメント
活動の始まりは、まず「土を育てること」からだっただろう。いきなり野菜を作ろうと思っても作ることはできなかった。これは人と人との関係も一緒。すぐに関係を深められる訳ではなく、少しずつ同じ目標に向かい、活動していくことでつながっていくのだと感じました。また、おやつに頂いたとても目でもおいしい焼き芋が、やはり長久手楽楽ファーマーズの皆さんの活動と関係性を物語っていました。

長久手人の取材記録（一部）

第2章 幸せのモノサシ

1 幸せのモノサシとは

幸せのモノサシは、まちが掲げる目指す姿に向けて、①市民生活や地域社会の状況はどうか、②まちづくりは目指す方向に向かって着実に進んでいるのか、について確かめる「尺度＝道具」として、図2のと通りのイメージとしました。

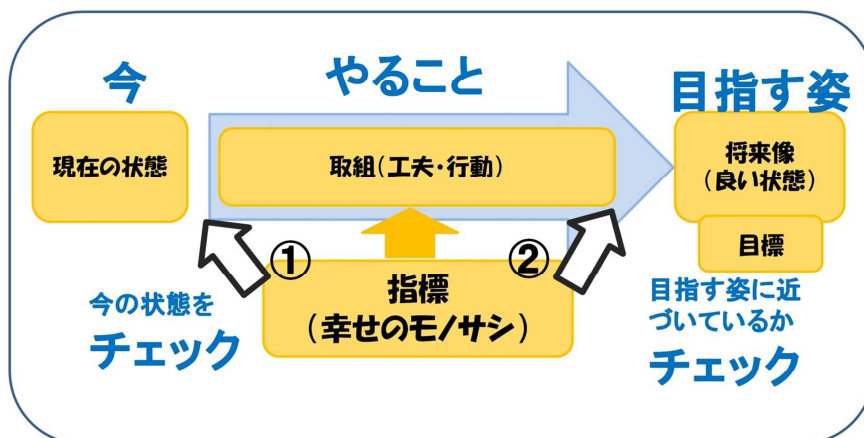


図2 ながくて幸せのモノサシのイメージ

ここで、まちや地域の状態を測るモノサシを具体的にイメージできるよう、市民参加で持続するまちにするためのコミュニティ指標をつくり、この指標に基いた様々な取組が行われている米国のシアトルの例を参考に、独自に設定した具体例を紹介します。

■ シアトルの「現在」は・・・？

- ・サケが川に戻らない
- ・都市部の犯罪が多発し、相次いで郊外への引っ越しが起こる
- ・自動車移動が中心で公共交通が衰退し、排気ガスによる大気汚染が発生している

そこで、将来像と目標を次のとおり掲げました。

●まちの将来象「将来世代もよい暮らしを持続できるまち」

●目標「多数のサケがふたたび遡上できるシアトルのまちづくり」

ここで特徴的なのは、人ではなく「サケ」で目標設定した点です。

- **どのようなまちの状態が望ましいのか？～目指すまちの姿を具体化する**
 - ・サケが戻るきれいな川にする
 - ・人や住宅、企業、学校が拡散しない
 - ・環境に配慮した生活をする

(都市部が衰退し、乱開発が進んで、サケの生態に悪影響を及ぼすことがないよう、郊外の環境を良好な状態に保つことが望ましい。)
- **今後の工夫、取組、対策～市民に何ができるか、何をすべきかを見つける**
 - ・洗剤を見直して環境に優しい素材を使う
 - ・できるだけ公共交通や自転車を利用する
 - ・郊外開発を抑制し、都市部の緑化を進める
- **工夫、取組、対策の進捗の状況を確認するための諸指標**
 - ・サケの回帰率、河川の濁り度合い
 - ・有害物質の流出、エネルギー使用量
 - ・自動車または公共交通による移動割合
 - ・コミュニティ活動への参画

ひとつひとつをバラバラにみただけでは、サケの遡上にどうつながるのかピンとこないかもしれません。サケが遡上する川は、汚れない川であることが必要です。そのようなサケが遡上できる川にするためには、生活の場面場面で、住民がどのような暮らし方をするかにかかっています。これらの指標によって、一人ひとりの行動に加えて、地域住民が一体となってお近所や地域の子どもたちに教えたり、働きかけたりすることで、普段から環境を大切にする生活に変えていくことを促します。そのためには、きれいな川とたくさんのサケの遡上するまちの実現を、コミュニティで共有できているかが重要です。

この仕組みを図にしたものが図3になります。

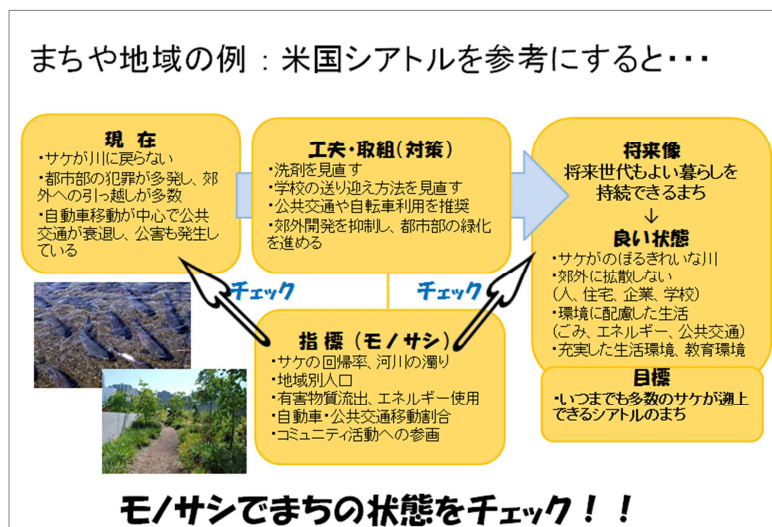


図3 米国シアトルのコミュニティ指標例

2 ながくて幸せのモノサシの構造と内容

シアトルのコミュニティ指標を参考にして、幸せ実感広め隊は、①本市がどのようなまちを目指すのかを設定し、②そのまちを実現した場合の人やまちの状態を描き出し、③描写された人やまちの状態を左右する要因となる行動や環境等のデータを選択・整理しました。

そして、それらを活用することで、まちづくりの進展状況を総合的に確認できると考えました。そこで、ながくての幸せのモノサシは、図4の構造としました。

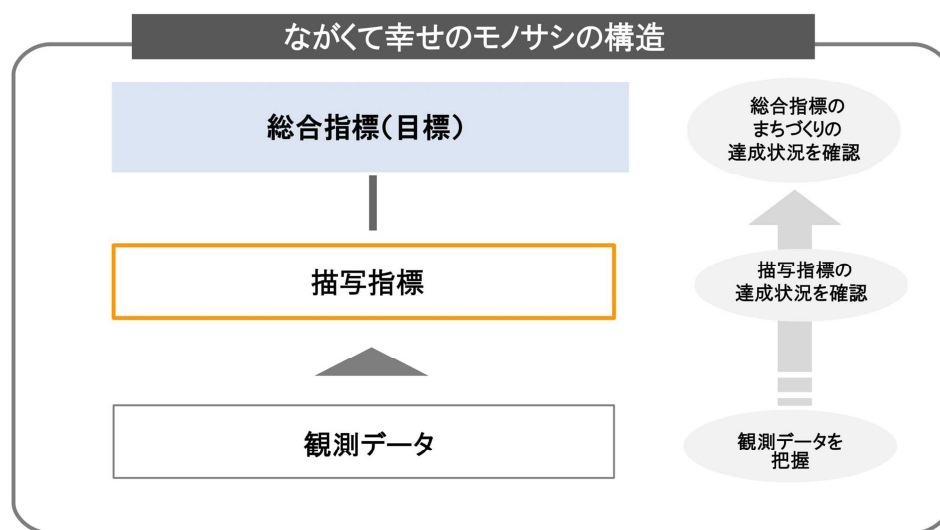


図4 ながくて幸せのモノサシの構造（仕組み）

①総合指標（目標）

市が目指すまちの姿をわかりやすく表現した概念指標であり目標

②描写指標

総合指標で表現するまちや人の状態を具体的に表現した指標

③観測データ

描写指標を左右する要因となるまちの人の具体的な行動、環境等のデータ

ながくて幸せ実感広め隊では、「長久手未来まちづくりビジョン」をまちの将来像として描きつつ、2回の幸せ実感アンケート調査結果及びこれまでの活動を踏まえて、前述の構造に沿って「ながくて幸せのモノサシ」を検討し、とりまとめました。

■将来像 ながくて未来まちづくりビジョン全体テーマ

人・場・時をつなぎ 夢をはぐくむ長久手

長久手人こそ私たちの誇り 気長に手をかけ みんなで未来を拓く

市は、平成28年3月に、2050年の長期を見据えた「長久手市未来まちづくりビジョン」を策定しました。

このビジョンの中で、長久手市に関わりがある一人ひとりを「長久手人（ながくてびと）」と名付けています。

このビジョンを実現するためには、どんなまちや人の状態であつたらいいのかを具体的にイメージし、どういったモノサシ（視点、切り口）で、ビジョンの実現具合や取組成果を確認していくかを考えました。



出典：長久手未来まちづくりビジョン

■幸せのモノサシ

総合指標（目標）

地域で子どもの笑顔を育てるまち

【総合指標（目標）の検討にあたって】

地域の大人がボランティア活動を通して、子どもたちとふれあう際に、大人がいきいきしていると、子どもも自然といきいきとする姿を見て、「大人のふるまいが子どもに影響する」ことを実感したという幸せ実感広め隊メンバーの話がありました。

子どもの子どもの世代まで、この豊かなまちを引き継いでいくためには、地域が一体となって、環境保全、伝統文化の継承、生きがいつくり、つながりづくり、子どもや高齢者の見守りなど、多面的なまちづくり活動を行わなければいけません。

活動を担う大人が、まち（地域）や人とつながり、まちの中で笑顔で活躍することで、子どもの笑顔を育てます。子どもの笑顔（＝幸せ）が、大人の笑顔につながり、ひいては、まちの幸せにつながると考え、この指標（目標）が生まれました。

そして、総合指標を補完する指標として、日頃からあいさつをしたり、近所同士で支え合えあったりするなど、人やまち（地域）がつながるまちづくりを軸とした描写指標を設定することとしました。

幸せな長久手につながる人とまちの描写指標

1. 日頃から笑顔で生活ができていると感じている
2. 大人も子どもも、地域の行事や活動に参加している
3. 安心して自宅にすることができる
4. 日頃から近所の人にあいさつをする、される習慣がある
5. 自分がこのまちの一員である（役割がある）と感じられる
6. 地域に愛着がある
7. 近所で声をかけ合って、頼り、頼られる関係がある
8. 子どもたちの成長を身近に感じることができる

【描写指標の検討にあたって】

総合指標を実現する大切な要素である「地域のつながり」を軸とし、まちと人の状態の具体的なイメージを指標として設定しました。設定にあたっては、「される（受動）」だけでなく、「する（能動）」視点も加えています。

観測データ

ながくて幸せ実感アンケート項目より ※（ ）内は、関連する描写指標

- 1 日頃から笑顔で心豊かな生活ができていますか。（1）
- 2 体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていますか。（1）
- 3 お住まいの地域では、地域で困った人への助け合いはできていますか。（3、4、5、6、7、8）
- 4 日常的にあいさつをしていますか。（4、5、7）
- 5 日常的に近所づきあいをしていますか。（4、5、7）
- 6 お住まいの地域であなたは「たつせ」がありますか。（2、4、5、6、7）
- 7 お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」がありますか。（6）
- 8 お住まいの地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思いますか。（2、4、8）
- 9 お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。（2、4、8）
- 10 お住まいの地域には、公園や屋外の遊び場がありますか。（8）
- 11 あなたは、日ごろ地域社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。（5、6）
- 12 お住まいの地域は、治安がよく、安心して暮らせますか。（3）

【観測データの検討にあたって】

前述の8つの描写指標に挙げる状態を左右する要因となり、今後観測が必要である人の行動や環境を幸せ実感アンケートの設問から選定しました。選定にあたっては、それらの設問と個人の幸せ感との相関関係（表 2-1-1、63 ページ）も参考にしています。

なお、これら観測データは、総合計画策定や見直しの際に実施する予定の「市民意識調査」（5年に1回の予定）により把握します。

3 ながくて幸せのモノサシの活用方法

(1) 市民による活用

ながくて幸せのモノサシは、市民と職員の協働を積み重ね、導き出されたものであり、市民が積極的に活用していくものです。

まちの現状を把握するだけでなく、現状とビジョンとのギャップを埋めるための活動、例えば、市民が活動や取組を新たに見つけたり、既存の活動の中から、支援・応援したりする活動を選び出したりすることに活用できます。また、その活動等が目指すべきまちの姿に近づいていっているのか、成果も確認できます。

このように、ながくて幸せのモノサシは、まちづくりの原動力となる市民の主体的な活動を活発にしていくために重要な役割を果たします（図5）。

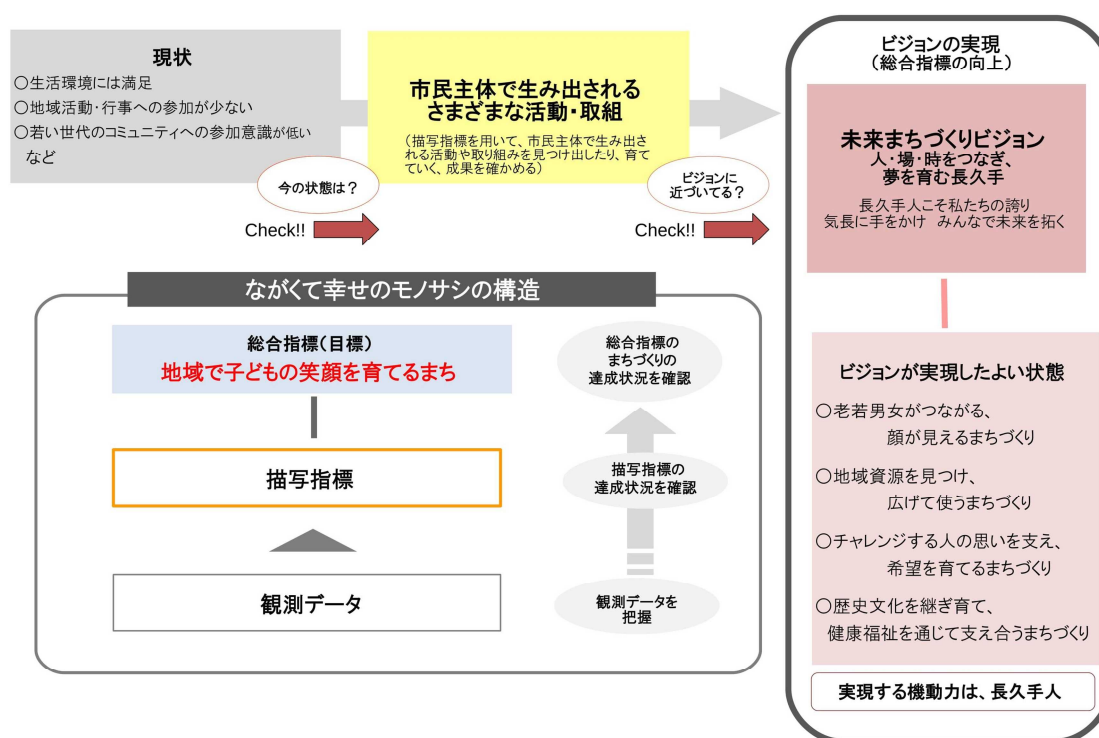


図5 市民主体のまちづくりにおけるながくて幸せのモノサシの役割

(2) 行政による活用

幸せのモノサシは、市民が積極的に活用するものとはいえ、行政が、市民の幸せ感に基づくまちづくりを進めていくためにも重要な役割を果たします。

従来、市民意識調査や、総合計画に基づく施策事業の取組に関係して収集されている様々なデータなどの指標により、まちづくりの進展の評価及び施策立案を行ってきました。

今後は、それらのデータと幸せのモノサシを組み合わせ活用していくことで、市民の生活実感に即したまちづくりを進めていくことができます。

本市は、平均年齢38.6才（平成27年度国勢調査）で、子どもが多く若いまちです。しかし、これからの少子高齢化・人口減少時代に向けて、安心して子どもを生み、育てられるまちづくり、また、子どもがずっと住み続けたいと思えるまちづくりを進めるには、「子育て・教育」「地域のつながり」は、大きな柱として本市が注力していくべき分野であると考えられます。

このたび、目指すまちの実現に向けた指標であり目標である「地域で子どもの笑顔を育てるまち」は、市民生活の当事者である市民の実感から生み出され、そこから「子どもを中心とした地域の関係づくり」の必要性も確認できました。

平成29年度から本格的に始まる次期総合計画策定の取組過程において、幸せのモノサシを多くの人と共有し、図6にあるように、「地域で子どもの笑顔を育てる」ために、市民と行政がともに取り組むための施策について具体的に検討していきます。

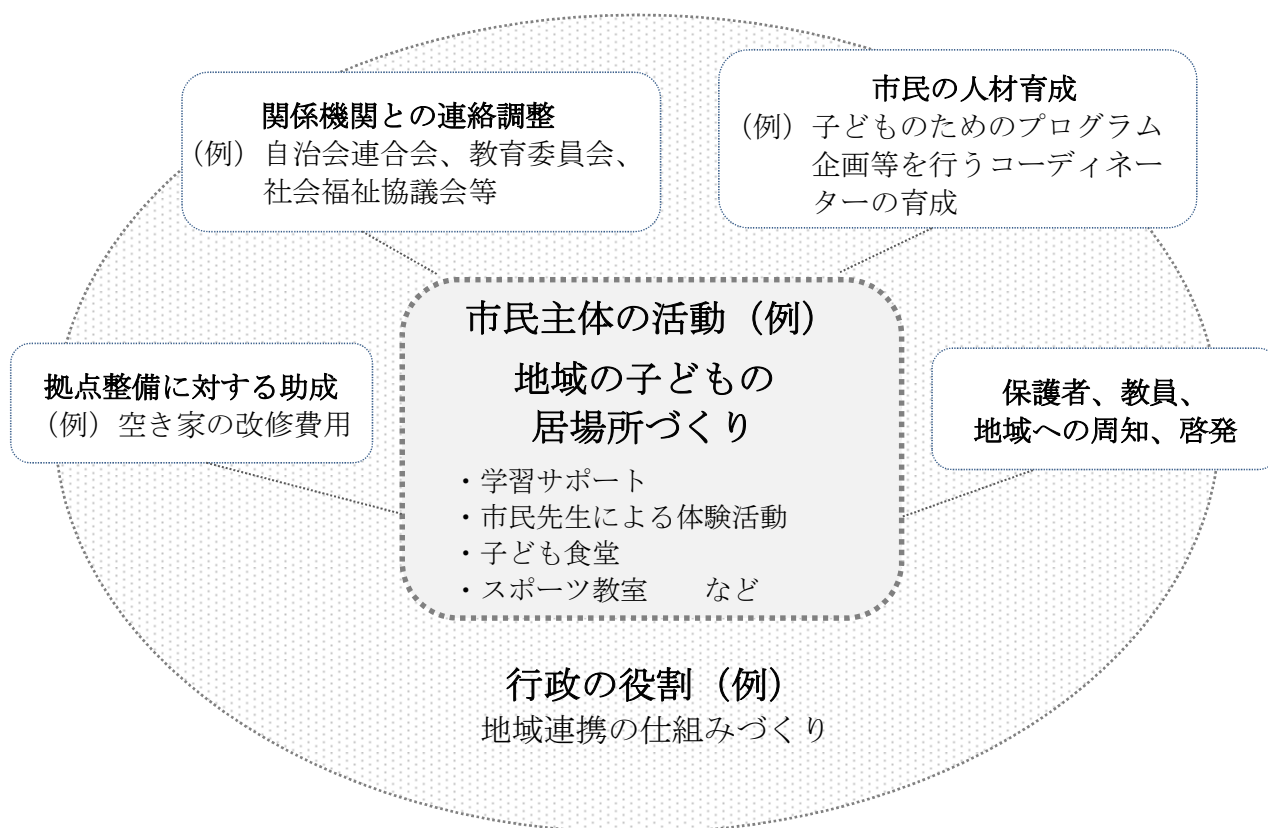


図6 市民主体の活動とそれを支える行政の役割

第3章 総括

1 事業の成果

市が4年間にわたって幸せのモノサシづくりに取り組んできた成果は2つあります。ひとつ目が、事業の過程において、参加者同士のつながりができ、市民主体の取組が始まったことです。ふたつ目が、市民目線による幸せのモノサシができたことです。

ひとつ目について、幸せ実感広め隊はモノサシづくりの一環として、幸せにつながる活動や取組を行う「長久手人」の取材活動を行ってきました。顔を合わせた取材を通して、活動を広め、人と人をつなげていきたいという想いから生まれたものです。実践に移すまでに時間がかかりましたが、いざやってみると、メンバー自身が楽しみ、幸せのモノサシを考える上で、たくさんのヒントが得られました。取材には、市事務局は同行することなくメンバーが2、3人でグループで出かけ、役割分担しながら取材を進め、共通のフォーマットで取材記録をつくりました。記録は市のホームページで公開しています。それが蓄積してきたら、図鑑をつくろうという話も出ています。

当初に目指したとおり、本事業の過程そのものが「人づくり」「仕組みづくり」であったことが実感できます。今はまだ、市に事務局があり、協働で進めているこの活動が、たくさんの市民の手により息が長い活動として成長、発展していくよう引き続き仕組みづくりを進めていきます。

ふたつ目について、幸せのモノサシは、幸せ実感調査結果や、幸せなまちづくりにつながる活動の実践から得られた、ゆるぎない幸せ実感の要素が多く盛り込まれたものになりました。行政だけでは、生み出せなかったモノサシです。

ただし、ながくて幸せ実感広め隊が考えたモノサシは、完全なものではありません。今後、次期総合計画策定に向けた取組において、より多くの市民と議論を重ねながら、市民の実感として受け入れられるものにしていきたいと考えています。

2 関わったメンバーの所感

(1) 広め隊メンバー 川島知子さんの所感

幸せ実感広め隊の活動で学んだこと、それは市民として長久手市の状況を把握し、今現在は豊かな状況に見える長久手市も 50 年後は、想像もつかない時代になることを知りました。そこで、今から市民としてできることの一つとしてながくて幸せ実感調査アンケート結果に基づき、幸せ実感を高めるには何が必要か等をメンバーで話し合い、周りの人を幸せに導く活動をされている方々を取材することとなりました。普段、他人とはあまり真剣に話したことがない「幸せ」について、メンバーとなら難なく話せたとし、聞くこともできました。

取材活動で感じたこと学んだこと、それはメンバー一人ひとり感じ方が違うと思いますが、取材したどの方も、とにかく活動が好きで楽しい、楽しいことをやっているから同じ目的を持つ仲間も増え、たくさんのつながりを持っているのだと感じました。

市民まつりで、市民の方に幸せと感ずるためには一番何が重要かと質問したところ、子どもから大人まで、特に 70 歳以上の高齢者は、回答者の 7 割近くの多くの方が健康であることが一番大切と答えていました。健康であるからこそ、好きな活動ができるということに繋がるような気がしました。

このような活動と並行して、市民目線で作る幸せのモノサシづくりも進め、難航していましたが、最終的に子どもの笑顔やつながりが幸せの鍵を握っているということを表現した市民目線の優しい指標ができあがりしました。

今年度（平成 28 年度）第 2 回目となるアンケート調査を行うにあたって、回収率を上げるため、アンケート案内も広め隊で相談しながら、より親しみがもてるような紙面を作りました。その効果もあり、回収率が約 14% も上がった事はうれしい成果となりました。

長久手未来まちづくりビジョンにある長久手市の 2050 年の目標に向けて、長久手人の発掘も続けていきます。地域で活動する長久手人とは、言わば、まわりの人を惹きつける存在であり、その人と繋がりたいとなるような人のことと考えます。

長久手人を取材するにあたって、自分たちの活動の内容を理解していただくため、「広め隊紹介シート」作成しました。その中で、未来まちづくりビジョンを「実のなる大きな木」に例えました。その木は、自然の営みの仕組みとして「長久手人」という完熟した実を作り、それらは広め隊により集められ、長久手人情報の実として、知らない人々へ味わってもらいます。そして、次の世代の長久手人の実を再生し、新しい長久手人を育てていきます。

未来まちづくりビジョンの実現に向けて、まちとひとが循環して、すべて

の市民が長久手人として網目のようにつながるような仕組みを作りたいという想いで、今後も取材を積み重ねていきたいと考えています。

取材記録を市民の皆様に活用していただき、市民同士が繋がり、しあわせ感が高いまちになればどんなに素敵なことでしょう。

(2) 広め隊メンバー 中川純子さんの所感

幸せ実感広め隊に参加して、普段はお会いすることのない方々に出会い、多くのことを学ばせていただいたことに感謝しております。

日本は、人口減少社会、高齢化が急ピッチで進んでおり、「若い世代が多いまち」と言われている長久手市も例外ではないということ、今までの価値観さえも揺らいでいるということを、まず、最初に学びました。

長久手市が目指す「幸福度の高いまち＝日本一の福祉のまち」の実現に向けて、市民と若手の市職員が幸せとは何かを知るために、アンケートを実施し、結果を分析し、出来たのが幸せを測る尺度となる「幸せのモノサシ」です。

幸せ実感広め隊は、幸せにつながる活動をしている方からお話を伺い、幸せとは何かを手探りながら、個々で掴み取っていきました。活動している方々は、皆、人の為というよりも、自分がやりたいから、自分がやりたいと思うことを共有、共感してくれる仲間と活動し、そこでの発見や感動を分かち合うそのつながりを「幸せ」と感じていること知りました。

長久手のみどりを大切にしたい方は、荒れた土地を整備し、汗だくになりながらも、小さな自然を見つけ、その感動を仲間と共有しています。

長久手の伝統文化を守ろうと、厳しさと誇りを自らを持って示し、担い手を育てる「長久手市棒の手保存会」、現役を退いた人が集まりやすいようにと「老人憩いの家」の開放の手伝いをしている人、親の介護をしながら、つながりを大切にしたいと友人たちを自宅に招いて交流を図っている人、子どもたちに声をかけながら児童の登下校の見守りをしている人。

長久手には、いろいろな形で自ら「幸せ」をつくる活動に携わっている人達があります。それは、性別や年齢にかかわらず、想いを共有し、共感し、時には衝突し、でも、そんなわずらわしさを吹き飛ばし、楽しんでいるようです。そして、その中にたくさんの笑顔がありました。自分に向けられるふとした笑顔が幸せをもたらしてくれる、そう学んだ時、「幸せ実感広め隊」の活動こそが、私自身の幸せにつながっていることに気がきました。

幸せの感じ方は個々に違うかも知れない。しかし、「幸せになりたい」と願う気持ちは誰でも同じです。私は、広め隊活動を通してできたつながりを大切にしていきたいと思います。

私たちは、「地域で子どもの笑顔を育てるまち」を目標とし、今生きた者と

して、次世代にこの「幸せ」をつなげていきたいです。次の世代が「幸せ」だと思える環境を作り、続く者が続いて行きたいと思う道を見せてあげたいです。私が「幸せ実感広め隊」の活動を通して学んだこと、取材に応じてくださった方の幸せのあり方を多くの方々に伝え、発信できるようにこれからも取材を続けたいと思っています。

(3) アドバイザーの所感

ながくて幸せのモノサシづくりという市民と市役所による協働活動にアドバイザーとして関わりを持つことができたことは、一介の研究者として、かけがいのない経験をさせていただいたという実感があります。これまでに、国内外で、地域の豊かさや幸せに関する実践的研究活動に取り組んできましたが、ながくて幸せのモノサシづくりは、格別のものとなりました。

まず、幸せ実感調査隊の活動は、何から何まで、行政がお膳立てをして、そこに市民が参加する、という類のものではなかったということです。行政は、調査隊の立ち上げ、会議設定、会議資料の準備などを担いましたが、調査隊会議の場では、調査隊メンバー同士の熱い意見交換がなされ、少しずつ前に前にと進んでいきました。幸せ実感調査隊が中心になって幸せ実感調査の設計、調査票の作成、収集データの分析、そして、報告書の取りまとめを行いました。

これらの活動の中心は、調査隊メンバーでしたが、メンバーだけの視点で物事を捉えているわけではありませんでした。たとえば、ながくての幸せの要素を考えるにあたっては、実際に市民の幸せの声を集めようという案が出て、ながくて市民祭りの会場に繰り出していきました。幸せ実感調査の調査票の設計の際、これらの市民の声も少なからず参考になっていたはずです。

次に、まちづくりにおいては、地元住民の持っている知識や経験を活かさない手はないという確信を持てたということです。地方自治体が調査を実施する場合には、研究者やコンサルタントに調査設計や調査データ分析や報告書作成を委託することが通常です。技術的専門性に裏打ちされた調査課題であれば、適切な専門家に依頼することは理にかなっています。水質問題の調査であれば、水の専門家に任せることになるわけです。しかし、まちのくらしの評価をする場合には、果たして、誰が専門家であるべきでしょう。研究者やコンサルタントなのでしょうか。長久手市と協働活動できたことで、今では、この疑問への明快な答えを見つけることができたと感じています。幸せ実感調査の調査方法を調査隊メンバーが作り上げていく過程に参加し、メンバーが出すアイデアや意見の的確さに驚きを覚えることがよくありました。メンバー同士の意見を出し合いながら、「長久手におけるよい生活やよいまちの状態や条件は何か」を具体化する作業に多くの時間を注ぎました。なんと質の高い会議だろう、と、しきりに感心していました。その結果、私が得た結論は、長久手の幸せ実感を探っていくためには、専門家が必要であるけれど、適任者は、研究者やコンサルタントではなく、紛れもない長久手市の市民自身が長久手のまちで暮らす「生活当事者＝専門家」なのだということです。

また、幸せ実感調査隊の取り組みから、行政も実に多くを学ぶことができたはずです。行政の立てる活動計画にただ参加してもらうのではなく、市民が自

発的に行動計画を出し合って、協働活動を進めていくことこそ、行政にとって大きな力になるという実感です。今後は、この協働活動を長久手市民主導の活動として育てていくために知恵を絞っていくことになるでしょう。

このように見えるのは、アドバイザーとして関わってきたから、どうしてもひいき目で見えてしまっているのではないのか？と思われるかもしれませんが、まったくそうではありません。私は、協働型アクション・リサーチの展開に力を入れていて、国内外の研究者とのネットワークを通じて、情報交換することがあります。これまでに、何度か、長久手市の取り組みを紹介したことがあります。すると、決まってもらうコメントは「行政が市民協働を標榜し、実際に行う？そんなことが可能なのか！」という声なのです。長久手の取り組みには、市民参画と協働の要素がたっぷりと盛り込まれているからだと思います。

幸せ実感広め隊は、長久手のまちに住む人や組織の活動の中から、幸せ実感の高い住みよいまち長久手の実現に導く種や芽を集めています。「長久手人」を発掘し、将来の長久手には、長久手人が溢れかえることを目指そうという心意気を感じさせる活動です。この広め隊活動の参加メンバーのみなさんの熱意から、長久手市民の持つ地域への愛着を感じることができました。地域を大切にしたいと心の底から思う人こそ、まちをよりよくする手助けをしてくれるカギであるということも再確認させてもらいました。

市民協働のネックになりやすいのは、役所の単年度予算の制約の問題があります。しかし、幸せのモノサシづくりの活動では、単年度で無理やり完成にもっていくことはせずに、主体性を持つ市民協働の醸成に必要な時間を確保できたことが、幸せ調査隊や広め隊活動を継続しえた要因と思っています。

幸せ実感調査隊と広め隊の活動によって、長久手市を市民主導のまちに進化させていくための「まちの体幹」を鍛えあげてきたと思います。ぜひ、これから、2050年に向けて、長久手市がどこまで幸せ感の高い、住みよいまちに近づけるのか、心からのエールを送りたいと思います。

(4) 担当職員の所感

「新聞で、「幸福」とか「幸せ」という文字を見ると、なんだか気になるようになったちゃって・・・。」と、いくつかの新聞記事の切り抜きを見せてくださった方、「私は、この活動に参加して、とっても幸せ」と、月に1回の広め隊ミーティングを楽しみに、休まず来てくださった方など、頼もしいメンバーの活動の積み上げにより、このたび「ながくて幸せのモノサシ」を完成させることができました。

この一連の活動に参加したメンバーは、市民ひとり一人、それぞれ違った幸せ感があることを前提にしながらも、自身の幸せや暮らしに向き合い、視点をまちに広げ、幸せなまちを具体的にイメージしていきました。

自分自身が幸せになることは、「まちの人」や「まち自体」が幸せになること、つまり、ひとつの環（わ）のように、『「まち」と「ひと」とがつながることが幸せ感を高める』ことを、実践を通して体感できたことと思います。前述のメンバーの発言を聞いて、そう感じさせられました。

このような市民メンバーに出会えたことは、参加した職員にとって、新たな気持ちや価値観のもとで市民のみなさんとの関わりあいを持ち、仕事を進めていく原動力となりました。

4年間もの長い時間をかけて、市民と市役所が一緒になってじっくりと取り組んできた「ながくて幸せのモノサシ」づくり。その中で生まれたのが、幸せにつながる活動を行う多様な人、団体を紹介する活動です。広め隊メンバーのお知り合いの方の紹介から少しずつ進めていますが、何十人、何百人と記録が集まり、市民に親しまれ、つながりのツールとして活用される人物図鑑になるだろうと大きな期待を寄せています。

市民と市役所が一緒に種を蒔き、育て、まだ芽を出したばかりのこの活動ですが、これからは、市民のみなさんで、手をかけ、花が咲くよう、バトンタッチをしていきたいと思っています。

資料編

平成28年度ながくて幸せ実感広め隊の活動記録

平成28年度ながくて幸せ実感広め隊の活動記録として、ミーティングの開催結果をまとめたニュースレター等を整理します。

回	日時	内容
第1回	平成28年 4月25日	・ 幸せ実感フェスティバルふり返し ・ 平成28年度の幸せ実感広め隊の活動内容の検討
第2回	5月16日	「幸せマイスター発掘・紹介」活動の目標、スケジュールの検討
第3回	6月20日	「幸せマイスター発掘・紹介」活動の仕組みの検討
第4回	7月16日	取材対象者の情報の共有
第5回	8月29日	・ お試し取材、質問の検討 ・ 幸せアンケートの調査項目の検討
第6回	9月12日	・ 幸せ実感アンケートの頭紙の検討 ・ 取材の際に活用する「広め隊」紹介シートの検討
第7回	10月5日	幸せのモノサシのイメージの共有
第8回	11月2日	・ 幸せのモノサシのイメージの具体化 ・ 市民まつりブース出店内容検討
市民まつり	11月13日	インタビューテーマ： “幸せ”につながる大切なコトって何ですか？
第9回	12月12日	・ 市民まつりのふり返し ・ モノサシづくりに向けたスケジュールの確認
第10回	平成29年 1月23日	・ 幸せのモノサシ案の検討 ・ 幸せのモノサシのイメージ検討
第11回	3月1日	・ アンケート結果速報の確認 ・ 幸せのモノサシの検討
第12回	3月27日	幸せのモノサシの確認

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.4.25(月) 19:00~20:30

@市役所第8会議室 参加者 11人

◎こんなこと、話しました！

「幸せ実感フェスティバル」(& 昨年の活動)をふりかえろう！

初めての試みで、運営やPRの点では、不十分な点があったものの、準備から当日運営まで、多くのメンバーが力を合わせて、楽しみながら活動することができました。

よかった！

- 活動を通して、人と出会えた！活動を知ってもらえた！
- フェスティバルを自分たちで準備してきたプロセスが楽しかった！
- 活動発表(あつくん)、PRちらし(ともこさん)、司会(ユッキー&わごごご)、みんな素晴らしい！

もっとこうすれば…

- PR不足で、参加者が少なかったのが残念。
- 幸せマイスター紹介のフォロー体制が十分でなかった。
- 音響がよくなって、たかさんのメッセージが、うまく伝わらなかったのでは…

今年は、幸せマイスター発掘・紹介活動を仕組み化していこう！

幸せにつながる地域活動を広める「幸せマイスター発掘・紹介」こそ、広め隊にとって大切にしたい活動だと実感。そのために、市民から市民へこの活動が広がっていくようシンプルでわかりやすい仕組みをつくります！

目指すは、市民全員が、幸せ実感広め隊！

マイスター同士のつながりづくりの場があるといいね

地域の団体に所属する人はもちろん、個人もどんどん掘り起こし！

情報を蓄積していけば将来的には長久手人物図鑑ができるかも！

「幸せのモノサシ」は、総合計画づくりの中で取り組もう！

今年から始まる市民のみなさんと一緒に「総合計画」づくりの中で、市民目線で幸せ実感を測る「幸せのモノサシ」をつくっていく予定です！広め隊の活動を通して得られる、様々な「幸せ実感」を、モノサシづくりにも活かしていきます！



◎次回の予定

5月16日(月) 19:00~20:30

@市役所西庁舎第8会議室

「幸せマイスター発掘・紹介」活動をもっとシンプルに仕組みにするためのアイデア出しをします！

◎問合先

長久手市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keie@city.nagakute.lg.jp

幸せ実感広め隊は、長久手市民の幸福度を測る、独自の幸せのモノサシづくりの一端として、幸せなまちづくりにつながる活動を広め、紹介していく活動を行っています。

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.5.16(月) 19:00~20:40

@市役所第8会議室 参加者 10人

幸せ実感広め隊は、幸せのモノサシづくりの過程の中で、幸せマイスターの発掘・紹介活動を大切にしています。今回は、この活動を広めていくための仕組み化に向けて、目標を考えました。

◎こんなこと、話しました！

はじめに・・・確認したい「幸せのモノサシ」のこと



H25の幸せ実感アンケート＝幸せのモノサシだと思っていた。総合計画の策定の中でくってどういうこと？今までみんなできてきたモノサシはどうなるのかな？

幸せ実感を高めるために何をしたいか？を考えるにあたって、まずはアンケート調査で幸せ実感の現状を把握しました。これから、まちが「こうあってほしい！」という姿を描き、それを元に取組と指標＝モノサシをつくりたいです。アンケートの一部は、そのまま幸せのモノサシになり得ることも十分考えられると思います！

アンケートは「誰もが幸せをはかれるモノサシ」づくりに向けた、ベースだったのでは。

例えば、1つのシンボリックな指標＝モノサシがあり、それがあがるとすべての指標があがる、そんなモノサシでもいいのでは。

多くの幸せマイスターを取材して見えてくる、幸せ実感の共通項が幸せのモノサシでは。

「幸せのモノサシ」とは？の共通イメージを持つために、まだまだ議論が必要になりそうです。

幸せマイスター発掘・紹介活動の目標は・・・！

◎ 幸せマイスター情報で ながくてびと 長久手人物図鑑をつくる

◎ 幸せマイスター誕生数(1年) 791 が目標！

◎ 幸せマイスター情報を 共有する場づくり

キーワードは「つながり」。この仕組みを通して、まずは広め隊が楽しみながら、顔を合わせて取材を行い、活動を広めることで、長久手人(ながくてびと)をつないでいきます！

◎次回の予定

6月20日(月) 19:00~20:30

@市役所西庁舎3階学習室1

仕組み化に向けて、取材の進め方、データの集め方、公開方法等、詳細について考えます！

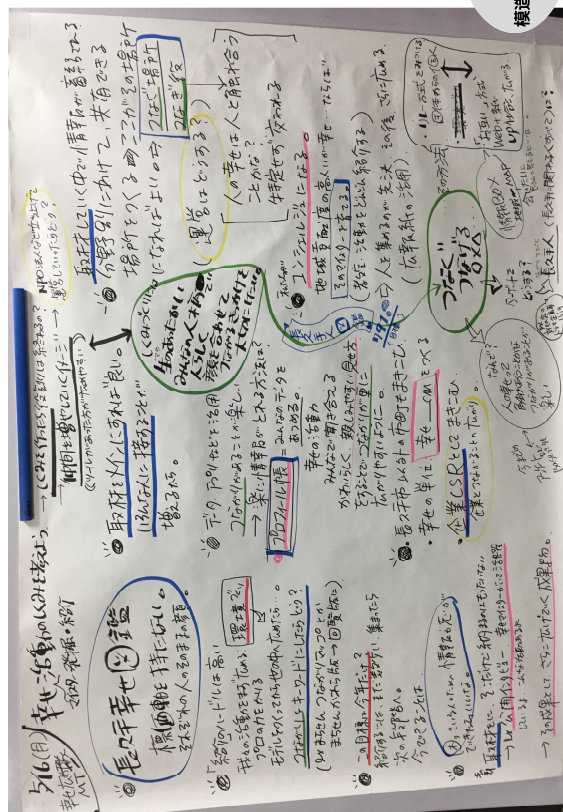
◎問合先

長久手市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keie@city.nagakute.lg.jp

幸せ実感広め隊は、長久手市民の幸福度を測る、独自の幸せのモノサシづくりの一端として、幸せなまちづくりにつながる活動を広め、紹介していく活動を行っています。

幸せマイスター発掘・紹介活動の目標をまとめてみた！

話し合いを
模造紙にまとめてみた！



～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.6.20(月) 19:00~20:30

◎市役所学習室1 参加者 9人

◎こんなこと、話しました！

取材にあたって、いろいろ気になります……

前回、幸せマイスター情報を取りまとめで、長久手人図鑑をつくらう！となったものの、いざ取材について考えてみると、不安感もややも感あふれてきました。

- 取材対象者のこと**
- 取材対象者との信頼関係も大事。
 - 何のために取材するのか、取材対象者に理解と納得してもらわないと。
 - どんな人を取材するのか、判断基準があった方がいい。
 - 下調べもきちんとしないと。
 - 幸せマイスターを説明するツールがほしい。

何が「幸せ」なんだろう？
取材するときに説明が
難しいし、不安……

取材される側のキモチ
も大切にしないと……

広め隊のこと

- メンバーが少ないので、新たな仲間を入れて、新しい風を！
- 取材は1人？グループで？
→今のメンバーがひとつのグループになって進めていこう！

幸せマイスターのこと

- 「マイスター」(=匠)という名前が、取材する側される側どちらもハードルが高くなるから、他にいいネーミングはないか？
- 幸せマイスター=長久手人
→では、「長久手に関わるすべての人」に
定義される長久手人って何だろう？

長久手未来まちづくり
ビジョンに出てくるよ！

まずは「誰を」取材するのかを考えてみよう！

- 幸せそうな人
- 幸せをばらまいてる人

取材のハードルが
高い……！

- 自分が一緒にいて幸せな人
- 活動を通して(自分は気づいてないけど)がんばっている人
- 生き生きしている素敵な人
- 団体の代表者だけでなく、陰で活動を支える人 など

「私ならこの人を取材したい！」という人を共有すれば、誰を取材したらよいか、その基準が何となく見えてくるかも？

◎次回の予定

7月19日(火) 19:00~20:30

◎市役所西庁舎 2階会議室 8

メンバーが取材してみたい人を紹介し合おう！

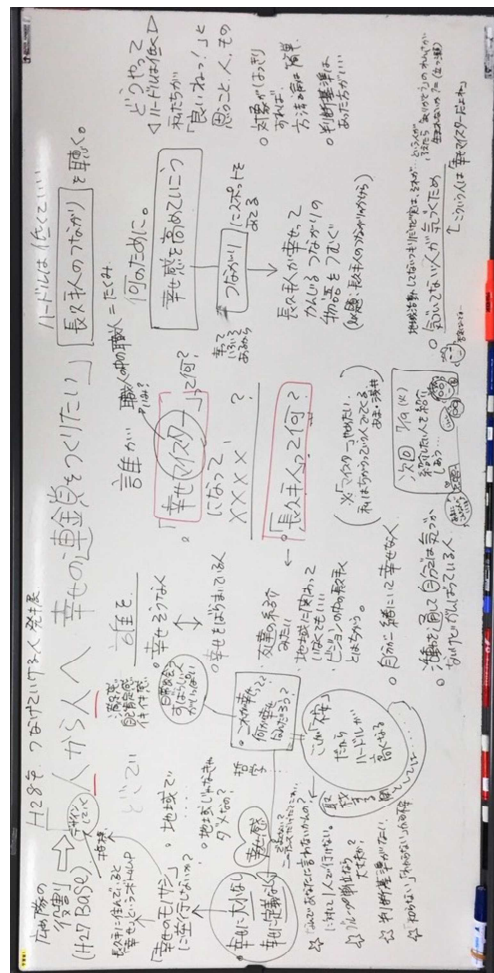
次回までに、「こんな人を紹介してみたい！」という人をイメージしてきてください！その情報をみんなで共有します。

◎問合先

長久手市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keie@city.nagakute.lg.jp

人から人へ幸せの連鎖をつくりたい

広め隊の目的や役割など、今一度、活動の原点を確認しながら、今後の活動を考えていく必要があります。広め隊が楽しく活動ができるように、活動のハードルは低くし、自分たちが「いいね！」と思うこと、人、ものをつなげていきたいです。



グラフィッカー



活動に対するモチベーション、不安な気持ちがあり、もう一度活動の原点を確認することが必要だと感じました。



焼井さん、黒田さんから
スマホで参加！



～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.7.19(火) 19:00~20:30

◎市役所会議室8 参加者 10人

◎こんなこと、話しました！

私なら、こんな人を取材したい！を出し合いました

〓 取材したい！こんな人 〓

- ・一緒にいると元気になる、安心する
- ・多趣味
- ・人脈がある、顔が広い
- ・多世代に喜ばれる
- ・ファンが多い
- ・人を巻き込む力がある
- ・長年活動が続いている
- ・ボランティア精神があふれる
- ・楽しむきっかけをつくっている
- ・助けてあげたい
- ・人を楽しませている

一方で……

こんな人は
幸せ実感が高いはず！

こんな人たちが取材して
得られる多様な幸せ感から
共通項となる「幸せのモノサシ」が
見つかるかも！



メンバーからの提案

- 「団体」でなく、「個人」にスポットを当てよう！
- 大人だけでなく、子どもや学生にも取材して、多世代
幸せ感を集めたい！
- キーワードは「つながり」。「仲良し」だけでなく、色々な
形の「つながり」を取材していきたい。

昨年の広め隊活動の目的も大切にしつつ、どんな人から
でも「幸せ感」を引き出すことを目指していきます！

- 何らかの(団体)活動をやっている「素晴らしい方」ばかりだと、「百貨店」のように、敷居が高くないかな？
- 色んな人が登場したほうが、長久手人図鑑を見る側にとっても、親しみやすく、面白いのでは？

取材フォーマットの提案がありました by あきちゃん



フォーマットはこんな内容！

- ・多様な幸せ感を聞き出す4つの質問
- ・取材対象者の活動写真
- ・紹介者(取材者)のコメント

色んな人の幸せ感を引き出すために、
まずは自分の「幸せ」を見つけることも必要かも。

まずは、メンバー同士でおたのしみ取材すれば、質問が
適当かどうか、また、自分の「幸せ」について考える機会
になるかも？！ということで次回へ……

◎次回の予定

8月29日(月) 19:00~20:30

◎市役所西庁舎 2階会議室 8

①メンバー同士で取材し合ってみて、幸せ感を引き出す
質問を検討しよう！

②10月に実施する3年ぶり、2回目となる「幸せ実感アンケート」の調査項目を見直そう！

あきちゃん作成！フォーマット案

※公開ページ 幸せマイスター File

この質問で、多様な幸せ感
が引き出せるかな？

＜幸せマイスターに聞きたい！4つの質問＞

Q. 活動をはじめてきっかけは？

A.

Q. 「この」活動の「ここ」がおもしろい！やりのいいところ！

A.

Q. すばり！あなたが考える「幸せ」とは？

A.

Q. フリーメッセージ (例) 将来の目標、参加者募集 等

A.

※上記の文面とおりに掲載されます。



※ 押に掲載可能な幸せマイスターの写真を添付してください。(イラストでも可)

紹介者のコメント

Introduction comment box.

メンバー同士が取材し合うことで、
自分の幸せって何だろう？と
見つめ直す機会にもなりそうですね！

◎問合先

長久手市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keie@city.nagakute.lg.jp



～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.8.29(月) 19:00～20:45
@市役所会議室8 参加者 7人

◎こんなこと、話しました！

アンケートの回収率を上げる工夫をしよう！

3年ぶりに実施する幸せ実感調査。前回調査時からの変化も確認したいので、調査項目はほぼ変更しますが、改めて、アンケートの趣旨や活用方法について共有できました。

アンケートの目的
市民の幸せ(生活)実感を確認し、幸せに影響する要素を知り、幸せのモノサシづくりの基礎データとします。

対象 18歳以上の市民5,000人
10月に発送、1ヶ月程度の回収期間の後、集計、分析します。

回収率を上げたい！！
(前回も、37.4%)

ばつと手に取ったときに
回答したくなるような
アタマ紙をつくらどう？

こんな(右側)イメージ？

住みよさランキング2位の実感がある
のか、ないのかを聞いてみたい。

新たな質問の追加については、
事務局で検討します！

おためし取材をやってみて・・・気づいたことは？

取材内容をフォーマット案の4つの質問にまとめることを意識しながら、メンバーでおためし取材を行いました。

◎気づいたこと、感じたこと

- あいさつを丁寧に、話を聞いていく。
- 広め隊の紹介、取材目的の説明はきちんとする。
- 取材相手の背景、活動などの情報を事前に収集しておく。
- その情報を、フォーマットでも紹介するといふ。
- 取材はインタビュー係と記録係の2人で行う方がベター。

**取材を始める前の
説明用シートはこんな内容！**

- 幸せ実感広め隊の紹介
- こんな人、取材したい！
- 長久手人図鑑とは
- 取材の進め方

◎長久手人図鑑のフォーマットに関して

取材内容を、フォーマット案にまとめることは問題なさそうですが、試しに、今回行ったおためし取材でインタビューを担当したメンバーは、次回までに内容をフォーマットにまとめてきます！



◎次回予定

9月12日(月) 19:00～20:30
@市役所西庁舎3階研修室

次の2つの案をみんなでたきます！

①アンケートのアタマ紙
②取材時の説明シート

◎問合せ先

長久手市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keie@city.nagakute.lg.jp

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.9.12(月) 19:00～20:30
@市役所会議室8 参加者 8人

◎こんなこと、話しました！

幸せ実感アンケートのアタマ紙、みんなの手で仕上げます

ともさんデザイン！
みんなの似顔絵
書きましょ！

多くの方が回答しようと思えるように、文章表現や紙面デザインをみんなでチェックしました。広め隊の写真をのせようという案もありましたが、色々な人の幸せあふれる似顔絵をのせるほうが、紙面デザインとマッチするという意見があり、その案を進めることになりました。

○何のためのアンケート？
○広め隊・幸せのモノサシって何？
○めんどくさいからやらないでもいい？
などを、Q&Aで表現しています！！

広め隊紹介シートは、わかりやすい内容にします

事務局案

図鑑をつくるのが目立っているが、つくったどう活用されるのかということが具体的にわからない・・・ということと、まずは、図鑑づくりに向けて「情報をたくさん集めたい」ということを伝えるシートにすることにしました。図鑑をどう公開し、活用していくかは、これから考えていきます。

前回行った取材の結果をフォーマットにまとめました

書きぶりがそれぞれ違っても、取材者の個性が感じられるほうが読みやすくなります。決まったフォーマットにまとまっていれば、書き方は取材者にお任せすることにしました。

おためし取材で、広め隊への思いを話してくれたかきちゃん。この日も、「この活動に参加して、私は幸せになった」と、自身の幸せ感を持っていました。

◎幸せマイスター？長久手人(ながくてびと)？

昨年出てきた「幸せマイスター」と、今年出てきた長久手人図鑑の「長久手人」どちらを使うのか、または新たな名称を考えるのか・・・メンバーの意見もそれぞれです。一旦整理して、次回再度考えます。



◎次回予定

10月5日(水) 19:00～20:30
@市役所本庁舎2階第2会議室

取材を始めるための最終確認・調整をしたのち、年度末につくる「幸せのモノサシ」のイメージを共有していきます。

◎問合せ先

長久手市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keie@city.nagakute.lg.jp

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.10.5(水) 19:00～20:40
@市役所会議室2 参加者 6人

◎こんなこと、話しました！

「幸せマイスター」も、ひいては「長久手人」！

アンケート紙、ほぼ完成！

**広め隊紹介シート
内容固まる！**

ながくてびと

「幸せマイスター」と「長久手人」の違いについて考え、整理しました。

その結果、幸せにつながる活動を行う「幸せマイスター」は、「長久手未来まちづくりビジョン」(右図)の中で「長久手に誇りがある一人ひとり」と定義されている「長久手人」に含まれるのではないかと考えに至りました。

これからは、「幸せマイスター」を「長久手人」に置き換えて表現していきます。

長久手人

幸せマイスター

幸せのモノサシのイメージを共有しよう

年度末までにつくる幸せのモノサシについてのアイデアを出し合い、おぼろげながらモノサシの形を共有できました。そして、モノサシ作りに向けて、市民まつりで市民の皆さんの意見を集めようということになりました。

広め隊が考える「幸せのモノサシ」づくりのポイント

- ▶ **ポイント①**
「長久手未来まちづくりビジョン」を意識してつくりま。
- ▶ **ポイント②**
アンケートにある生活実感を測る8つの項目ごとに、1つのモノサシをつくりま。
- ▶ **ポイント③**
これまでと今、色々な年代の「幸せ感」を調査し、その変化も踏まえて、幸せのモノサシの意義を広めていきます！



◎次回予定

11月2日(水) 19:00～20:30
@市役所本庁舎2階第2会議室

幸せのモノサシのイメージを具体化し、市民まつりに向けて準備を進めていきます。

◎問合せ先

長久手市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keie@city.nagakute.lg.jp

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.11.2(水) 19:00～20:30
@市役所会議室2 参加者 7人

◎こんなこと、話しました！

「幸せのモノサシ」は、8つの項目にひとつずつ！

「幸せのモノサシ」は、8つの項目にひとつずつ！

幸せのモノサシは、長久手未来まちづくりビジョンのもと、生活実感を測る8つの項目にひとつずつ作ることになりました。

8つの項目は、健康・子育て・教育・環境・つながり、防災・防犯・福祉・文化・生涯・生活インフラです。アンケートには、項目ごとに、5つ程度の質問項目があります。

市民まつりでは、広め隊活動をPRします！

年に1度、たくさんの人が来場する市民まつりで、ながくて幸せ実感広め隊として、ブース出展します！出展内容について、みんなで考えました。

2016ながくて市民まつり
平成28年11月13日(日) 9:30～15:00
@市役所駐車場、JAあいち尾東
色々な体験、学びのほか、おいしい食べ物など、40以上のブースが並びます！

去年は、最近あった幸せを聞いたね！

モノサシづくりに
生きる声を集めたい！

気軽に、簡単に答えられる
問いかけしよう！

年代ごとの幸せ感の
違いを知りたい！

広め隊の活動を
PRしよう！



広め隊のブースでは・・・

- ◎生活実感を測る8つの項目の中で、「あなたの幸せにつながる一番大切な項目」についてインタビュー！
- ◎シールを貼って回答してもらい、回答者の年代を3つに色分け！
- ◎インタビューを通して、会話をし、広め隊をPR！

◎次回予定

12月12日(月) 19:00～20:30
@市役所本庁舎2階第2会議室

市民まつりのふりかえりと、幸せのモノサシづくりを進めていきます。

◎問合せ先

長久手市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keie@city.nagakute.lg.jp

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2016.12.12(月) 19:00～20:20
@市役所会議室2 参加者 6人

◎こんなこと、話しました！

市民まつりで広め隊活動をPRしました！

11月13日に行われた市民まつりで、ながくて幸せ実感広め隊ブースを出展し、約500人の市民に「幸せにつながる大切なこと」をインタビューしながら、広め隊のPRを行いました。その結果をふりかえり、気づいたことを共有しました。

インタビュー結果を見て・・・

- 健康はすべての土台となるから、どの世代も多くの人が選んでいた。
- 部活動や友達と会うことが大切だという子どもは、「つながり」を選んでいた。
- 若い子育て世代は、やはり「子育て・教育」を選んでいた。

「1番大切なこと」聞くと、すべてに通じる「健康」を選ぶ人が多くなるのは当たり前。聞き方や、選ぶ数、項目表示の順などを工夫することで、もっと興味深い結果が得られたかも！

あなたにとって、
幸せにつながる
大切なコトって何？

年代別に8つの項目から
1つ選んでシールを貼付！

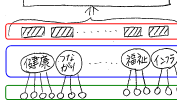
- ～30代
- 40代～60代
- 70代～



長久手らしい、オリジナルな幸せのモノサシを！

これまでの活動を通して、市民目線で感じる「長久手の生活実感」を、8つの切り口でモノサシにしていることを考えています。最終的にできる幸せのモノサシは、「長久手のまちの状態を知ることができる」道具となります。長久手らしく、そしてみんなにわかりやすいものをつくっていきましょう。次回までに、メンバーが8つの幸せのモノサシの案を考えてきます。

こんなまちにしたいですね！
(長久手未来ビジョン)



幸せのモノサシ

生活実感を測る
8つの項目

アンケート質問項目

モノサシづくりに向けて

幸せ実感アンケート調査を実施します

配布 12月22日(木)/回収期限 1月16日(月)
随時、事務局で、集計と分析を進めていきます。

長久手人図鑑の取材をはじめます

次回までに、メンバーが2人1組になって、長久手人の取材を少なくとも1名(又は1団体)に行います！

◎次回の予定

1月23日(月) 19:00～20:30
@市役所西庁舎2階第8会議室

各自が考える幸せのモノサシの案を共有します。

◎問合せ先

長久手市長官室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keiei@city.nagakute.lg.jp

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2017.1.23(月) 19:00～20:45
@市役所会議室7 参加者 6人

◎こんなこと、話しました！

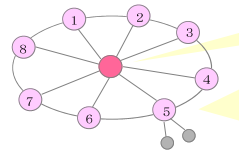
幸せのモノサシの具体的なイメージは？！

まずは、生活実感を測る8つの項目ごとのモノサシ案をふせんに書き出し、共有したあと、みんなで意見交換を行いました。

- モノサシは、みんながわかりやすい、生活に身近な表現がいい！
- 項目(健康、環境など)の伝え方がひとそれぞれ違う。
- いくつかの項目に関係するモノサシもありそう。



広め隊が考える幸せのモノサシのイメージ



幸せのモノサシ

8つのすべての項目とつながる、「長久手らしい」モノサシ

8つの項目ごと、幸せのモノサシにつながる要素を整理

例 項目が「防犯・防災」だったら・・・

- 1 幸せ感が高い人は、こんな人！
安心して家にひとりでいることができる
- 2 幸せ感が高い人の行動や周辺環境
・災害時に持ち出せる非常用のバッグを持っている
・地域の見守り活動に●行われている

「長久手人(ながくてびと)」の取材を進めています！

今回のミーティングまでに、メンバーが2人ペアになって、4名の長久手人の取材を行いました。長久手人の活動への思いや人柄がよく分かる取材記録(右)は、随時、市ホームページで紹介していきます。



未来まちづくりビジョンにある「長久手人」は○○な人だね、というイメージをしながら、幸せのモノサシを考えていってはどうでしょう。50年後に、みんなが「長久手人」だよな、という気持ちになれたら素敵ですね！

幸せモノサシづくり
アドバイザーのみなさん
(関西大学 専任教授)



◎次回の予定

3月1日(水) 19:00～20:30
@市役所本庁舎2階第2会議室

アンケート調査の集計結果を共有しながら、引き続き、幸せのモノサシを検討していきます。

◎問合せ先

長久手市長官室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keiei@city.nagakute.lg.jp

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2017.3.1(水) 19:00～20:45
@市役所会議室2 参加者 7人

◎こんなこと、話しました！

アンケート結果速報から多くの気づきがありました

平成25年度に引き続いて行った「ながくて幸せ実感アンケート」の結果速報(一部)を確認して、それぞれの視点で気づいたことを共有しました。今回の調査では、全回の時点での推移も確認することができ、興味深い結果となりました。

第2回ながくて幸せ実感アンケート 概要

対象 18歳以上の市民5,000人 有効回収率 51.4%(2,569通)
調査期間 H28.12.23～H29.1.16 (平成25年度実施時より、14%UP)



【幸せ感】

- 居住年数3～5年の人たちの幸せ感が少し下がった。
- 若者の幸せ感が少し下がり、高齢者の幸せ感が少し上がった。
- 50代の幸せ感が低いのは、子どもと関わるのが少なくなったからなのか？

【生活の満足度】

- 30代は、自由な時間や、仕事と生活のバランスの評点が低い。70代は逆に高い。
- 健康状況への満足度は、50代が低く、20代は高い。
- 多くの項目で、50代の満足度は低い。

【その他】

- 東小中学校区は、住みよいまちと感じている人が、他と比べて低い。
- 通勤先が市内の人が増えたり、就業しやすい環境にある人が増えた。大型商業施設ができた影響か？
- 地域活動や行事に参加している人が少ない。

【幸せ感と他の項目との関係】

- 収入、健康、生きがい、家族の存在は、幸せ感に大きく影響しそう。
- 「たつせがある」人は、幸せ感が高そう。

やっぱり、「地域のつながり」が希薄・・・！？

3年前の調査時に比べて、地域活動や行事に参加している人、たつせがある人、自宅以外の居場所がある人など「地域のつながり」項目の評点が、(少しでも)上がったものも多いが、全体からすると、依然として低い項目が多かった。地域のつながりが、まだまだ希薄であるようです。

アンケート結果も踏まえながら、まちや人がどのように変わったら「幸せなまち」になるのか、具体的なイメージを描きながら、幸せのモノサシの検討を進めました。



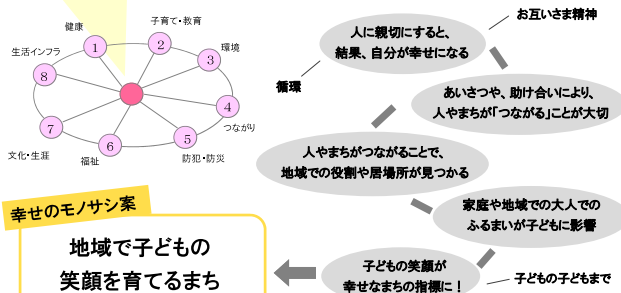
目指すまちの姿を、わかりやすく表現すると・・・？

幸せのモノサシとは

8つのすべての項目とつながる、「長久手らしい」モノサシは、未来まちづくりビジョンにある目指すまちの姿とそこで暮らす人(長久手人)をわかりやすく表現したもの。

イメージやキーワードは？

アンケート結果や長久手人の取材を踏まえて、「幸せなまちや人」の状態を具体的に考えてみて・・・



幸せのモノサシ案

地域で子どもの笑顔育てるまち

このモノサシ案を補完するモノサシとして、まちの状態や人の生き方をより具体的に表現した指標が必要だと考えています。

「地域で子どもの笑顔育てる」には、子ども達が、家庭はもちろん、地域などで出会う大人のふるまいが影響するだろうということから、補完するモノサシは、地域に居場所があることや、役割があること、あいさつをするなど「人と人とのつながり」を測ることができそうなモノサシを考えることになりました。

いよいよ、次回は「幸せのモノサシ」最終案を確認します。

ながくて実感広め隊では、平成25年度からの活動経過や、幸せ実感アンケート結果を踏まえ、生活者視点で「幸せのモノサシ」を考え、このたびの案ができました。次回までに、事務局では、今後のモノサシの活用を見据え、幸せのモノサシに関連するアンケート調査の位置付け等についても体系的に整理し、次のミーティングでみんなで確認します。



◎次回の予定

3月27日(月) 19:00～20:30
@市役所本庁舎2階第2会議室

ながくて幸せのモノサシの最終案の確認を行います。

◎問合せ先

長久手市長官室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keiei@city.nagakute.lg.jp

～幸せのかけらをおすそわけ！～

幸せ実感広め隊 ニュースレター



2017.3.27(月) 19:00～20:45

@市役所会議室2 参加者 7人

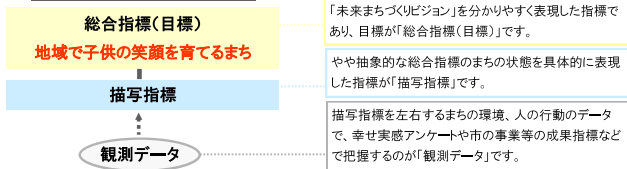
◎こんなこと、話しました！

幸せのモノサシ、広め隊案が完成しました

ながくての幸せのモノサシの構造(仕組み)と長久手のまちづくりを進める上でのモノサシの役割を確認(裏面参照)し、前回考えたモノサシ案を補完するような指標について検討しました。



幸せのモノサシの構造



描写指標

1. 日頃から笑顔で生活ができていると感じている
2. 大人も子どもも、地域の行事や活動に参加している
3. 安心して自宅にすることができる
4. 日頃から近所の人にあいさつをする、される習慣がある
5. 自分がこのまちの一員である(役割がある)と感じられる
6. 地域に愛着がある
7. 近所で声かけ合って、頼り、頼られる関係がある
8. 子どもたちの成長を身近に感じることができる

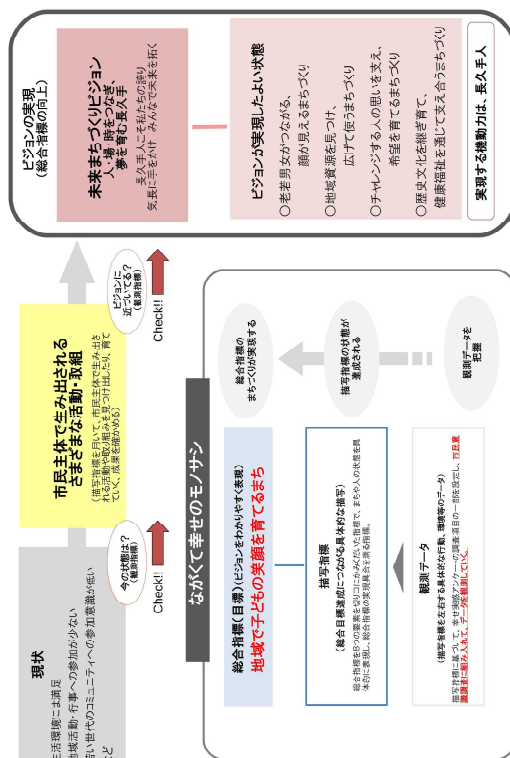
幸せのベースとなる「健康」や、社会的弱者の幸せ感も、描写の中に意味を含めて表現しました。また、「される(受動)」だけでなく、「する(能動)」視点も加えています。

左に挙げたのは、幸せ実感アンケートの項目で、主観データです。これに加えて、〇〇率、〇〇事業への参加者数などといった市が把握できる客観データも組み合わせ、描写指標を評価していくことが必要！という提案がありました。

観測データ(例)

- 日頃から心豊かな生活ができていると思う人の割合
- 健康的な暮らしができていると思う人の割合
- 地域の行事に参加している人の割合
- 地域で困った人への助け合いはできていると思う人の割合
- 日常的にあいさつや近所づきあいをしている人の割合
- 「たつせ」がある人の割合
- お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があると思う人の割合
- 地域の子供たちは、のびのびと育っていると思う人の割合
- 地域の子どもとあなたとのコミュニケーションは十分とれていると思う人の割合
- 公園や屋外の遊び場があるか など

市民主体のまちづくりにおける「ながくて幸せのモノサシ」の役割



◎今後は...

幸せのモノサシについて、広め隊案が完成したことを市民のみなさんにお知らせしていくための、リーフレット作成や、引き継ぎ、長久手の取材を行っています。

◎問合せ先

長久手市市民参加推進事業企画課
電話 0561-56-0600
メール krei@nagakute.aichi.jp

2016 ながくて市民まつりへの出展（平成 28 年 11 月 13 日）

幸せのモノサシづくりの参考とするため、市民まつりでブース出展し、来場者にインタビューを行いました。

インタビューテーマ：「あなたの幸せにつながる大切なコトって何ですか？」

インタビュー回答者：498 人

■インタビュー結果



	70代～	40～60代	～30代
健康	87	103	54
子育て・教育	2	36	37
環境	9	8	19
つながり	12	13	47
防災・防犯	4	8	10
福祉	9	5	6
文化生涯	1	2	3
生活のつらさ	3	5	15
合計	127	180	191

当日の様子





第 2 編

平成 28 年度 ながくて幸せ実感アンケート 調査報告書

序章 調査の概要

(1) 調査の目的

本市では、地域自治の構築に向けた仕組みづくりの一環として、①市民生活や地域社会の状況はどうか、②まちづくりは目指す方向に向かって上手く進んでいるのか、について、市民とともに確認していく「尺度＝道具」としてのモノサシが必要ではないかと考え、市民目線による「ながくて幸せのモノサシづくり」を平成 25 年度から取り組んでいます。

そして、「ながくて幸せのモノサシづくり」を進めるにあたって、長久手の姿や市民の皆様の暮らしの状況等を確認することを目的に、市民の皆様の日常生活や地域生活の実感をお聞きする「ながくて幸せ実感アンケート」の実施を平成 26 年 2 月から 3 月にかけて実施しました。

調査の実施にあたっては、市民目線による「ながくて幸せのモノサシづくり」に取り組むために、公募して集まった有志の市民と市職員による「ながくて幸せ実感調査隊」（以下「調査隊」という）を結成し、『今の「ながくての幸せ」を測ってみよう！』をキャッチフレーズに、計 10 回のミーティングの開催を通じて、「幸せ」に欠かせないことや大切なこと、確認すべきことについて、何度も議論を重ねてアンケート調査票を作成しました。また、調査結果の分析においても、ワークショップの開催を通じて調査隊のメンバー参加型で進めました。

こうした「ながくて幸せ実感アンケート」の実施から 3 年経過する中、長久手市民の幸せ実感がどのように変化したのかその実態を明らかにすることを目的に、この度、平成 28 年度版「ながくて幸せ実感アンケート」を実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

①調査対象者

- ・住民基本台帳から無作為に選んだ市内在住の満 18 歳以上の市民と前回のアンケートで次回もアンケートの協力をしてもよいと回答した市民を合わせた 5,000 人。

②調査方法

- ・郵送による配布・回収

③調査期間

- ・平成 28 年 12 月 22 日～平成 29 年 1 月 16 日

※その後 2 月末までに回収できた調査票についても極力集計するよう努めた。

(3) 調査票の回収状況

- ・回収状況は、下表のとおり。

表-1 回収状況

A : 配布数	B : 回収数	C : 有効回収数	D : 有効回収率 $D = C / A$
5,000	2,570	2,569	51.4%

(4) グラフの見方等

- ・グラフは、原則として単数回答は帯グラフ、複数回答は横棒グラフやダンゴ形のグラフを用

いて表現しています。また、評点については、横棒グラフや折れ線グラフを用いて表現しています。

- ・基数となる実数はnとして掲載し、各グラフの構成比(%)はnを母数とした割合を示しています。
- ・図中の構成比(%)は、複数回答、単数回答ともに、小数点以下第2位を四捨五入しています。その関係で合計は必ずしも100.0%にはなりません。
- ・一部のグラフにおいては、「回答なし」は省略してあります。また、設問のカテゴリー(選択肢)などの表現は、一部省略してある場合があります。

(5) 本文のコメントについて

- ・**要点**は、各設問の調査結果のポイントを簡潔に記述しています。
- ・**全体**は、各設問の単純集計の結果や、設問内における各項目との比較などについて記述しています。また、必要に応じて平成25年度調査結果との比較を記述しています。
- ・**年齢別**は年齢別にクロス集計を行った結果について記述しています。
- ・**小学校区別**は小学校区別にクロス集計を行った結果について記述しています。

(6) 問3(P.68)及び問8～問18(P.93～P.154)の評点の算出方法

各分野における生活の実感や実態については、次の方法により5段階の得点をつけて、回答者の平均となる評点を算出しました。生活の実感や実態の分析はこの評点をもとに行っています。なお、算出した評点については、小数点第3位で四捨五入しています。

選択肢	選択肢	選択肢	得点
1. 満足している	1. そう思う	1. ある	5点
2. どちらかといえば満足している	2. まあそう思う	2. まあある	4点
3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	3点
4. どちらかといえば不満である	4. あまりそう思わない	4. あまりない	2点
5. 不満である	5. そう思わない	5. ない	1点

選択肢	選択肢	選択肢	得点
1. そう思う	1. 参加している	1. 行われている	5点
2. まあそう思う	2. まあ参加している	2. まあ行われている	4点
3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	3点
4. あまりそう思わない	4. あまり参加していない	4. あまり行われていない	2点
5. そう思わない	5. 参加していない	5. 行われていない	1点
6. 該当しない	6. やっていることを知らない	6. やっていることを知らない	計算に含めない

評点 = {「1. そう思う」の回答者数 × (5点) + 「2. まあそう思う」の回答者数 × (4点) + 「3. どちらともいえない」の回答者数 × (3点) + 「4. あまりそう思わない」の回答者数 × (2点) + 「5. そう思わない」の回答者数 × (1点)} ÷ 総回答者数

評点 = {「1. そう思う」の回答者数 × (5点) + 「2. まあそう思う」の回答者数 × (4点) + 「3. どちらともいえない」の回答者数 × (3点) + 「4. あまりそう思わない」の回答者数 × (2点) + 「5. そう思わない」の回答者数 × (1点)} ÷ (総回答者数 - 「6. 該当しない」の回答者数)

★問16については、以下の計算式で算出しています。

評点 = {「1. 思っている」の回答者数 × (5点) + 「2. あまり考えていない」の回答者数 × (1点) + 「3. わからない」 × (3点) の回答者数 ÷ 総回答者数}

第1章 回答者の属性

(1) 性別 (問19 (1))

問19 (1) あなたの性別は、どちらですか。【〇は1つ】

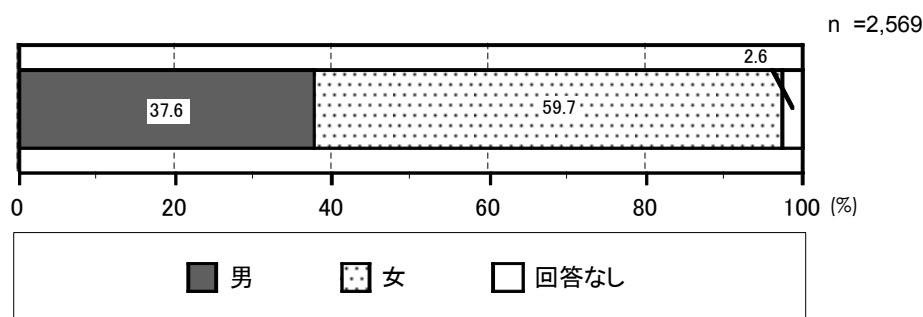
要点

女性が約6割、男性が4割弱となっており、女性からの回答が多くなっています。

全体

- 「男性」が37.6%、「女性」が59.7%と「女性」の割合の方が多くなっています(図1-1)。
- 調査時点における市内全体の男女の比率が、ほぼ同じ割合であるのに対して、今回の調査では「女性」の割合が「男性」の割合を22.1ポイント上回っています。

図1-1 性別



(2) 年齢 (問19 (2))

問19 (2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

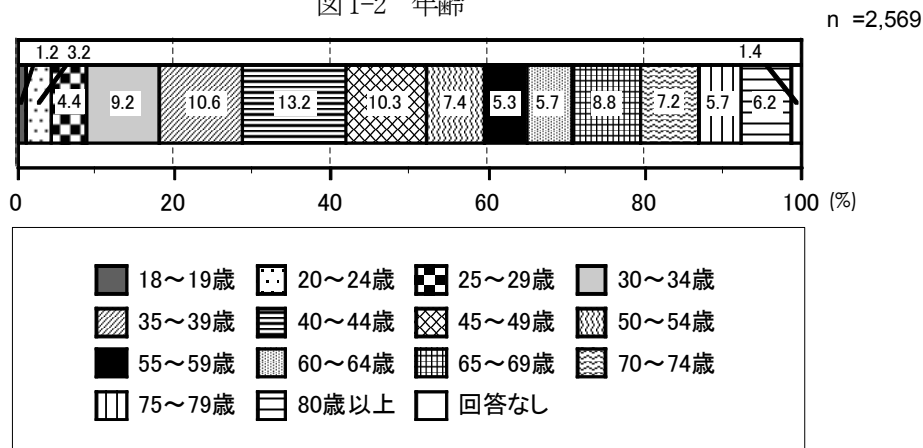
要点

「40～44歳」が13.2%と最も多い一方で、20歳代以下は、1割未満と少なくなっています。

全体

- 「40～44歳」が13.2%と最も多く、次いで「35～39歳」と「45～49歳」がそれぞれ、10.6%、10.3%となっている一方で、24歳代以下や「25～29歳」は、共に4.4%と少なくなっています(図1-2)。
- 高齢者層の回答が実際の長久手市の人口構成を上回っているものの、概ね長久手市の人口構成を反映するような結果になっています。

図1-2 年齢



(3) 職業 (問 19 (3))

問 19 (3) あなたの職業は、次のうちどれですか【○は1つ】

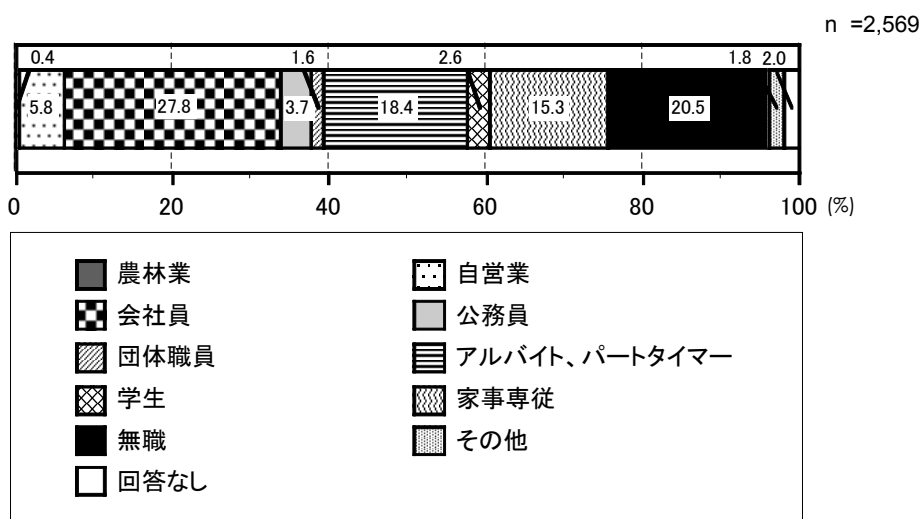
要点

「会社員」が27.8%と最も多いものの、「無職」(20.5%)、「家事専従」(15.3%)の2項目に「学生」(2.6%)を合わせた“非就業者”は全体の38.4%を占めています。

全体

- 「会社員」が27.8%と最も多く、「無職」(20.5%)、「アルバイト・パートタイマー」(18.4%)、「家事専従」(15.3%)と続いています。
- 「無職」(20.5%)、「家事専従」(15.3%)の2項目に「学生」(2.6%)を合わせた“非就業者”は全体の38.4%を占めています。
- 一方、上記の“非就業者”(38.4%)と「回答なし」(2.0%)、「その他」(1.8%)を除いた残りの6割近くの市民が、「自営業」や「アルバイト・パートタイマー」などを含めた“就業者”となっています。
- “就業者”の中でも、「アルバイト・パートタイマー」が全体の18.4%を占めていますが、「会社員」と「公務員」、「団体職員」を足し合わせた、いわゆる“サラリーマン”は全体の33.1%を占め、「アルバイト・パートタイマー」の割合を上回っています。また、「農林業」と「自営業」については、合わせても全体の6.2%となっています。

図 1-3 職業



(4) 年収 (問 19 (4))

問 19 (4) あなたの家庭全体の年収 (年金を含む。) はどのくらいですか。【○は 1 つ】

要点

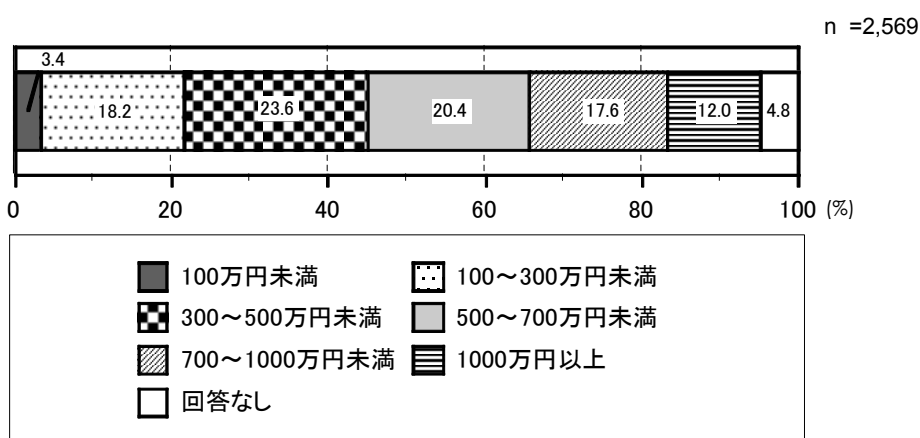
「300～500 万円未満」が 23.6%で最も多くなっていますが、年収 500 万円を境にそれ未満とそれ以上の年収の世帯は、ほぼ同じ割合になっています。

全体

○「300～500 万円未満」が 23.6%で最も多く、次いで「500～700 万円未満」が 20.4%となっており、500 万円を境にそれ未満とそれ以上の年収の世帯は、近い割合 (500 万円未満: 45.2%、500 万円以上: 50.0%) になっています。

○また、「1000 万円以上」という高額所得者が 1 割近くを占めています (図 1-4)。

図 1-4 年収



(5) 通勤先・通学先 (問 19 (5))

問 19 (5) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【○は1つ】

要点

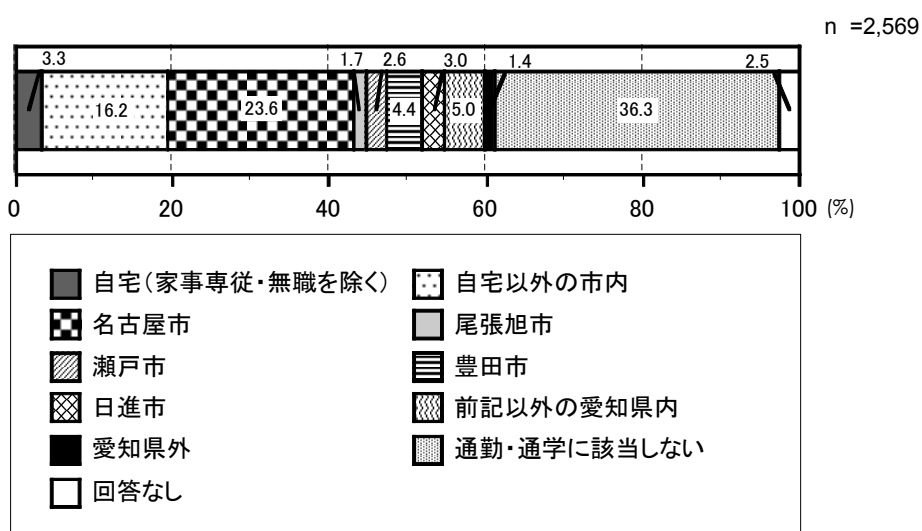
57.9%の市民は通勤・通学をしており、通勤先・通学先で最も多いのは、「名古屋市」で23.6%を占めています。「自宅」を含む市内に通勤・通学している市民は19.5%みられます。名古屋市を除く隣接自治体（尾張旭市、瀬戸市、豊田市、日進市）に通勤・通学している市民については、合わせて11.7%にとどまっています。

全体

○「通勤・通学に該当しない」が36.3%を占め、これと「回答なし」(2.5%)、「自宅（家事専従・無職を除く）」(3.3%)を除いた残りの57.9%の市民は通勤・通学をしており、通勤先・通学先で最も多いのは、「名古屋市」で23.6%を占めています。

○次いで、「自宅以外の市内」が16.2%となっており、名古屋市を除く隣接自治体（尾張旭市、瀬戸市、豊田市、日進市）に通勤・通学している市民については、合わせて11.7%にとどまっています（図1-5）。

図1-5 通勤先・通学先



(6) 住まい (問 19 (6))

問 19 (6) あなたの住まいは、次のうちどれですか。【○は1つ】

要点

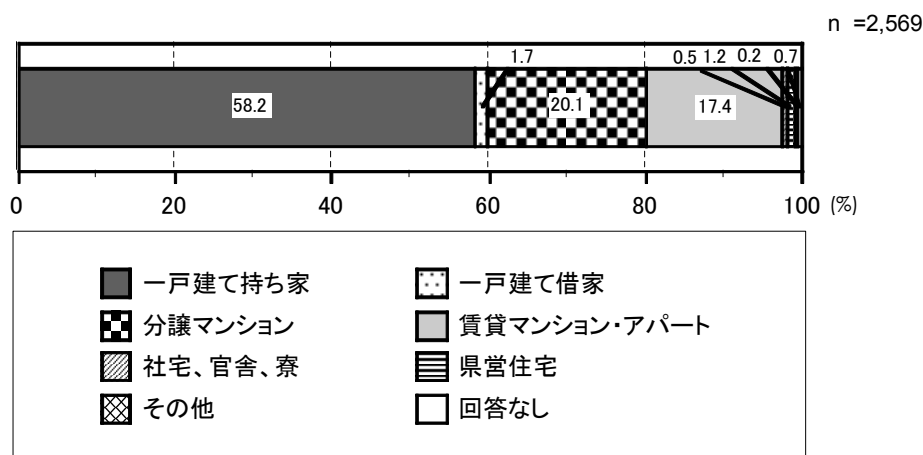
約8割の市民が持ち家（「一戸建て持ち家」(58.2%)や「分譲マンション」(20.1%)）に居住しています。

全体

○回答者の住まいは、「一戸建て持ち家」が58.2%、次いで「分譲マンション」が20.1%となっており、約8割の市民が持ち家に居住しています。

○借家の中では、「賃貸マンション・アパート」が17.4%となっています。

図 1-6 住まい



(7) 配偶者の有無 (問 19 (7))

問 19 (7) あなたには配偶者がいますか。【○は1つ】

要点

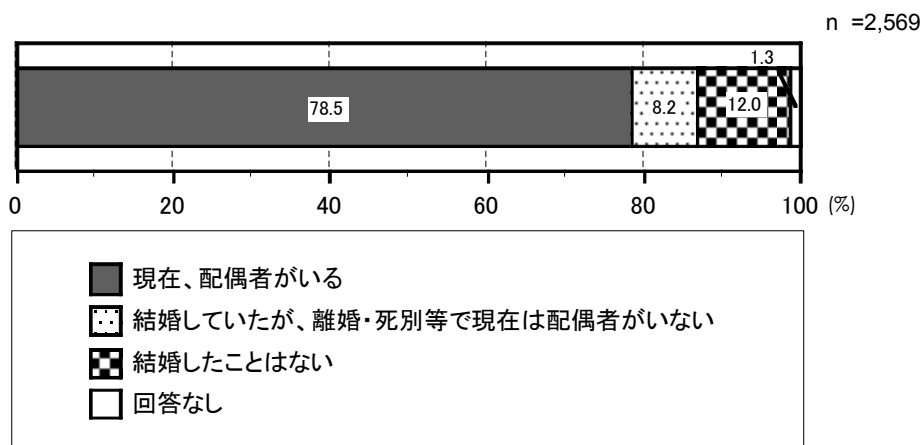
結婚経験のある市民は86.7%、結婚経験のない市民は12.0%になっています。

全体

○回答者の配偶者は、「現在、配偶者がいる」が78.5%となっており、「結婚していたが、離婚・死別等で現在は配偶者がいない」(8.2%)と合わせると、結婚経験のある市民は86.7%に達しています。

○一方、結婚経験のない市民は12.0%にとどまっています (図 1-7)。

図 1-7 配偶者



(8) 家族形態 (問 19 (8))

問 19 (8) あなたの家族の形態は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

要点

「二世世代家族」が56.9%と最も多く、次いで「夫婦だけ」が25.9%と続いています。

全体

○回答者の家族の形態は、「二世世代家族」が56.9%と最も多く、次いで「夫婦だけ」が25.9%と続いています。

○「三世世代家族」(5.5%)と「単身世帯」(8.4%)は共に1割未満となっています(図1-8-1)。

○「夫婦だけ(=高齢夫婦+一般夫婦)」の世帯(24.6%)のうち半数以上が「高齢夫婦世帯」(13.7%)であり、また、「単身世帯(高齢単身世帯+一般単身世帯)」(8.1%)のうち3割以上が「高齢単身世帯」(2.8%)となっています(図1-8-2)。

図1-8-1 家族の形態

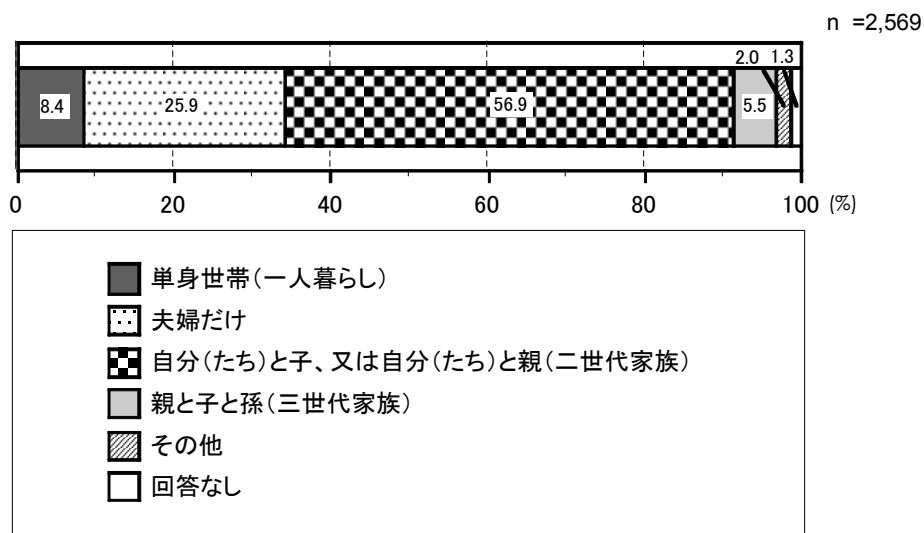
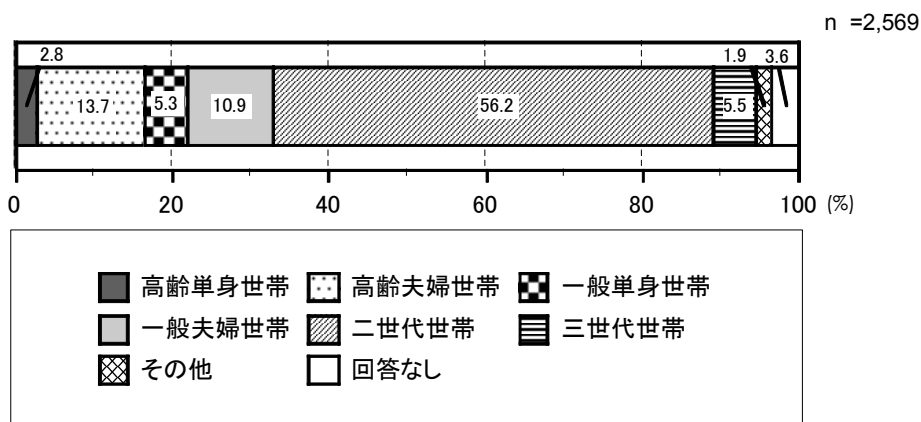


図1-8-2 家族の形態 (データ加工したもの)



(9) 同居の家族 (問 19 (9))

問 19 (9) あなたの同居のご家族には、次のいずれかにあてはまる方がいますか。あなたご自身を含めて、あてはまる人をすべて選んでください。

要点

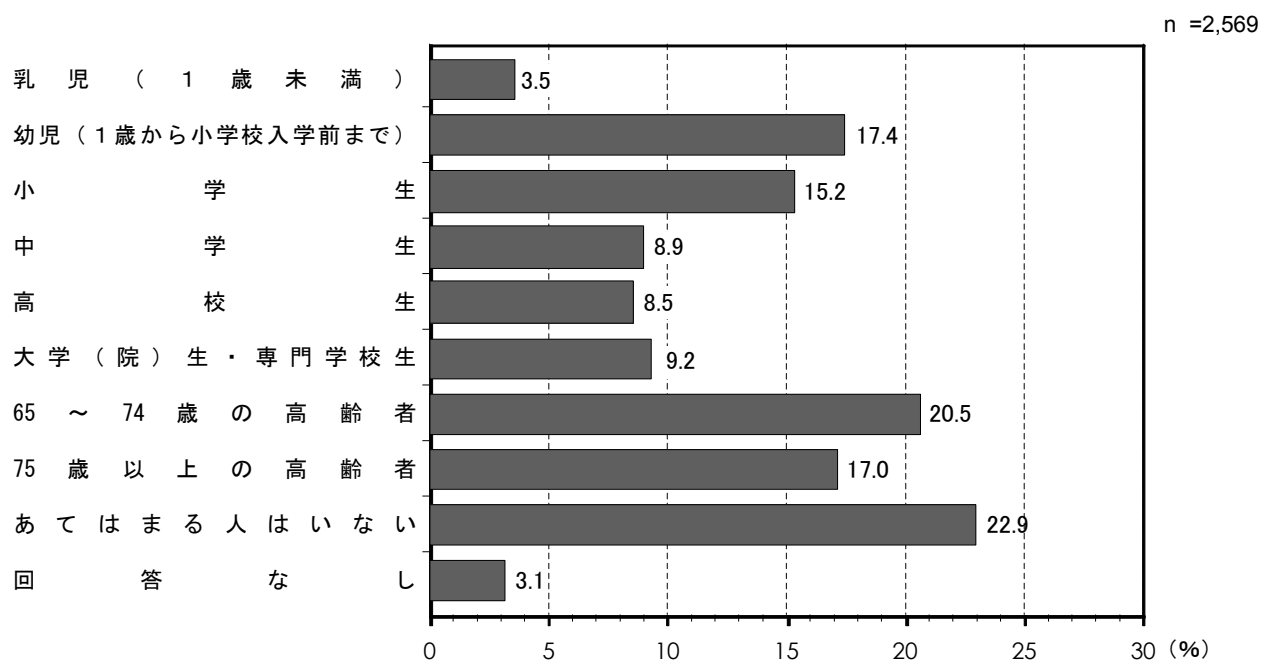
子どもや学生、65 歳以上の高齢者などの同居の家族がいる世帯が 74.0%となっており、そのうち、「65～74 歳の高齢者」(20.5%) がいる世帯や「幼児 (1 歳から小学校入学前まで)」(17.4%) がいる世帯、「75 歳以上の高齢者」(17.0%) がいる世帯が多くなっています。

全体

○「あてはまる人はいない」(22.9%) と「回答なし」(3.1%) を除く残りの 74.0%は、子どもや学生、65 歳以上の高齢者がいる世帯となっています。

○「65～74 歳の高齢者」(20.5%) がいる世帯が最も多く、次いで、「幼児」(17.4%)、「75 歳以上の高齢者」(17.0%)、小学生 (15.2%) と続いています (図 1-9)。

図 1-9 同居の家族



(10) 小学校区 (問 19 (10))

問 19 (10) あなたの小学校区はどこですか。【○は1つ】

要点

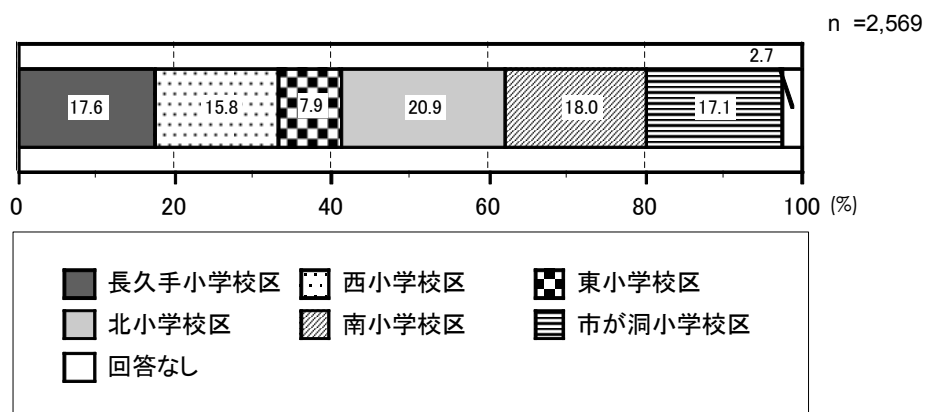
居住地区については、「北小学校区」が 20.9%と最も多く、次いで、「南小学校区」(18.0%)が多くなっています。実際の学校区別の人口の割合とは多少のずれがみられます。

全体

○居住地区については、「北小学校区」が 20.9%と最も多く、次いで、「南小学校区」(18.0%)、「長久手小学校区」(17.6%)、「市が洞小学校区」(17.1%)と続いています(図 1-10)。

○実際に人口が最も多い小学校区(平成 28 年 4 月時点)は、「北小学校区」で、次いで、「市が洞小学校区」、「南小学校区」、「長久手小学校区」、「西小学校区」、「東小学校区」と続いていることから、実際の学区別の世帯数の割合とは多少のずれがみられます。

図 1-10 小学校区



(11) 居住歴 (問 19 (11))

問 11 あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。【○は1つ】

要点

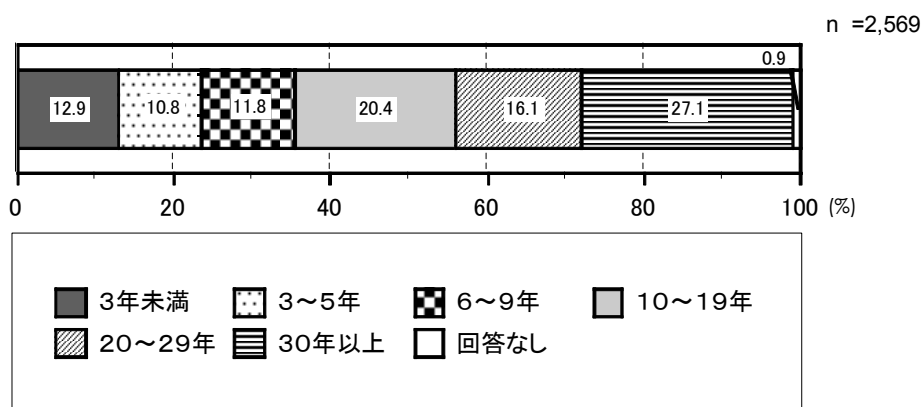
居住年数「30 年以上」が 27.1%と最も多いものの、居住年数が5年以下の市民も 23.7%を占めており、人口増加が続いている本市の特徴を表わしています。

全体

○居住年数「30 年以上」が 27.1%と最も多く、次いで「10～19 年」が 20.4%と続いています。

○居住年数が20年以上の市民が全体の43.2%を占めているものの、居住年数が10年未満についても35.5%を占めています。また、居住年数が5年以下の市民も 23.7%を占めており、人口増加が続いている本市の特徴を表わしています (図 1-11)。

図 1-11 居住歴



第2章 幸せ感について

(1) 幸せ感の点数とその点数を選んだ理由 (問1)

問1 あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる数字(点数)を選んでください。【〇は1つ】

① 幸せの点数

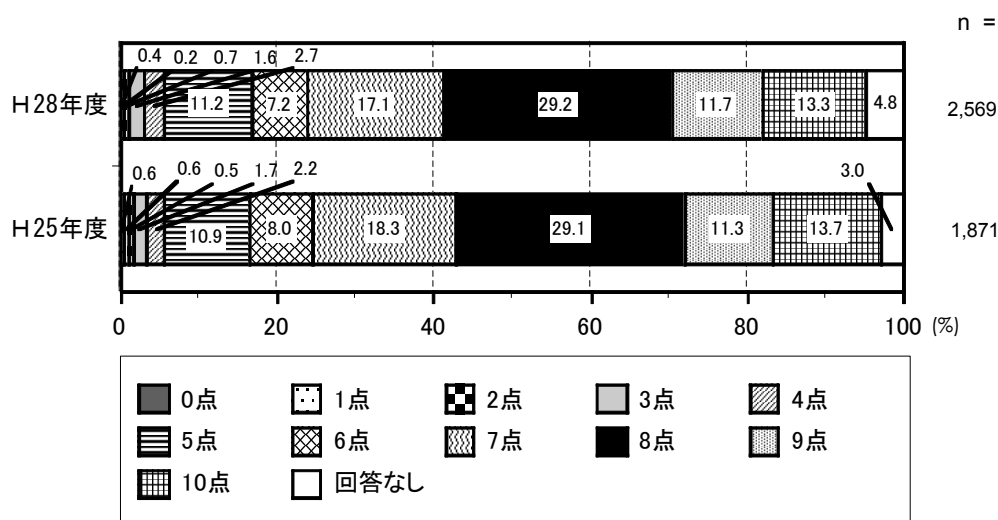
要点

幸せ感の点数は、「8点」が29.2%と最も多く、次いで「7点」(17.1%)、「10点」(13.3%)と続いており、全体平均の点数は、7.44点となっています。性別では、男性よりも女性の方が、年齢では、30歳代の点数がそれぞれ高くなっています。全般的に平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません。

全体

- 0点～10点の11段階で現在の幸せ感をたずねたところ、「8点」が29.2%と最も多く、次いで「7点」(17.1%)、「10点」(13.3%)と続いています(図2-1-1)。
- 全体平均は、7.44点です(図2-1-2)。
- 6点以上が全体の8割弱、7点以上が7割以上を占めており、本市における回答者の幸せ感が高い水準にあるといえます。
- 幸せ感が4点以下という市民は5.6%みられます。また、0点という市民もわずかとはいえ0.4%みられます。
- 平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図2-1-1)。

図2-1-1 幸せ感の点数 (前回比較)

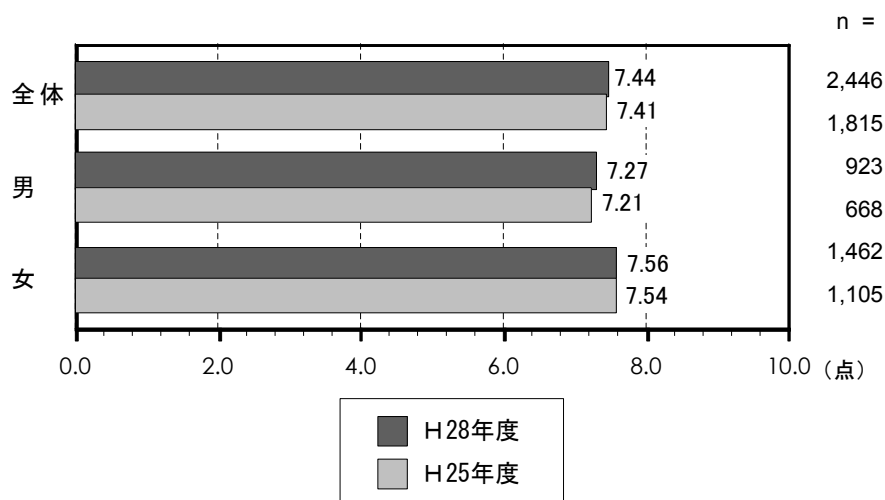


性別

○性別でみると、女性の方が男性よりも幸せ感の点数が若干高くなっていますが、全国的に見ても同様の傾向です。

○また、男女ともに平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図2-1-2）。

図2-1-2 性別 「幸せ感の点数」（前回比較）

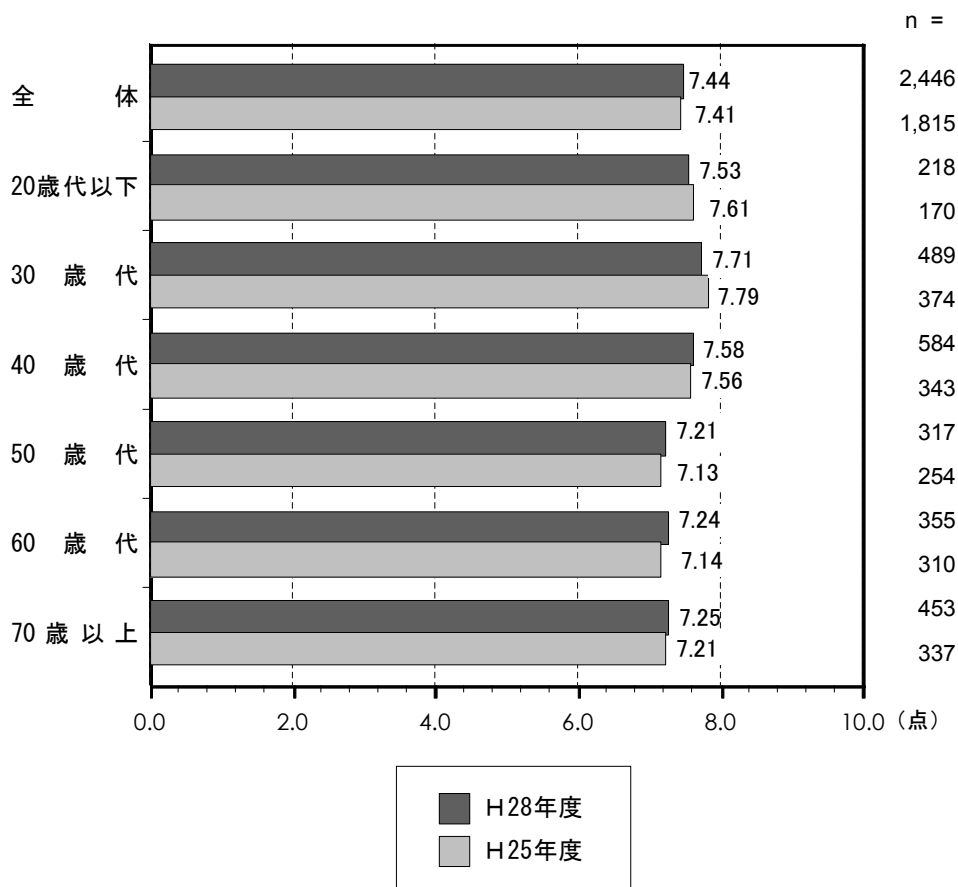


年齢別

○年齢別でみると、30歳代の幸せ感が7.71点と、全体よりも0.27点上回っています。その一方で、50歳代以上の幸せ感の点数は、全体よりも若干低くなっています。

○どの年齢層においても、平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図2-1-3）。

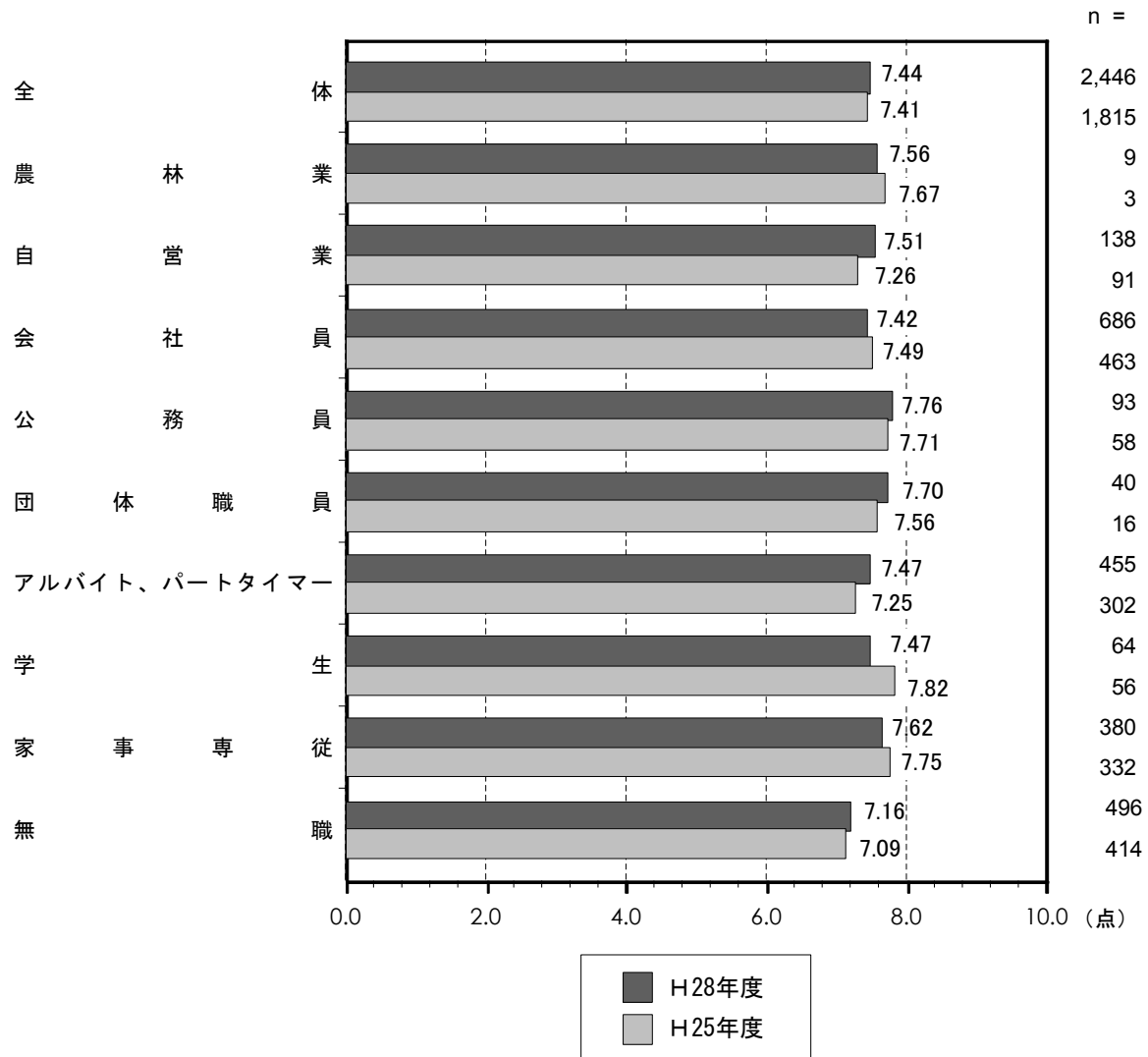
図2-1-3 年齢別 「幸せ感の点数」（前回比較）



○職業別でみると、「公務員」(7.76 点)をはじめ、「団体職員」(7.70 点)や「家事専従者」(7.62 点)の幸せ感が全体値と比べて若干高くなっている一方で、「無職」(7.16 点)の幸せ感が若干低くなっています。

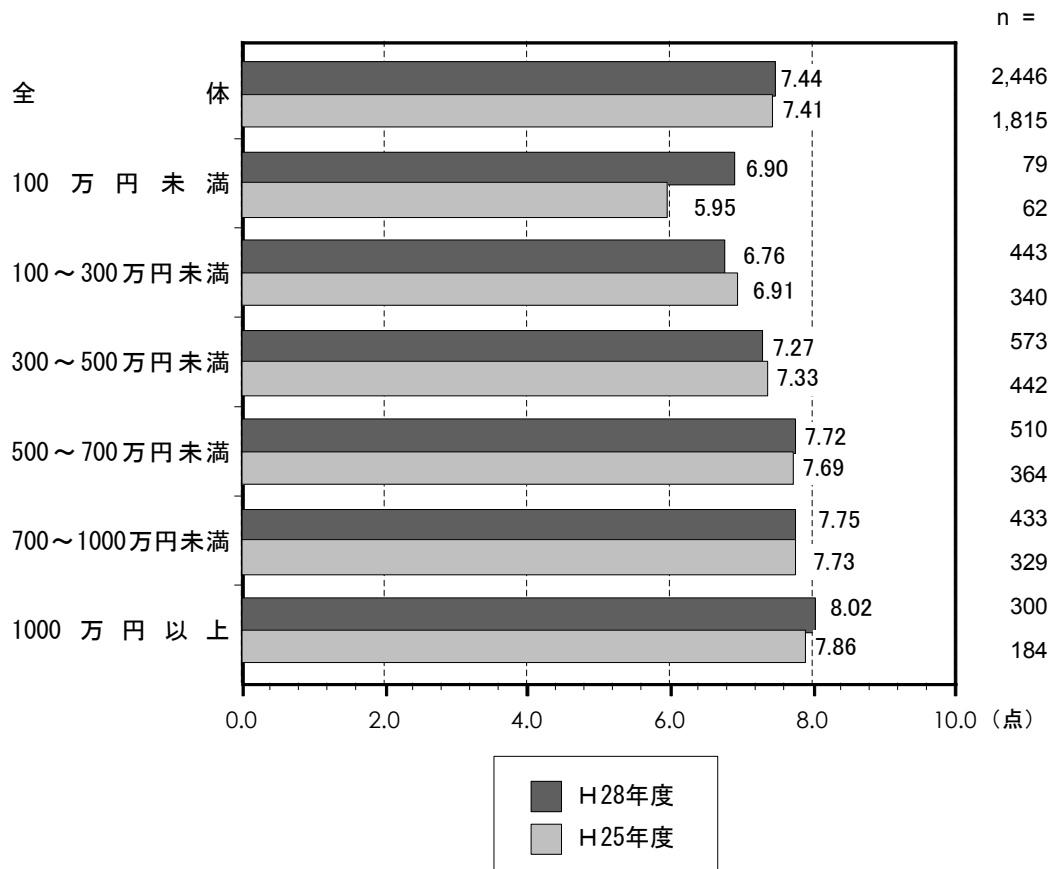
○平成25年度調査結果と比べて僅かな変化がみられる程度でほとんど差異はみられません(図2-1-4)。

図2-1-4 職業別 「幸せ感の点数」(前回比較)



- 家庭の年収別にみると、「100 万円未満」と「100～300 万円未満」で逆転現象がみられるものの、年収が高いほど、幸せ感の点数が高くなる正比例の傾向がみられます。ただし、年収が 500 万円を超えると幸せ感の変化は小さくなる傾向があります。
- 平成 25 年度調査結果に比べて、「100 万円未満」の市民については幸せ感が 0.95 点上がっていることが特徴としてみられます（図 2-1-5）。

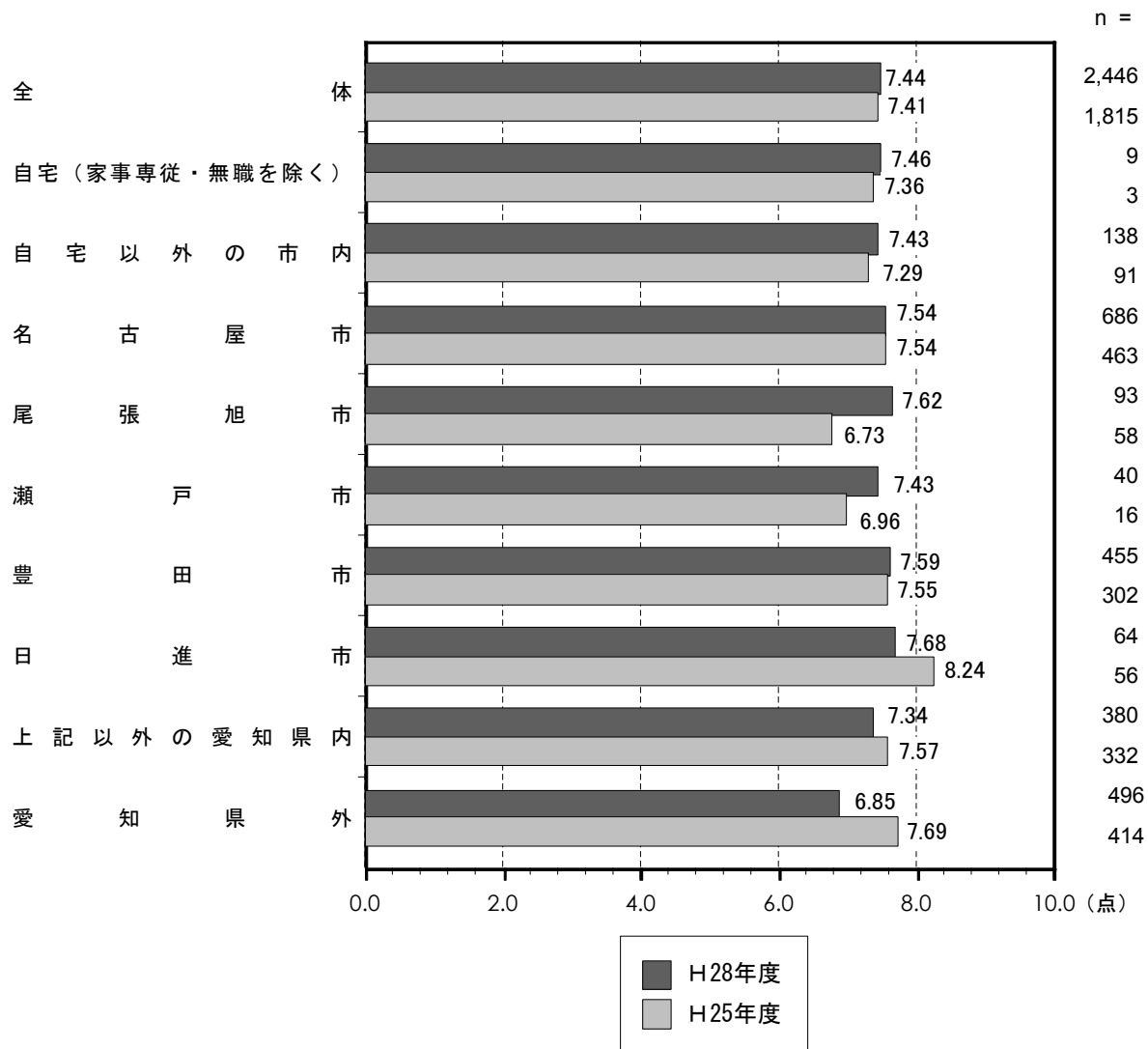
図 2-1-5 家庭の収入別 「幸せ感の点数」 （前回比較）



○通勤・通学先別にみると、愛知県外に通勤・通学している市民の幸せ感が全体よりも低くなっています。また、平成25年度調査結果に比べて、幸せ感が0.84点低下しています（図2-1-6）。

○なお、尾張旭市や瀬戸市に通勤・通学している市民の幸せ感が平成25年度よりも上昇し、逆に日進市に通勤・通学している市民の幸せ感が低下していますが、いずれもサンプル数があまり多くないことから有意な差があるとまではいえないと思われます。

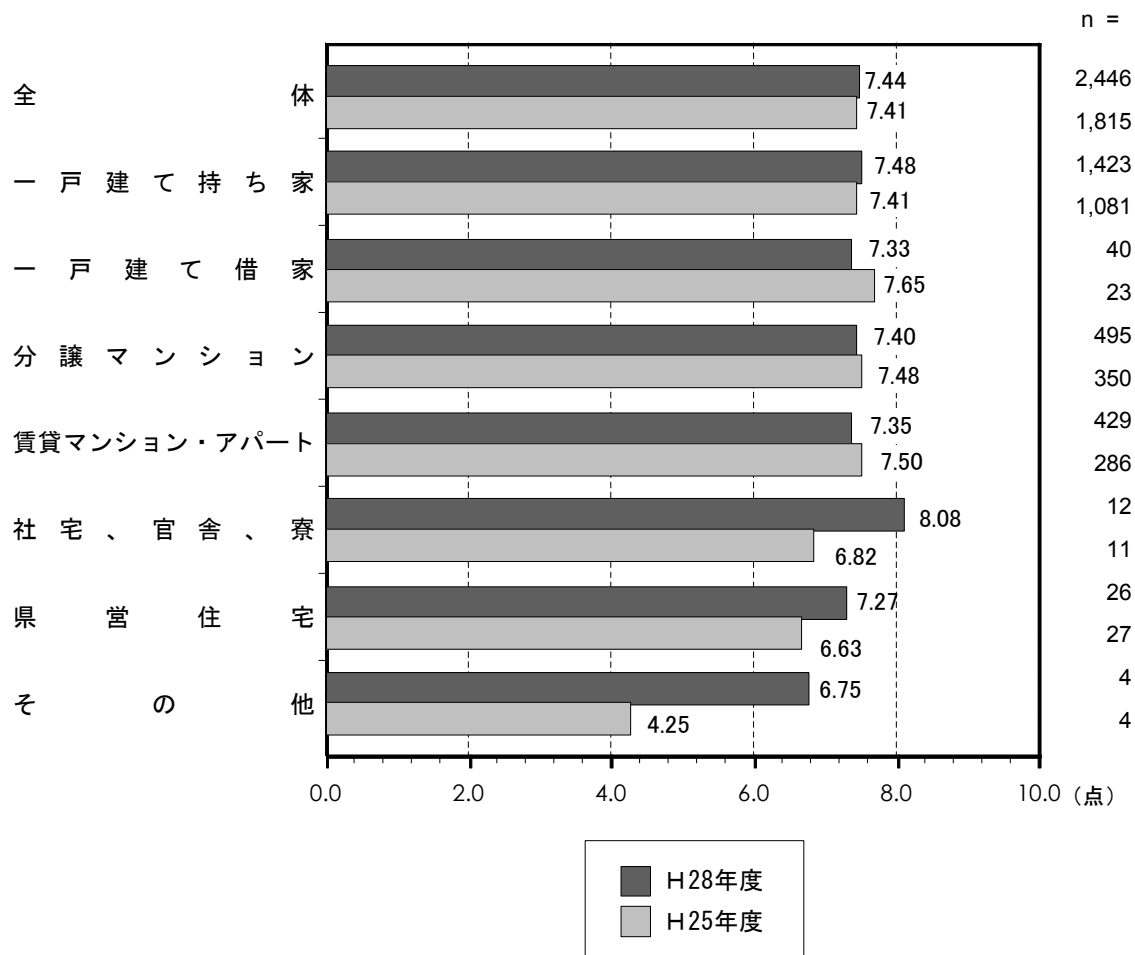
図2-1-6 通勤・通学先別 「幸せ感の点数」 （前回比較）



○住まいのタイプによって幸せ感に多少の差異があるものの、有意な差があるまでとはいえない結果です。

○また、平成25年度調査結果に比べて、「社宅・官舎・寮」や「その他」の幸せ感が上昇していますが、いずれもサンプル数が少ないため、有意な差があるまでとはいえないと思われます（図2-1-7）。

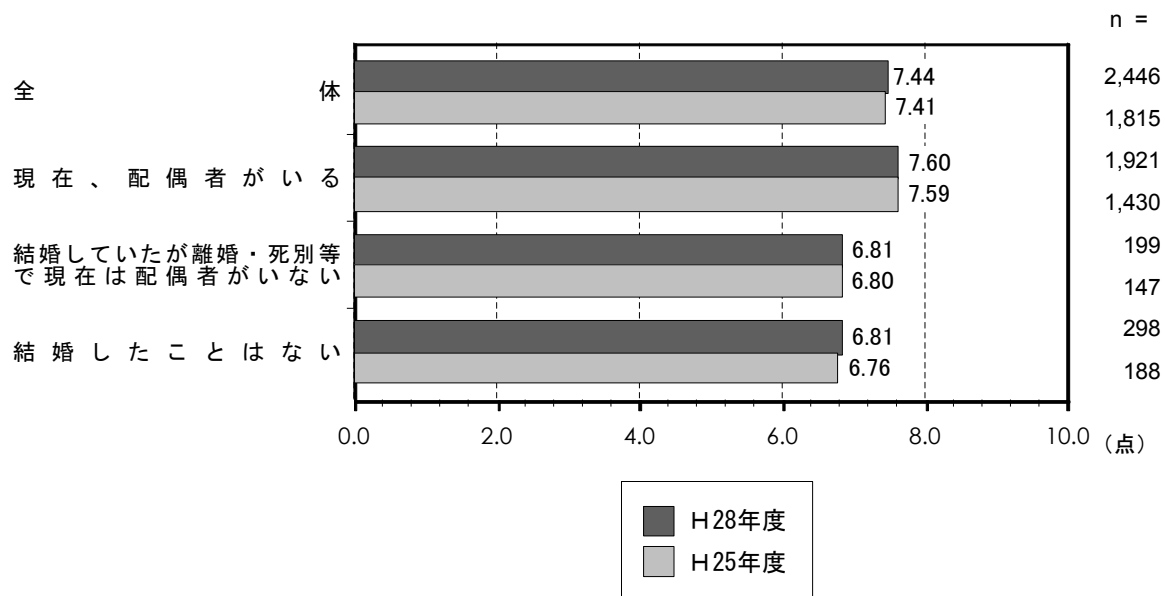
図2-1-7 住まいのタイプ別 「幸せ感の点数」（前回比較）



○配偶者の有無別でみると、「現在、配偶者がいる」市民の幸せ感（7.60）は、全体より若干高くなっている。一方で、「結婚していたが離婚・死別等で現在は配偶者がいない」市民の幸せ感（6.81点）や「結婚したことはない」市民の幸せ感（6.81点）は、全体よりも低くなっており、配偶者の存在は幸せ感の重要な要素の一つであると考えられます。

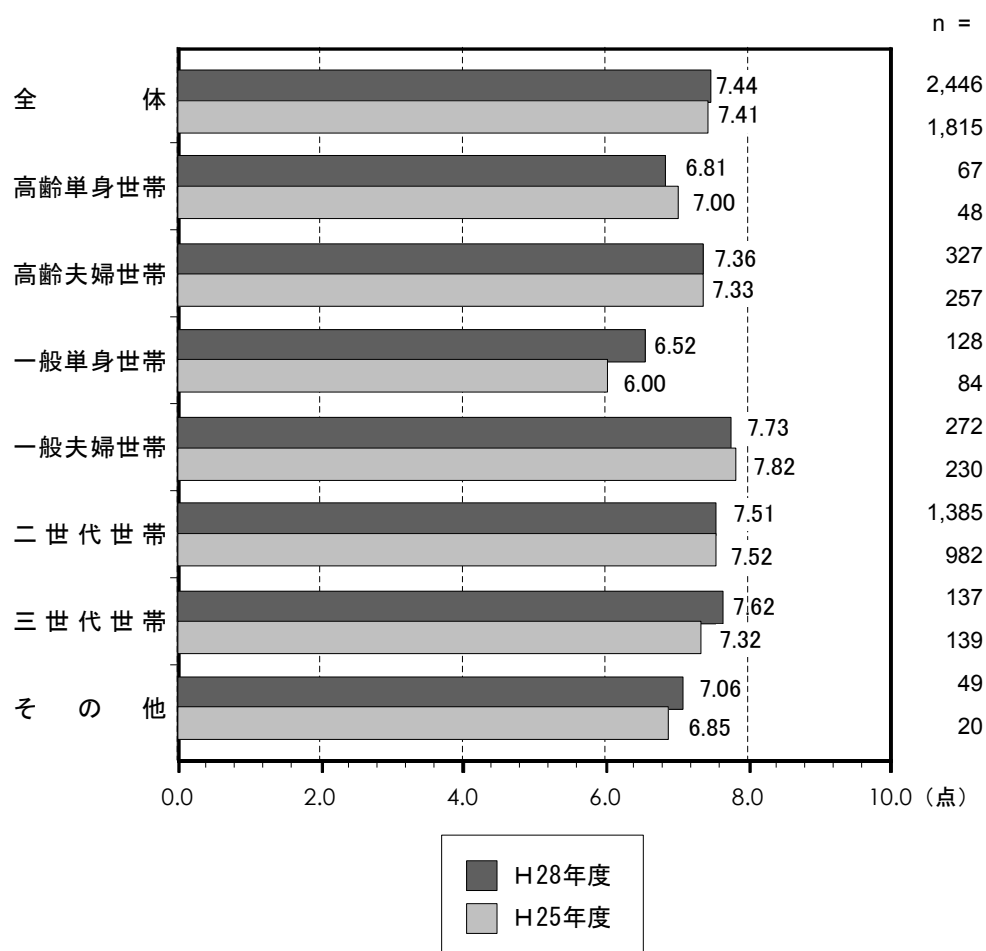
○なお、平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図2-1-8）。

図2-1-8 配偶者の有無別 「幸せ感の点数」（前回比較）



- 家族の形態別でみると、「一般夫婦世帯」(7.73)、「二世代家族」(7.51)の幸せ感は全体より高く、「一般単身世帯」(6.52点)及び「高齢単身者」(6.81点)の幸せ感は全体よりも低くなっています。
- 家族の存在が幸せ感の重要な要素の一つであると考えられます。
- なお、平成25年度調査結果と比べると、一般単身世帯の幸せ感が0.52点上昇しているほかはほとんど変化がみられません(図2-1-9)。

図2-1-9 家族の形態別 「幸せ感の点数」(前回比較)



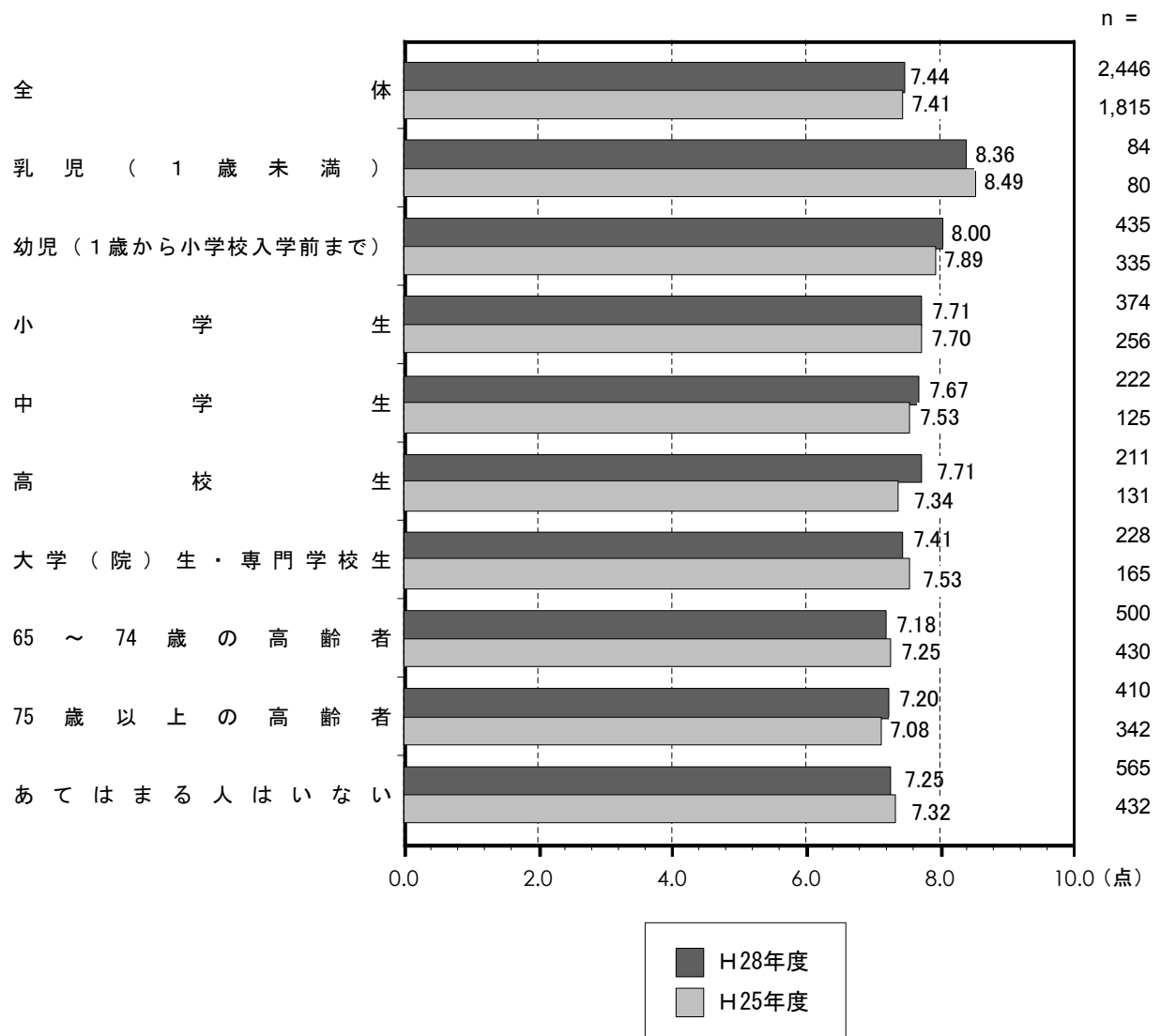
○同居家族の有無別（子どもや学生、65歳以上の高齢者との同居の有無別）でみると、「乳児」（8.36点）や「幼児」（8.00点）、「小学生」（7.71点）といった小さな子どもと同居している市民は幸せ感が高くなっています。

○子育て世代である30歳代の幸せ感が高かったこと（図2-1-3）や（図2-1-10）の結果から、家庭内における小さな子どもの存在が幸せ感の重要な要素の一つであると考えられます。

○一方、「65～74歳の高齢者」（7.18点）や「75歳以上の高齢者」（7.20点）と同居している市民は幸せ感が全体よりも若干低くなっています。

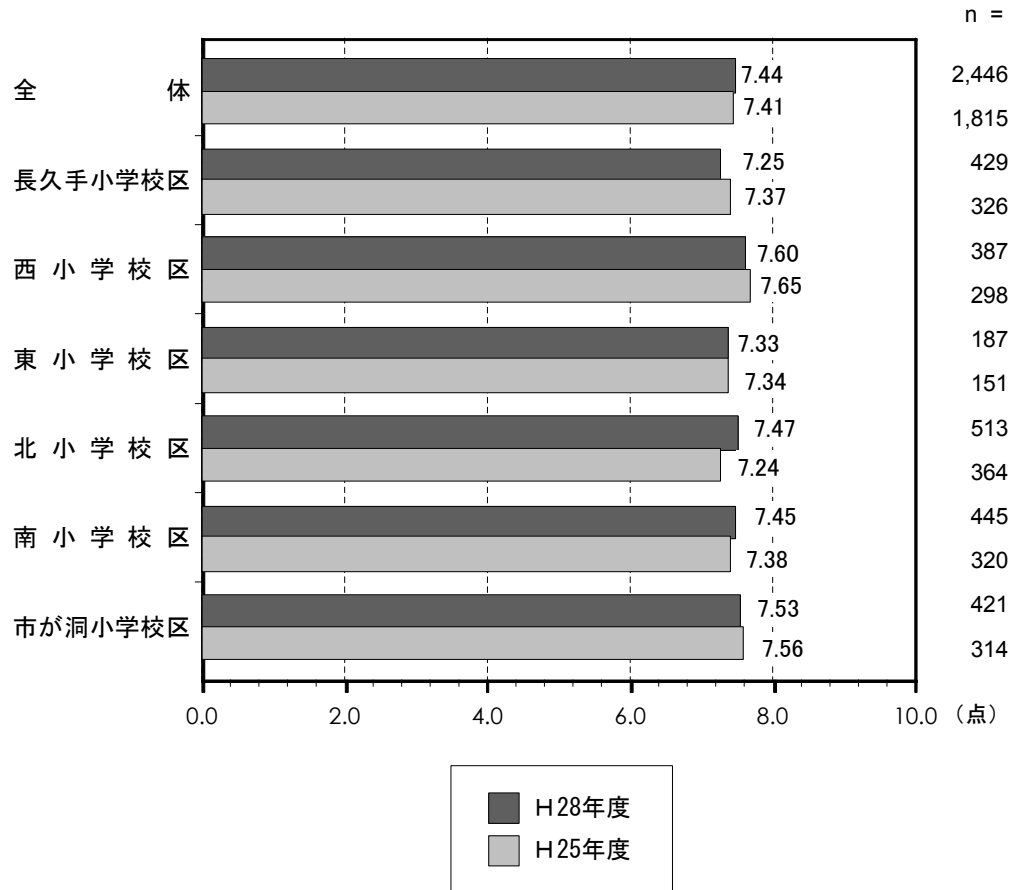
○なお、平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図2-1-10）。

図2-1-10 同居家族別 「幸せ感の点数」（前回比較）



- 小学校区別でみると、「西小学校区」(7.60 点)と「市が洞小学校区」(7.53 点)の幸せ感が全体より若干高くなっていますが、大きな差はみられません。
- また、平成 25 年度調査と比べてほとんど変化はみられません(図 2-1-11)。

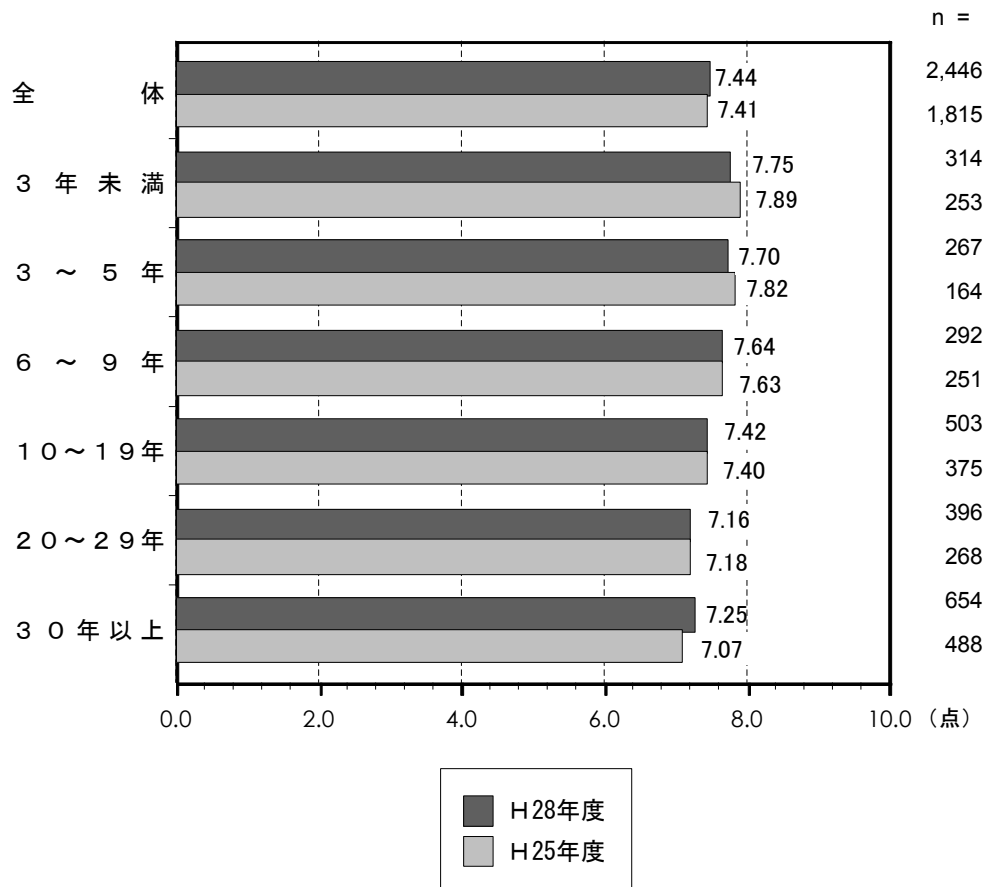
図 2-1-11 小学校区別 「幸せ感の点数」(前回比較)



○居住年数別でみると、居住年数が短いほど幸せ感の点数が順次高くなる傾向がみられます。また、居住年数10年を境に、それ以上になると全体よりも低くなっています。

○なお、平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図2-1-12）。

図2-1-12 居住年数別 「幸せ感の点数」（前回比較）



②幸せの点数を選んだ理由

要点

幸せ感の点数を選んだ理由は、「健康」に関することが33.6%と最も多く、次いで、「家族」に関すること（23.5%）、「生活全般（衣食住や生活時間）」に関すること（15.9%）「住環境・生活インフラ、行政サービス」に関すること（14.9%）と続いています。

全体

- 幸せ感の点数を選んだ理由は、「健康」（33.6%）、「家族」（23.5%）が他の項目に比べて多くなっています。
- 一方、「友人関係」（1.8%）や「地域コミュニティや近所との関係」（3.0%）など、家族以外の人間関係を理由にした割合は少なくなっています。
- 幸せ感の点数を選んだ理由の大部分は、まちのことや行政サービスなど、市政によってある程度対応できるような領域にはおさまっていないことがうかがえます。
- 平成25年度調査結果と比べて大半の理由がポイントダウンしている一方で、「生活全般（衣食住や生活時間）」は11.5ポイントも上昇したことが特徴としてみられます（図2-1-13）。

点数別

- 幸せ感の点数別でみると、幸せ感の点数が高い市民ほど「健康」に関することを理由としてあげている割合が多くなる傾向がみられます。また、割合は低いものの、「趣味・娯楽・社会貢献など」でも同様の傾向がみられます。
- 一方、「家計」に関することは、幸せ感の低い市民ほど理由としてあげる割合が多くなる傾向がみられます（図2-1-14）。

図 2-1-13 幸せ感の点数を選んだ理由（前回比較）

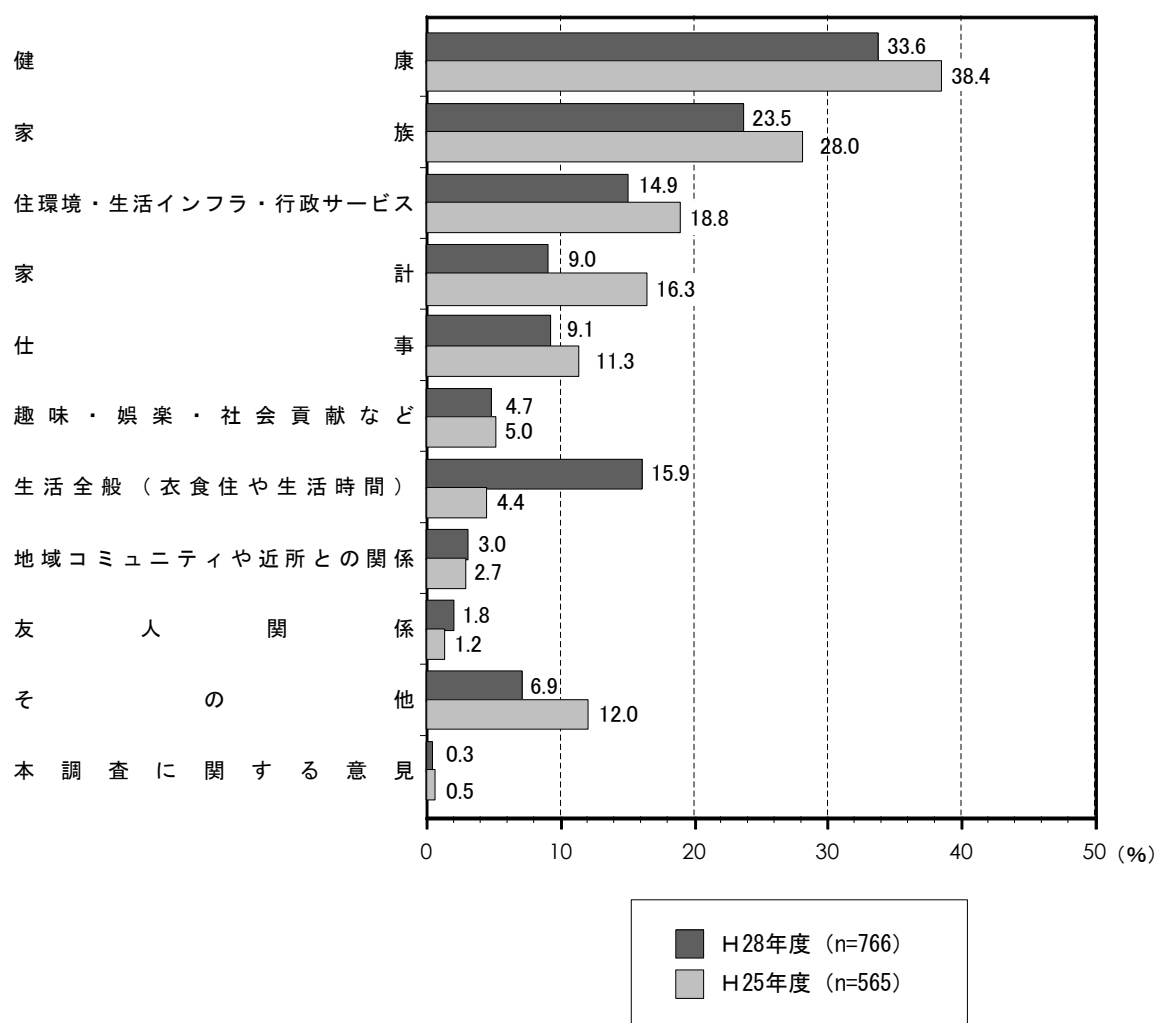
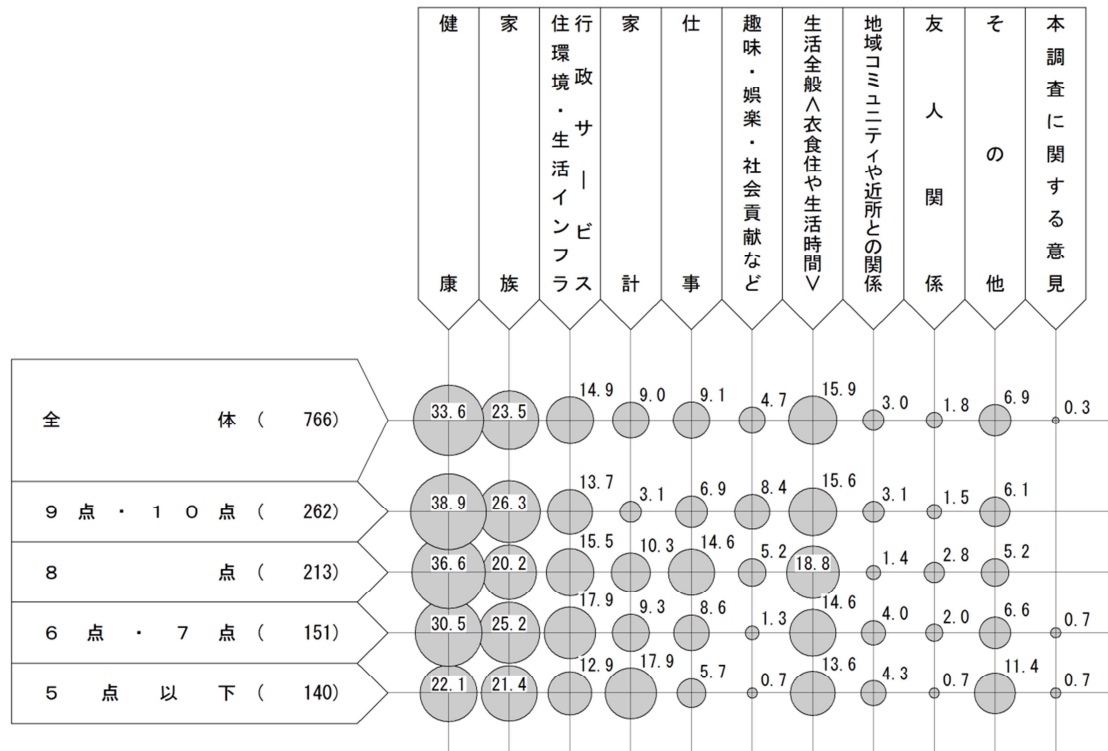


図 2-1-14 幸せ感の点数別「幸せ感の点数を選んだ理由」



③現在の幸せ感の点数と各質問項目との相関

要点

「生活全般」や「家族関係」、「家計の状況」、「就業状況」、「仕事と生活のバランス」、「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」といった生活の満足度や「日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか」が、幸せ感の点数とやや強い相関がみられます。

全体

- 幸せ感の点数と各質問項目との相関係数を算出することによって相関関係をみたところ、「かなり強い相関がある」という質問項目はありませんでしたが、「やや強い相関がある」や「弱い相関がある」という質問項目はかなり多くあります。
- 具体的には、「生活の満足度について」では、「生活全般」をはじめ、「家族関係」、「家計の状況」、「就業状況」、「仕事と生活のバランス」、「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」の6項目が、幸せ感の点数とやや強い相関関係がみられます。つまり、これらの項目の満足度が高いほど、幸せ感の点数が高くなる傾向があると言えます。
- また、「長久手の住み心地」（「住みよいまちだと思うか」、「愛着を感じているか」、「今後も住み続けたいか」の3項目）と幸せ感の点数との間にも弱い相関がみられ、住み心地がよいと感じている市民ほど幸せ感の点数が高くなる傾向が一定程度みられると言えます。
- 「生活実感」のうち、「①健康分野」については、6項目中4項目において相関がみられます。中でも「日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか」とはやや強い相関がみられます。つまり、笑顔の日常生活ができていると感じている市民ほど幸せ感が高い傾向があると言えます。
- 「②子育て・教育分野」のうち、「子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか」を除く5項目が幸せ感と弱い相関がみられます。
- 「③自然やごみなどの環境分野」では、「自然環境」と「公園や野外の遊び場」、「まち並み」の3項目が幸せ感と弱い相関がみられます。
- 「④地域のつながり分野」についても、『たつせ』があるか」と、お住まいの地域に困った時に頼りになる知人や友人が「お住いの地域にいる」や「市内にいる」の3項目が幸せ感の点数と弱い相関がみられます。
- 「⑤防災・防犯分野」では「治安がよく、安心して暮らせるか」の1項目、「⑥福祉分野」では「現在（あるいは将来の）、自分または家族の介護に対して不安を感じるか」の1項目、「⑧生活インフラ分野」では「買い物や通院に便利か」と「出かける際の移動が便利か」、「就業しやすい環境にあると思うか」の3項目が、それぞれ、幸せ感の点数と弱い相関がみられます。
- 一方、「⑦文化・生涯学習分野」と「まちづくりにおける地域の役割」については、幸せ感の点数とほとんど相関はみられません。

表 2-1-1 あなたの幸せ感の点数と各設問との相関分析

凡 例	
$ r = 0.7$ 以上～1 以下	かなり強い相関がある
$ r = 0.4$ 以上～0.7 未満	やや強い相関がある
$ r = 0.2$ 以上～0.4 未満	弱い相関がある
$ r = 0$ 以上～0.2 未満	ほとんど相関がない

生活の満足度について	
問3 (1) 家計の状況	0.4304
(2) 就業状況	0.4252
(3) 健康状況	0.3949
(4) 自由な時間、充実した余暇	0.3319
(5) 仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	0.4193
(6) 家族関係	0.5196
(7) 友人関係	0.3458
(8) 職場の人間関係	0.3708
(9) 地域コミュニティや近所との関係	0.3036
(10) 仕事と生活のバランス	0.4206
(11) 生活全般	0.6283
長久手の住み心地について	
問4 住みよいまちだと思うか	0.3354
問5 愛着を感じているか	0.3072
問6 今後も住み続けたいか	0.2428
暮らしやお住いの地域(生活実感)について	
①健康分野	
問8 (1)健康的な暮らしができていると思うか	0.1687
(2)気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか	0.1743
(3)健康的な食生活ができていると思うか	0.3075
(4)ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はあるか	0.3884
(5)日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか	0.5526
(6)病院やクリニックが充実していると思うか	0.2508
②子育て・教育分野	
問9 (1)安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか	0.3198
(2)地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか	0.2975
(3)子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか	0.1996
(4)子育てや子どもの教育などについて相談できる人、相談できる場所があるか	0.2725
(5)①家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーション子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思うか	0.3396
(5)②お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーション	0.2271
③自然やごみなどの環境分野	
問10 (1)豊かな自然環境があると思うか	0.2036
(2)公園や屋外の遊び場があるか	0.2160
(3)まち並みはきれいだと思うか	0.2702
(4)ごみ・資源の分別がされていると思うか	0.1983
(5)日頃から環境に配慮した生活をしているか	0.1414

④地域のつながり分野		
問 11	(1)-①スタッフとして	0.1101
	-②お客・来場者として	0.1846
	(2)-①あいさつ	0.1912
	-②近所づきあい	0.1679
	-③近所づきあいや地域とのつながり	0.1979
	(3)自宅以外の居場所があるか	0.1802
	(4)「たつせ」があるか	0.2576
	(5)-①お住まいの地域	0.2143
	-②市内	0.2343
	-③市外	0.1900
	(6)国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思うか	0.1776
⑤防災・防犯分野		
問 12	(1)災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか	0.1226
	(2)災害に対する自主的な備えをしているか	0.1609
	(3)災害時の避難所と避難方法を知っているか	0.1495
	(4)治安が良く、安心して暮らせるか	0.2047
	(5)安全安心を守る取組が行われているか	0.1725
⑥福祉分野		
問 13	(1)地域で困った人への助け合いはできていると思うか	0.1787
	(2)市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか	0.0564
	(3)高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っている人など、まちで困っている人がいるとき、手助けをすることができると思うか	0.1886
	(4)現在(あるいは将来の)、自分または家族の介護に対して不安を感じるか	0.2524
	(5)-①高齢者にとって暮らしやすい	0.1875
	-②障がいのある人にとって暮らしやすい	0.1747
⑦文化・生涯学習分野		
問 14	(1)長久手の歴史や伝統文化に関心があるか	0.1403
	(2)長久手市は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか	0.1646
	(3)長久手市はあなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか	0.1976
	(4)お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があるか	0.1623
	(4)-1「宝」の詳細記入	0.0574
⑧生活インフラ分野		
問 15	(1)買い物や通院に便利か	0.2509
	(2)出かける際の移動が便利か	0.2220
	(3)出かける際の移動の安全が確保されていると思うか	0.1986
	(4)就業しやすい環境にあると思うか	0.2207
	(5)インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか	0.1825
⑨まちづくりにおける地域の役割		
問 16	何か社会のために役立ちたいと思っているか	0.1540
問 17	課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか	0.1857
問 18	コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか	0.1338

(2) 大事だと思う分野（問2）

問2 次の8つの分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」を3つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。なお、「特に大事だと思う分野はない」という場合には、左端の欄に「9」を記入してください。

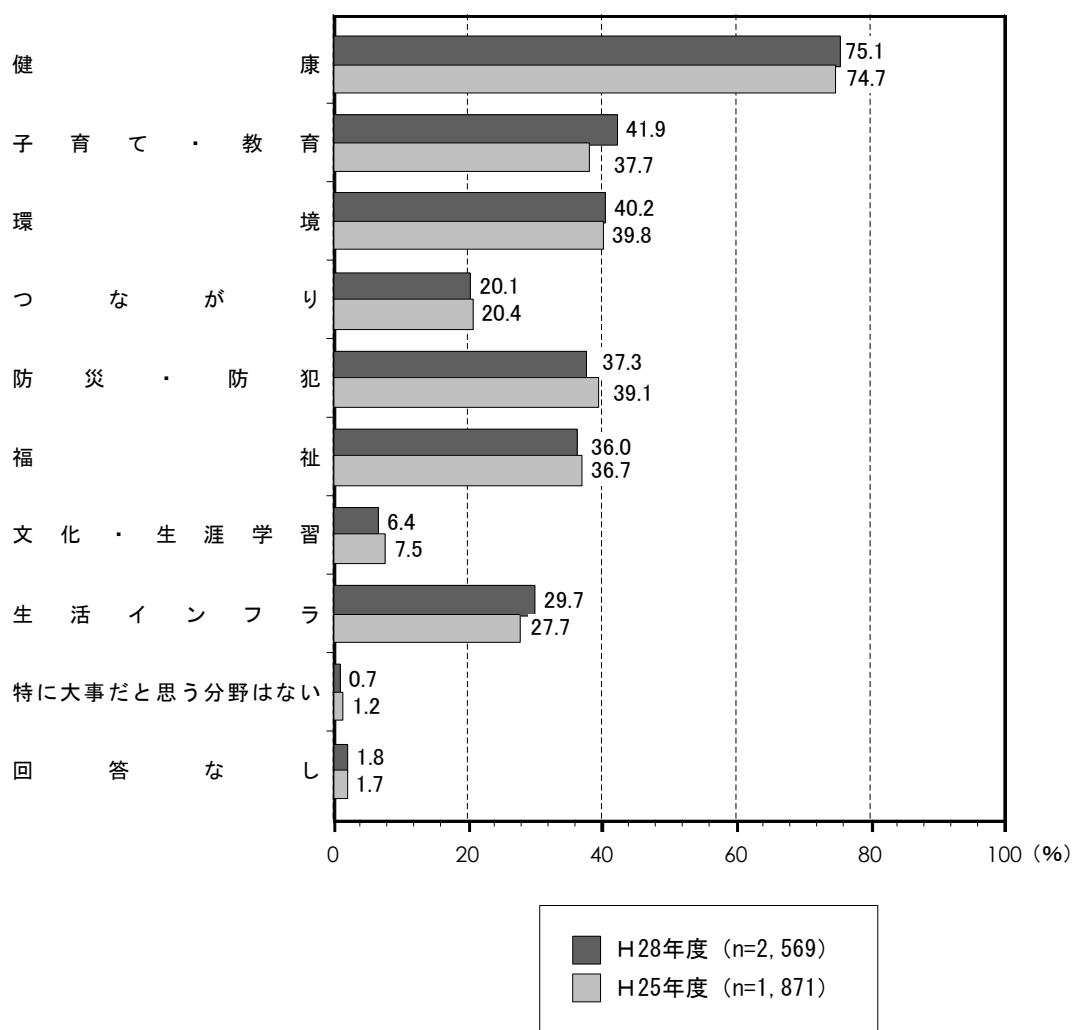
要点

大事だと思う分野は、「健康」が75.1%と多くなっていますが、「文化・生涯学習」(6.4%)が少なくなっています。

全体

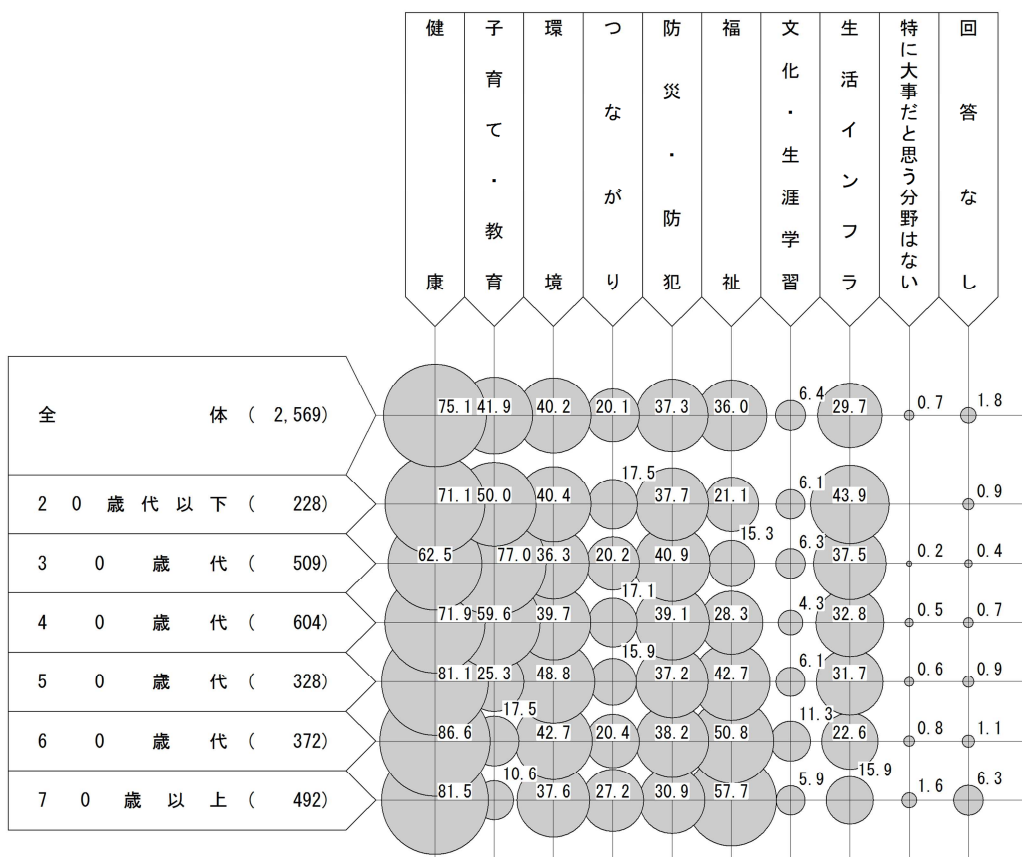
- 大事だと思う分野は、「健康」が75.1%と多くなっています。
- 一方、「文化・生涯学習」(6.4%)が少なくなっています。
- 平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図2-2-1）。

図2-2-1 大事だと思う分野（前回比較）



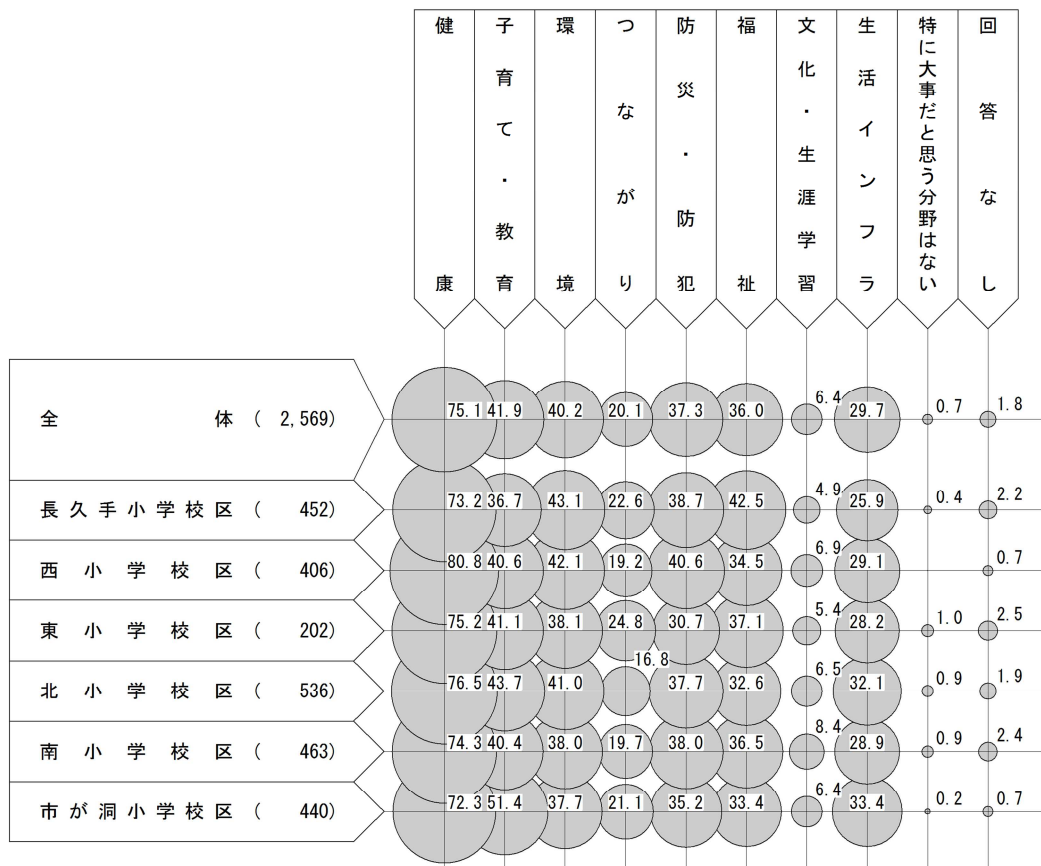
- 年齢別にみると、「健康」は50歳以上の年齢層で若干多くなっている一方で、30歳代における割合が少なくなっています。
- 「福祉」についても、若年層では少なく、50歳代以上の中高年層割合が多い傾向がみられ、特に70歳代では57.7%となっています。
- 上記の2項目に対して、「子育て・教育」については、年齢が若い市民ほど割合が多くなっています。特に30歳代（77.0%）をはじめ、40歳代（59.6%）や20歳代以下（50.0%）といったいわゆる子育て世代において割合が多くなっています。
- また、「生活インフラ」についても若い世代になるほど大事だと思う割合が多くなる傾向が顕著にみられ、20歳代以下では43.9%となっています。さらに、「防災・防犯」についてもどちらかといえば、比較的若い市民の方が大事だと思う割合が多くなっています（図2-2-2）。

図2-2-2 年齢別 「大事だと思う分野」



- 小学校区別でみると、「健康」については、西小学校区（80.8％）で大事だと思う割合が若干多くなっています。
- 「子育て・教育」については、新興住宅地で若い世代が多い市が洞小学校区（51.4％）で全体と比べて多くなっています。
- 「福祉」については、長久手小学校区（42.5％）で全体と比べて若干多くなっています（図2-2-3）。

図2-2-3 小学校区別 「大事だと思う分野」



(3) 生活の満足度 (問3)

問3 あなたは、次の (1) から (11) までの項目についてどの程度満足していますか。(1) から (11) までの項目それぞれについて、1～5の中から1つずつ選んでください。

※(2)、(8)、(10)については、あなたの就業状況や就業形態によって回答が難しい場合は、「6. 該当しない」に○をつけてください。

要点

いずれの項目においても評点が3.00以上あり、特に「家族関係」(3.87)や「友人関係」(3.83)、「健康状況」(3.64)の満足度が高い一方で、「地域コミュニティや近所との関係」(3.28)や「仕事と生活とのバランス」(3.33)、「家計の状況」(3.37)などの満足度はこれらの項目に比べて低くなっています。

※()内の数字は、前述(P.2)の算出方法による評点(平均点)です。評点が3.00は「どちらともいえない」という状態を示すものです。

全体

○11項目にわたる生活の満足度についてたずねたところ、まずは、最後の項目の「生活全般」については、「満足している」が10.8%、「どちらかといえば満足している」が52.5%となっており、これらを合わせた満足と感じている市民の割合(以下“満足という評価”)は63.3%を占めています。

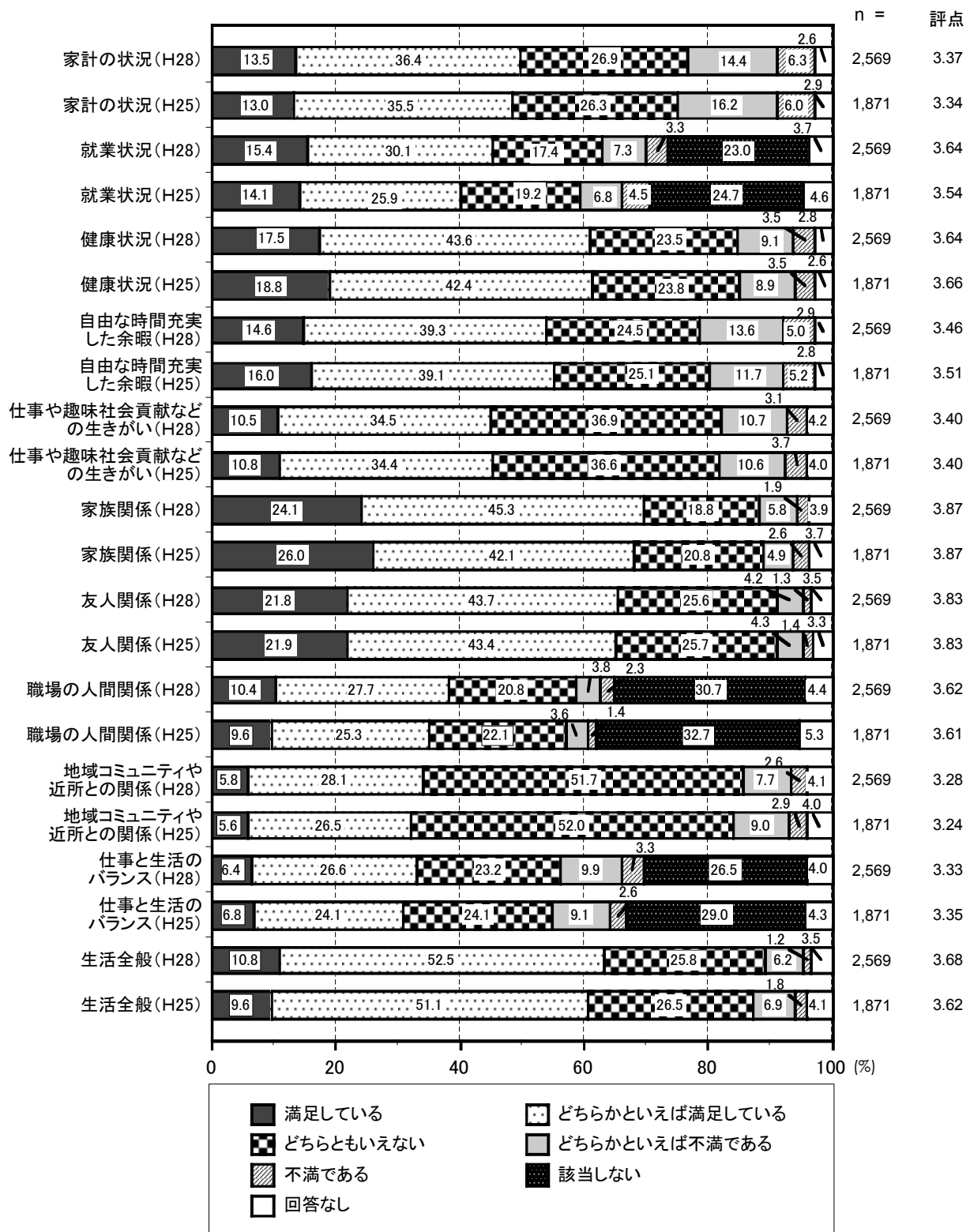
○一方、「どちらかといえば不満である」が6.2%、「不満である」が1.2%となっており、これらを合わせた不満と感じている市民の割合は7.4%にとどまっており、その結果、“満足という評価”をした市民と“不満という評価”とした市民が同数である場合の評点である3.00を大きく上回る3.68になっています。

○各項目の満足度をみると、“満足という評価”の割合が最も多いのは「家族関係」(69.4%、3.87)で、次いで、「友人関係」(65.5%、3.83)、「健康状況」(61.1%、3.64)と続いています。

○評点については、いずれの項目についても3.00を超えているものの、「地域コミュニティや近所との関係」(3.28)をはじめ、「仕事と生活とのバランス」(3.33)や「家計の状況」(3.37)、「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」(3.40)の満足度については、「家族関係」や「友人関係」などと比べると低くなっています。

○平成25年度調査結果と比べると、「就業状況」については0.10ポイント上昇していますが、全般的には大きな変化はみられません(図2-3-1)。

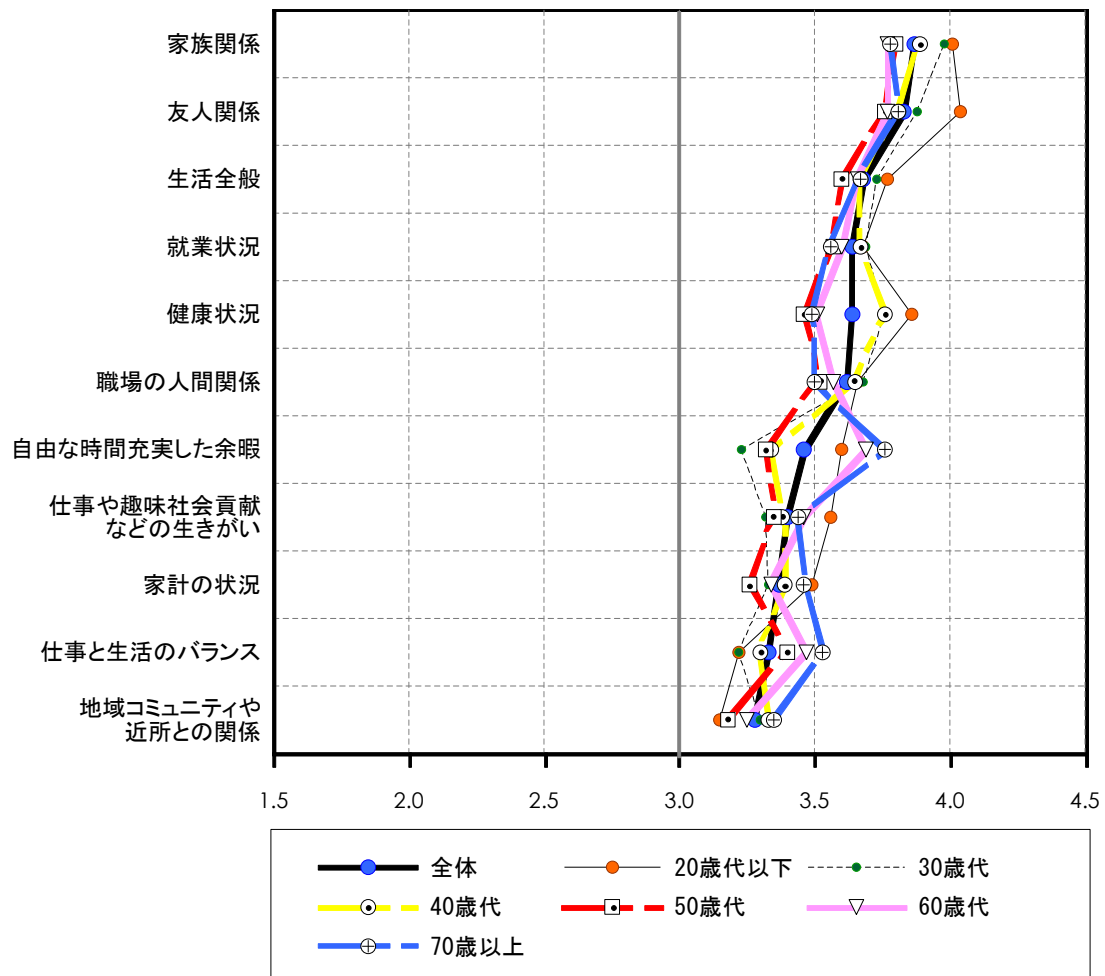
図2-3-1 生活の満足度（前回比較）



○年齢別にみると、「友人関係」や「健康状況」などについては、20 歳代以下における満足度が最も高くなっていることが特徴としてみられます。「健康状況」については、40 歳代も比較的高くなっていますが、そのほかの年代は全体値を下回っています。

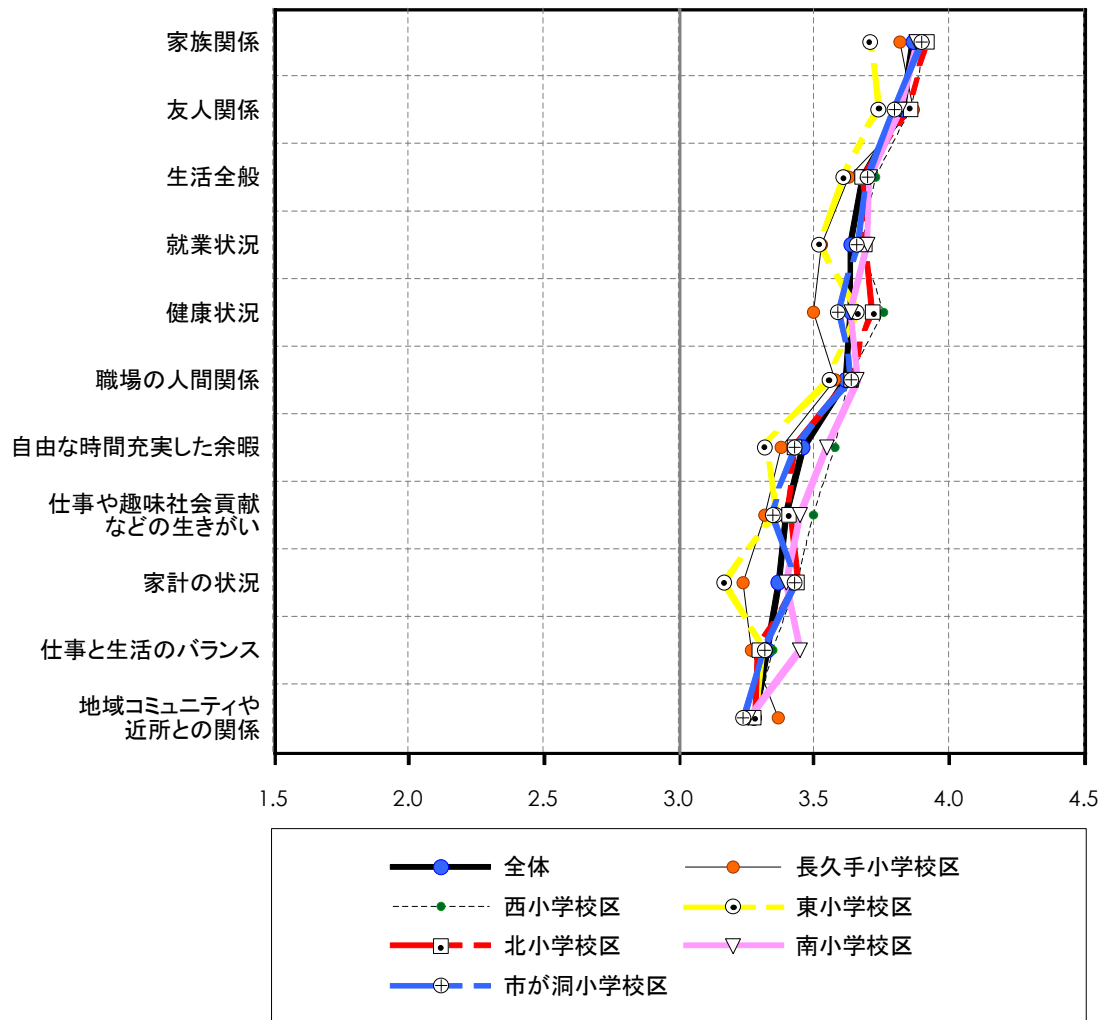
○一方、「自由な時間充実した余暇」は働き盛りである 30 歳代～50 歳代での評点が低くなっています（図 2-3-2）。

図 2-3-2 年齢別 「満足度（評点）」



○小学校区別にみると、「家計の状況」が東小学校区や長久手小学校区における評点が若干低くなっているものの、全体的に大きな差は見受けられません（図2-3-3）。

図2-3-3 小学校区別 「満足度（評点）」



第3章 住み心地について

(1) 住みよいまちだと思うか（前回比較）（問4）

問4 長久手を住みよいまちだと思いますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

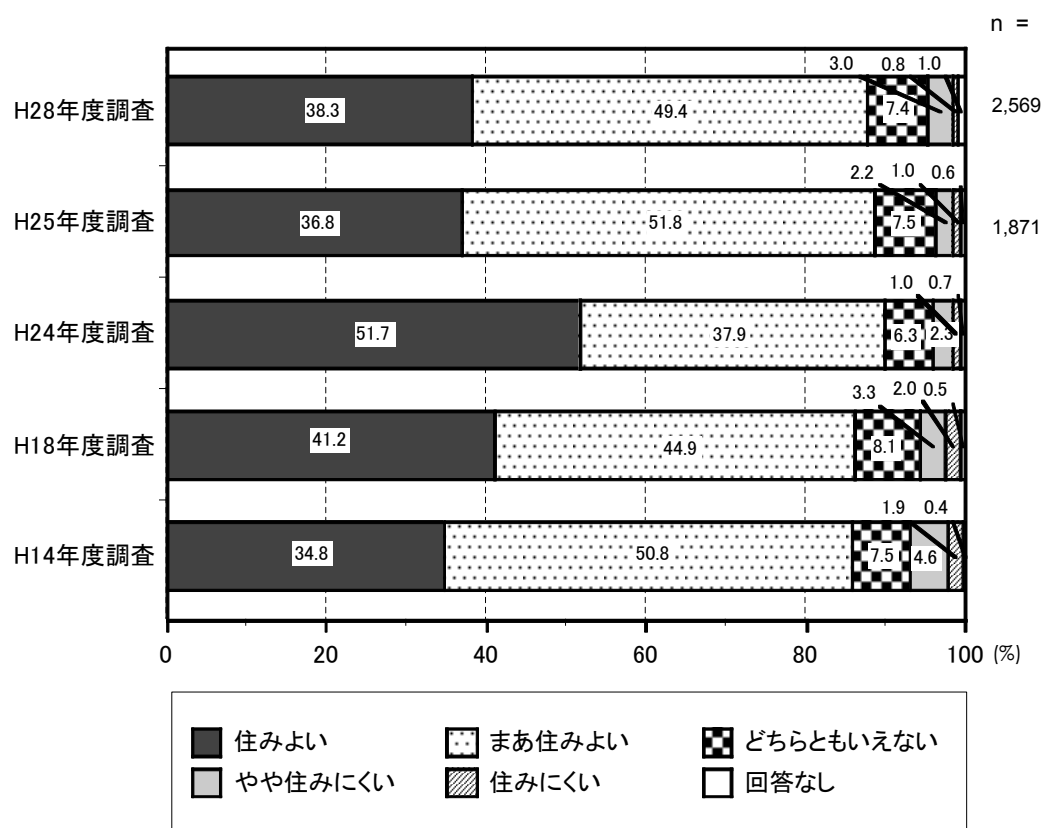
要点

長久手市に対して住みやすさを感じている市民は9割近くを占めています。

全体

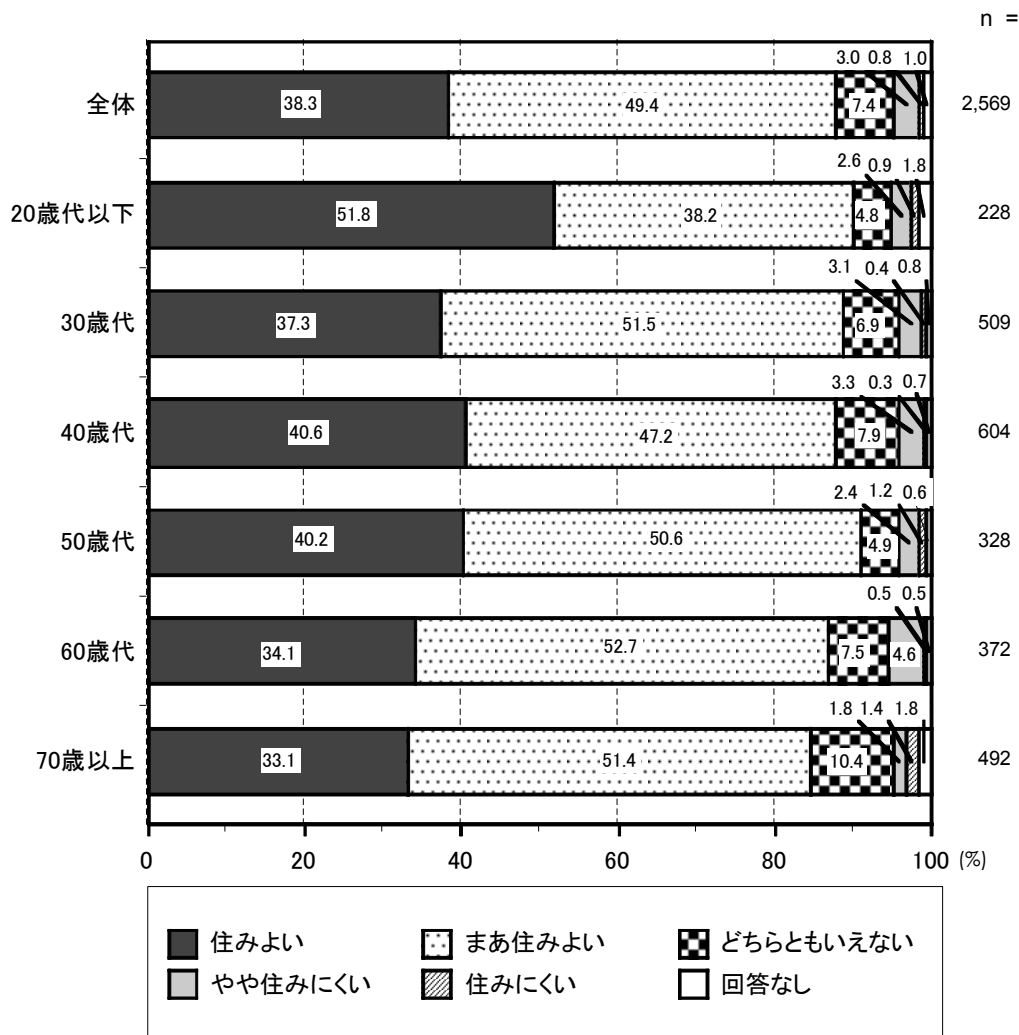
- 住みやすさについてたずねたところ、「住みよい」が38.3%、「まあ住みよい」が49.4%となっており、これらを合わせると、長久手市に対して住みやすさを感じている市民は87.7%となります。
- 「やや住みにくい」(3.0%)と「住みにくい」(0.8%)については、合わせても3.8%となっています。
- 過去に実施した調査結果と比較すると、H24年度調査より「住みよい」と回答した市民の割合は13.4ポイント少なくなっていますが、「住みよい」「まあ住みよい」と合わせた割合は、いずれの年度の調査結果と比較しても大きな変化はありません（図3-1-1）。

図3-1-1 住みよいまちだと思うか（前回比較）



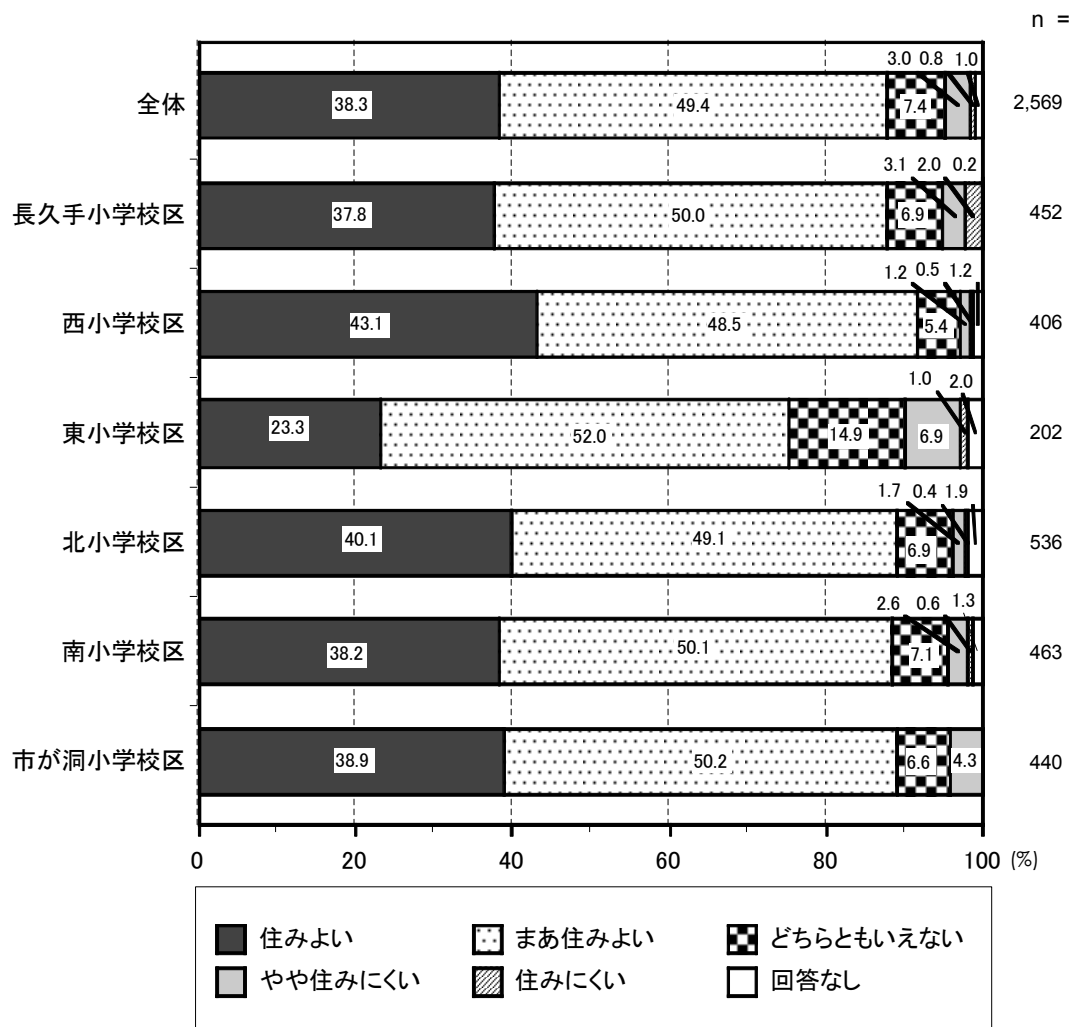
○年齢別にみると、「住みよい」は、20歳代以下（51.8%）で多くなっている一方で、60歳代や70歳以上の高齢者層で若干少なくなっています。このように、どちらかといえば、高齢者層に比べて若い世代の方が住みやすさを感じている傾向があります（図3-1-2）。

図3-1-2 年齢別 「住みよいまちだと思うか」



○小学校区別にみると、住みやすさ（「住みよい」と「まあ住みよい」と回答した合計）を感じている市民は、東小学校区を除くすべての小学校区で8割を超えていますが、東小学校区では、「住みよい」の割合が23.3%と全体に比べて少なくなっています（図3-1-3）。

図3-1-3 小学校区別 「住みよいまちだと思うか」



(2) 愛着を感じているか（問5）

問5 長久手に愛着を感じていますか。次の中から選んでください。【○は1つ】

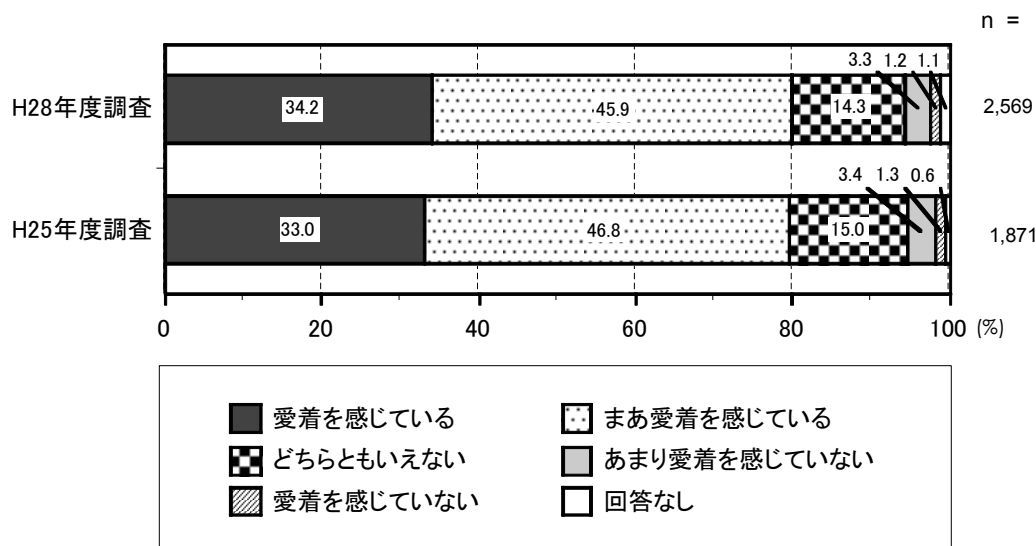
要点

長久手市に愛着を感じている市民は8割近くを占めています。

全体

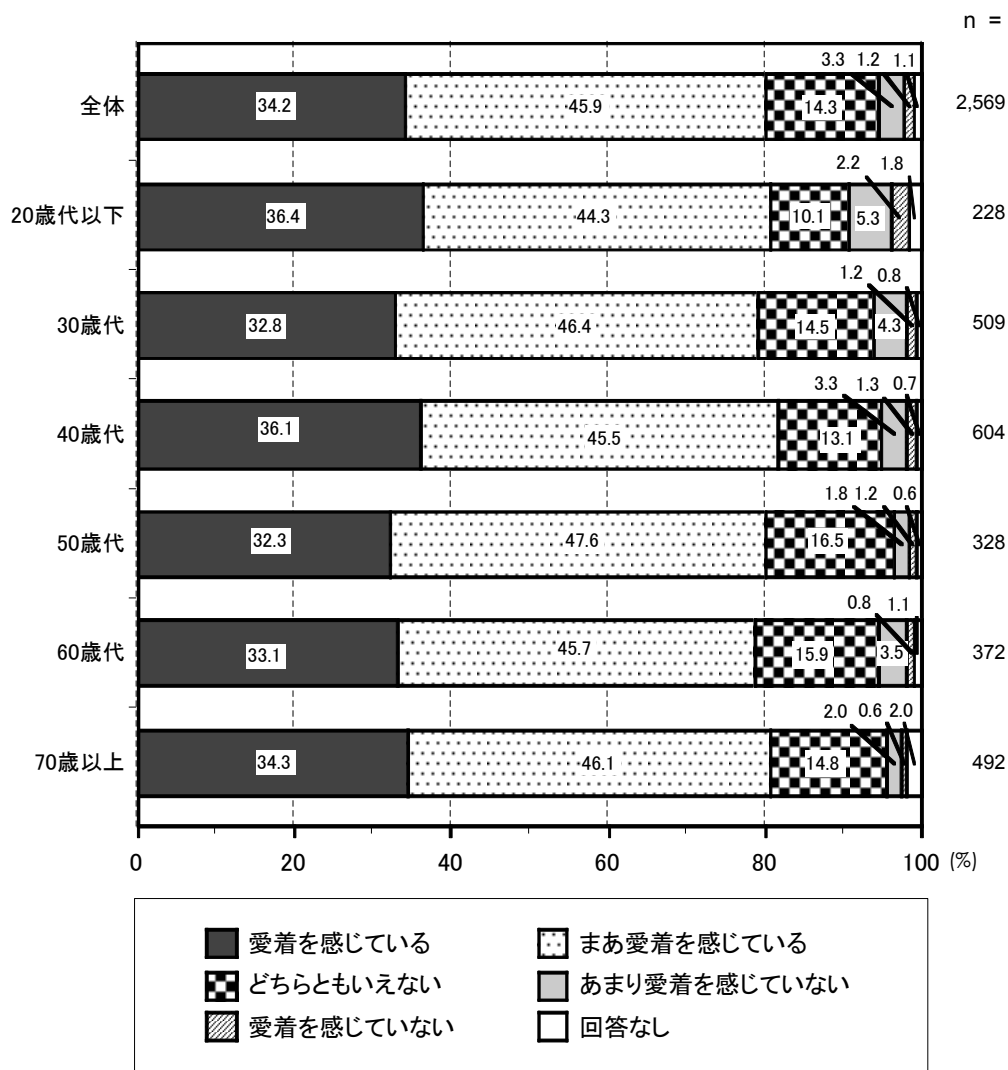
- 愛着の程度についてたずねたところ、「愛着を感じている」が 34.2%、「まあ愛着を感じている」が 45.9%となっており、これらを合わせると 80.1%になります。
- 「あまり愛着を感じていない」（3.3%）と「愛着を感じていない」（1.2%）については、合わせても 4.5%と、「愛着を感じている」、「まあ愛着を感じている」市民の割合と比べると極めて少ない結果になっています。
- 平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 3-2-1）。

図 3-2-1 愛着を感じているか（前回比較）



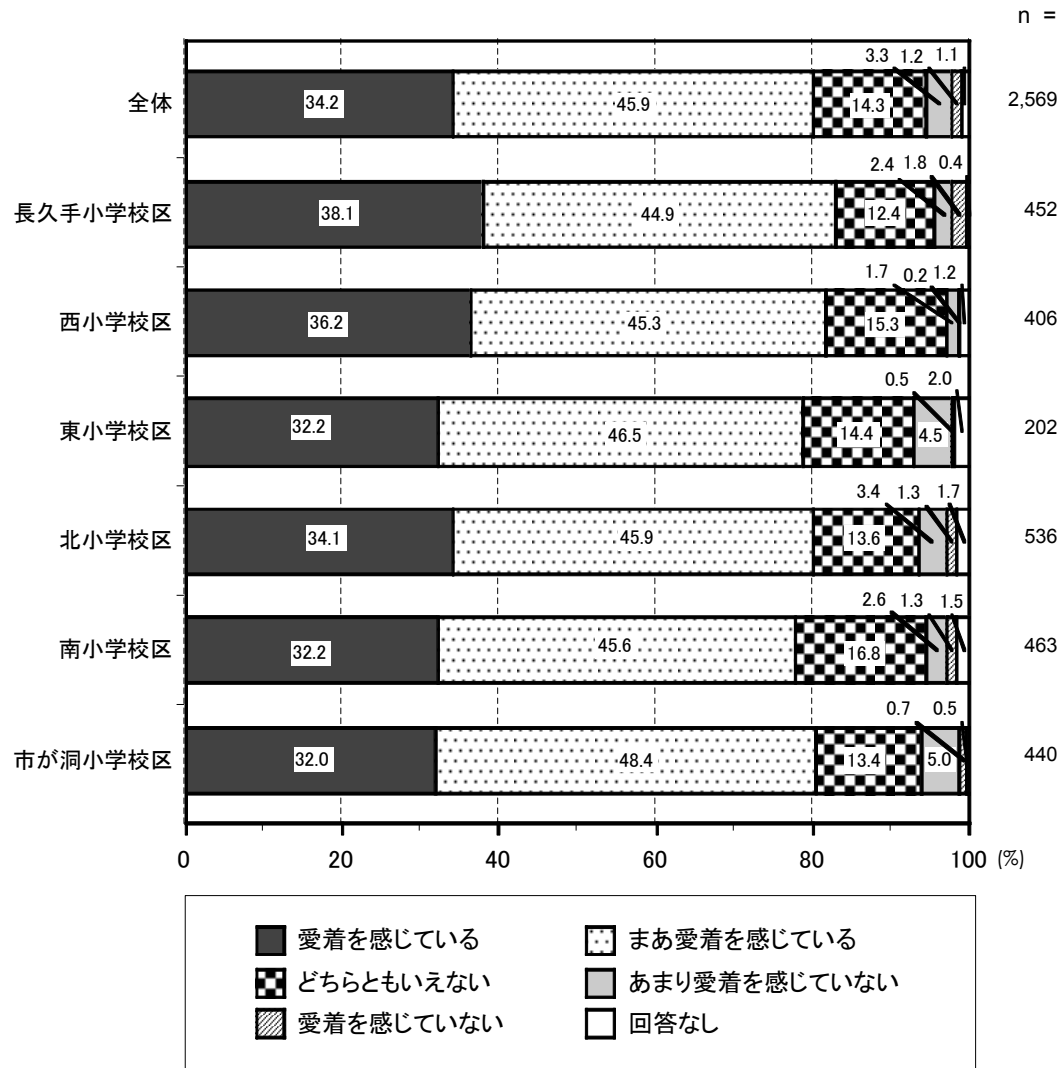
○年齢別による有意な差はみられません（図3-2-2）。

図3-2-2 年齢別 「愛着を感じているか」



○全般的にみて小学校区による大きな差もみられません（図3-2-3）。

図3-2-3 小学校区別 「愛着を感じているか」



(3) 今後も住み続けたいか（問6）

問6 今後も長久手に住み続けたいですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

要点

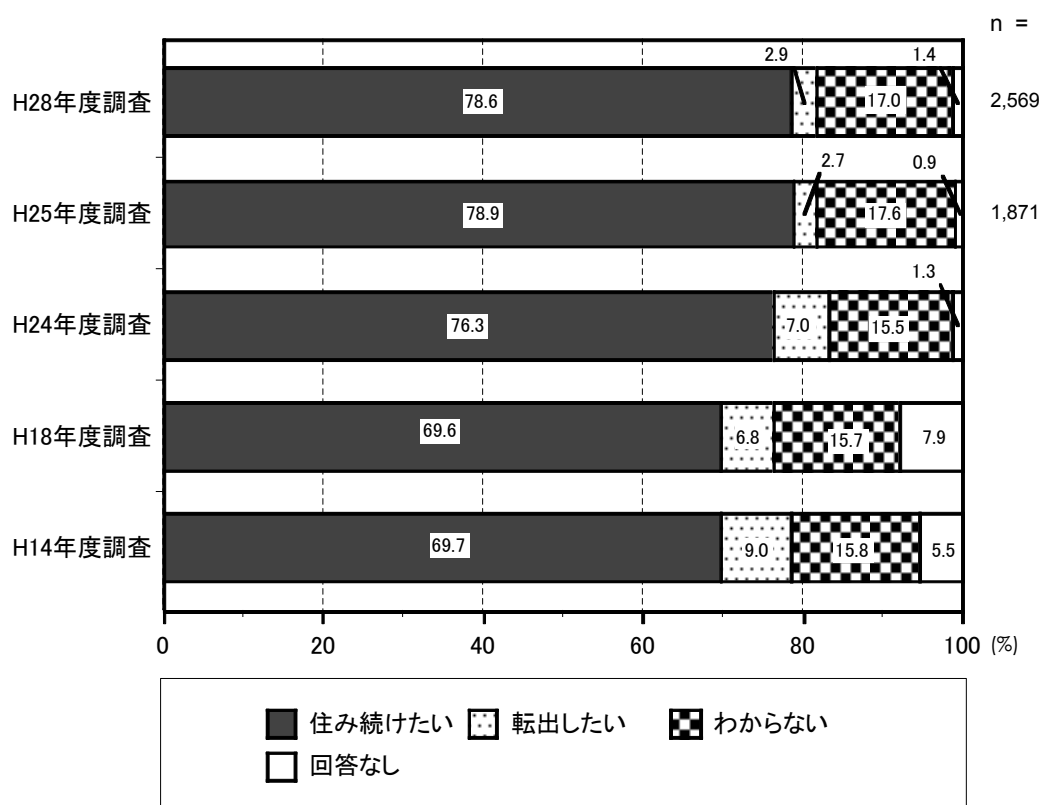
長久手市における定住意向を示している市民は8割近くを占めており、これまで実施した調査の中で2番目に多くなっています。

全体

○今後の定住意向について尋ねたところ、「住み続けたい」が78.6%を占めるのに比べて、「転出したい」は2.9%と極めて少ない結果になっています。

○過去に実施した調査結果と比較すると、「住み続けたい」と回答した市民の割合は、平成25年度調査に次いで2番目に多くなっています（図3-3-1）。

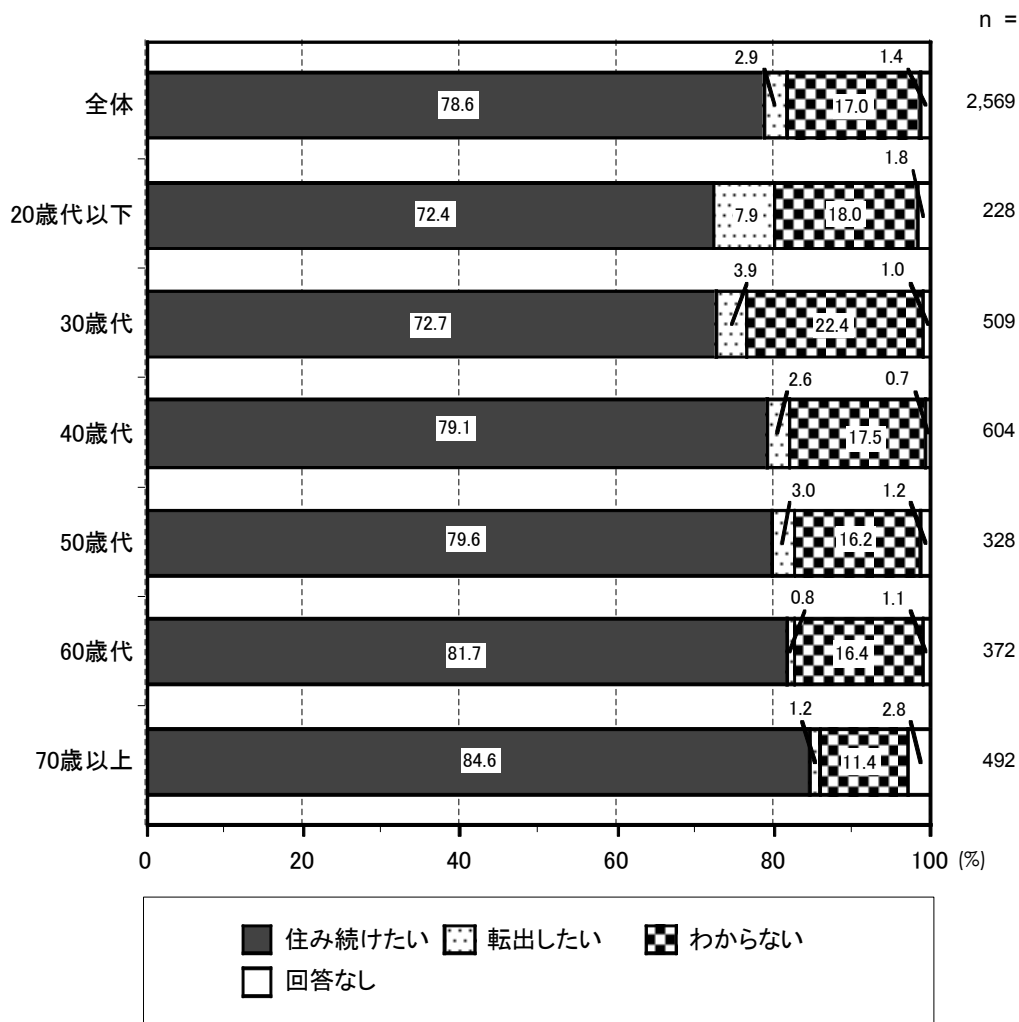
図3-3-1 今後も住み続けたいか（前回比較）



○年齢別にみると、「住み続けたい」と回答した市民の割合は、20歳代以下で72.4%と全体に比べて若干少ない一方で、70歳代以上（84.6%）で若干多くなっています。

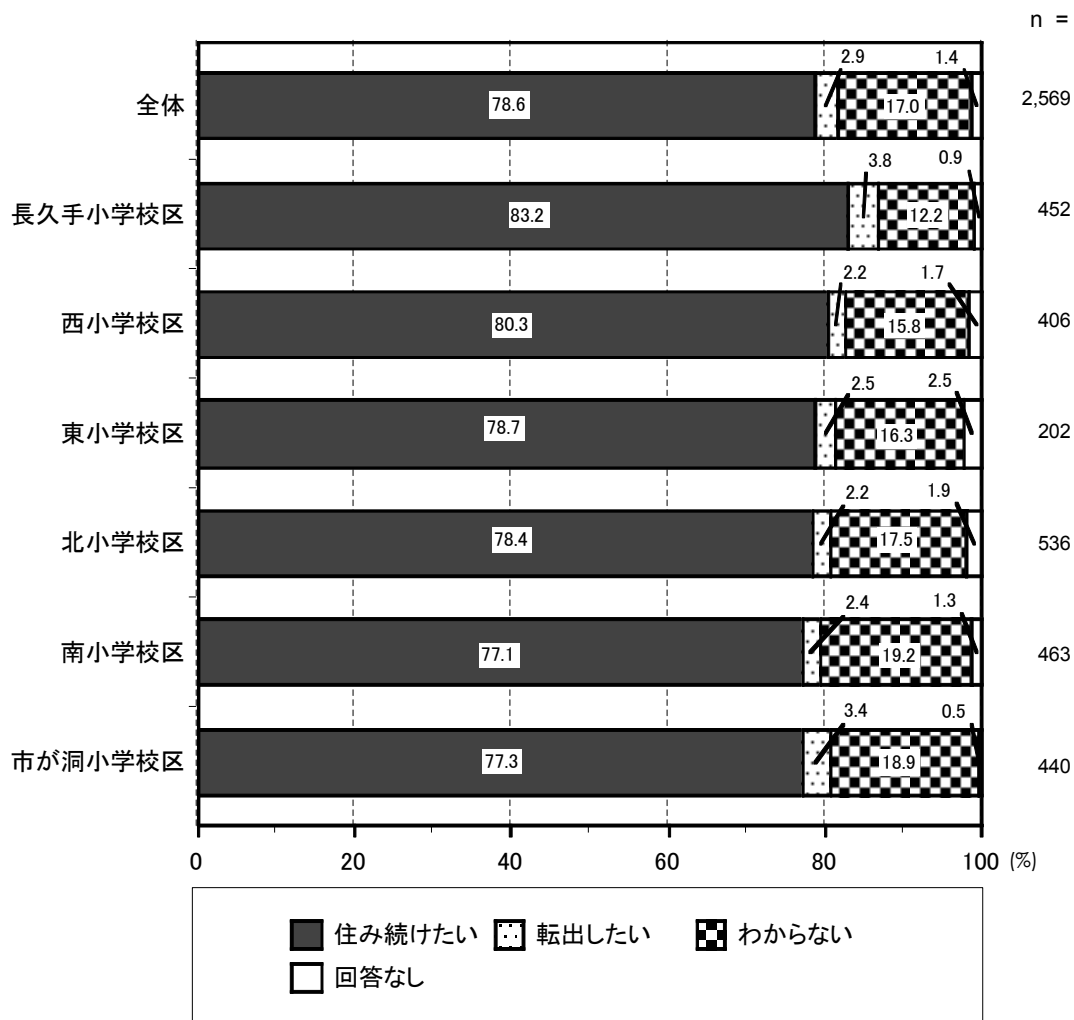
○また、年齢が高いほど定住意向が順次高まっていく傾向がみられます（図3-3-2）。

図3-3-2 年齢別 「今後も住み続けたいか」



○長久手小学校区における定住意向が若干高くなっているものの、全般的にみて小学校区の違いによる定住意向の差はあまりみられません（図3-3-3）。

図3-3-3 小学校区別 「今後も住みたいか」



(4) 魅力的な点・魅力的でない点（問7）

問7 長久手には「魅力的な点」や「魅力的でない点」がありますか。【○はそれぞれ1つ】
また、それはどんなことですか。「1. ある」を選んだ方は、それぞれ3つまで記入してください。

要点

長久手の魅力的な点や魅力的でない点について、過半数の市民が魅力的な点とそうでない点の両面を持ち合わせたまちであると回答していますが、魅力的な点が「ある」という回答の方が魅力的でない点が「ある」という回答を上回っています。

全体

○「魅力的な点」と「魅力的でない点」について、それぞれその有無をたずねたところ、魅力的な点が「ある」という回答（81.2%）と魅力的でない点が「ある」という回答（57.2%）は共に過半数を占めており、長久手市は、市民にとって魅力的な点とそうでない点の両面を持ち合わせたまちであることを示す結果になっています。

○しかしながら、魅力的な点が「ある」という回答は、魅力的でない点が「ある」という回答を24.0ポイントも上回っていることから、どちらかといえば魅力的な点が多いまちとして捉えられています（図3-4-1）。

○平成25年度調査結果と比べると、魅力的な点が「ある」という回答と魅力的でない点が「ある」という回答は共に増加しています。特に魅力的な点が「ある」という回答（5.4ポイントアップ）の方が魅力的でない点が「ある」という回答（4.9ポイントアップ）よりも上回って増加しています。

○「交通や買物等の利便性の高さ」といった生活インフラ分野や、「自然や緑が豊か」や「公園が多い」、「田園があり適度に田舎で適度に都会」といった環境分野、「まちがきれい・新しい・発展しているなどのイメージ」などが、長久手の主要な魅力的な点となっています（表3-4-1）。

○生活インフラ分野は、長久手の主要な魅力的な点となっている一方で、「渋滞が多い」や「Nバス、リニモなどの公共交通機関が不便」、「交通の便が悪い」など、魅力的でない点としても数多くあげられています。また、「防犯対策が不十分」についても比較的多くの市民から魅力的でない点として指摘されています（表3-4-2）。

図3-4-1 魅力的な点・魅力的でない点（前回比較）

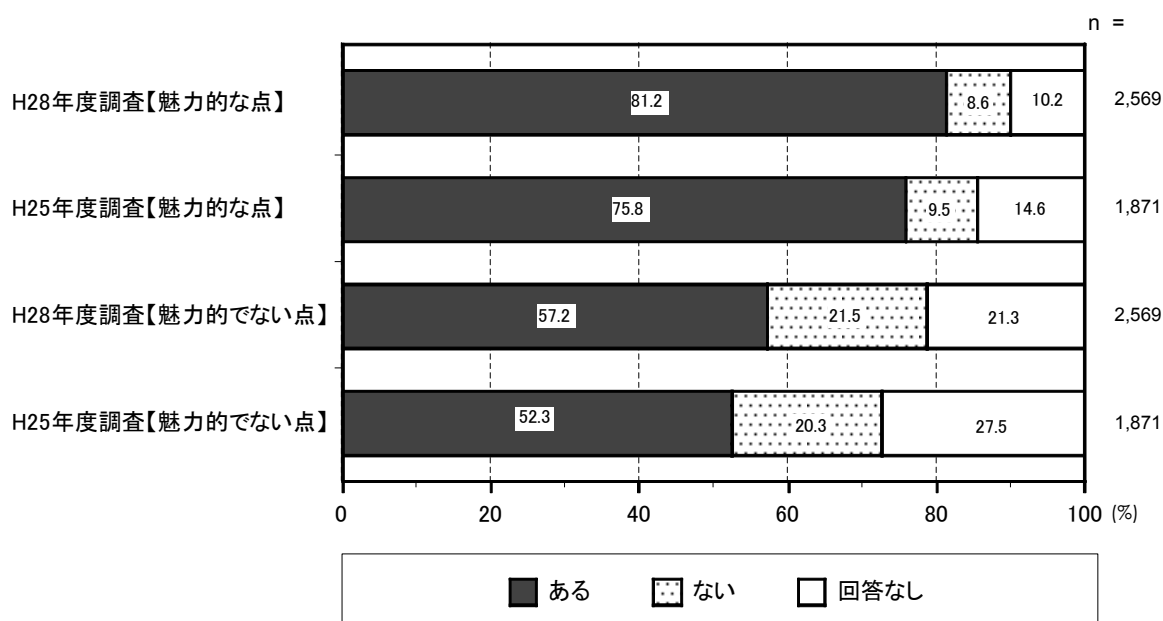


表 3-4-1 長久手の魅力的な点

分野	魅力的な点	意見数
健康 (計：133 件)	医療関係の充実	128
	医療費助成がある	2
	健康面への対応	3
子育て・教育 (計：181 件)	子育てしやすい、子育て支援の充実	97
	子ども・子育て世代が多い	47
	小中学校など教育環境などがよい	29
	その他（子どもが遊ぶ公園が充実している 等）	8
環境 (計：1,313 件)	自然豊か、自然が残っている	397
	緑が多い	197
	静か	123
	公園が多い	181
	環境がよい	137
	景観がよい	38
	空気や水がきれい	25
	田園があり適度に田舎で適度に都会	178
	ごみ対策が進んでいる	12
	その他（工場が少ない 等）	25
人や地域のつながり (計：72 件)	地域・人とのつながりがよい	60
	地域組織や活動が充実	12
防災・防犯 (計：94 件)	治安がよいなど安全・安心なまち	69
	自然災害が少ない	19
	その他（街灯がある、防災意識が高い 等）	6
福祉 (計：48 件)	福祉が充実している、福祉に力を入れている	40
	ボランティア活動が盛ん	6
	その他（高齢者が活躍している 等）	2
文化・生涯学習 (計：196 件)	歴史がある	49
	伝統・文化活動が盛ん	30
	文化・スポーツ等の施設が充実している	39
	文化的なまち	21
	生涯学習が盛ん	8
	大学が多く文化的	10
	万博開催地	9
	その他（ござらっせがある 等）	30
生活インフラ (計：1,625 件)	交通の便がよい	228
	商業施設の充実、店舗が多い	445
	買い物が便利	151
	駅やインターに近く名古屋に近いなどアクセスがよい	239
	日常生活の利便性	193
	住環境がよく、住みやすい	210
	リニモ、Nバス等公共交通機関が便利	89
	道路整備の充実	57
	公共施設	5
	その他	8

分野	魅力的な点	意見数
市政運営等について (計：65 件)	市政運営	31
	財政	5
	市長、市職員の対応等	25
	その他	4
まちや人のイメージ (計：619 件)	まちがきれい・新しい・発展しているなどのイメージ	329
	活気がある・のどかなどの雰囲気	121
	コンパクトなどまちの規模	41
	若い人が多い	41
	人口	12
	住民の気質	63
	その他	12
その他 (計：6 件)	その他	6
合 計		4,352

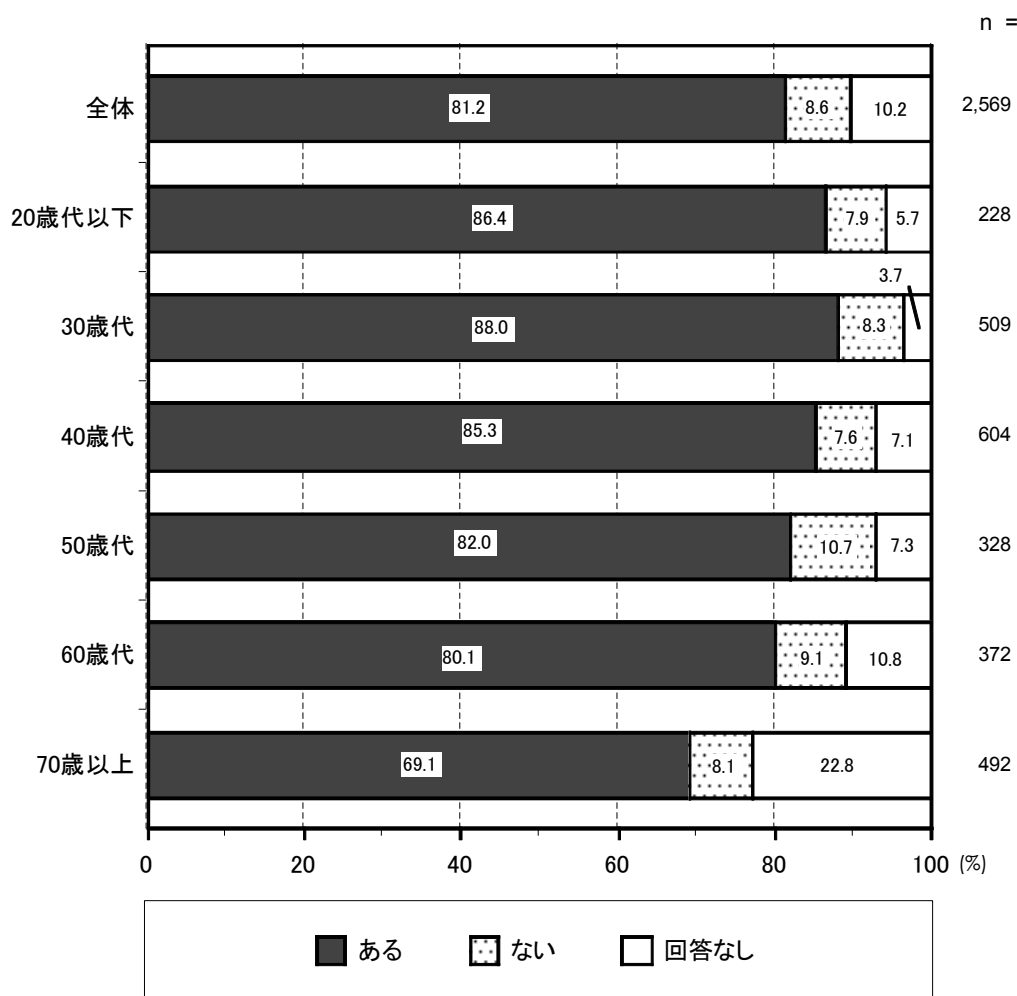
表 3-4-2 長久手の魅力的でない点

分野	魅力的でない点	意見数
健康 (計：34 件)	医療機関、診療科目が不足	23
	検診等の保健が充実していない	7
	その他	4
子育て・教育 (計：215 件)	子育て支援サービスや施設、情報が十分でない	40
	幼稚園・保育園が少ない、十分でない	38
	子どもの遊び場・居場所が不十分	14
	学童保育が少なく、トワイライトがない	39
	学校の教育内容や教育水準がよくない	26
	学校教育施設の数や内容、配置がよくない	45
	その他（保育料が高い、幼稚園のイベントが少ない 等）	13
環境 (計：209 件)	自然が減少している	37
	緑や田畑が減少している	22
	公園が少ない、施設や管理が不十分	25
	騒音がうるさい	15
	街並み景観がよくない	8
	環境衛生、環境美化が不十分	21
	ごみ対策が不十分	57
	大気、水質汚染や悪臭がある	13
	その他（亜炭鉱の掘削跡がある 等）	11
人や地域のつながり (計：117 件)	近所との付き合い、地域とのつながりが希薄	68
	旧態依然の体質、閉鎖的なところが残っている	43
	その他	6
防災・防犯 (計：149 件)	防災対策が不十分	3
	防災・防犯意識が不十分	37
	防犯対策が不十分	78
	治安がよくない	15
	交通安全対策が不十分	11
	警察署・交番が少ない	5

分野	魅力的でない点	意見数
福祉 (計：55 件)	高齢者福祉が不十分	18
	障害者福祉が不十分	1
	福祉行政が弱い	19
	福祉に偏りすぎ	8
	高齢パスがない	7
	その他	2
文化・生涯学習 (計：153 件)	文化・学習活動やイベントが少ない	31
	文化施設や生涯学習施設等が不十分	39
	図書館が充実していない	28
	スポーツ施設、内容が不十分	34
	その他（モリコロパーク、文化の家 等）	21
生活インフラ (計：1,317 件)	交通の便が悪い	185
	商業施設が少ない	51
	買い物等生活の利便性が悪い	14
	車がないと不便	61
	公共施設が少ない	8
	都市インフラ整備が不十分	55
	リニモ、Nバス等公共交通機関が不便	274
	道路整備が不十分	166
	急激な都市化が進んでいる	58
	商業施設が増えすぎている	25
	渋滞が多い	285
	地価、家賃が高い	35
	企業、就業場所が少ない	22
	交通量の増加	37
	その他（空き地の管理、区画整理 等）	41
市政運営等について (計：139 件)	市政がわかりにくい、市民の声が反映されない	28
	税金等が高い	67
	行政サービスがよくない	17
	市職員の対応が悪い	9
	その他（市議会議員が多すぎる、市庁舎が古い 等）	18
まちや人のイメージ (計：121 件)	まちに魅力がない	24
	活気がないなどのイメージの悪さ	10
	人口増加・人口減少等	49
	市民のモラルやマナーが悪い	33
	その他	5
その他 (計：39 件)	坂が多い	28
	名古屋市より特典が少ない	2
	その他	9
合 計		2,548

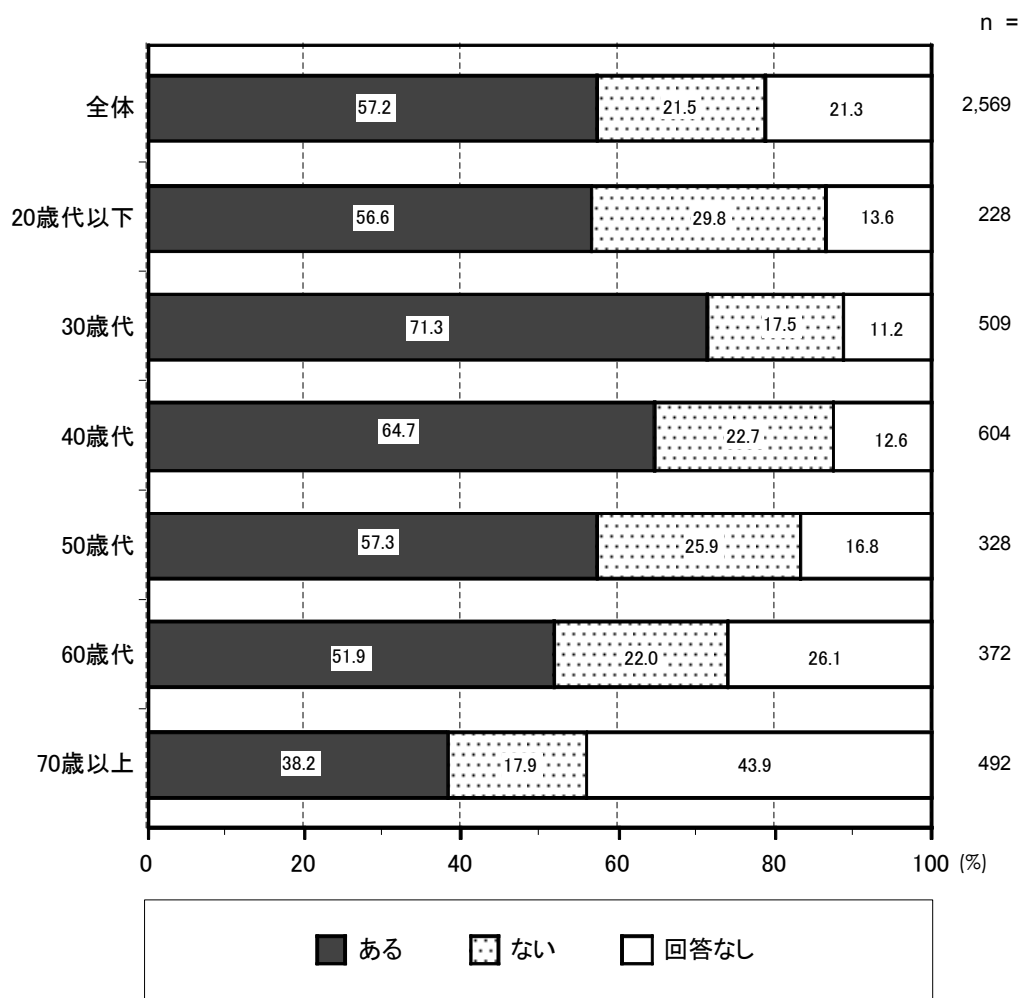
○「魅力的な点」について年齢別にみると、魅力的な点があるという回答は、30歳代（88.0%）で最も多く、次いで20歳代以下（86.4%）で多くなっています。30歳代以降は、年齢が上がるほど魅力的な点があるという回答が少なくなる傾向がみられます。そして、70歳以上では69.1%になります。その分、70歳以上の年齢層では、「回答なし」の割合が多くなっています（図3-4-2）。

図3-4-2 年齢別 「魅力的な点」



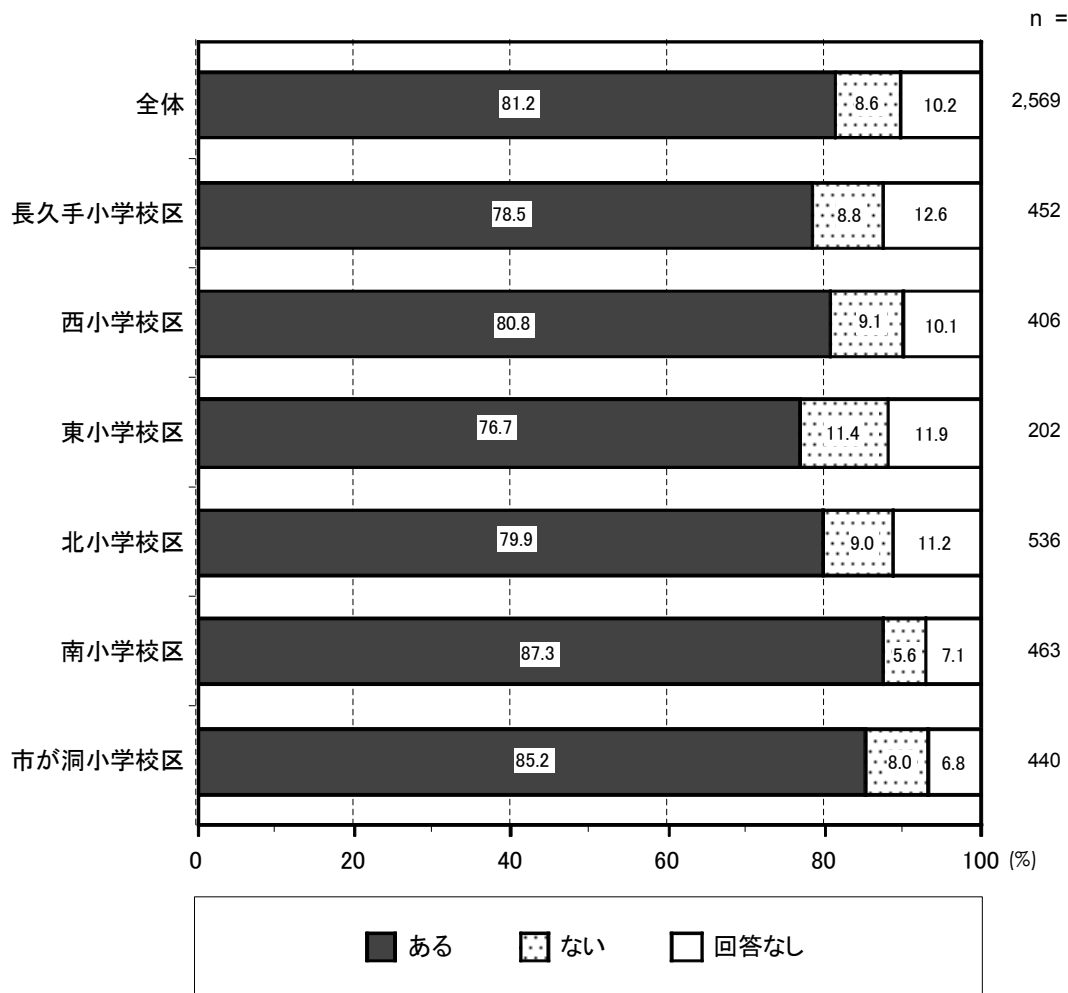
○「魅力的でない点」についても同様に、魅力的でない点があるという回答は30歳代（71.3%）で最も多く、それ以降年齢が上がるほど少なくなる傾向がみられ、70歳以上では38.2%になっています。その分、年齢が上がるほど「回答なし」の割合が多くなっており、70歳以上では43.9%を占めています（図3-4-3）。

図3-4-3 年齢別 「魅力的でない点」



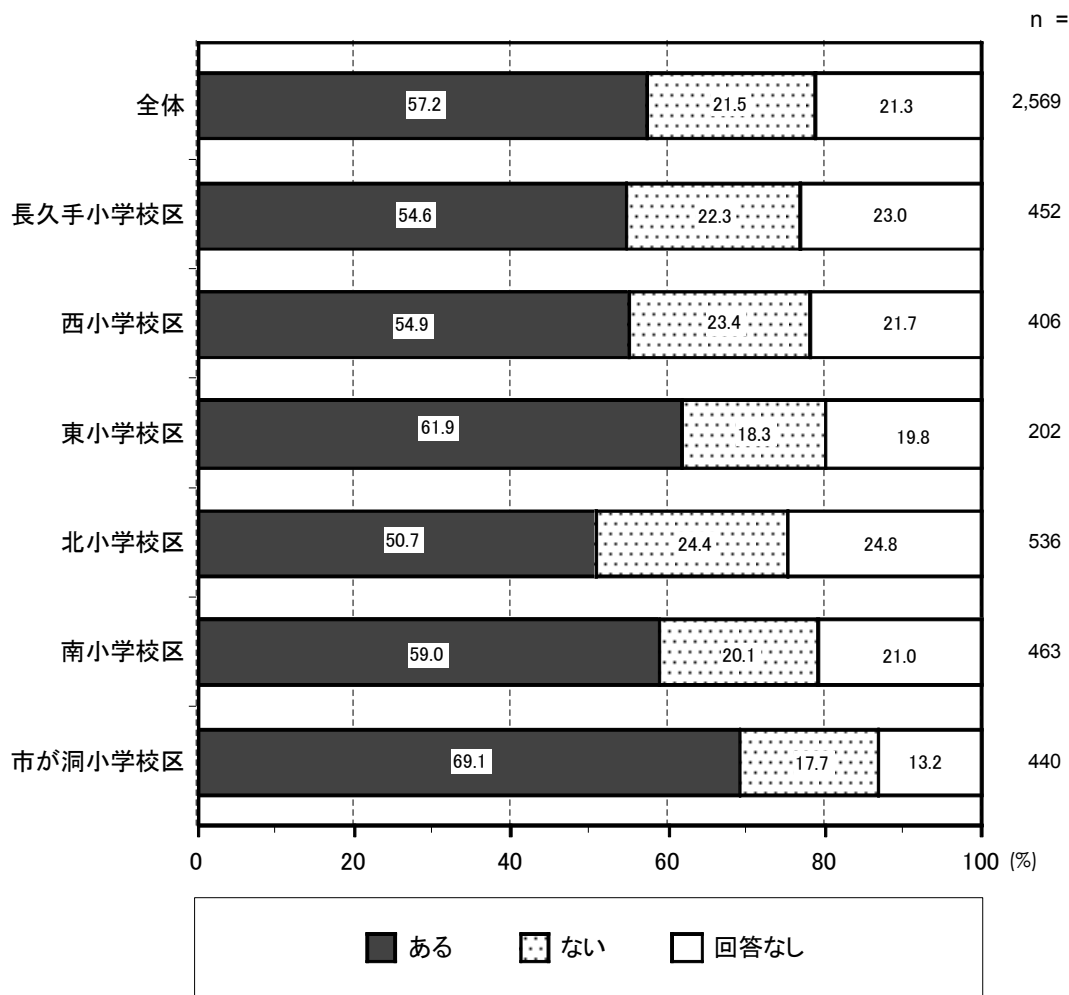
○「魅力的な点」について小学校区別にみると、魅力的な点があるという回答は、南小学校区（87.3%）で全体と比べて若干多くなっているものの、全般的に小学校区の違いによる大きな差はみられません（図3-4-4）。

図3-4-4 小学校区別 「魅力的な点」



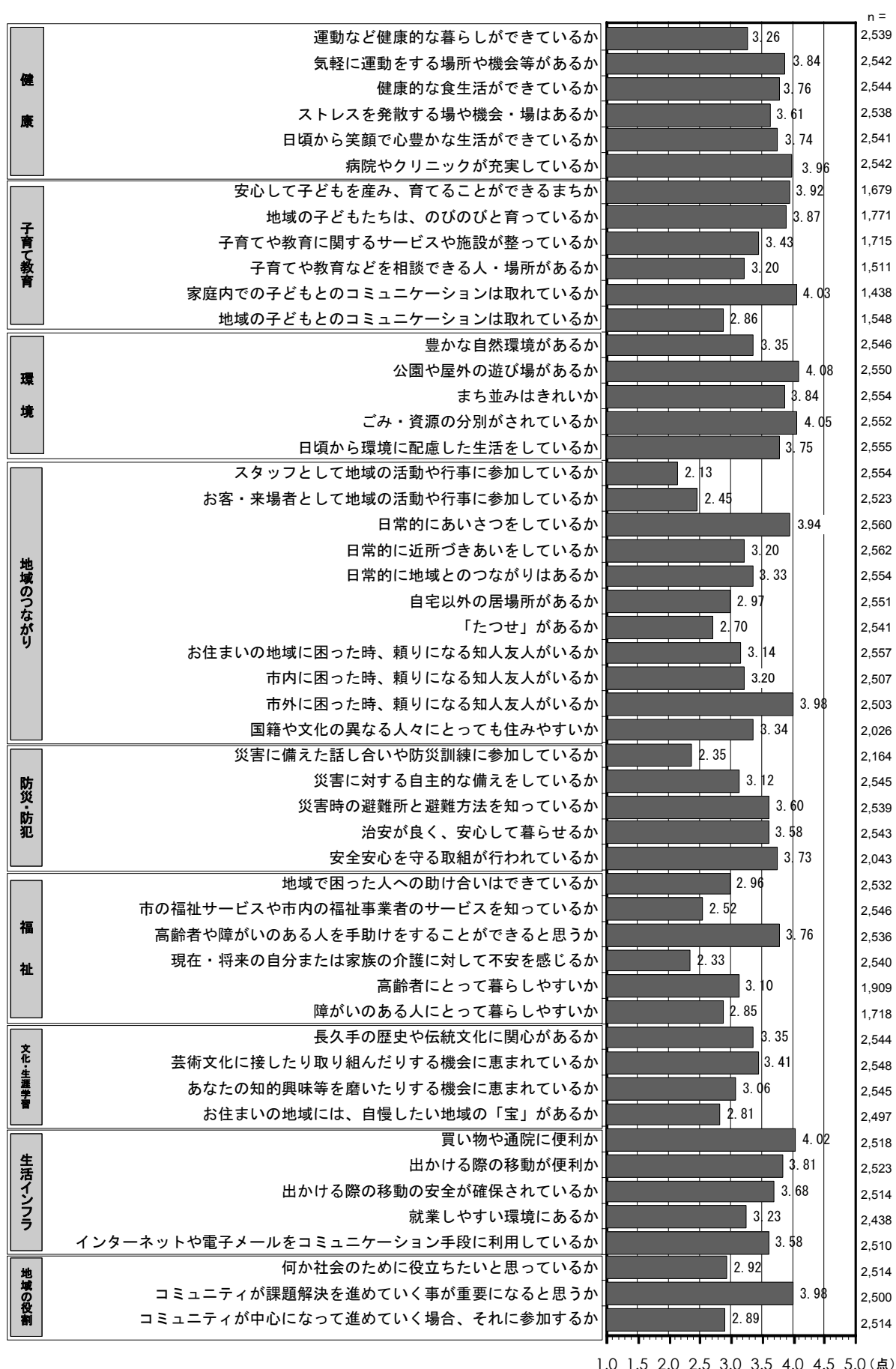
○「魅力的でない点」について小学校区別にみると、魅力的でない点があるという回答は市が洞小学校区（69.1％）で全体と比べて多くなっています。逆に北小学校区（50.7％）で全体と比べて若干少なくなっています（図3-4-5）。

図3-4-5 小学校区別 「魅力的でない点」



第4章 暮らしやお住まいの地域（生活実感）について

図 4-0-1 暮らしやお住まいの地域（生活実感）について（評点一覧）



1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0 4.5 5.0(点)

図 4-0-2 暮らしやお住まいの地域（生活実感）について（評点一覧）

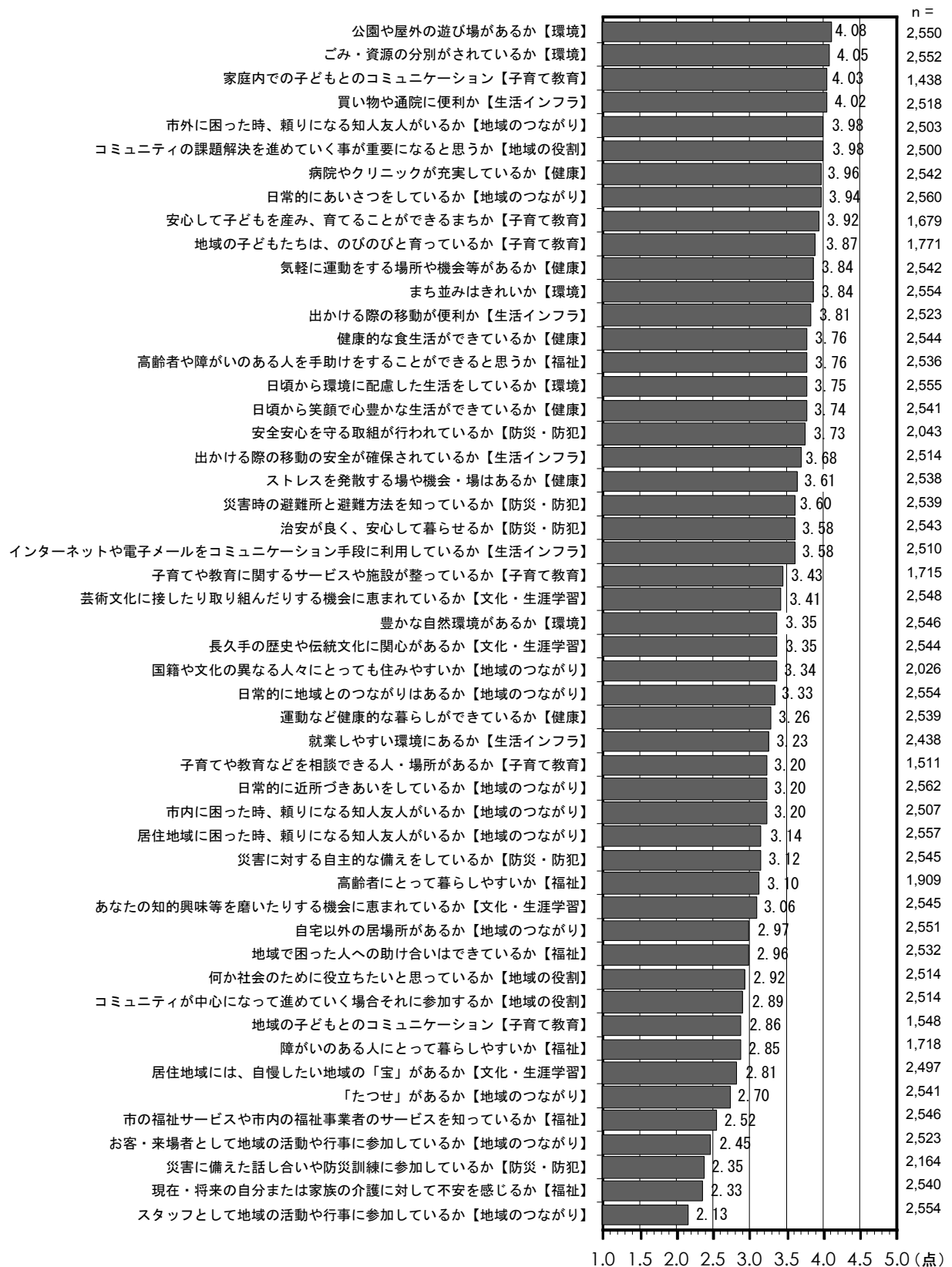


図 4-0-3 暮らしやお住まいの地域（生活実感）について（評点：前回比較）

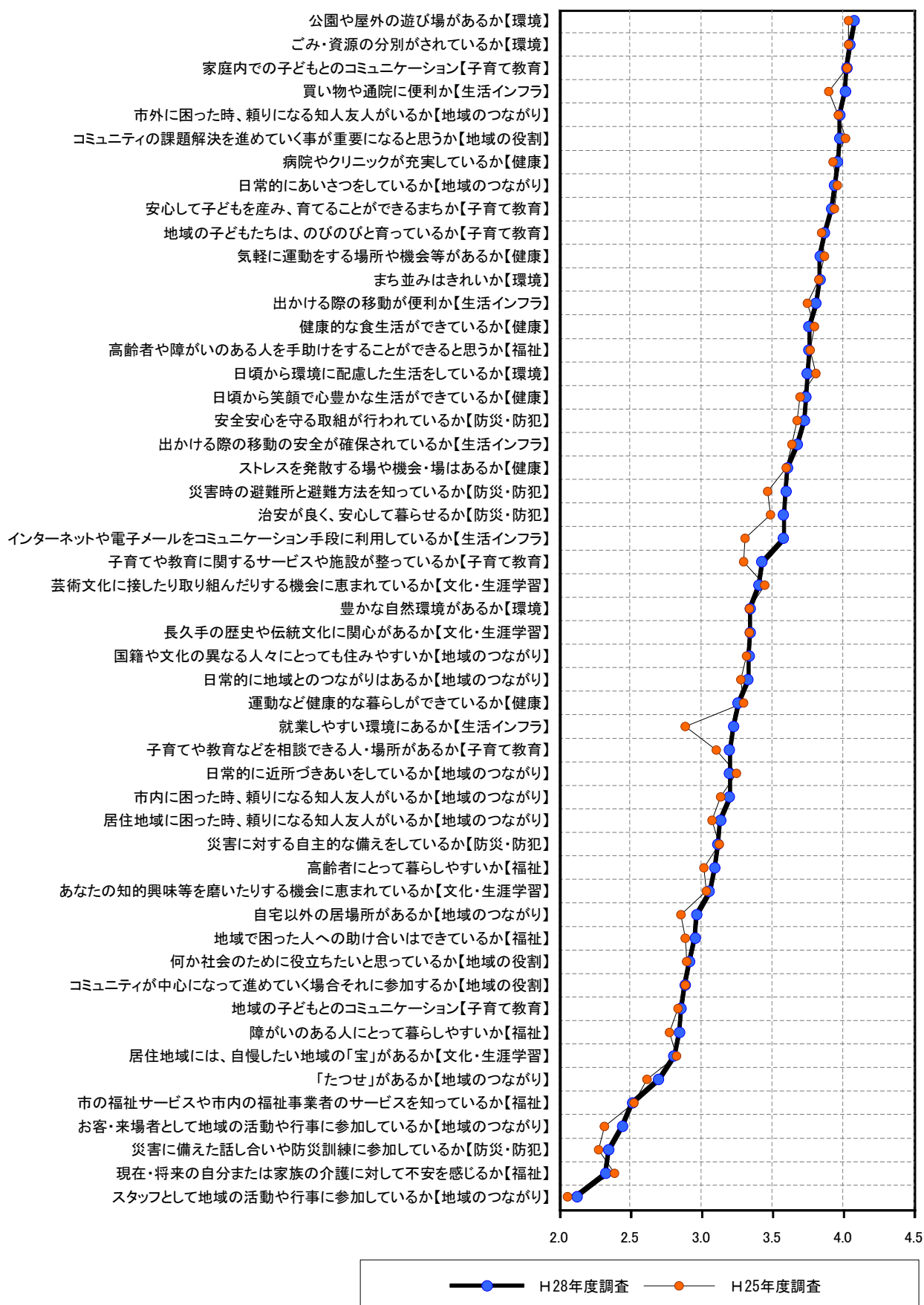
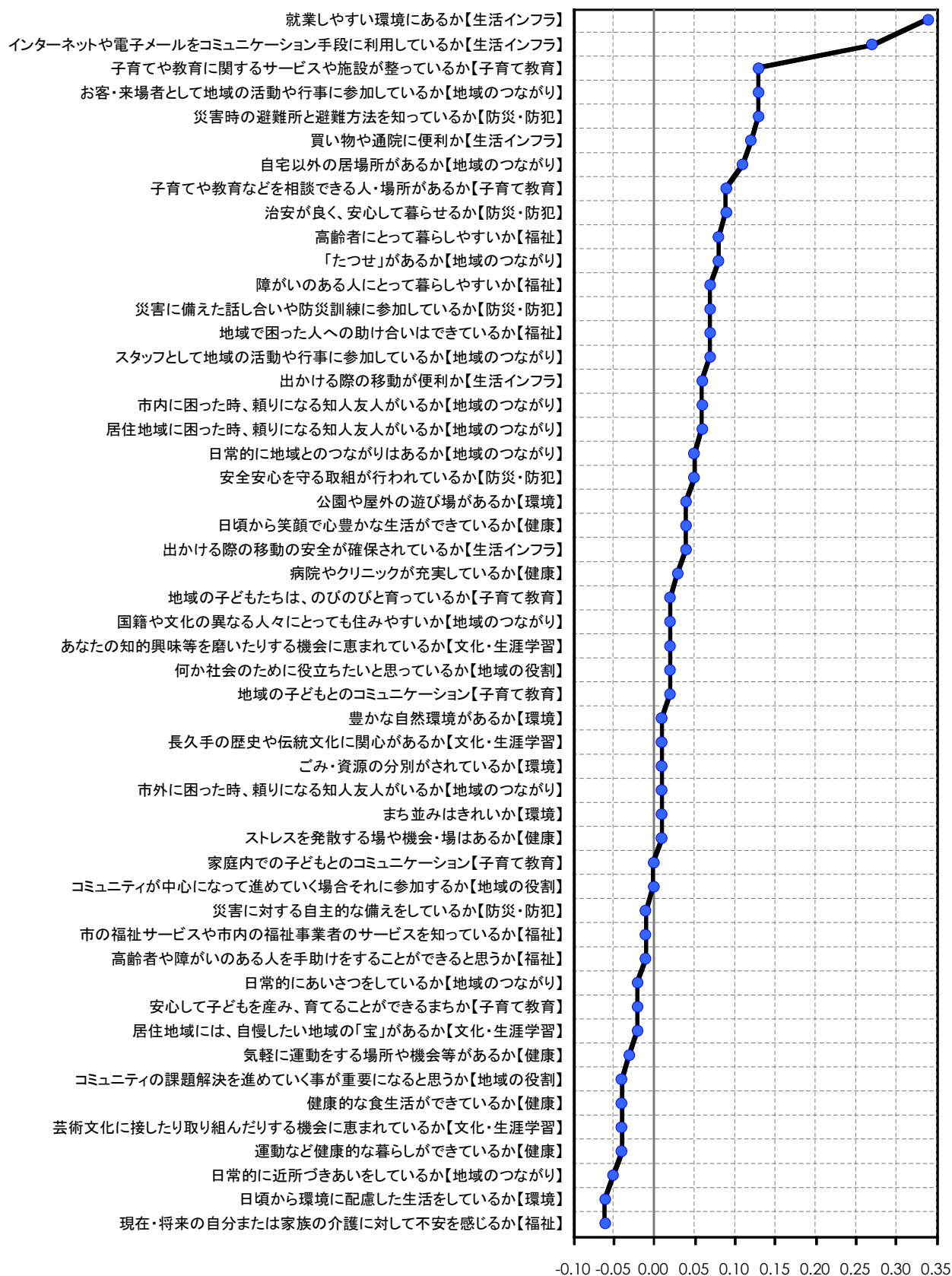


図 3-0-9 暮らしやお住まいの地域（生活実感）について（評点差分：H28-H25）



要点

「病院やクリニックが充実していると思うか」の評点が最も高く、他の項目の評点も比較的高い水準にある一方で、「（体を動かしたり運動したりと）健康的な暮らしができていると思うか」の評点が、他の項目に比べて若干目立って低くなっています。

「（体を動かしたり運動したりと）健康的な暮らしができていると思うか」については、若い世代の評点が低くなっている一方で、70歳代や60歳代の評点が高くなっていることが特徴としてみられます。

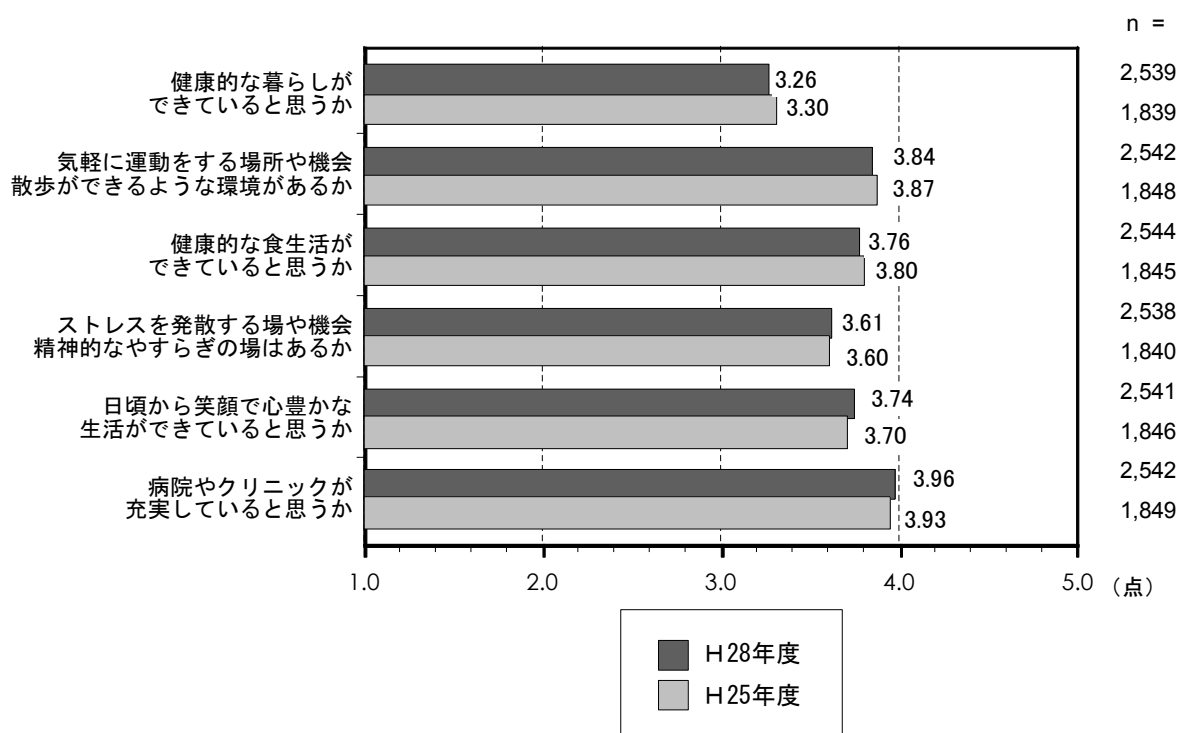
全体

○健康に関する6項目のうち、「病院やクリニックが充実していると思うか」の評点が3.96と最も高く、次いで「気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか」（3.84）、「健康的な食生活ができていると思うか」（3.76）の順となっています。

○一方、「（体を動かしたり運動したりと）健康的な暮らしができていると思うか」は、3.26と他の項目に比べて評点が低くなっています。

○このように、運動する場所や機会、環境が恵まれていると実感し、健康的な食生活ができているという人の割合に比べて、体を動かしたりするといった健康的な暮らしが実践できているという実感は低い水準にとどまっています（図4-1-1）。

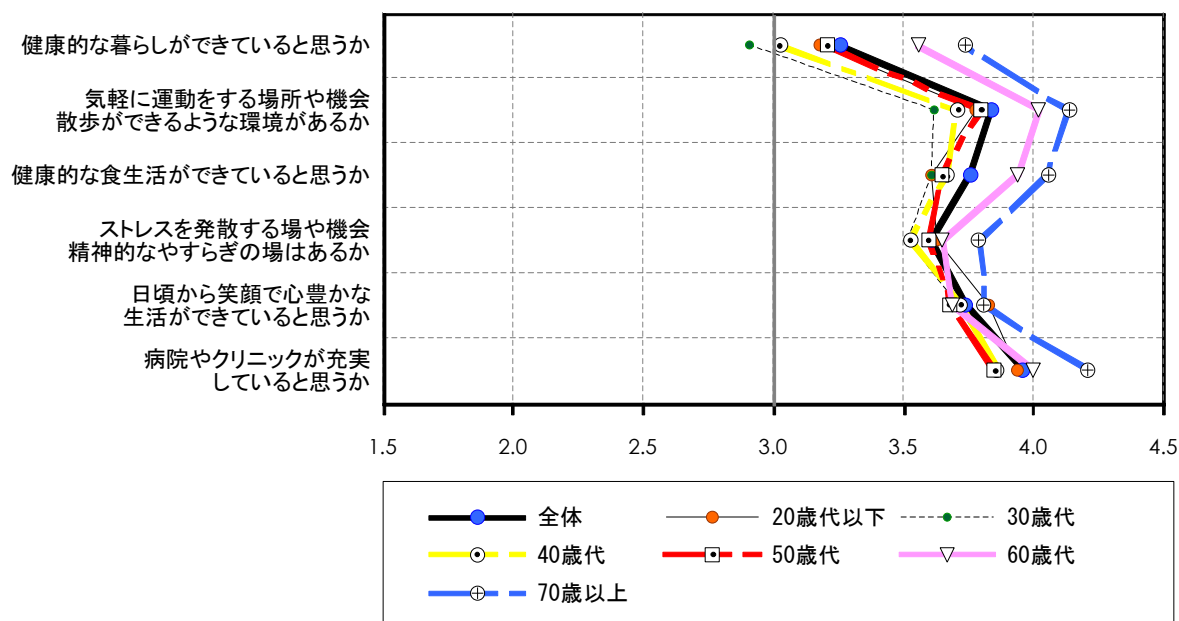
図4-1-1 健康について（評点：前回比較）



年齢別

- 年齢別にみると、「(体を動かしたり運動したりと) 健康的な暮らしができていると思うか」において年齢差がみられます。比較的時間に余裕のある年齢層の70歳代(3.74)や60歳代(3.56)の評点が高くなっており、若い年齢層に比べると運動を実践しているような状況がうかがえます。
- 加えて、70歳代では、「日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか」を除く残りの5項目の評点が他の年齢層と比べて最も高くなっており、健康的な暮らしや運動環境、医療施設の充実度などを実感している年齢層であるといえます(図4-1-2)。

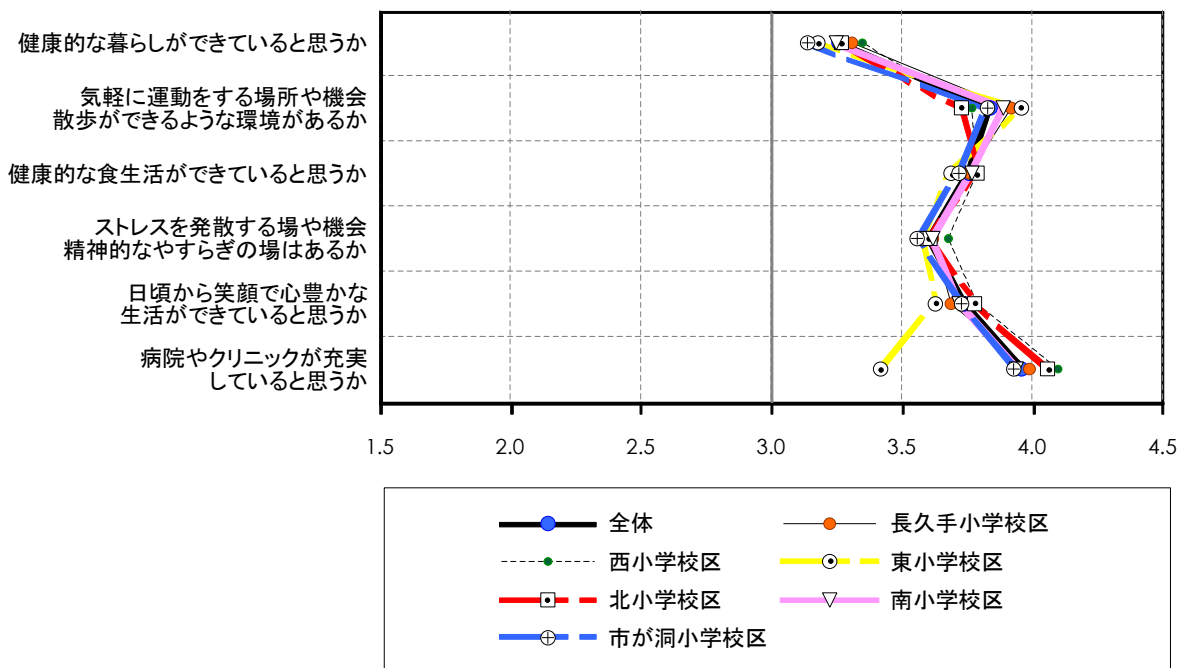
図4-1-2 年齢 「健康について(評点)」



小学校区別

- 小学校区別にみると、「病院やクリニックが充実していると思うか」については、東小学校区の評点が低くなっています。
- 「病院やクリニックが充実していると思うか」以外の項目については、小学校区の違いによる差はほとんどみられません(図4-1-3)。

図4-1-3 小学校区 「健康について(評点)」



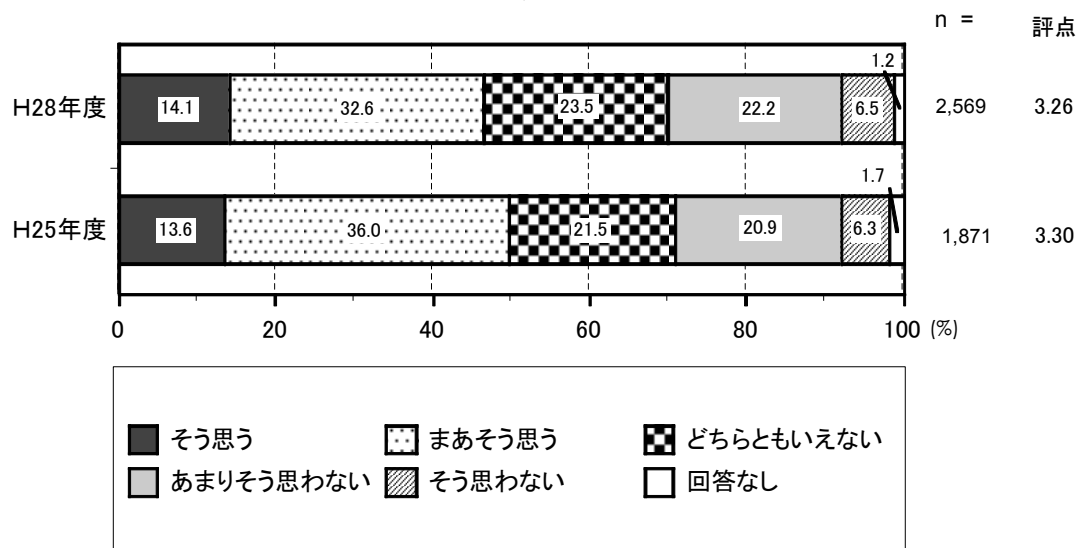
(1) 健康的な暮らし (問8 (1))

問8 (1) 体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていると思いますか。【〇は1つ】

○「(体を動かしたり運動したりと) 健康的な暮らしができていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は46.7%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計(28.7%)を18.0ポイント上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-1-4)。

図4-1-4 健康的な暮らし (前回比較)



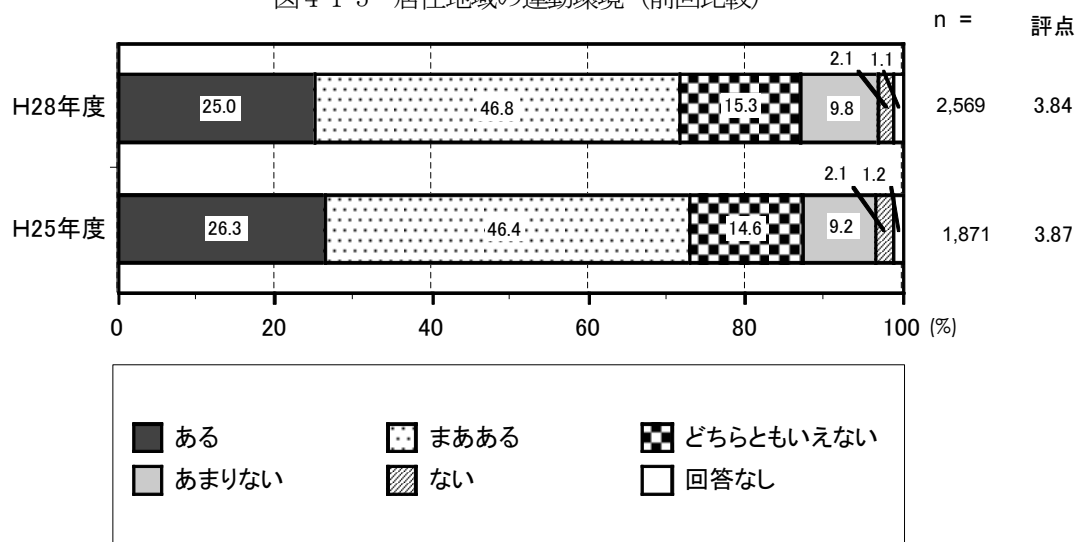
(2) 居住地域の運動環境 (問8 (2))

問8 (2) お住まいの地域では、気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境がありますか。【〇は1つ】

○「気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか」について、「ある」と「まあある」を合わせた割合は71.8%となっており、「あまりない」と「ない」の合計(11.9%)を59.9ポイントも上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-1-5)。

図4-1-5 居住地域の運動環境 (前回比較)



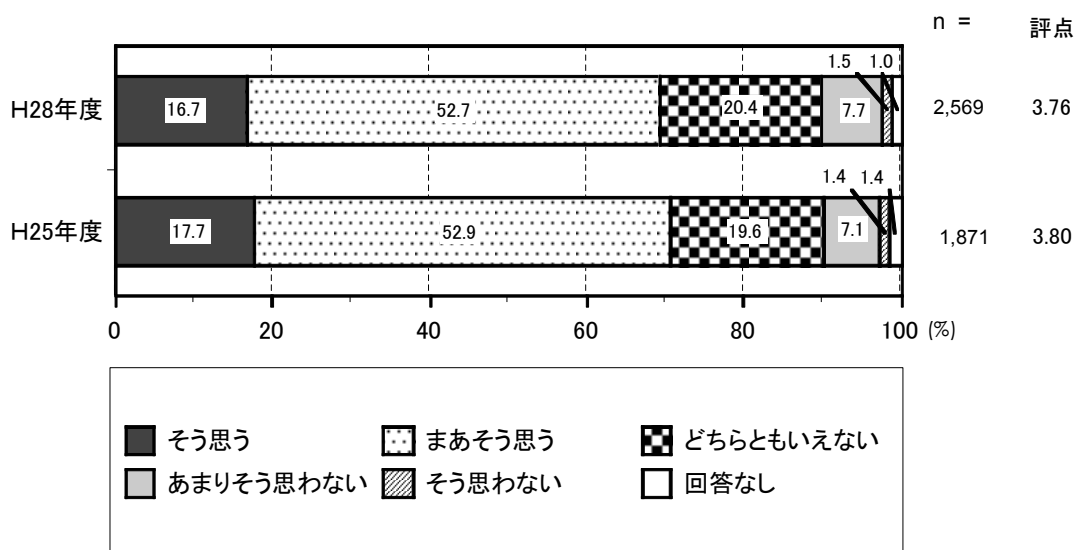
(3) 健康的な食生活 (問8 (3))

問8 (3) 健康的な食生活ができていると思いますか。【〇は1つ】

○「健康的な食生活ができていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は69.4%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計(9.2%)を60.2ポイントも上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-1-6)。

図4-1-6 健康的な食生活 (前回比較)



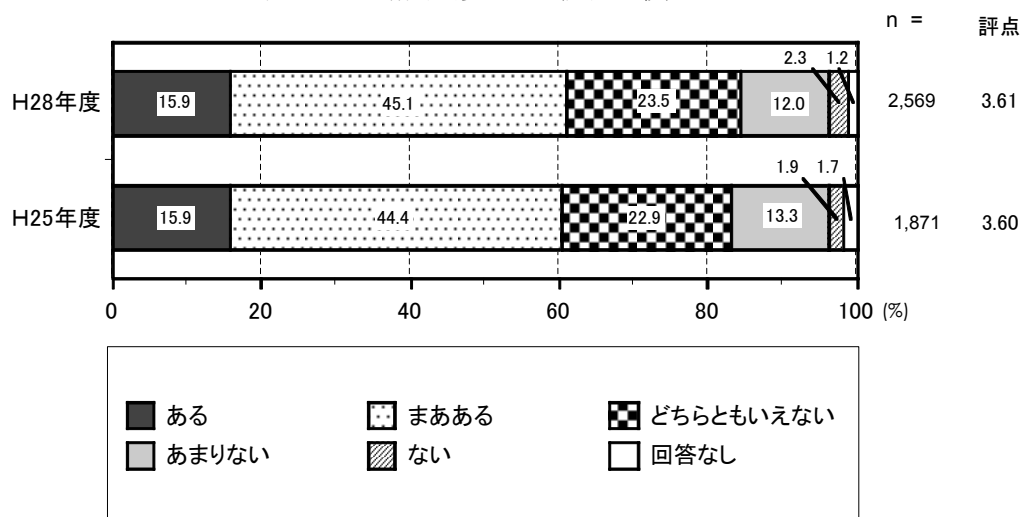
(4) 精神的安らぎ (問8 (4))

問8 (4) ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はありますか。【〇は1つ】

○「ストレスを発散する場や機会、精神的な安らぎの場があるか」について、「ある」と「まあある」を合わせた割合は61.0%となっており、「あまりない」と「ない」の合計(14.3%)を46.7ポイント上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-1-7)。

図4-1-7 精神的安らぎ (前回比較)



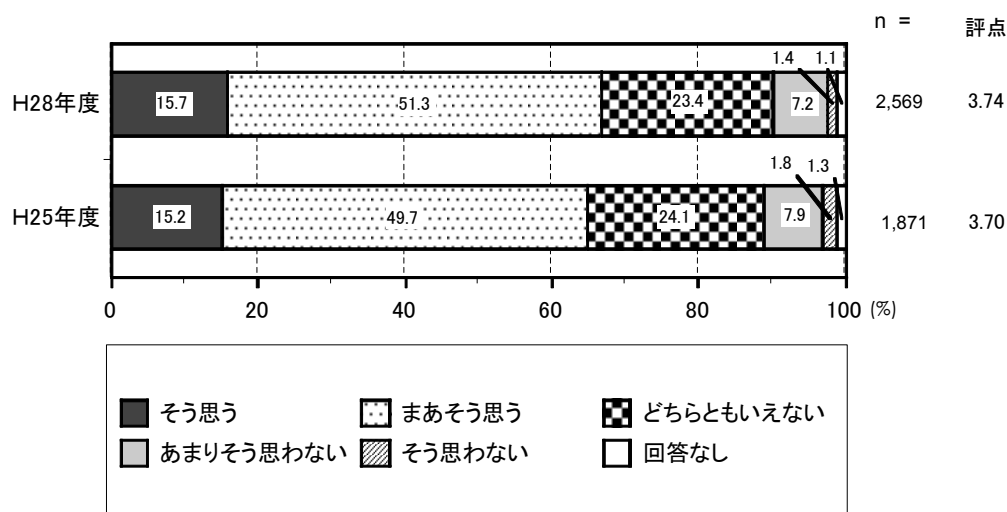
(5) 心豊かな生活 (問8 (5))

問8 (5) 日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思いますか。【○は1つ】

○「日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は67.0%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計(8.6%)を58.4ポイントも上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-1-8)。

図4-1-8 心豊かな生活(前回比較)



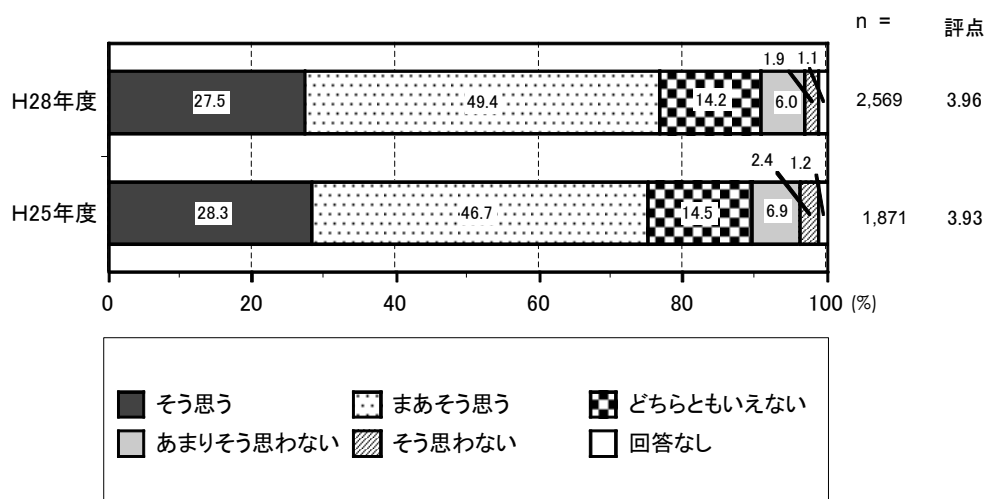
(6) 病院等の充実度 (問8 (6))

問8 (6) お住まいの地域では、病院やクリニックが充実していると思いますか。【○は1つ】

○「(お住まいの地域では) 病院やクリニックが充実していると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は76.9%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計(7.9%)を69.0ポイントも上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-1-9)。

図4-1-9 病院等の充実度(前回比較)



要点

「家庭内での子どもとのコミュニケーション」については比較的十分取れているようですが、「居住地域の子どもとのコミュニケーション」についてはあまり十分ではないようです。

また、安心して子どもを産み育てられることができるまちや、地域の子どもたちがのびのび育っているまちとしての評点に比べて、子育て・教育などについて相談できる人・場所についての評点が低い状況が見受けられます。

全体

○子育て・教育に関する6項目のうち、「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」の評点が4.03と最も高くなっています。その一方で、「お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」の評点は2.86と最も低くなっています。

○子どもとのコミュニケーションについて、家庭内での子どもとのコミュニケーションは比較的十分であるが、地域の子どもとのコミュニケーションについてはあまり十分でない状況であるといえます。

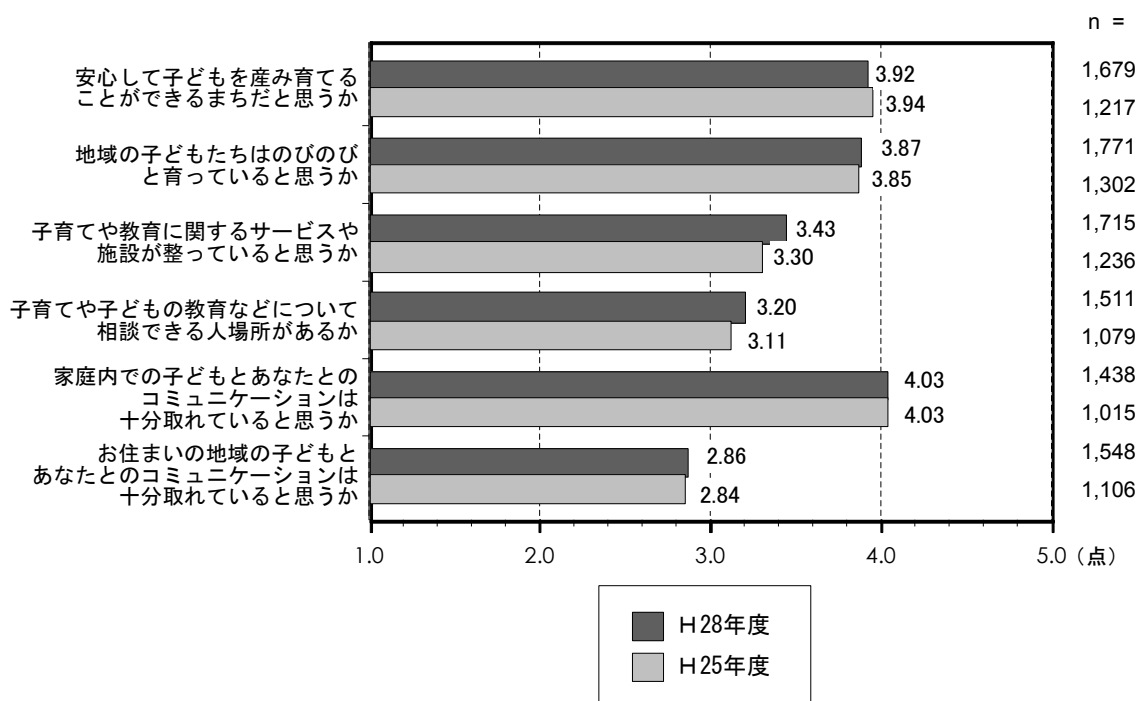
○「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」（4.03）に次いで「安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか」（3.92）と「地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか」（3.87）の評点が高くなっています。

○一方、「子育てや子どもの教育などについて相談できる場所があるか」（3.20）と「子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか」（3.43）の評点は上記の3項目に比べて低くなっています。

○このように、長久手は、安心して子どもを産み育てられるまちや地域の子どもたちがのびのび育っていることについての評点に比べて、子育て・教育に関するサービスや施設、相談できる人・場所の評点は十分な評点が得られていないといえます。

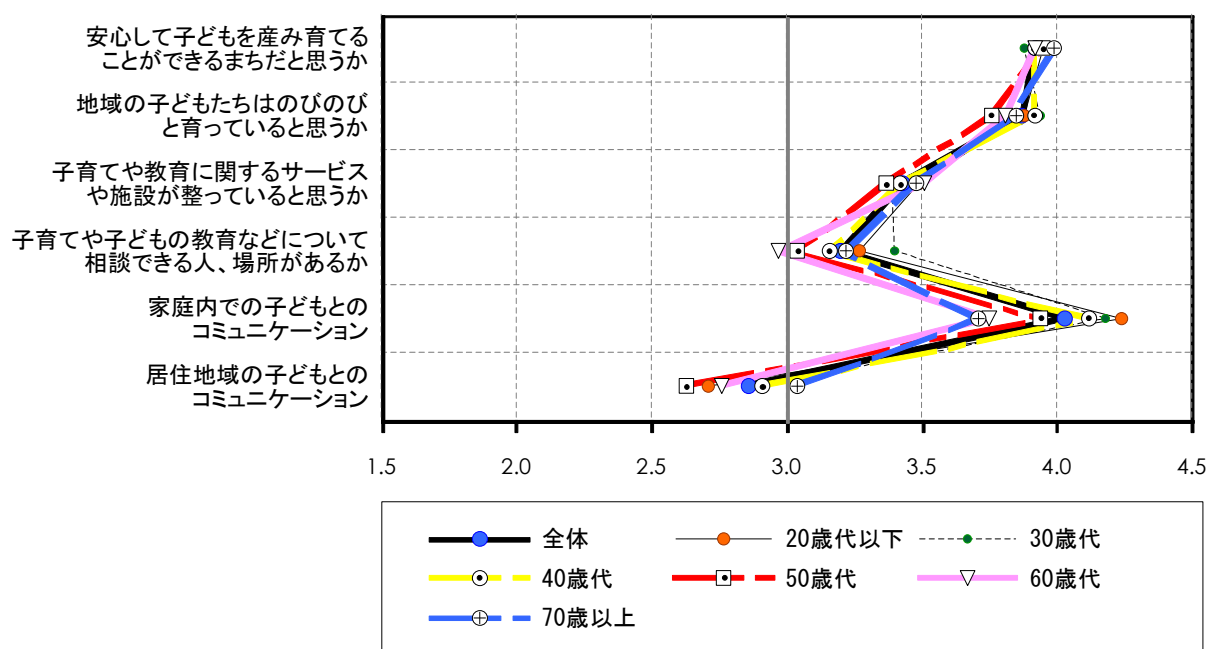
○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-2-1）。

図4-2-1 子育て・教育について（評点：前回比較）



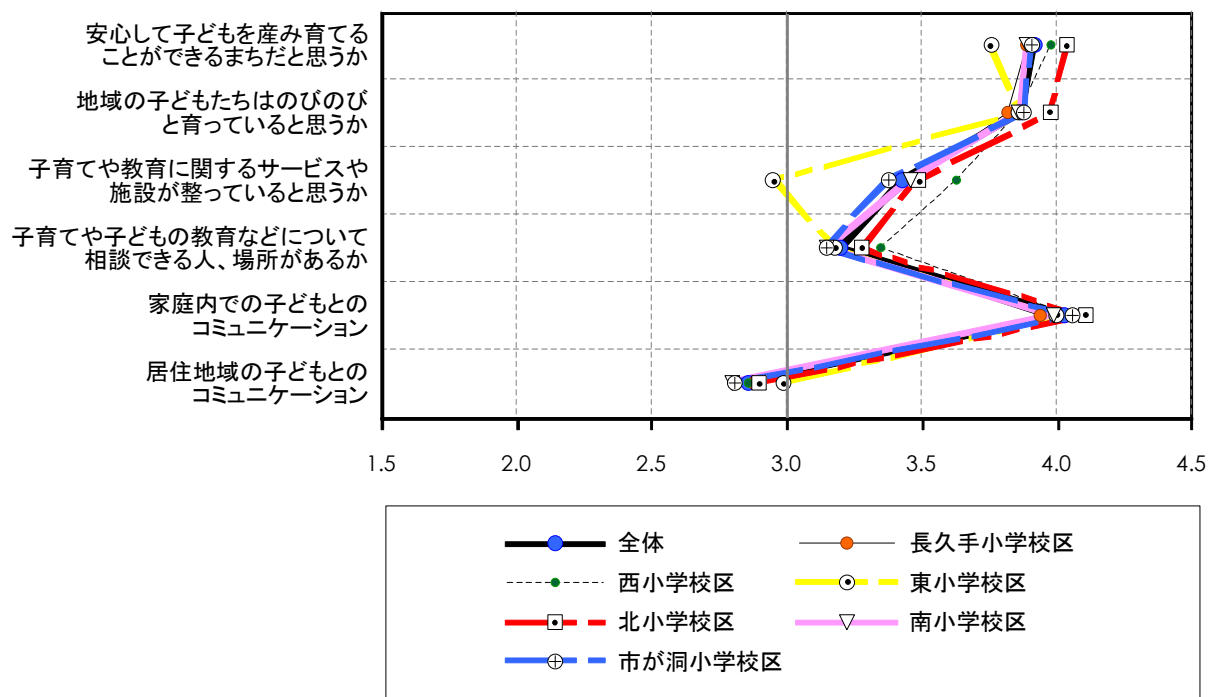
○年齢別にみると、「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」については、20歳代以下（4.24）の評点が高くなっている一方で、70歳代以上（3.71）や60歳代（3.75）、50歳代（3.94）といった、子育て世代ではない中高年層における評点が全体よりも低くなっています（図4-2-2）。

図4-2-2 年齢 「子育て・教育について（評点）」



○小学校区別にみると、東小学校区では「子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか」(2.95)と「安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか」(3.76)が他の小学校区に比べて若干低くなっています(図4-2-3)。

図4-2-3 小学校区 「子育て・教育について(評点)」



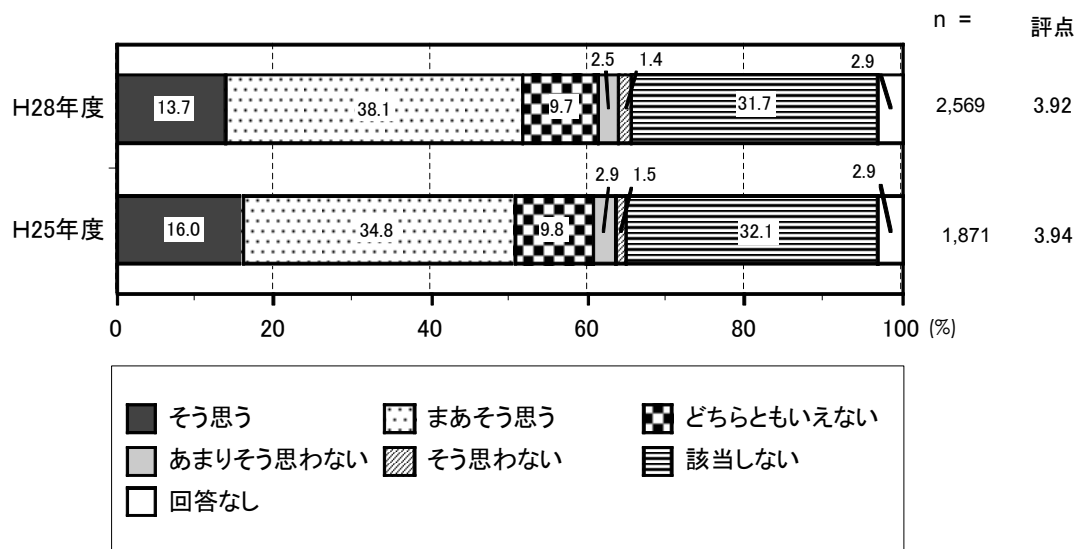
(1) 出産・育児 (問9 (1))

問9 (1) 長久手市は、安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思いますか。【〇は1つ】

○「安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか」について、「そう思う」(13.7%)と「まあそう思う」(38.1%)を合わせた割合は51.8%となっていますが、「該当しない」(31.7%)を除けば75.8%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計(「該当しない」を除けば5.7%に相当)を70.1ポイントも上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-2-4)。

図4-2-4 出産・育児 (前回比較)



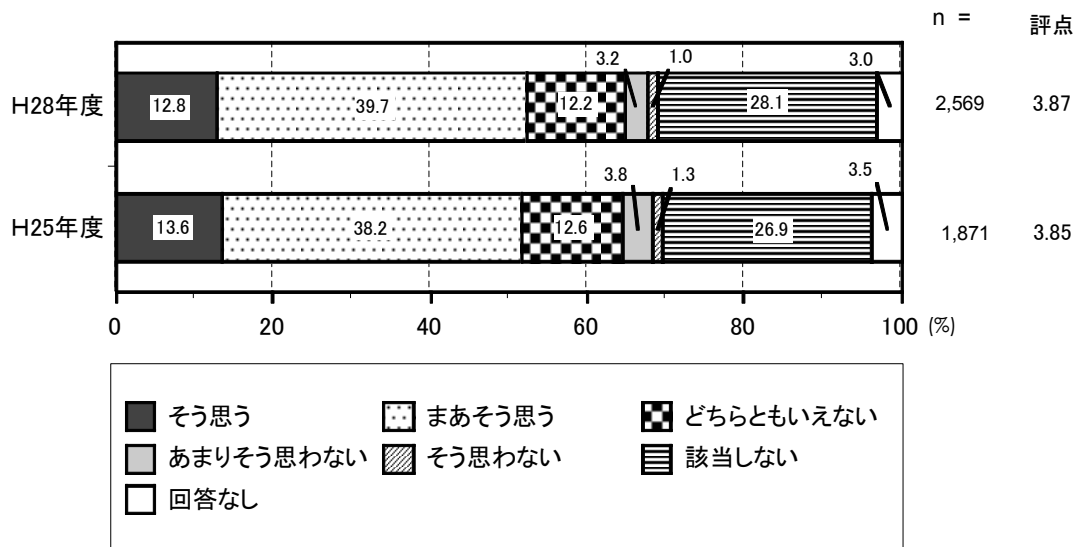
（２）地域における子どもの成長（問９（２））

問９（２） お住まいの地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思いますか。【○は１つ】

○「地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は52.5%となっていますが、「該当しない」（28.1%）を除けば73.0%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば5.8%に相当）を67.2ポイントも上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-2-5）。

図4-2-5 地域における子どもの成長（前回比較）



(3) 地域における子育て環境（問9（3））

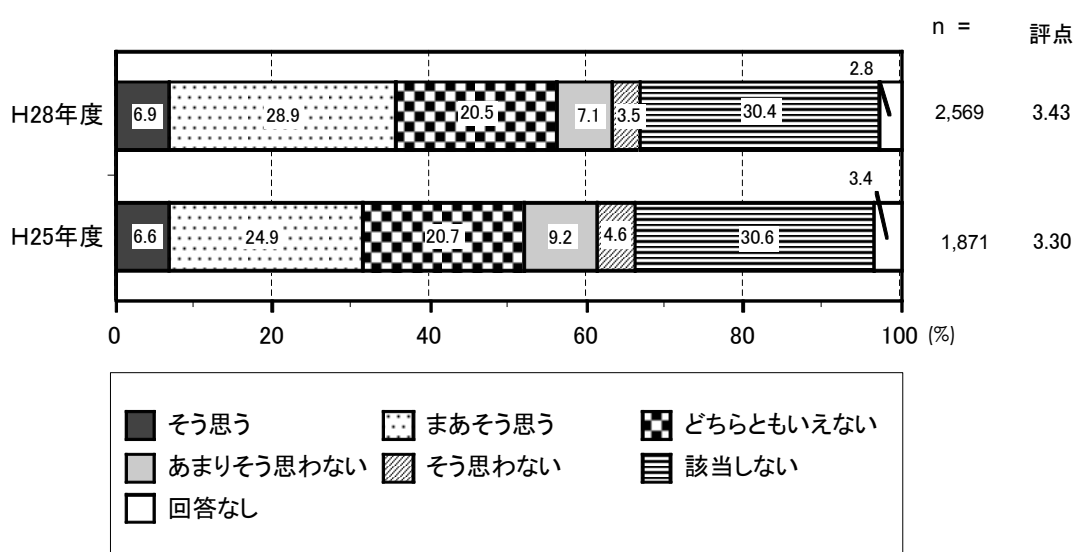
問9（3） お住まいの地域には、子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思いますか。

【〇は1つ】

○「子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は35.8%となっていますが、「該当しない」（30.4%）を除けば51.4%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば15.2%に相当）を36.2ポイント上回っています。

○平成25年度調査結果と比べて、「まあそう思う」の割合が4.0ポイント高くなっており、わずかながら子育てや教育環境に関するサービスが整っていると感じる人が増えています（図4-2-6）。

図4-2-6 地域における子育て環境（前回比較）



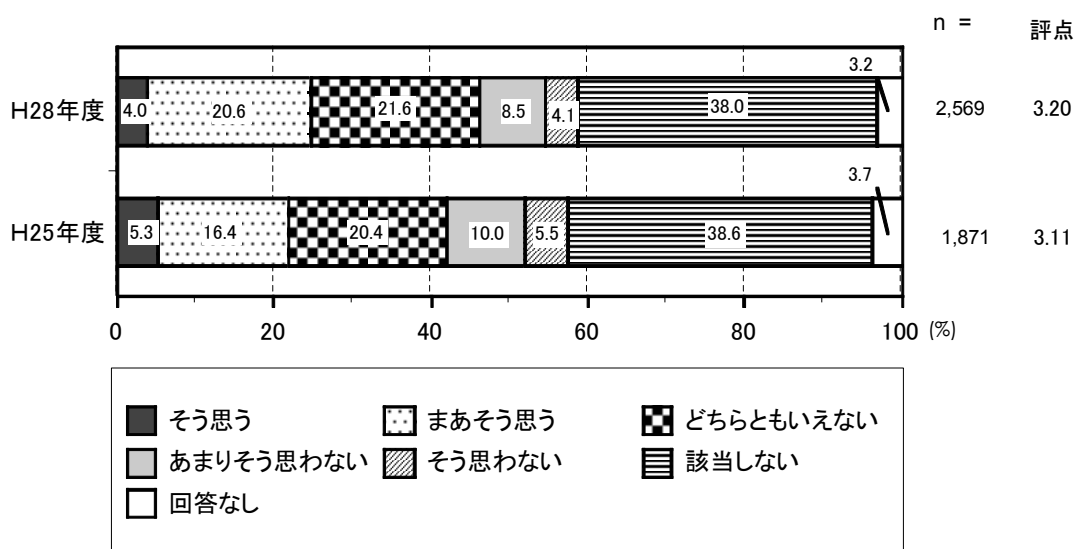
(4) 子育て・教育に関する相談（問9（4））

問9（4） お住まいの地域には、子育てや子どもの教育などについて相談できる人がいる、あるいは、相談できる場所がありますか。【〇は1つ】

○「子育てや子どもの教育などについて相談できる人、相談できる場所があると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は24.6%となっていますが、「該当しない」（38.0%）を除けば39.7%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば20.3%に相当）を19.4ポイント上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-2-7）。

図4-2-7 子育て・教育に関する相談（前回比較）



(5) 家庭内における子どもとのコミュニケーション (問9 (5) -1)

問9 (5) 子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。【〇は1つ】

①家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーション

(6) 地域における子どもとのコミュニケーション (問9 (5) -2)

問9 (6) 子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。【〇は1つ】

②お住まいの地域の子どものコミュニケーション

○「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は45.3%となっていますが、「該当しない」(41.1%)を除けば76.9%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計(「該当しない」を除けば4.2%に相当)を72.7ポイントも上回っています(図4-2-8)。

○「お住まいの地域の子どものコミュニケーションが取れていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は17.8%となっていますが、「該当しない」(36.8%)を除けば28.2%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計(「該当しない」を除けば32.1%に相当)を3.9ポイント下回っています(図4-2-9)。

○このように、家庭内での子どもとのコミュニケーションに比べて、地域の子どものコミュニケーションについては十分でない状況がうかがえます。

○なお、平成25年度調査結果と比べて双方ともほとんど変化はみられません。

図4-2-8 家庭内における子どもとのコミュニケーション (前回比較)

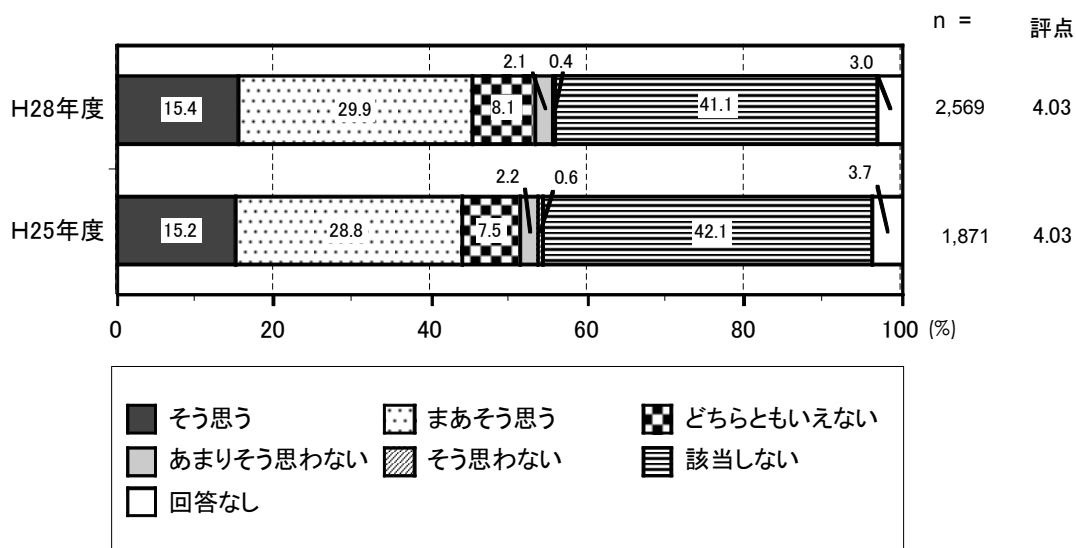
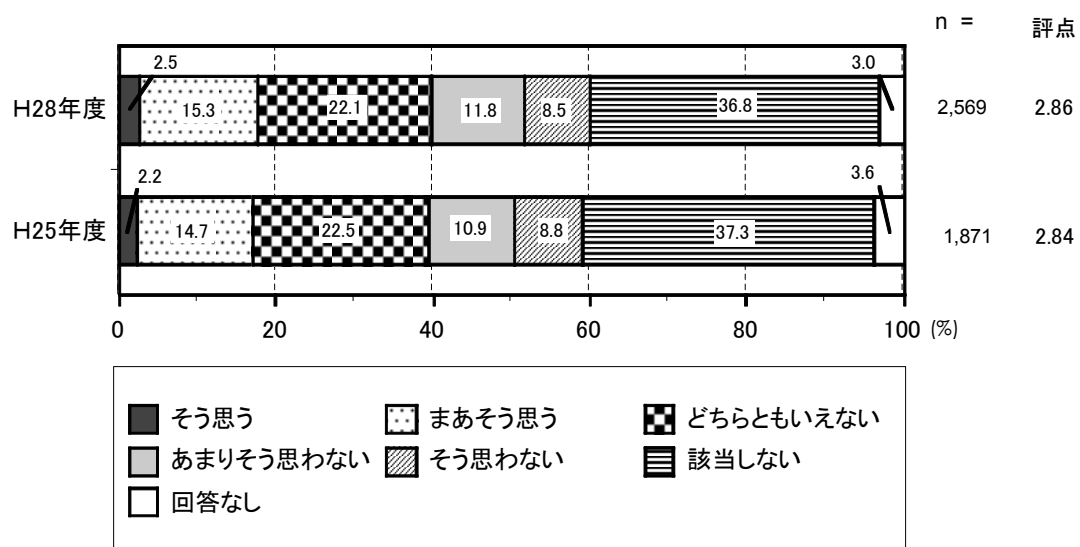


図 4-2-9 地域における子どもとのコミュニケーション（前回比較）



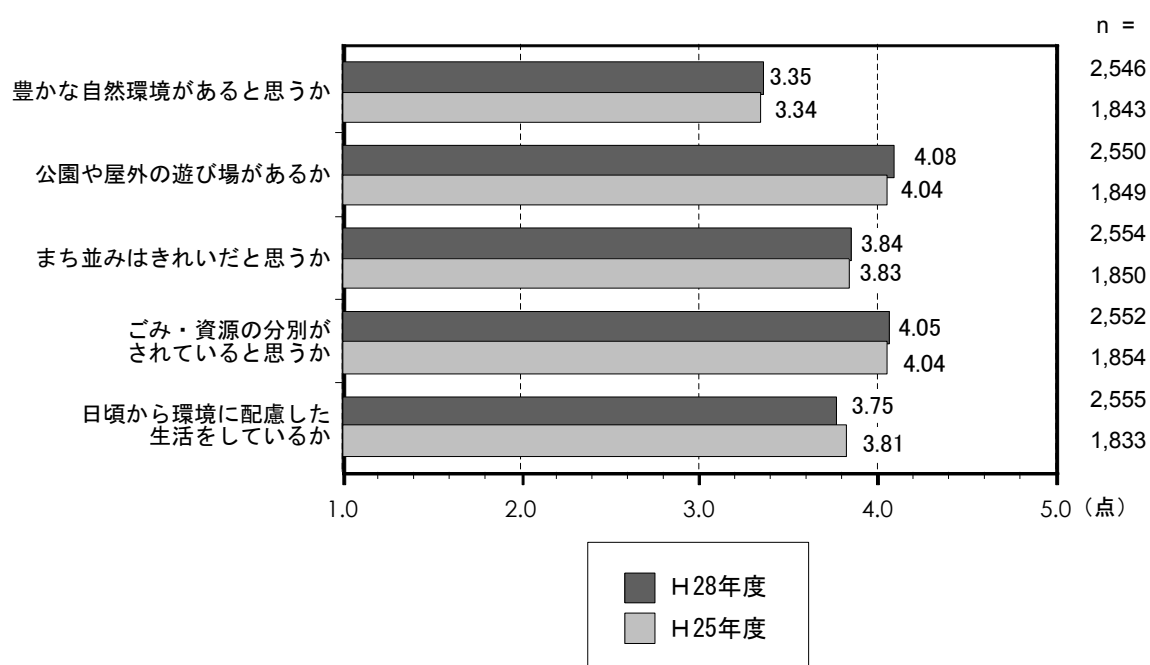
要点

公園や屋外の遊び場、ごみ・資源の分別の実践に対する実感は比較的高くなっています。その一方で、自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど豊かな自然環境があるという実感は、他の項目に比べて低くなっています。

全体

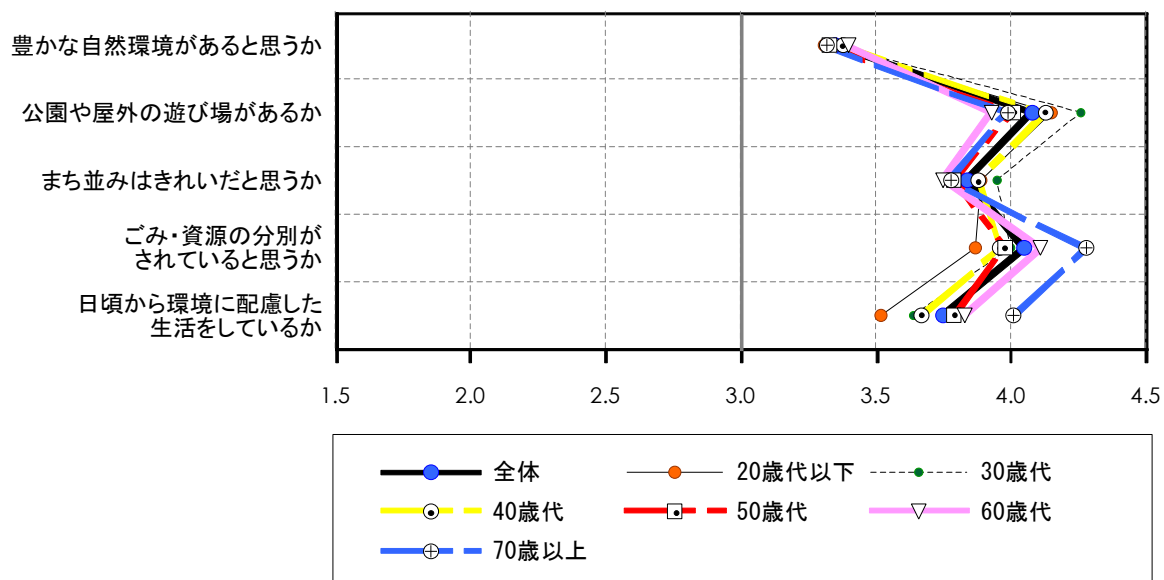
- 自然やごみなどの環境に関する5項目のうち、「公園や屋外の遊び場があると思うか」の評点が4.08と最も高く、次いで「ごみ・資源の分別がされていると思うか」が4.05と高くなっています。
- 一方、「（自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど）豊かな自然環境があると思うか」の評点は3.35と、他の項目に比べて低くなっています。
- 平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-3-1）。

図4-3-1 自然やごみなどの環境について（評点：前回比較）



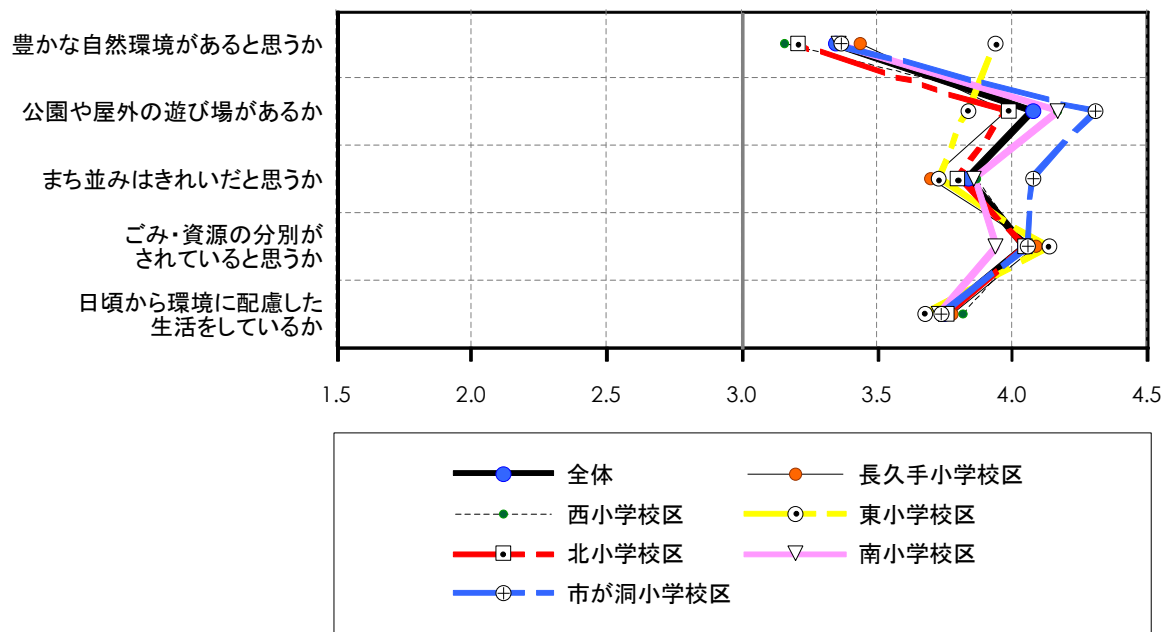
○年齢別にみると、「ごみ・資源の分別がされていると思うか」、「日頃から環境に配慮した生活をしているか」については、70歳以上で高く、20歳代以下で低くなっています。また、「公園や屋外の遊び場があるか」については、30歳代の評点が高くなっています（図4-3-2）。

図4-3-2 年齢 「自然やごみなどの環境について（評点）」



- 小学校区別にみると、「(自然の生き物(動植物)に触れ合うことができるなど) 豊かな自然環境があると思うか」の評点は、東小学校区 (3.94) が他の小学校区に比べて高くなっていることが特徴としてみられます。
- 「公園や屋外の遊び場があると思うか」の評点は、市が洞小学校区 (4.31) や南小学校区 (4.17) 及び西小学校区 (4.17) で高く、東小学校区 (3.84) で若干低くなっています。
- 「まち並みはきれいだと思うか」についても、市が洞小学校区において 4.08 と高くなっています (図 4-3-3)。

図 4-3-3 小学校区 「自然やごみなどの環境について (評点)」



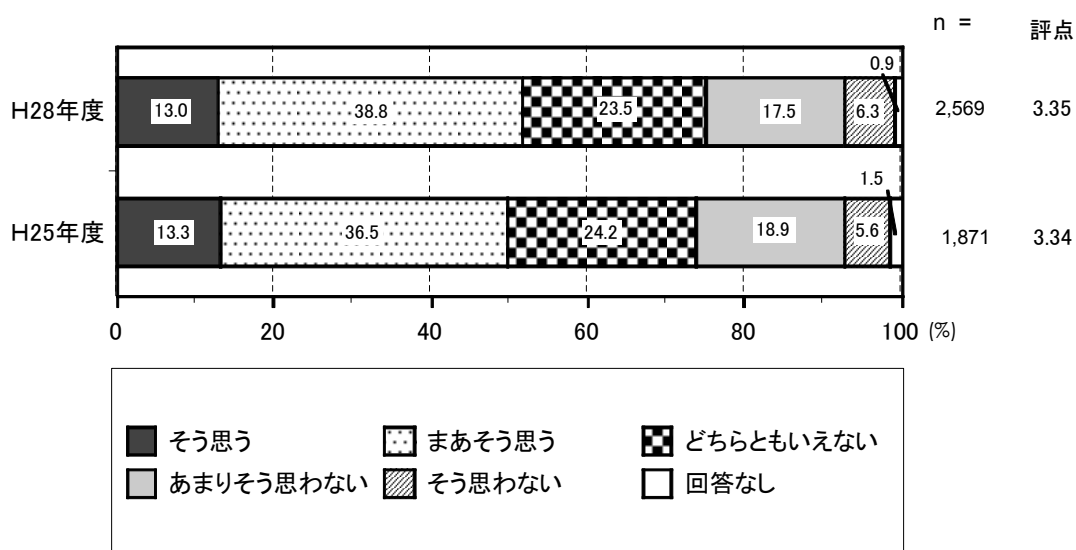
(1) 豊かな自然環境 (問 10 (1))

問 10 (1) お住まいの地域では、自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど、豊かな自然環境があると思いますか。【○は1つ】

○「(自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど) 豊かな自然環境があると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は51.8%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計 (23.8%) を 28.0 ポイント上回っています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません (図 4-3-4)。

図 4-3-4 豊かな自然環境 (前回比較)



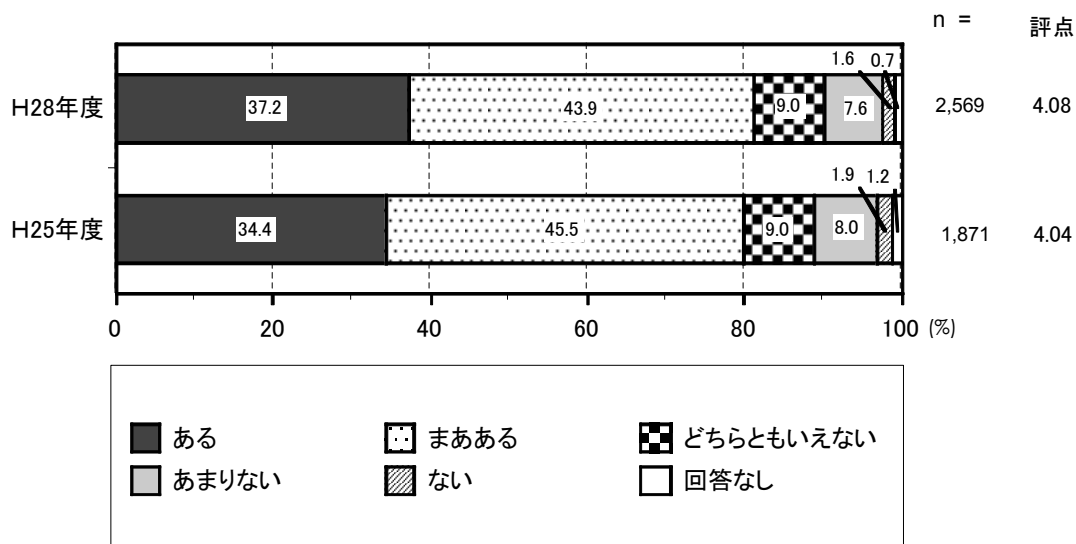
(2) 公園や遊び場 (問 10 (2))

問 10 (2) お住まいの地域には、公園や屋外の遊び場がありますか。【○は1つ】

○「公園や屋外の遊び場があると思うか」について、「ある」と「まあある」を合わせた割合は81.1%となっており、「ない」と「あまりない」の合計 (9.2%) を 71.9 ポイントも上回っています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません (図 4-3-5)。

図 4-3-5 公園や遊び場 (前回比較)



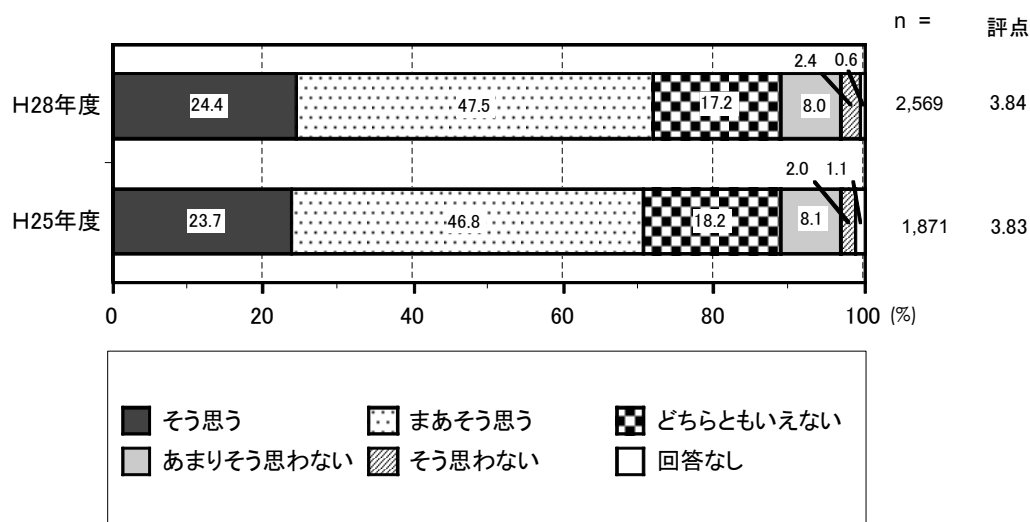
(3) 街並み（景観・風景）（問 10 (3)）

問 10 (3) お住まいの地域のまち並み（景観・風景）はきれいだと思いますか。【〇は 1 つ】

○「まち並み（景観・風景）はきれいだと思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は 71.9% となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（10.4%）を 61.5 ポイントも上回っています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-3-6）。

図 4-3-6 街並み（前回比較）



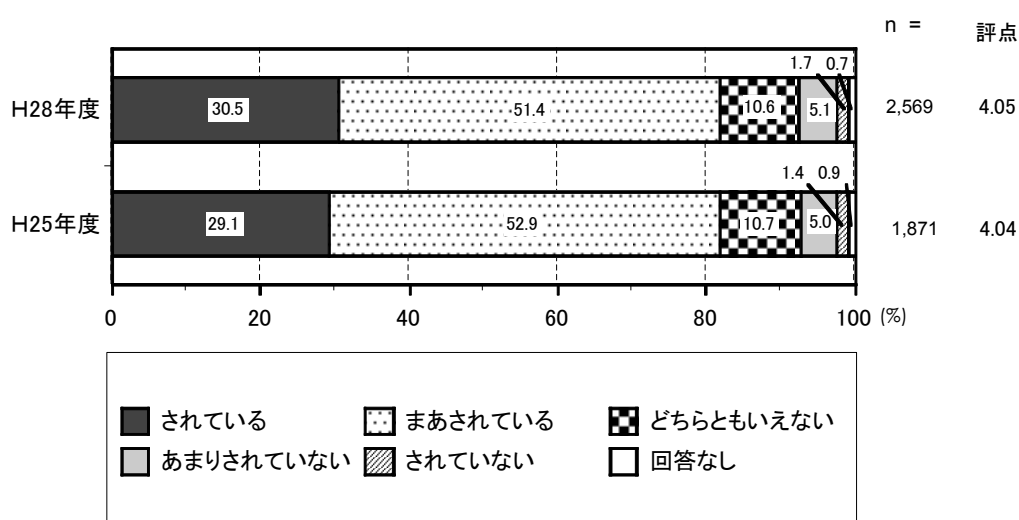
(4) ごみの分別（問 10 (4)）

問 10 (4) お住まいの地域では、ルールにしたがって、ごみ・資源の分別がされていると思いますか。【〇は 1 つ】

○「ルールにしたがってごみ・資源の分別がされていると思うか」について、「されている」と「まあされている」を合わせた割合は 81.9% となっており、「あまりされていない」と「されていない」の合計（6.8%）を 75.1 ポイントも上回っています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-3-7）。

図 4-3-7 ごみの分別（前回比較）



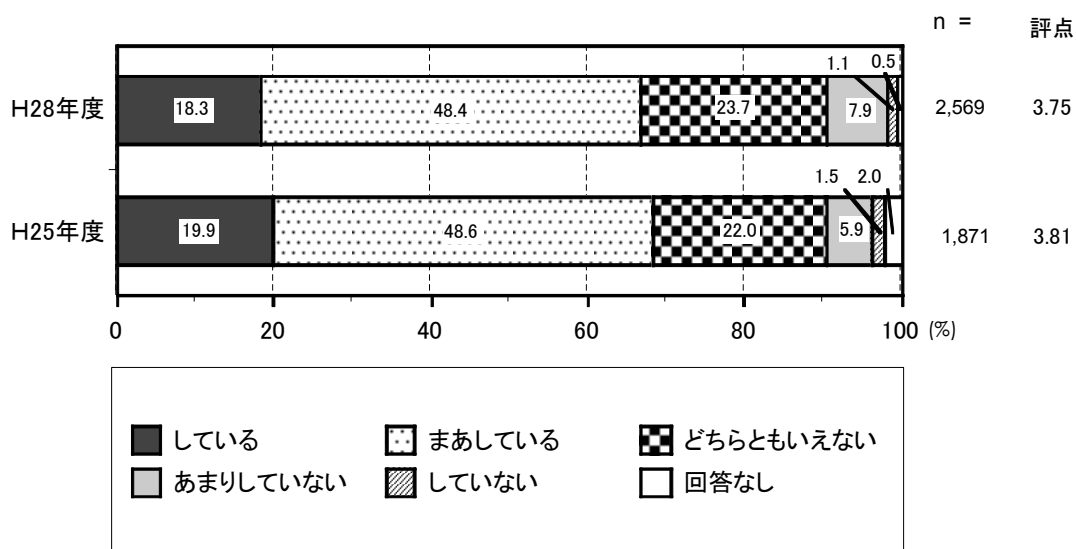
（５）環境に配慮した生活（問 10（５））

問 10（５） 節電や節水、環境に配慮した製品の購入など、日頃から環境に配慮した生活をしていますか。【○は１つ】

○「節電や節水、環境に配慮した製品の購入など日頃から環境に配慮した生活をしていると思うか」について、「している」と「まあしている」を合わせた割合は66.7%となっており、「あまりしていない」と「していない」の合計（9.0%）を57.7ポイントも上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-3-8）。

図 4-3-8 環境に配慮した生活（前回比較）



4-4 人や地域のつながりについて（問 11）

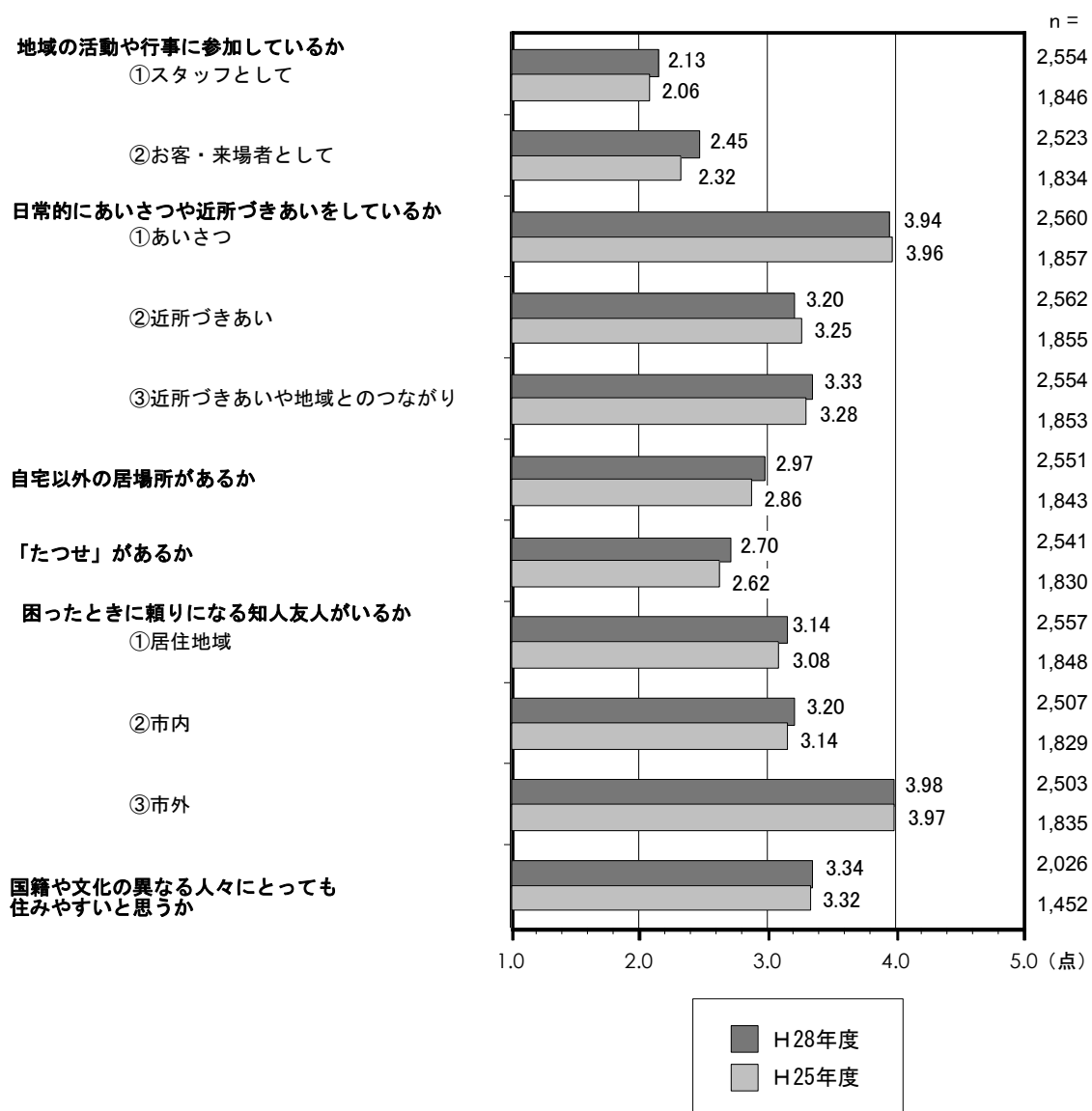
要点

日常的に「あいさつ」をしている人の評点は高いものの、地域を盛り上げていくための「地域の活動や行事に参加しているか」や、「たつせ」があるか」の評点は低く、「人や地域のつながりについて」の分野は、他の分野に比較して全般的に評点が低くなっています。特に、地域活動や行事への参加、近所づきあいについては、20 歳代以下や 30 歳代などの若年層の評点が低くなっています。また、「困ったときに頼りになる友人や知人がいるか」では、「市外」の評点が高くなっています。

全体

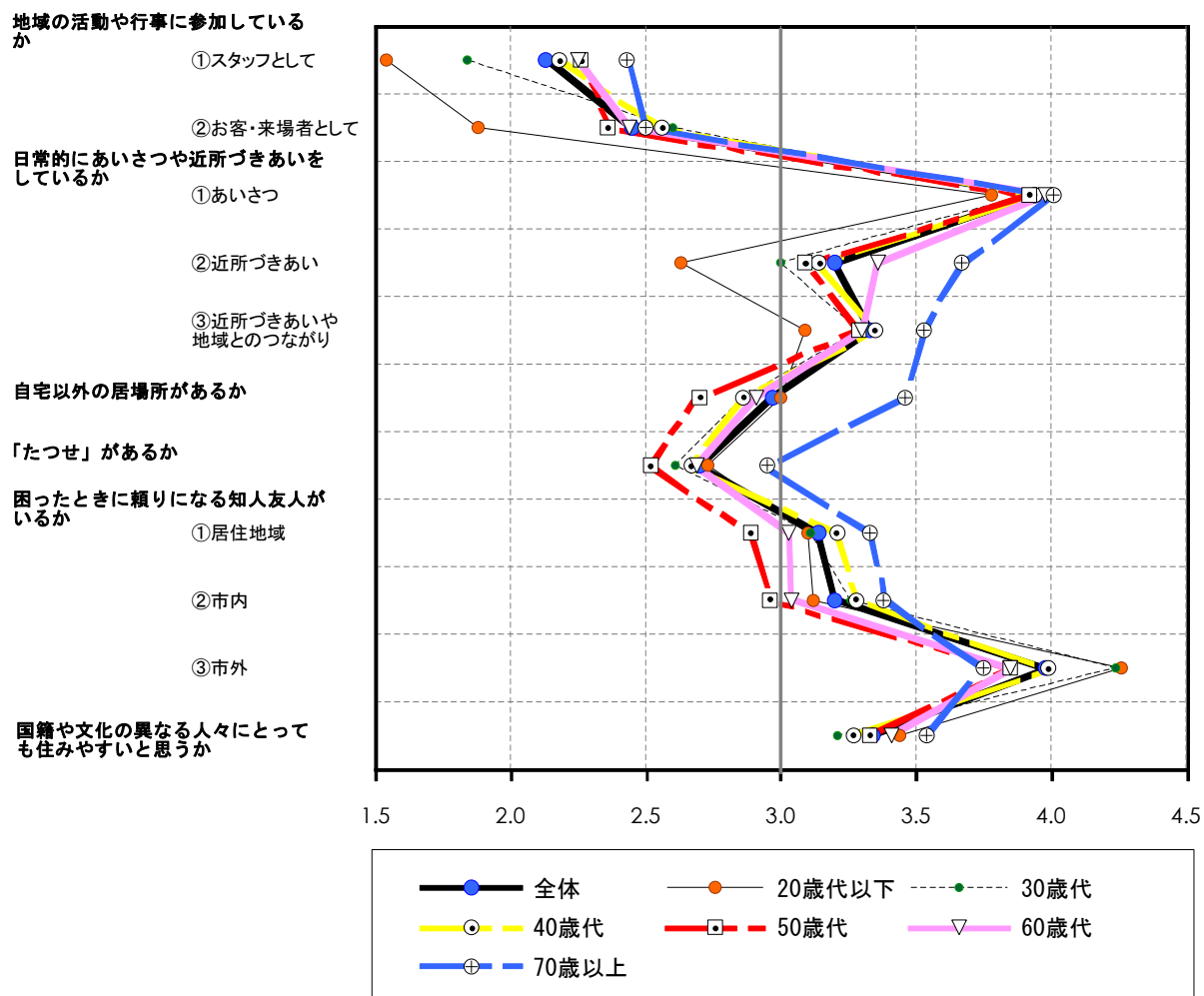
- 他の分野に比べると全般的に評点が低く、特に、「地域の活動や行事に参加しているか」における「スタッフとして」（2.13）や「お客・来場者として」（2.45）、「たつせ」があるか」（2.70）、「自宅以外の居場所がある」（2.97）などの評点が低くなっています。
- 「困ったときに頼りになる友人や知人がいるか」については、「お住まいの地域」や「市内」に比べて「市外」の評点の方が高くなっています。
- 平成 25 年調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-4-1）。

図 4-4-1 人や地域のつながりについて（評点：前回比較）



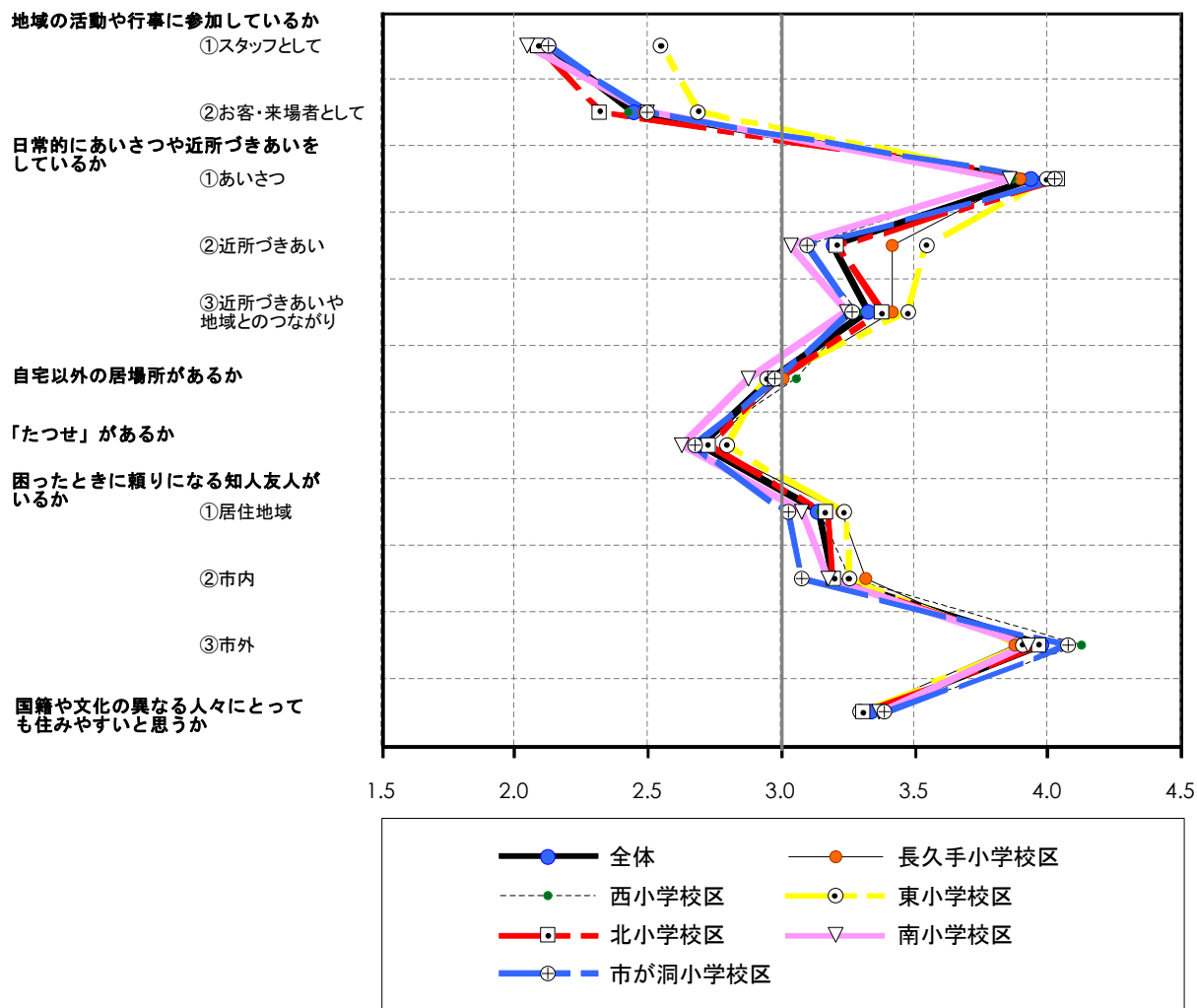
- 「地域の活動や行事に参加しているか」や「近所づきあい」については、20歳代以下や30歳代など若年層よりも60歳代や70歳以上の高齢者層の評点の方が高くなっています。
- 「自宅以外の居場所があるか」、「たつせ」があるか、「困ったときに頼りになる知人友人がいるか」（そのうち「居住地域」と「市内」）については、50歳代の評点が低くなっています（図4-4-2）。

図4-4-2 年齢 「人や地域のつながりについて（評点）」



○東小学校区では、「地域の活動や行事に参加しているか」のうち「スタッフとして」の評点が2.55となっており、他の校区と比較すると高くなっています。また、「日常的にあいさつや近所づきあいをしているか」のうち「近所づきあい」及び「近所づきあいや地域とのつながり」の評点も、他の校区と比較すると高くなっています（図4-4-3）。

図4-4-3 小学校区 「人や地域のつながりについて（評点）」



(1) 地域を盛り上げていく活動や行事への参加－1 (問11 (1) -1)

問11 (1) -1 過去3年以内に、お住まいの地域を良くしたり、地域を盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。【〇は1つ】

①スタッフとして

(2) 地域を盛り上げていく活動や行事への参加－2 (問11 (1) -2)

問11 (1) -2 過去3年以内に、お住まいの地域を良くしたり、地域を盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。【〇は1つ】

②お客・来場者として

○「地域の活動や行事に参加しているか」について、スタッフとして「参加している」と「まあ参加している」を合わせた割合は22.0%、「参加していない」と「あまり参加していない」の合計は68.1%であり、参加している人の割合は少なくなっています(図4-4-4)。

○お客・来場者として「参加している」と「まあ参加している」を合わせた割合は28.0%となっています(図4-4-5)。

○平成25年度調査結果と比べると、お客・来場者として「参加している」の割合がわずかながら増えていきます。

図4-4-4 地域を盛り上げていく活動や行事への参加－スタッフとして (前回比較)

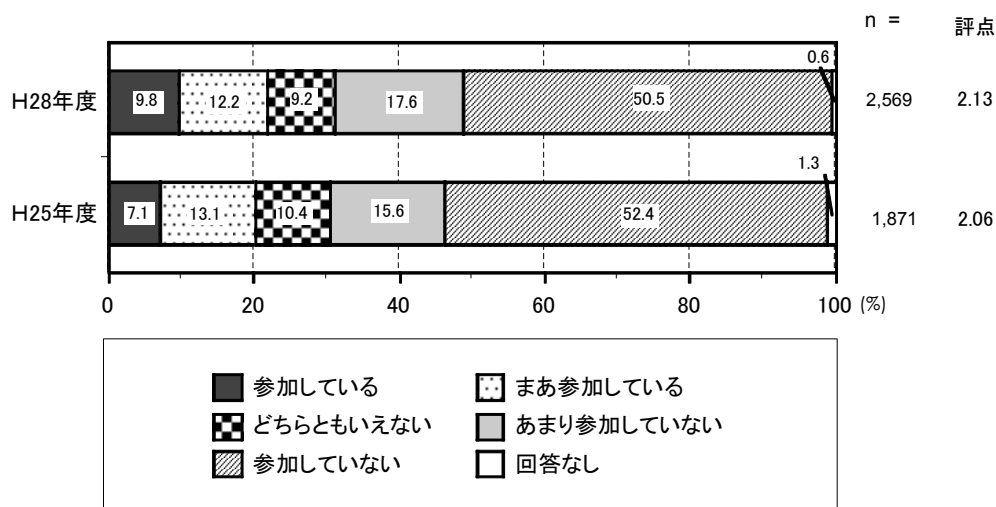
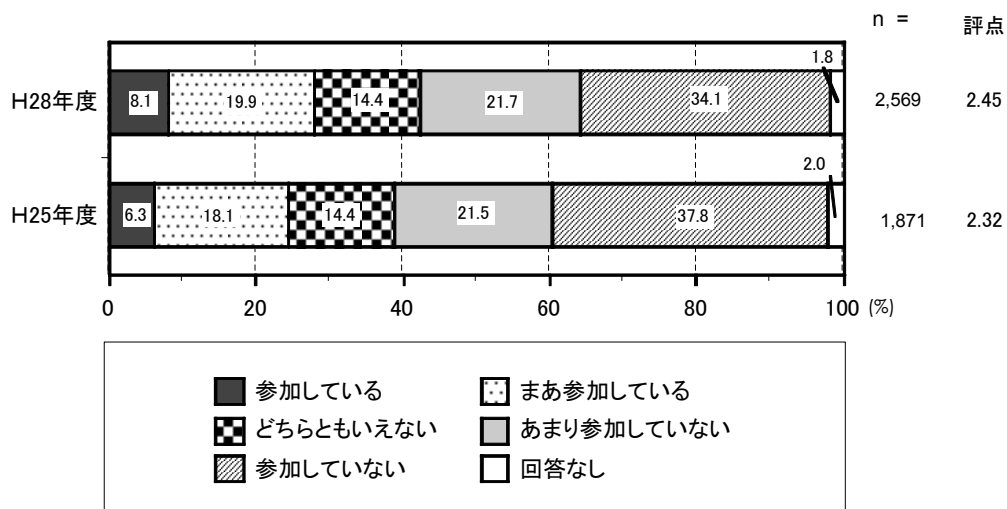


図4-4-5 地域を盛り上げていく活動や行事への参加－お客・来場者として (前回比較)



(3) あいさつや近所づきあい—1 (問11 (2) -1)

問11 (2) -1 日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。【○は1つ】

① あいさつ

(4) あいさつや近所づきあい—2 (問11 (2) -2)

問11 (2) -2 日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。【○は1つ】

② 近所づきあい

(5) あいさつや近所づきあい—3 (問11 (2) -3)

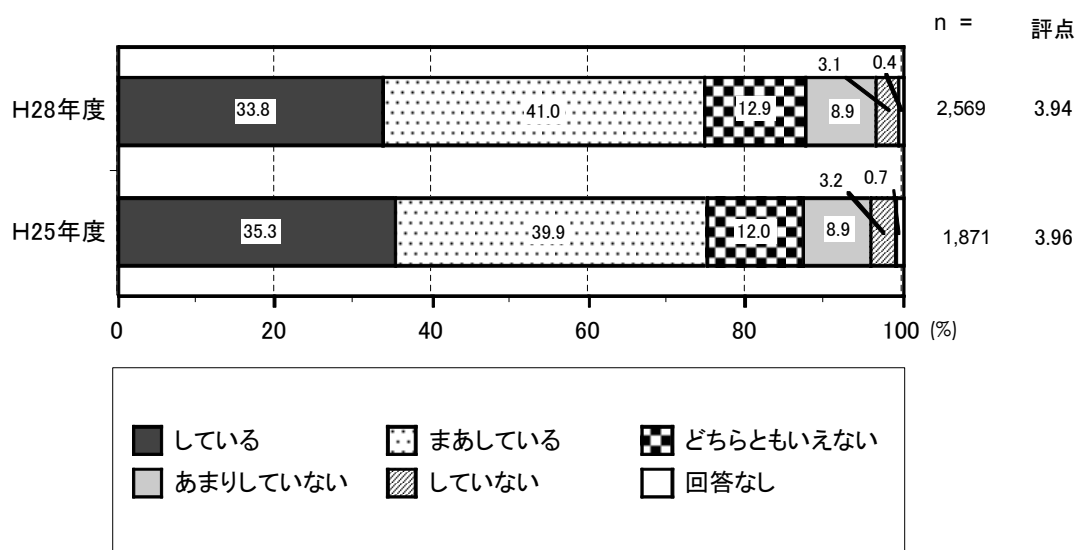
問11 (2) -3 日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。【○は1つ】

③ 近所づきあいや地域とのつながり

○日常的な「あいさつ」について、「している」と「まあしている」を合わせると74.8%と多くなっています。

○平成25年度調査結果と比べるとほとんど変化はみられません (図4-4-6)。

図4-4-6 あいさつや近所づきあい—あいさつ (前回比較)



○一方で「近所づきあい」について、「している」と「まあしている」を合わせた割合が47.8%と、ほぼ半数にとどまっています（図4-4-7）。

○また、「近所づきあいや地域とのつながり」の満足度について、「している」は8.0%と少なく、「まあしている」（34.0%）を合わせても42.0%にとどまっています（図4-4-8）。

○どちらも平成25年度調査結果と比べるとほとんど変化はみられません。

図4-4-7 あいさつや近所づきあいー近所づきあい（前回比較）

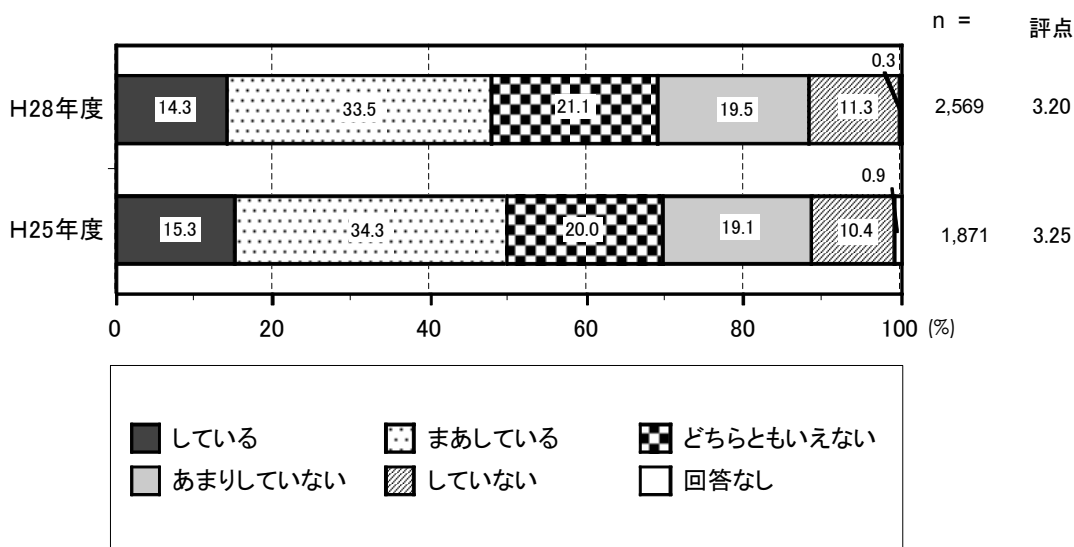
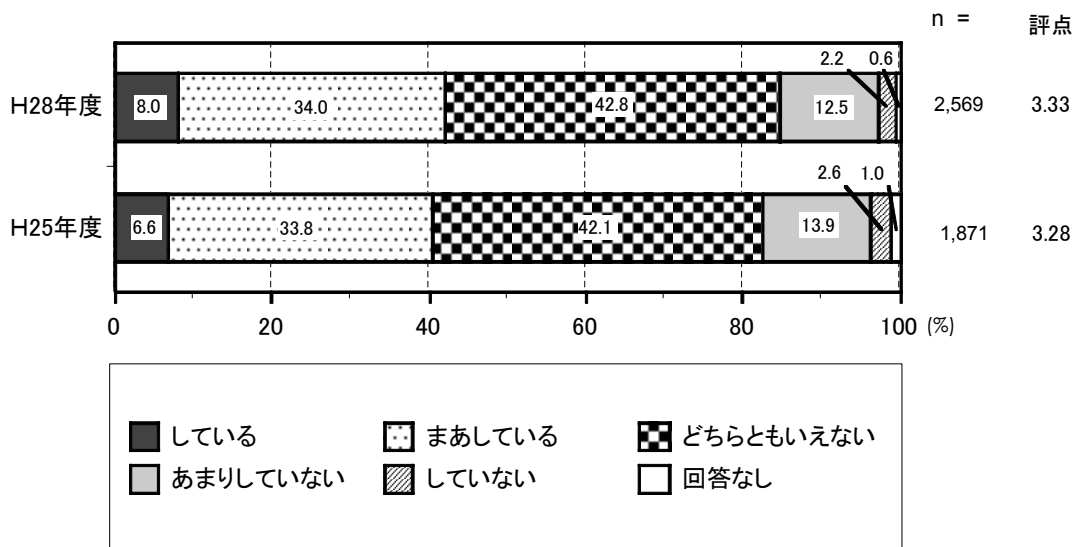


図4-4-8 あいさつや近所づきあいー近所づきあいや地域とのつながり（前回比較）



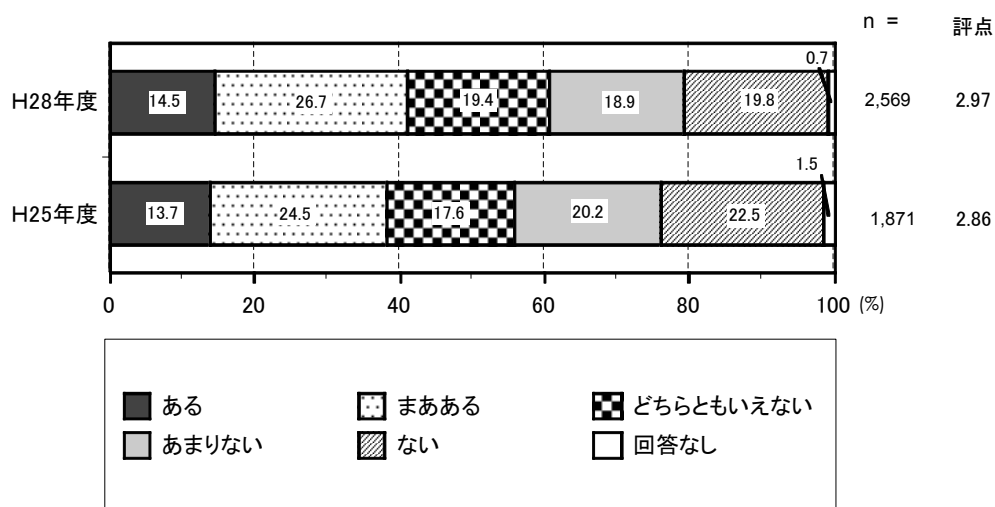
（６）自宅以外の居場所（問 11（３））

問 11（３） お住まいの地域には、自宅以外の居場所がありますか（集える場所、行きつけのお店など）。【○は１つ】

○自宅以外の居場所について、「まあある」26.7%と最も多く、「ある」(14.5%) と合わせると 41.2%の人が自宅以外の地域の居場所があると回答しています。一方で、「あまりない」(18.9%) と「ない」(19.8%) と合わせると 38.7%となっており、自宅以外の居場所があると答えた人とはほぼ同じ割合となっています。

○平成 25 年度調査結果と比べると、わずかながら、自宅以外の居場所がない人が減り、自宅以外の居場所があると答えた人が増えています（図 4-4-9）。

図 4-4-9 自宅以外の居場所（前回比較）



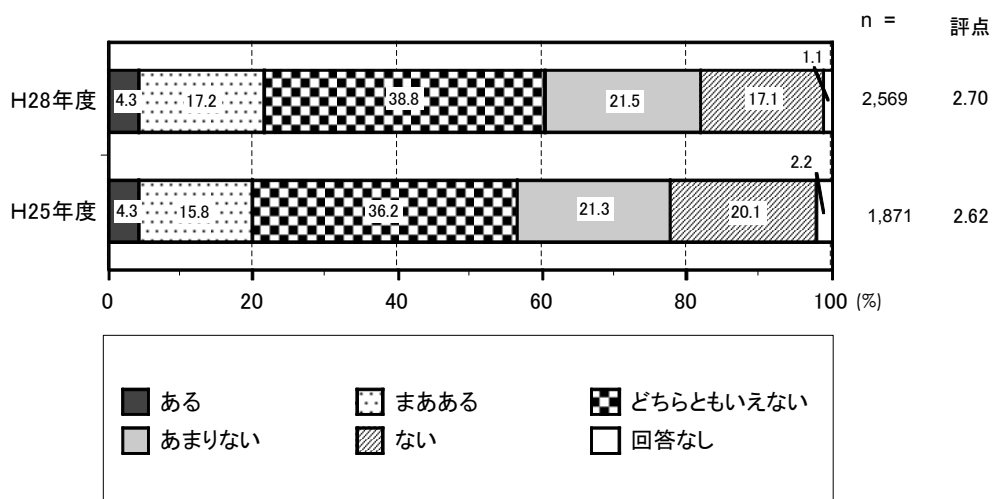
（７）「たつせ」があるか（問 11（４））

問 11（４） お住まいの地域であなたは「たつせ」がありますか。【○は１つ】

○「どちらともいえない」が 38.8%と最も多く、「あまりない」(21.5%) や「ない」(17.1%) と回答した人が多くなっています。

○「ある」は 4.3%と少なく、「まあある」(17.2%) と合わせても 2 割弱にとどまっています（図 4-4-10）。

図 4-4-10 「たつせ」があるか（前回比較）



(8) 困ったときに頼りになる相談相手—1 (問11 (5) -1)

問11 (5) -1 困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。【○はそれぞれ1つ】

① 住まいの地域

(9) 困ったときに頼りになる相談相手—2 (問11 (5) -2)

問11 (5) -2 困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。【○はそれぞれ1つ】

② 市内

(10) 困ったときに頼りになる相談相手—3 (問11 (5) -3)

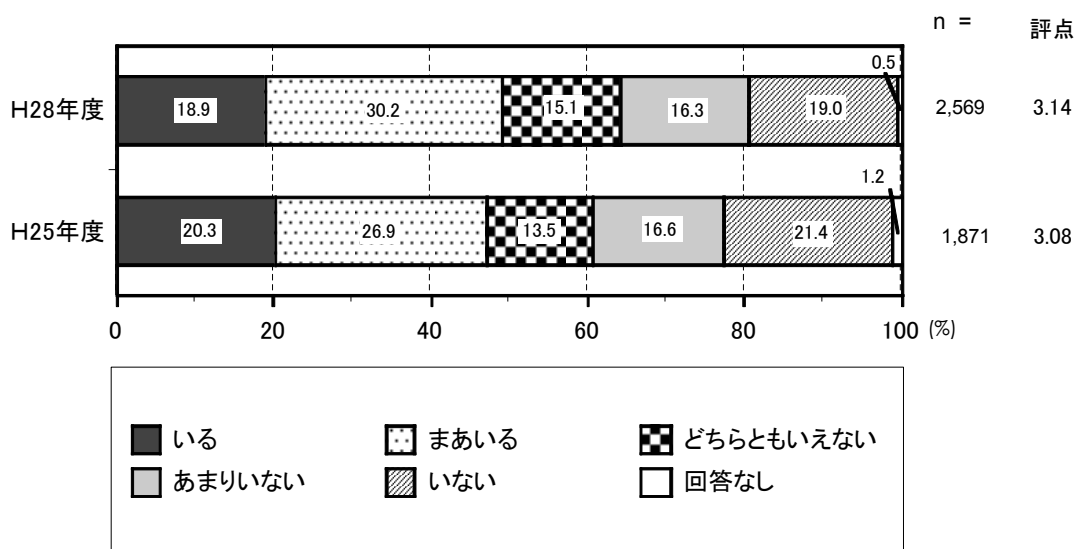
問11 (5) -3 困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。【○はそれぞれ1つ】

③ 市外

○「困ったときに頼りになる友人や知人がいるか」のうち「お住まいの地域」については、「いる」(18.9%)と「まあいる」(30.2%)の合計が49.1%となっています。

○平成25年度調査と比べるとほとんど変化はみられません(図4-4-11)。

図4-4-11 困ったときに頼りになる相談相手—住まいの地域 (前回比較)



○困ったときに頼りになる友人や知人が「いる」と「まあいる」の合計は、「市内」では49.6%、「市外」では74.0%となっており、「市外」の割合が多くなっています（図4-4-12、図4-4-13）。

○どちらも平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません。

図4-4-12 困ったときに頼りになる相談相手ー市内（前回比較）

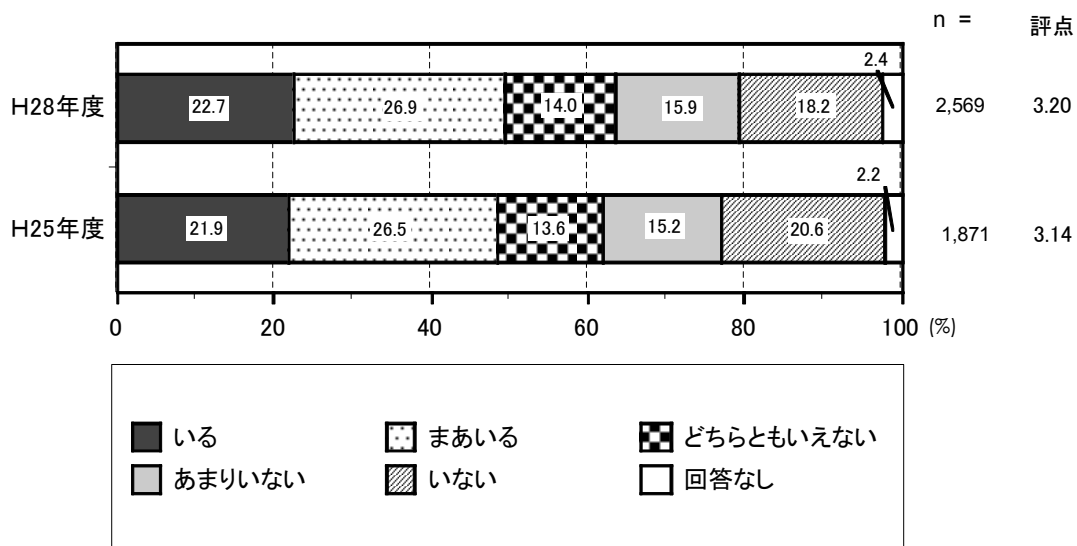
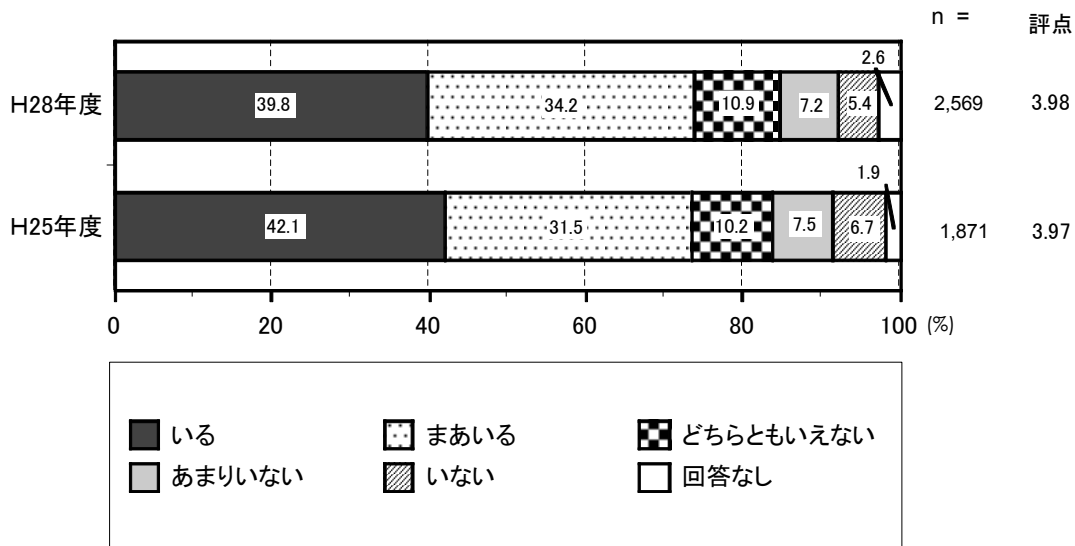


図4-4-13 困ったときに頼りになる相談相手ー市外（前回比較）

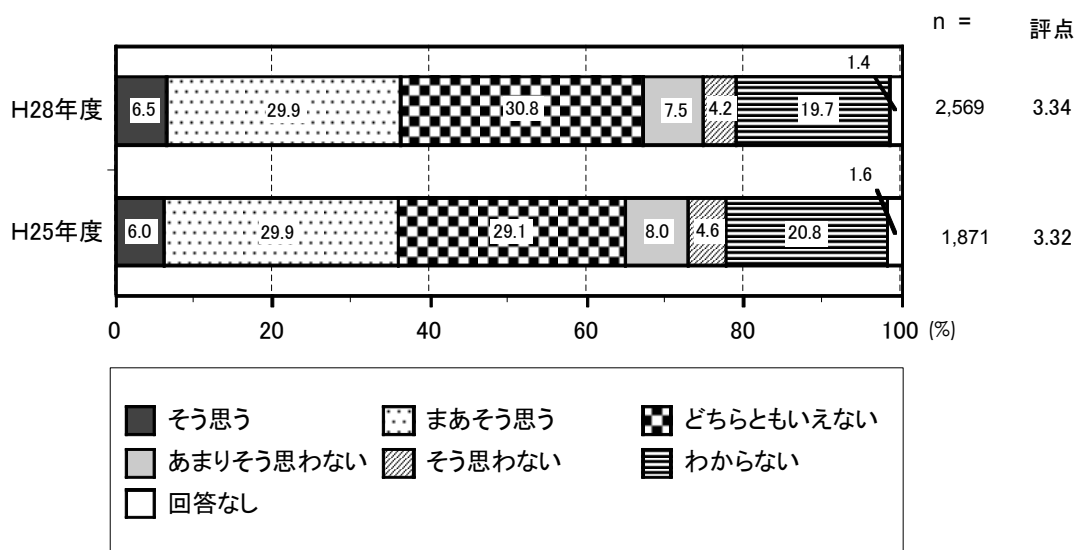


(11) 国籍・文化の異なる人にとっての住みやすさ (問 11 (6))

問 11 (6) 長久手市は、国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思いますか。【〇は1つ】

- 「国籍・文化の異なる人にとっての住みやすさ」について、「まあそう思う」が29.9%と多く、「そう思う」(6.5%) と合わせて36.4%の人が住みやすいと考えています。
- 一方で、「どちらともいえない」(30.8%) や「わからない」(19.7%) も多く、こうした問題に関する市民の関心や認知度が低いことが考えられます。
- 平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません (図 4-4-14)。

図 4-4-14 国籍・文化の異なる人にとっての住みやすさ (前回比較)



要点

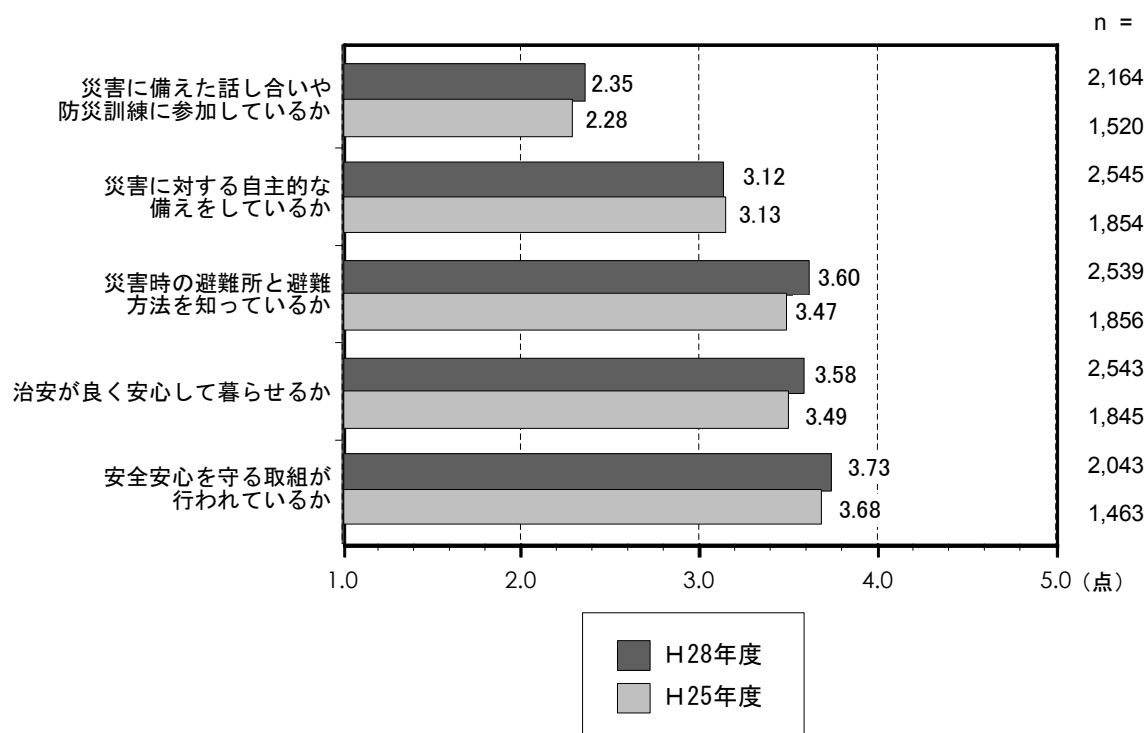
防災・防犯について「安全安心を守る取組が行われているか」の評点が最も高く、そのほかの項目も高い一方で、「災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか」の評点が、他の項目に比べて低くなっています。

また、「災害時に対する自主的な備えをしているか」や「災害時の避難場所と避難方法を知っているか」では、20 歳代以下の評点が低くなっています。

全体

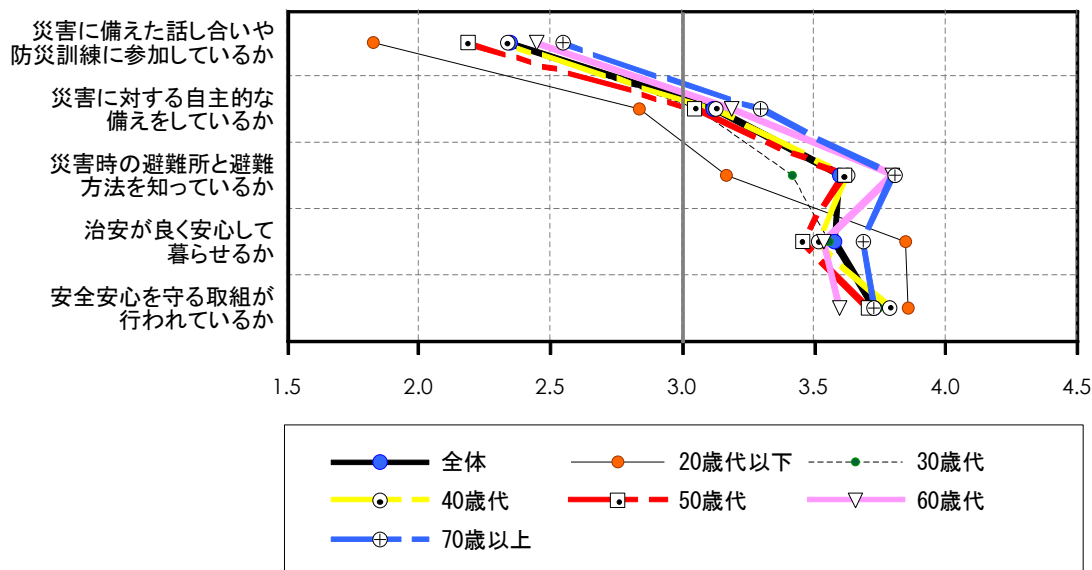
- 「安全安心な取組が行われているか」の評点が 3.73 と最も高く、次いで「災害時の避難所と避難方法を知っているか」(3.60) や「治安がよく、安心して暮らせるか」(3.58) の順で高くなっています。
- 一方で、「災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか」の評点が 2.35 と最も低くなっています。
- 平成 25 年度調査結果と比べると、「災害時の避難所と避難方法を知っているか」が 0.13 ポイント上昇している以外は、ほとんど変化はみられません（図 4-5-1）。

図 4-5-1 防災・防犯について（評点：前回比較）



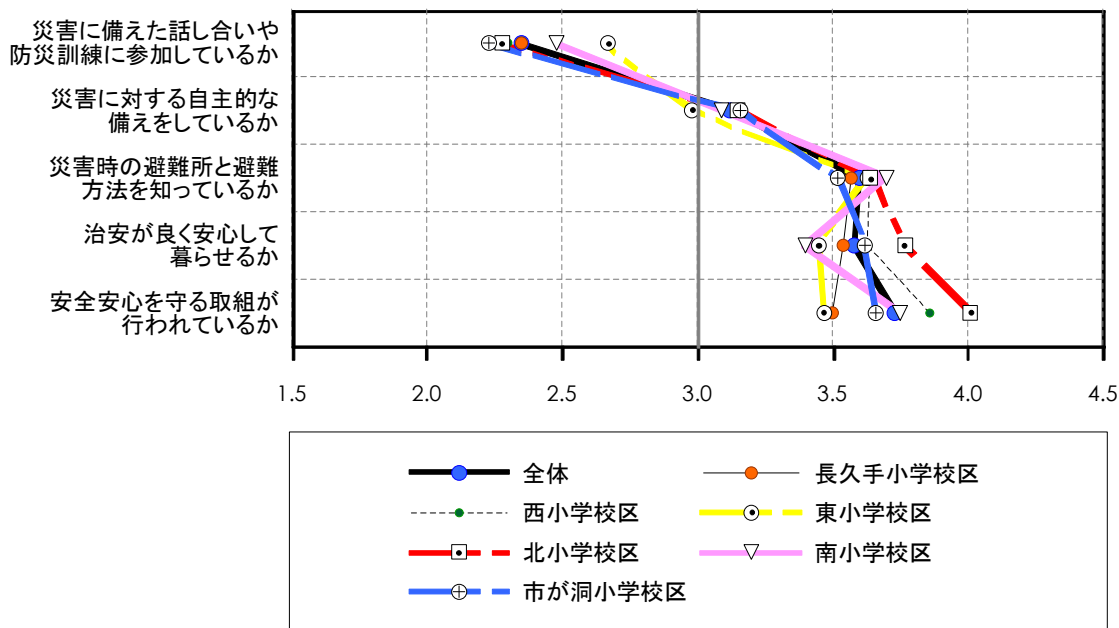
- 防災対策の項目については、年齢が若くなるにつれて評点は低くなっており、特に20歳代以下の評点が低くなっています。具体的には、20歳代以下の評点は、「災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか」では1.83と極めて低く、そのほか「災害に対する自主的な備えをしているか」では2.84、「災害時の避難所と避難方法を知っているか」では3.17となっています。
- 一方で、「治安が良く安心して暮らせるか」や「安全安心を守る取組が行われているか」については、年齢差はほとんどみられませんが、20歳代以下の評点がやや高くなっています（図4-5-2）。

図4-5-2 年齢 「防災・防犯について（評点）」



- 全般的に、小学校区別に大きな違いはみられません。
- ただし、北小学校区では「安全安心を守る取組が行われているか」の評点4.01で、他の小学校区よりも若干高くなっています（図4-5-3）。

図4-5-3 小学校区 「防災・防犯について（評点）」



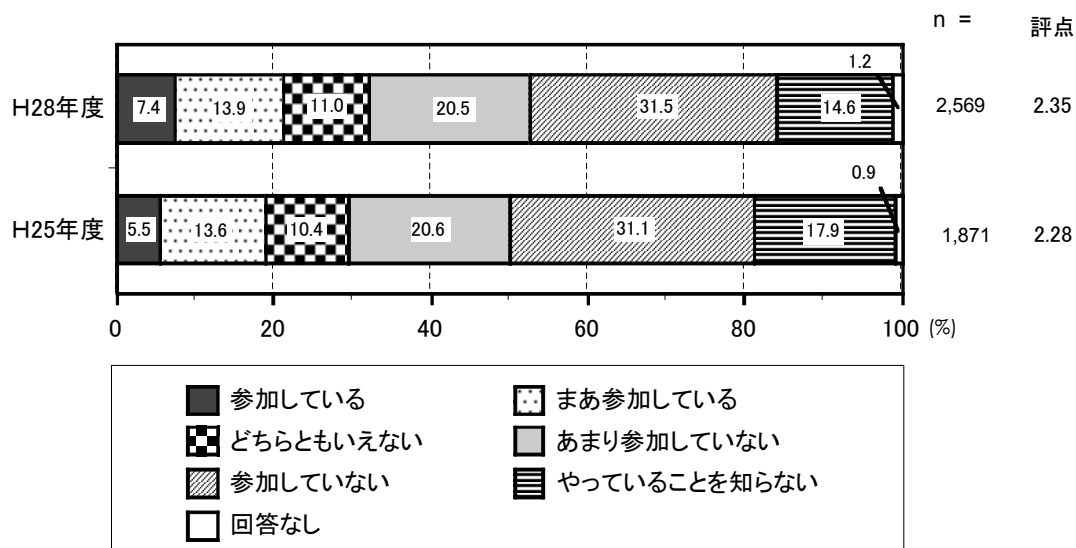
（１）災害に備えた話し合いや防災訓練への参加（問 12（1））

問 12（１） お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。【○は１つ】

○「参加していない」が 31.5%で最も多く、次いで「あまり参加していない」（20.5%）や「やっていることを知らない」（14.6%）が多くなっている一方で、「参加している」と「まあ参加している」の合計は 21.3%にとどまっています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-5-4）。

図 4-5-4 災害に備えた話し合いや防災訓練への参加（前回比較）



（２）家庭内での災害に対する自主的備え（問 12（２））

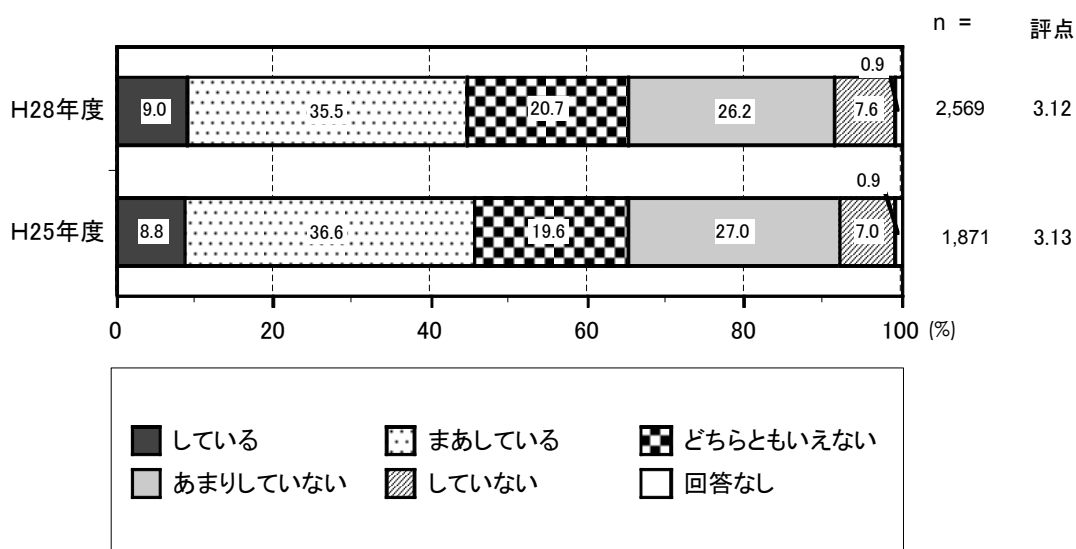
問 12（２） あなたの家庭では、災害に対する自主的な備えをしていますか。【○は 1 つ】

○「まあしている」が 35.5%と最も多く、「している」(9.0%) と合わせて 44.5%が家庭での自主的な災害対策をしていることがわかります。

○一方で、「あまりしていない」(26.2%) と「していない」(7.6%) を合わせると 33.8%あり、「どちらともいえない」も 20.7%あります。今後も、家庭における災害対策の必要性を普及啓発していくことが必要であるといえます。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-5-5）。

図 4-5-5 家庭内での災害に対する自主的備え（前回比較）



(3) 災害時における避難場所、避難方法の周知（問 12 (3)）

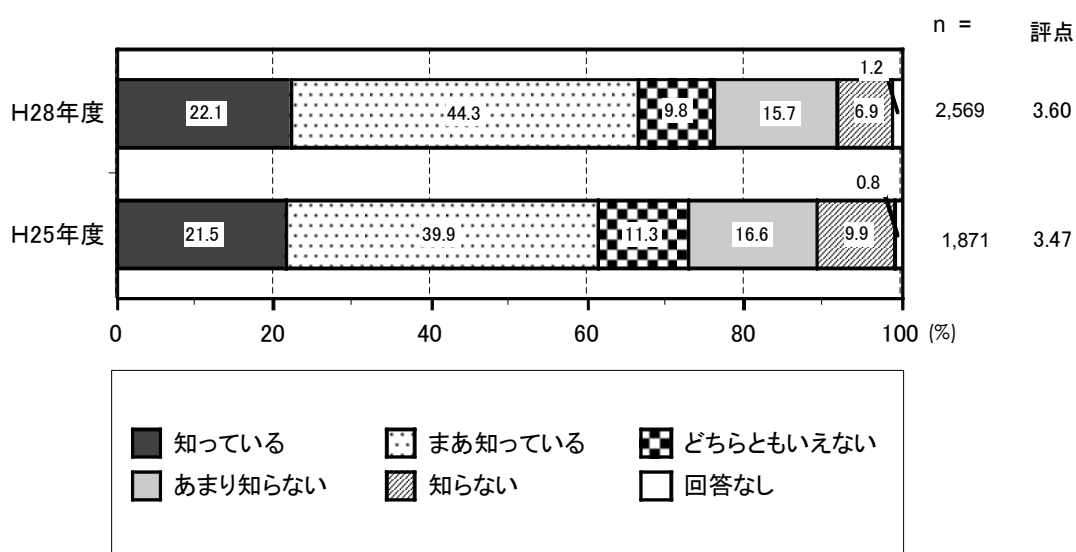
問 12 (3) 災害時の避難所と避難方法を知っていますか。【○は1つ】

○「まあ知っている」が44.3%と最も多く、次いで「知っている」が22.1%となっており、全体の約7割が災害時の避難場所や避難方法を知っていると回答しています。

○一方で、「あまり知らない」(15.7%) や「知らない」(6.9%) を合わせると22.6%となり、全体の約5分の1を占めています。

○前回調査と比較すると、「まあ知っている」が4.4ポイント高くなっており、「知っている」と「まあ知っている」を合わせた割合は、前回調査において61.4%であったのに対して、今回調査では66.4%と5.0ポイント高くなっています（図4-5-6）。

図 4-5-6 災害時における避難場所、避難方法の周知（前回比較）



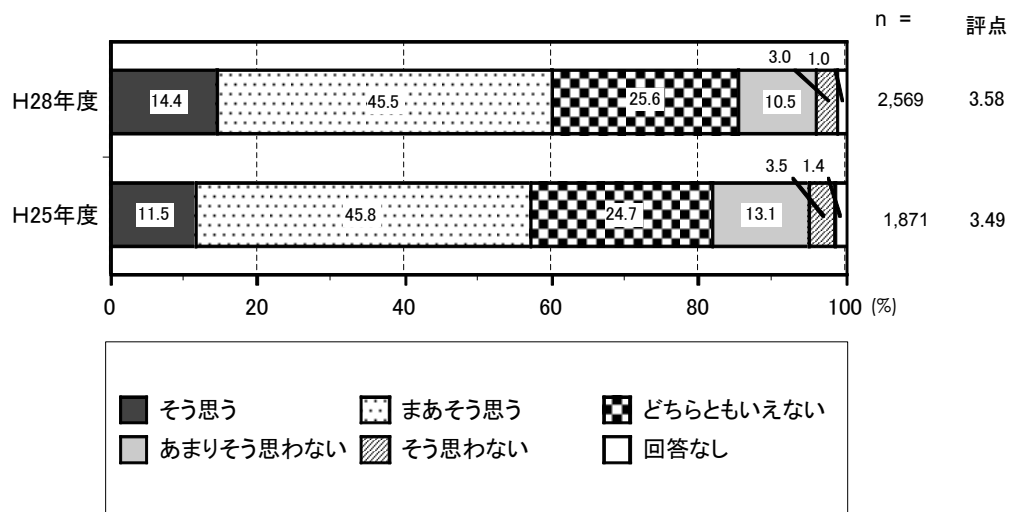
(4) 地域における治安（問 12 (4)）

問 12 (4) お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせますか。【〇は1つ】

○「まあそう思う」が45.5%と最も多く、「そう思う」(14.4%) と合わせると6割弱の人が治安がよいと感じています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-5-7）。

図 4-5-7 地域における治安（前回比較）



（５）地域における安全安心の取り組み（問 12（５））

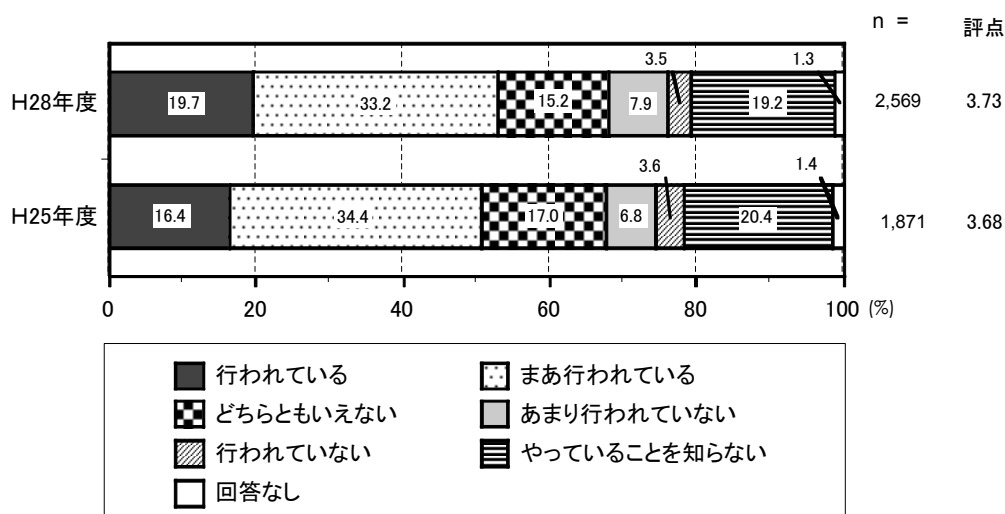
問 12（５） お住まいの地域では、住民による登下校の見守り、夜間パトロールや防犯灯設置など、安全安心を守る取組が行われていますか。【〇は１つ】

○地域における安全安心の取組が「まあ行われている」と考える人の割合が 33.2%で最も多く、「行われている」（19.7%）と合わせると約半数の 52.9%が“行われている”と認識しています。

○一方で「やっていることを知らない」が 19.2%みられます。

○平成 25 年度調査結果と比較すると、「行われている」が 3.3 ポイント高くなっていますが、そのほかほとんど変化はみられません（図 4-5-8）。

図 4-5-8 地域における安全安心の取り組み（前回比較）



4-6 福祉について（問 13）

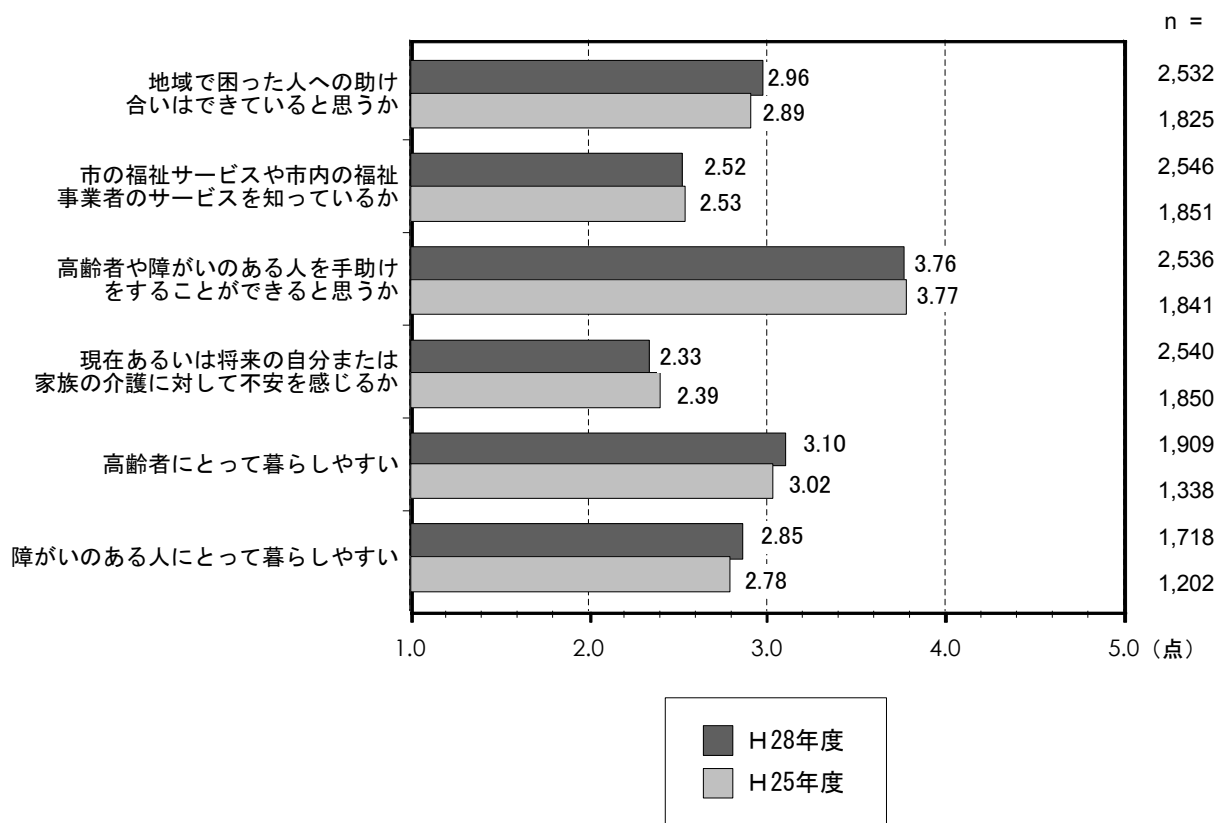
要点

「高齢者や障がいのある人を手助けすることができると思うか」の評点が最も高い一方で、「現在（あるいは将来）自分または家族の介護に対して不安を感じるか」や「市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか」は他の項目に比べて低くなっています。福祉サービスに関する認識不足にあることと、介護への不安を感じている人が多いことがわかります。

全体

- 「高齢者や障がいのある人を手助けすることができると思うか」の評点が3.76と最も高い一方で、「地域で困った人への助け合いはできていると思うか」の評点は2.96にとどまっています。
- また、「現在（あるいは将来）自分または家族の介護に対して不安を感じるか」（2.33）や「市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか」（2.52）と他の項目に比べて低くなっています。
- 平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-6-1）。

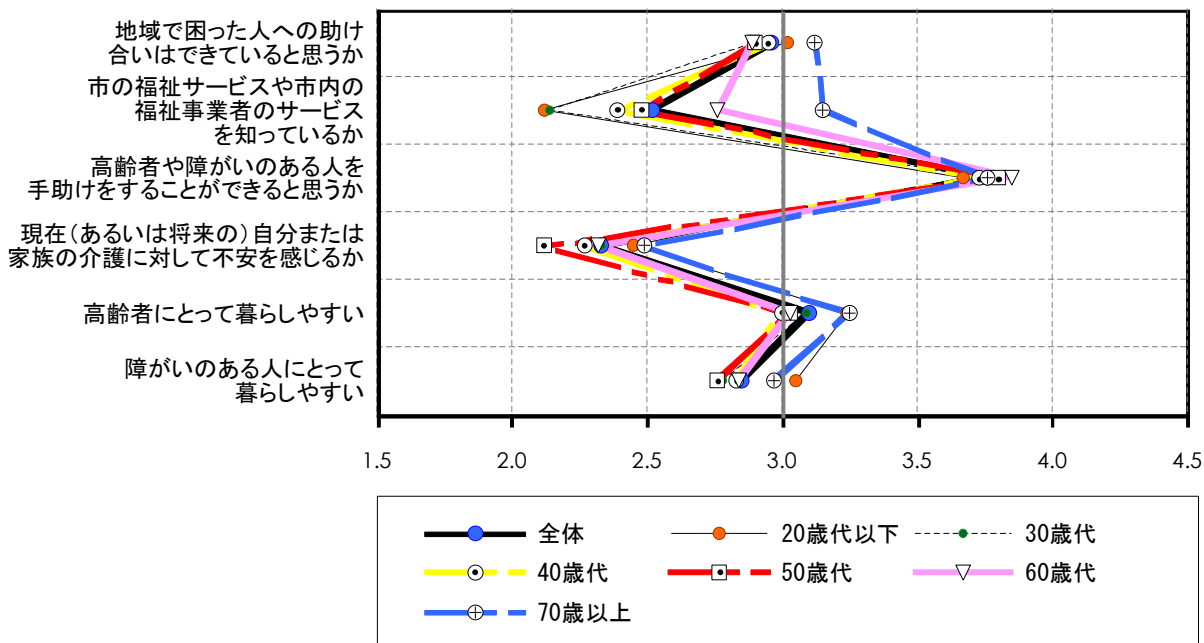
図4-6-1 福祉について（評点：前回比較）



年齢別

- 「市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか」において年齢差がみられます。具体的には、20歳代以下（2.12）や30歳代（2.14）といった若い世代の評点が低くなっているのに比べると、70歳代（3.15）の評点が高くなっています（図4-6-2）。

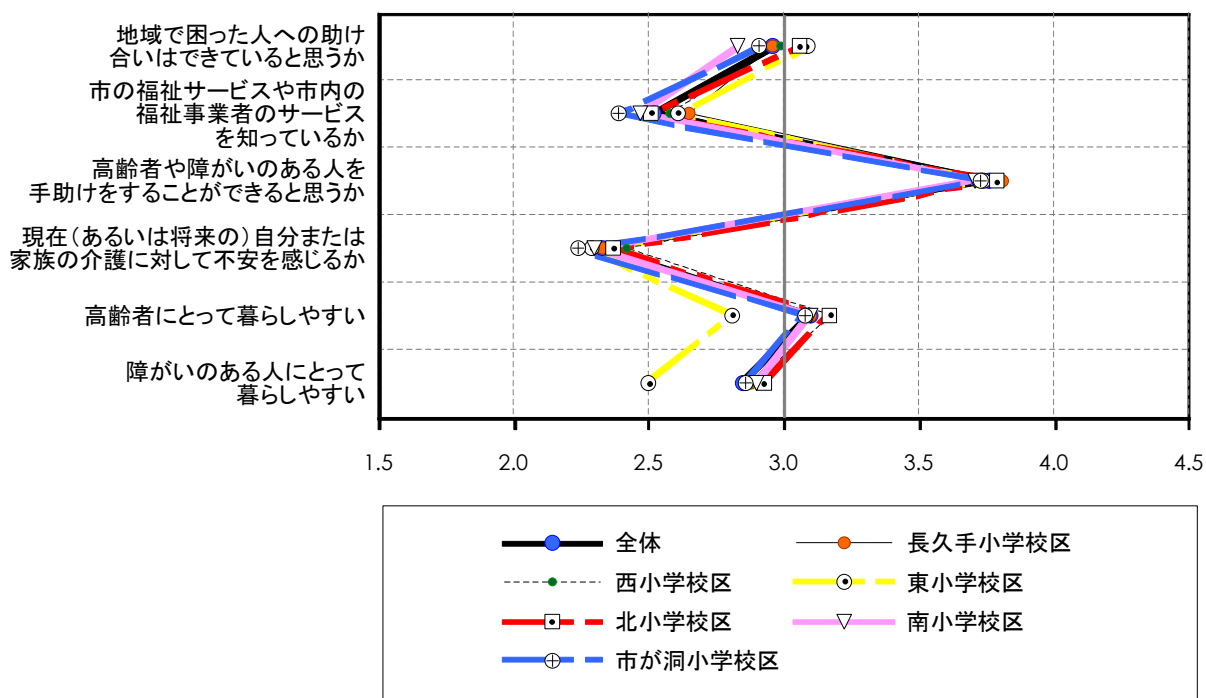
図4-6-2 年齢 「福祉について（評点）」



小学校区別

- 「高齢者にとって暮らしやすい」と「障がいのある人にとって暮らしやすい」は、どちらも東小学校区の評点が他の小学校区よりも低くなっています（図4-6-3）。

図4-6-3 小学校区「福祉について（評点）」



(1) 地域の助け合い (問 13 (1))

問13 (1) お住まいの地域では、地域で困った人への助け合いはできていると思いますか。

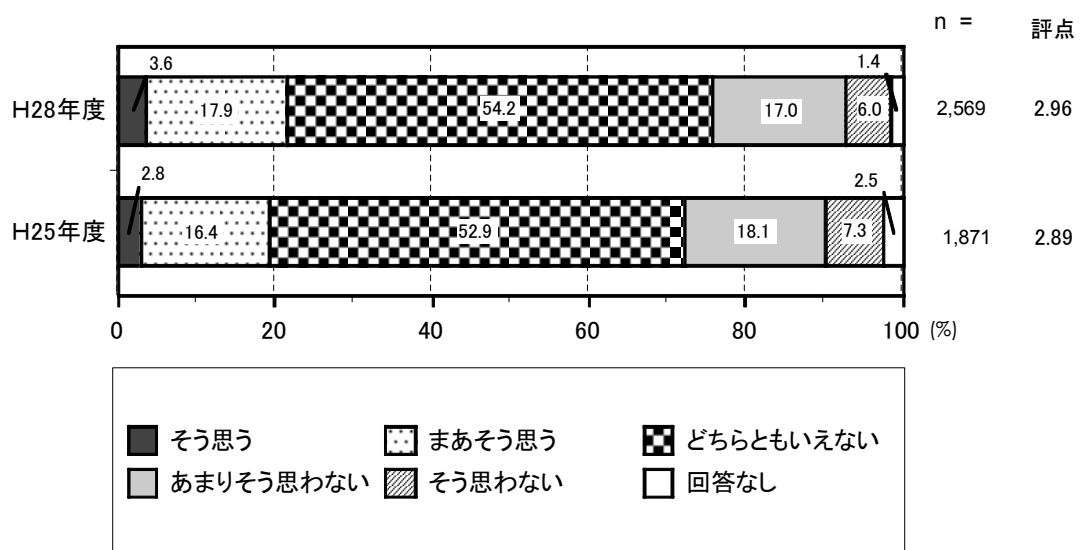
【〇は1つ】

○地域で困った人への助け合いができていると思うかについて、「どちらともいえない」が54.2%と最も多くなっています。

○「そう思う」(3.6%)、「まあそう思う」(17.9%)の合計は21.5%と少なく、「あまりそう思わない」(17.0%)、「そう思わない」(6.0%)の合計が23.0%と、地域での助け合いの意識は積極的であるとはいえない状況にあります。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません (図4-6-4)。

図4-6-4 地域の助け合い (前回比較)



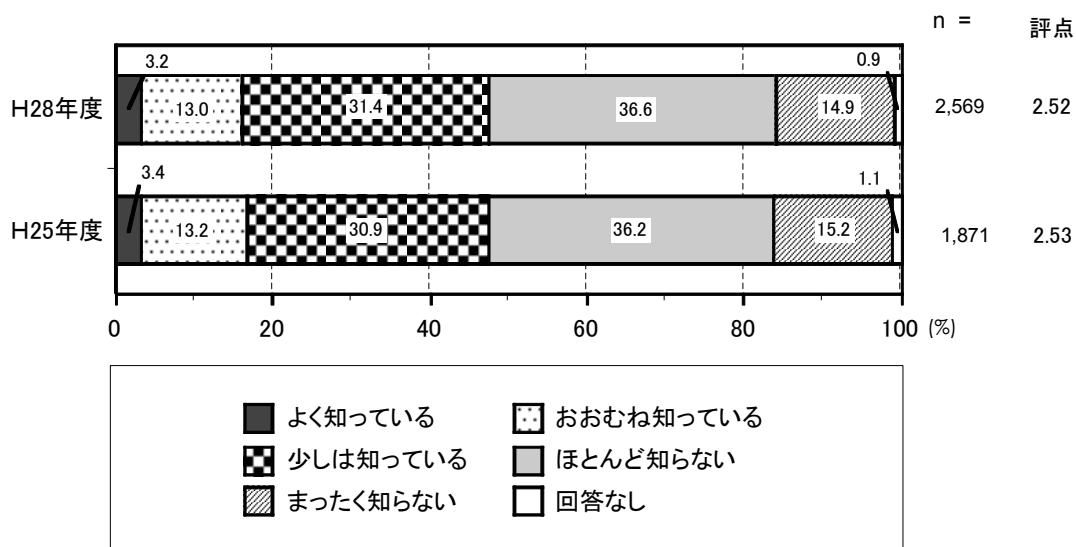
(2) 市・業者による福祉サービスの周知（問 13（2））

問 13（2） 市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っていますか。【○は一つ】

○福祉サービスについて、「よく知っている」(3.2%)、「おおむね知っている」(13.0%) の合計は16.2%にとどまり、「少しは知っている」(31.4%) を合わせても半数弱となります。一方、「まったく知らない」(14.9%)、「ほとんど知らない」(36.6%) の合計は51.5%を占めており、今後も福祉に関する関心を高め、施策やサービスの内容を周知する必要があります。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-6-5）。

図 4-6-5 市・業者による福祉サービスの周知（前回比較）



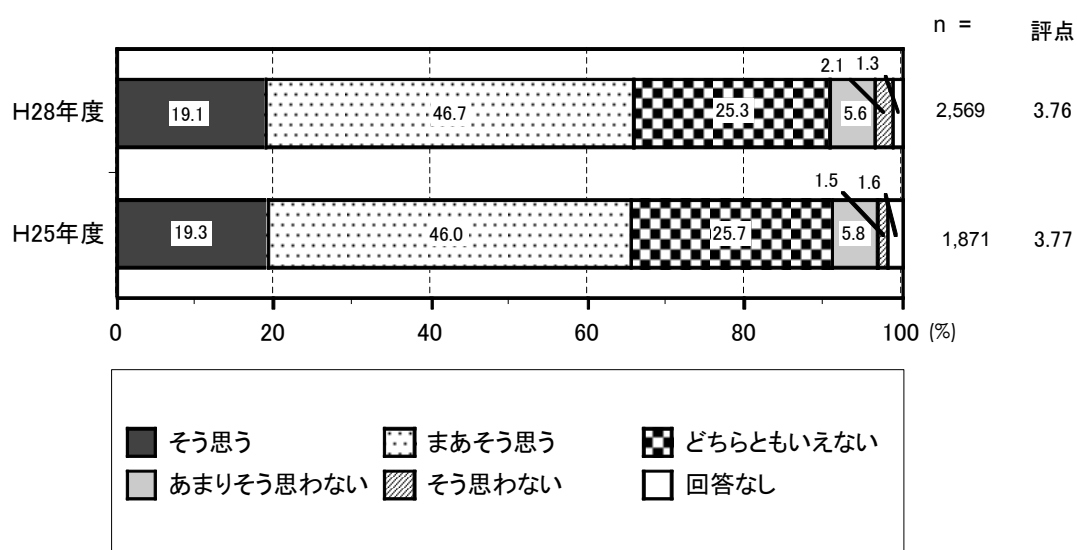
(3) 高齢者や障がい者を手助けできるか（問13 (3)）

問13 (3) 高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っている人など、まちで困っている人がいるとき、手助けをすることができますか。【○は1つ】

○高齢者や障がい者などまちで困った人を見かけたとき手助けするかについて、「まあそう思う」が46.7%で最も多く、「そう思う」(19.1%)と合わせると65.8%を占めています。「そう思わない」(2.1%)、「あまりそう思わない」(5.6%)を合わせた7.7%を大きく上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-6-6）。

図4-6-6 高齢者や障がい者を手助けできるか（前回比較）



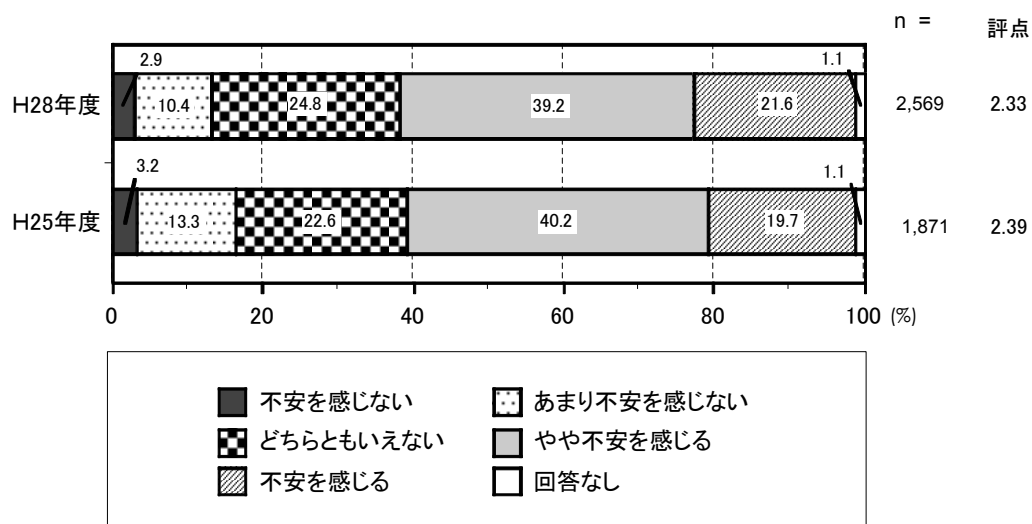
(4) 自分または家族の介護についての不安 (問 13 (4))

問 13 (4) 現在 (あるいは将来の)、自分または家族の介護に対して不安を感じますか。【○は1つ】

○現在 (あるいは将来の) 介護に対する不安の有無について、「やや不安を感じる」が 39.2%と最も多く、「不安を感じる」(21.6%) と合わせると 60.8%と多くなっています。「不安を感じない」(2.9%)、「あまり不安を感じない」(10.4%) の割合は合計で 13.3%にとどまっています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません (図 4-6-7)。

図 4-6-7 自分または家族の介護についての不安 (前回比較)



(5) 地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいかー1 (問13 (5) -1)

問13 (5) -1 お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。【〇は1つ】

①高齢者にとって暮らしやすい

(6) 地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいかー2 (問13 (5) -2)

問13 (5) -2 お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。【〇は1つ】

②障がいのある人にとって暮らしやすい

- 「高齢者や障がいのある人にとって暮らしやすい地域であるか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、高齢者27.2%と少なく、障がい者では15.0%とさらに少ない割合にとどまっています。
- ただし、「該当しない」（高齢者：24.6%、障がい者：31.8%）を除けば、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、高齢者では36.1%に相当し、障がい者でも22.0%に相当します。
- 同様に「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計は、「該当しない」を除けば、高齢者では24.5%、障がい者で30.2%に相当します。
- したがって、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合よりも、高齢者では11.6ポイント上回っていることに相当する一方で、障がい者では8.2ポイント下回っていることに相当することとなります。
- 平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-6-8、図4-6-9）。

図4-6-8 地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいかー高齢者にとって暮らしやすい（前回比較）

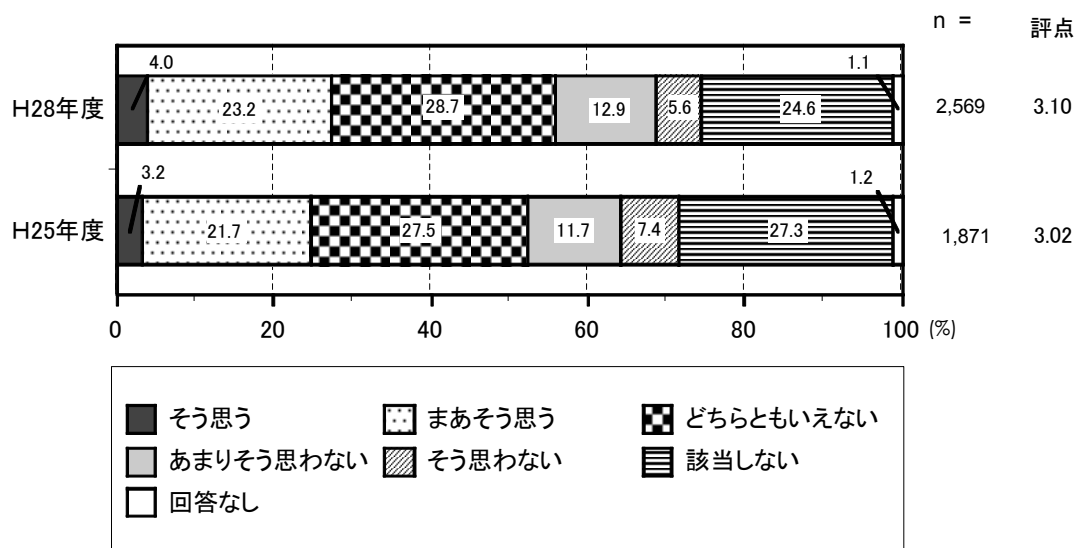
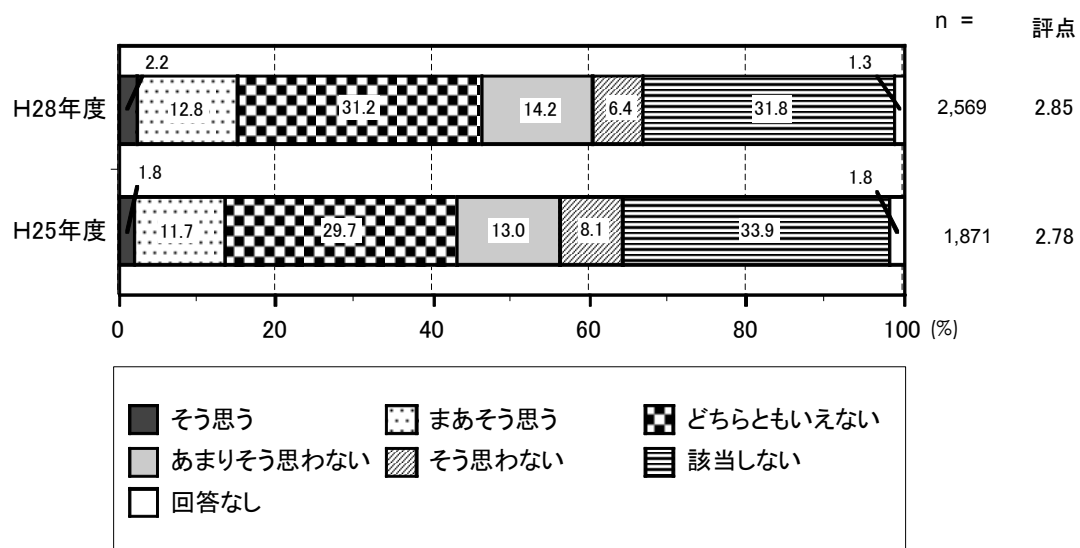


図 4-6-9 地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいかー障害者にとって暮らしやすい（前回比較）



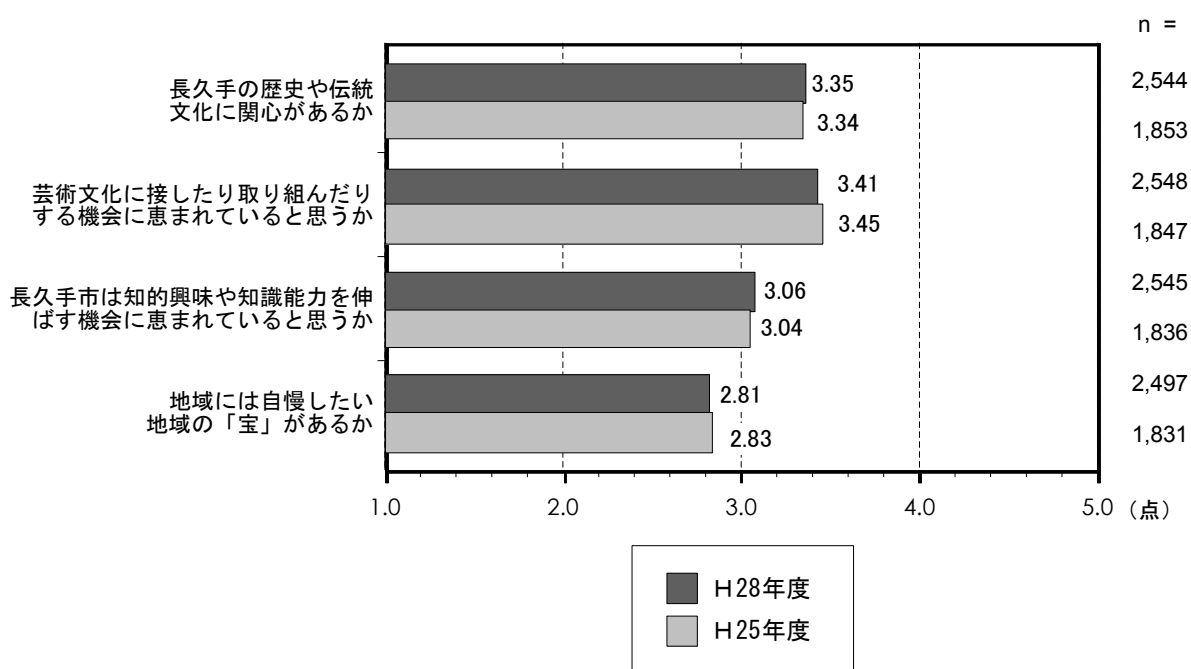
要点

「長久手市は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか」の評点が最も高い一方で、「お住まいの地域には、自慢したい「宝」があるか」の評点が他の項目に比べて低くなっています。また、「長久手市はあなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか」の評点は、歴史や伝統文化への関心、芸術文化に親しむ機会と比べて低くなっています。

全体

- 「長久手市は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか」の評点が3.41と最も高い一方で、「お住まいの地域には、自慢したい「宝」があるか」の評点が2.81と低くなっています。
- 「長久手市はあなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか」の評点も3.06と他の項目と比べると若干低くなっています。
- 平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-7-1）。

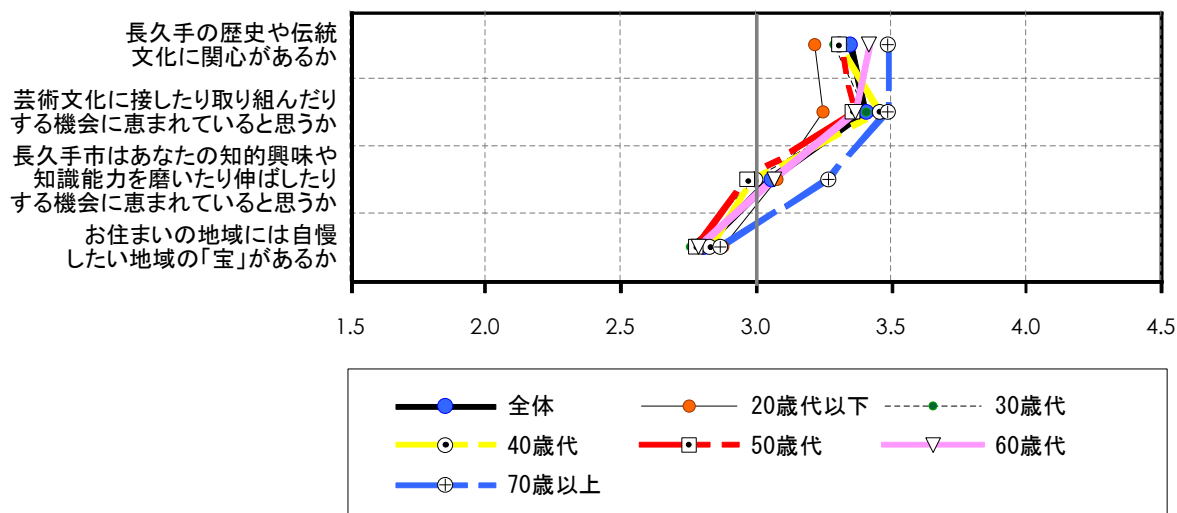
図4-7-1 文化・生涯学習について（評点：前回比較）



年齢別

○70 歳代の評点が全体的に比べて若干高くなっています。また、「長久手の歴史や伝統文化に関心があるか」については、年齢が高くなるにつれて評点が若干高くなる傾向がみられるものの、年齢別による大きな違いはみられません（図 4-7-2）。

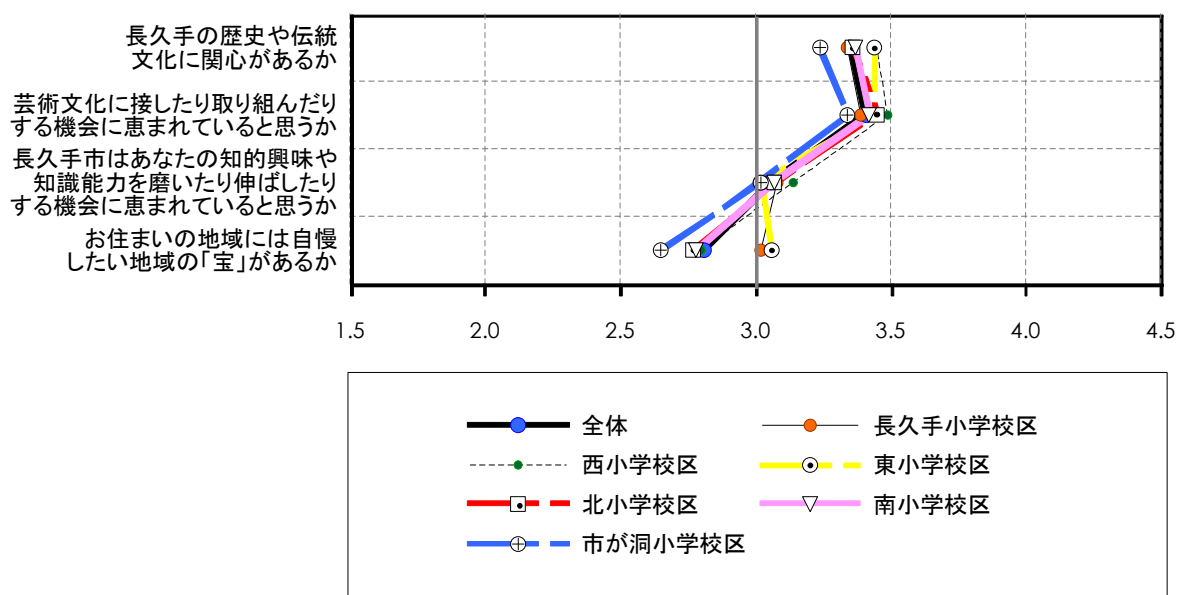
図 4-7-2 年齢 「文化・生涯学習について（評点）」



小学校区別

○「お住まいの地域には自慢したい地域の「宝」があるか」については、東小学校区（3.06）や長久手小学校区（3.02）において評点が高くなっています。
○市が洞小学校区がすべての項目で全体よりも評点が低くなっています（図 4-7-3）。

図 4-7-3 小学校区 「文化・生涯学習について（評点）」



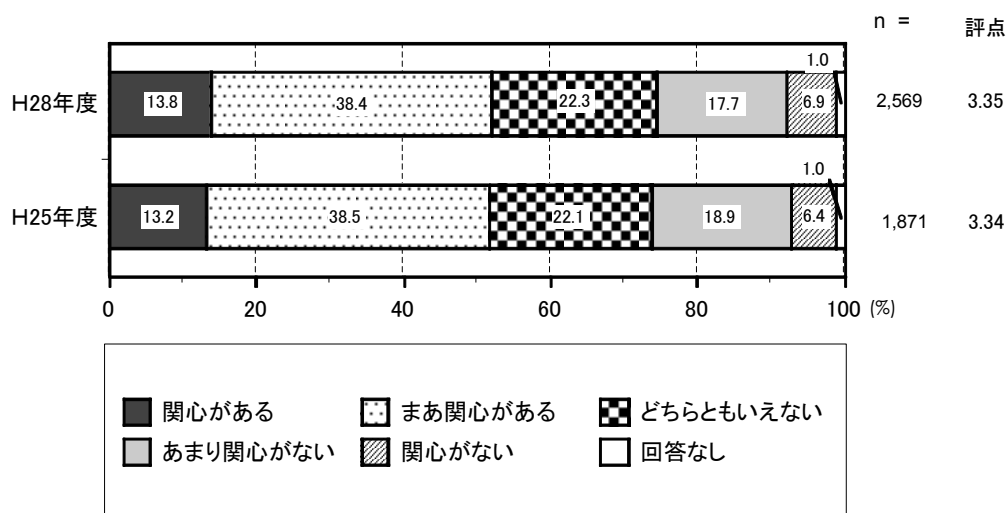
(1) 伝統・文化への関心 (問 14 (1))

問 14 (1) 長久手の歴史や伝統文化(「小牧・長久手の戦い」の地になったことや地域の昔話、棒の手等のお祭りなど)に関心がありますか。【〇は1つ】

○伝統・文化への関心は、「まあ関心がある」が38.4%と最も多く、「関心がある」(13.8%)と合わせた割合は52.2%で、「あまり関心がない」(17.7%)及び「関心がない」(6.9%)を合わせた24.6%より多くなっています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-7-4)。

図4-7-4 伝統・文化への関心(前回比較)



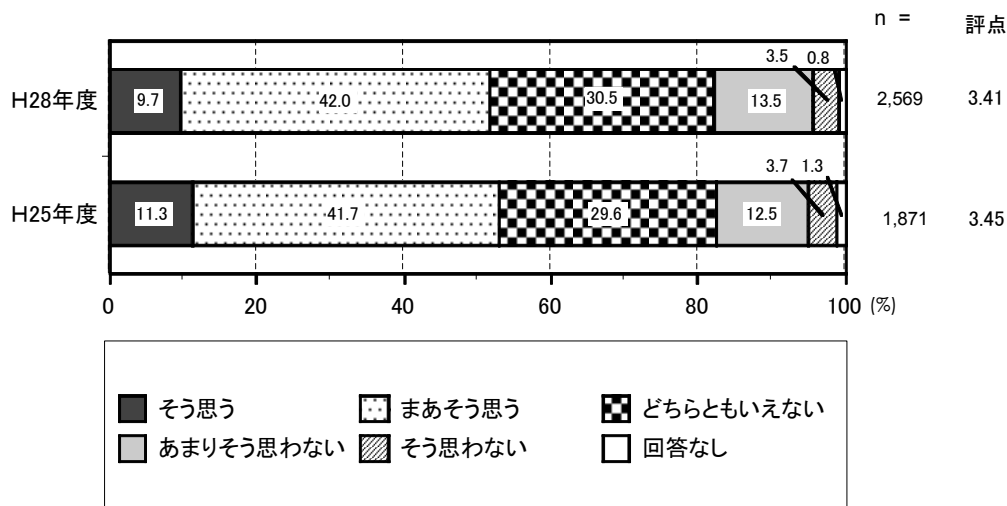
(2) 芸術文化に接する機会(問 14 (2))

問 14 (2) 長久手市は、芸術文化(演劇やコンサート、美術展など)に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思いますか。【〇は1つ】

○「芸術文化に接する機会に恵まれているか」について、「まあそう思う」が42.0%で最も多く、「そう思う」(9.7%)と合わせた割合は51.7%で、「あまりそう思わない」(13.5%)及び「そう思わない」(3.5%)を合わせた17.0%より多くなっています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-7-5)。

図4-7-5 芸術文化に接する機会(前回比較)

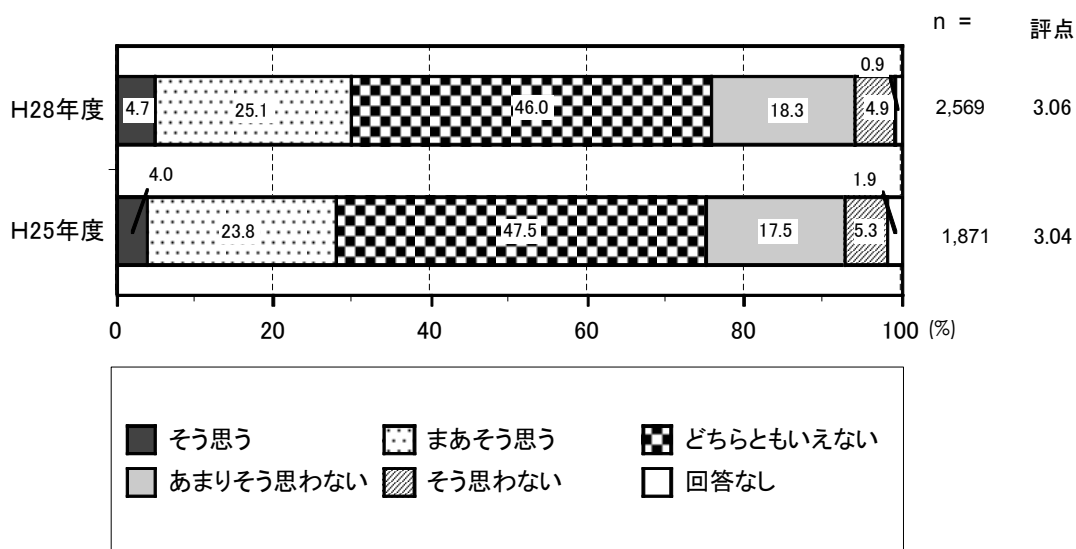


(3) 知識・能力を伸ばす機会 (問 14 (3))

問 14 (3) 長久手市は、あなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会（生涯学習活動を行う機会）に恵まれていると思いますか。【○は1つ】

- 「自己の興味や知識・能力を伸ばす機会に恵まれているか」について、「どちらともいえない」の46.0%が最も多くなっています。
- 「そう思う」(4.7%)、「まあそう思う」(25.1%)の合計は29.8%で、「あまりそう思わない」(18.3%)及び「そう思わない」(4.9%)の合計23.2%より若干多くなっています。
- 平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-7-6)。

図4-7-6 知識・能力を伸ばす機会 (前回比較)



(4) 地域における自慢すべき「宝」の有無（問 14 (4)）

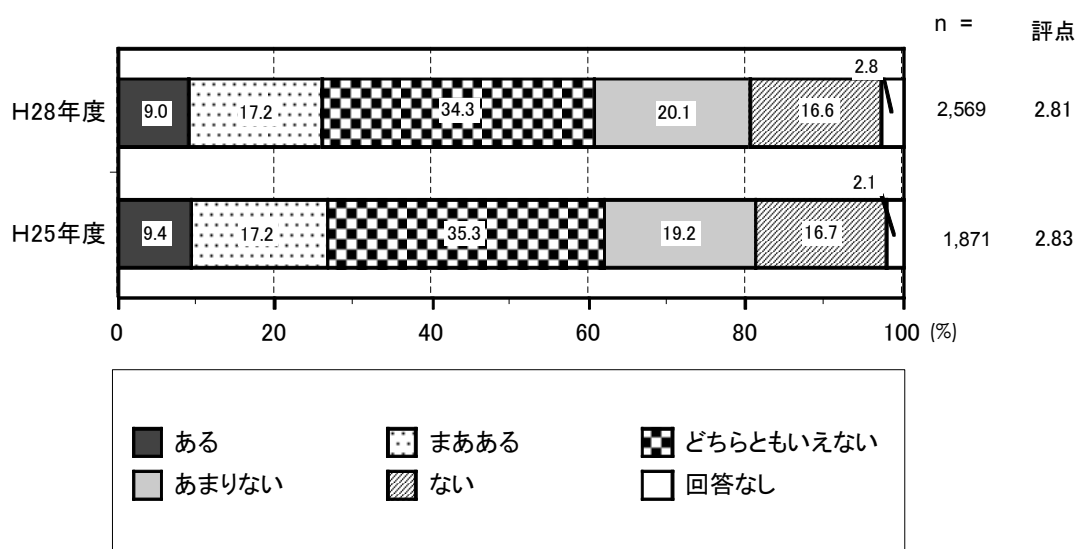
問 14 (4) お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化、行事など）がありますか。【〇は1つ】

○地域における自慢すべき「宝」の有無について、「どちらともいえない」の34.3%が最も多くなっています。

○「ある」(9.0%)、「まあある」(17.2%)の合計は26.2%であり、「あまりない」(20.1%)及び「ない」(16.6%)を合わせた36.7%を大きく下回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-7-7）。

図4-7-7 地域における自慢すべき「宝」の有無（前回比較）



(4) で「1. ある」「2. まあある」に「○」を付けた方は、あなたがお住まいの地域の「宝」であると思うものを、具体的にあげてください。

○モリコロパークや古戦場公園、リニモなどをはじめとした「各種施設・公園」(343 件) が最も多くなっています。

○また、「長湫の警固祭り、岩作のオマント」や「棒の手」をはじめとした「歴史・伝統・文化」(281 件)、「自然・景観」(139 件) や「古戦場」といった「史跡、寺社・仏閣」(102 件) など数多くあげられています。

○さらに、その他にも生活者の視点からバラエティに富んだ地域の「宝」があげられています(表 4-7-1)。

表 4-7-1 地域における自慢すべき「宝」

■1. 歴史・伝統・文化 (281 件) ・長湫の警固祭り、岩作のオマント (122) ・棒の手 (99) ・火縄銃 (13) ・各種祭り (4) ・神楽 (4) ・その他 (39) お月見どろぼう、左義長、山車 子供獅子、太鼓、大黒、歴史 等 ■2. 史跡、寺社・仏閣 (102 件) ・古戦場 (41) ・寺社 (25) 景行天皇社、岩作神社、富士社、安昌寺 多度社 等 ・史跡 (21) ・塚 (9) ・弘法 (3) ・その他 (3) 古窯、地藏、しょうぎ石 ■3. 各種施設・公園 (342 件) ・愛・地球博公園(モリコロパーク) (100) ・リニモ (36) ・古戦場公園 (47) ・各種公園 (15) ・杵ヶ池公園 (21) ・色金山歴史公園 (5) ・血池公園 (5) ・せせらぎの径 (5) ・各種公共施設 (14) 共生ステーション、平成こども塾 等 ・文化の家 (25) ・図書館 (8) ・名都美術館 (4) ・トヨタ博物館 (12) ・あぐりん村・ゴジカラ村 (10) ・長久手温泉ござらっせ (12) ・各種大学 (5) ・イオン・アピタ・イケヤ (7) ・その他 (11) 地下鉄の駅、グリーンロード 映画館、個人の美術館 等	■4. 自然・景観 (139 件) ・自然 (21) ・様々な小動物・昆虫 (3) ホタル、メダカなどの生き物 ・自然景観 (25) 田園風景、自然の風景 等 ・街並み景観 (17) ・田園・田畑 (2) ・緑地 (11) ・山・川 (37) 御嶽山、香流川 等 ・桜 (7) 古戦場公園の桜 等 ・杵ヶ池 (9) ・その他 (7) 愛・地球博記念公園「大観覧車」の風景 リニモのある風景 等 ■5. 行事、イベント (50 件) ・地区等のお祭り (30) 子ども祭り、学区夏祭り 桜祭り、夏祭り 等 ・花火大会 (8) ・その他のイベント (12) シニア会、うまいもの祭り、大学祭 福祉祭り、里山交流行事 等 ■6. その他 (52 件) ・住みやすさ (13) 商業施設 住みやすさ全国ランキング上位 等 ・住民 (7) 若い、親切 等 ・安心安全 (4) 地域のまとまり、消防団 等 ・子ども (3) 子どもが多い、学校が多い 等 ・その他 (25) N/バス、音楽、ケーキ屋、パン屋 等
--	---

要点

「買い物や通院に便利か」の評点が最も高く、次いで「出かける際の移動が便利か」や「出かける際の移動の安全が確保されていると思うか」といった交通基盤や公共交通に関する評点はいずれも高くなっています。一方で、「就業しやすい環境にあると思うか」の評点が低くなっています。

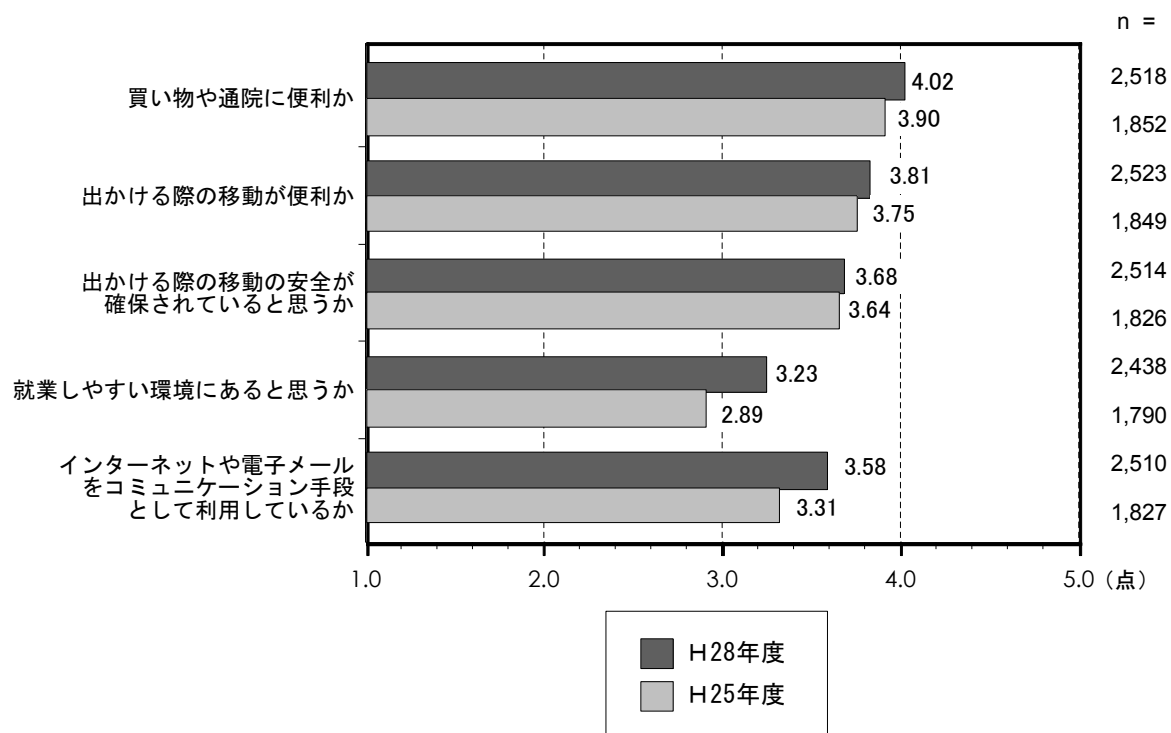
年齢別にみると、「インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか」については、20歳代以下をはじめとする若い世代の評点が高くなっています。

また、小学校区別にみると移動手段や移動の安全、インターネット利用などについては、東小学校区の評点が低くなっています。

全体

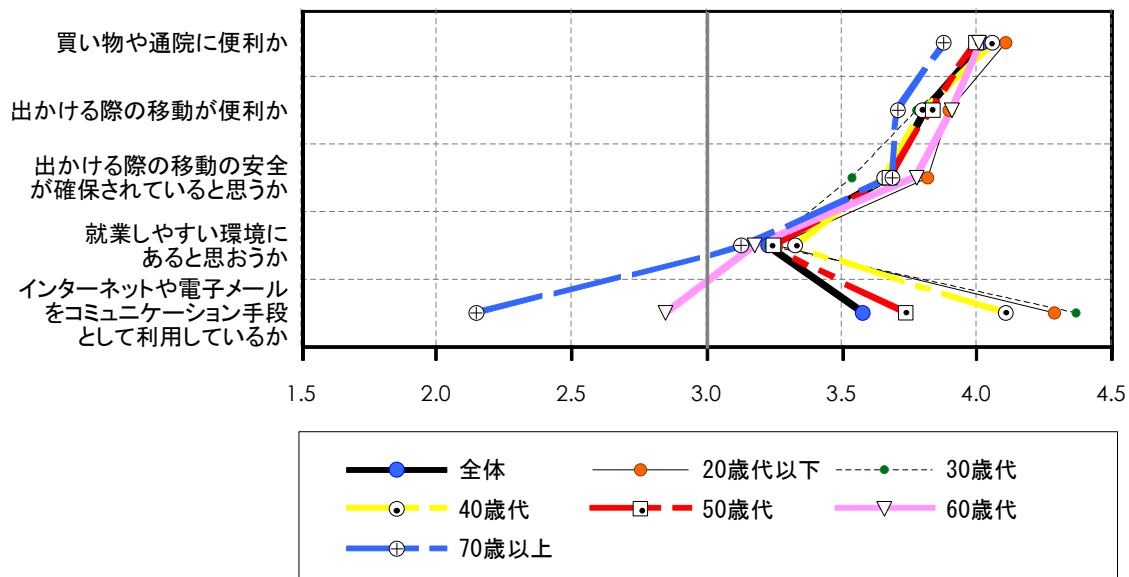
- 「買い物や通院に便利か」の評点が4.02と最も高くなっています。また、「出かける際の移動が便利か」（3.81）や「出かける際の移動の安全が確保されていると思うか」（3.68）などの評点も高くなっています。一方で、「就業しやすい環境にあると思うか」の評点が3.23と低くなっています。
- 前回調査と比較すると、「就業しやすい環境にあると思うか」と「インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか」については、前回調査よりも評点が高くなっています（図4-8-1）。

図4-8-1 生活インフラについて（評点：前回比較）



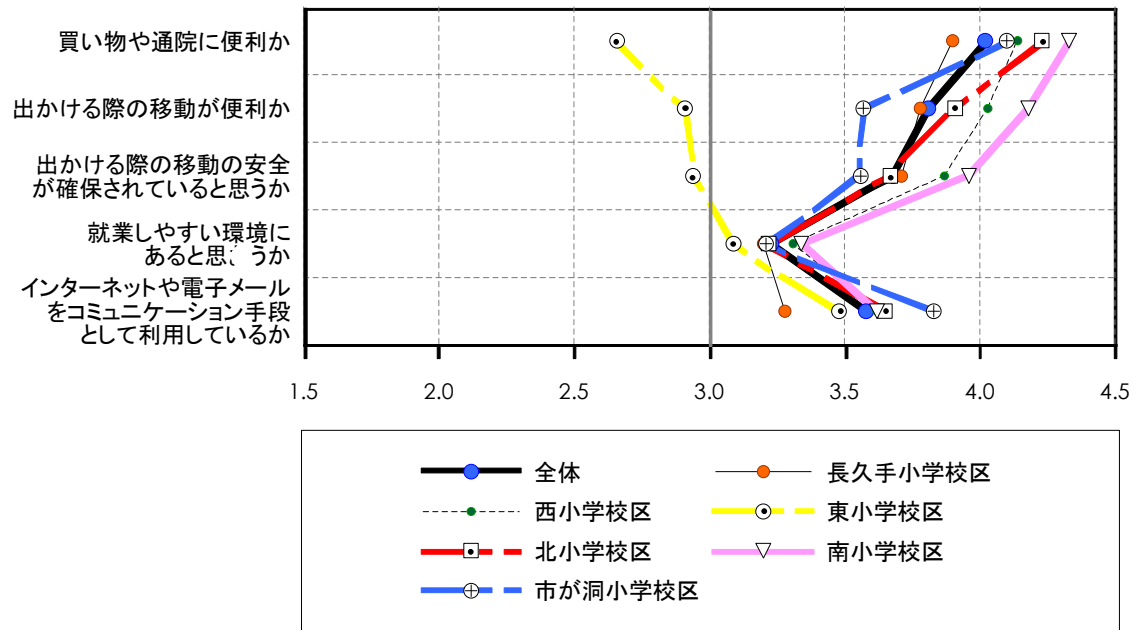
○「インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか」では大きな年齢差がみられます。具体的には、70歳以上（2.15）や60歳代（2.85）の評点が全体を大きく下回る一方で、30歳代（4.37）をはじめ、20歳代以下（4.29）や40歳代（4.11）といった若い世代の評点が高くなっています（図4-8-2）。

図4-8-2 年齢 「生活インフラについて（評点）」



- 「買い物や通院に便利か」については、東小学校区の評点が2.66と極端に低い一方で、西小学校区（4.14）や北小学校区（4.23）、南小学校区（4.33）では、他の小学校区よりも評点が高くなっています。
- 東小学校区では、「インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか」以外の4項目において他の小学校区よりも評点が低くなっています（図4-8-3）。

図4-8-3 小学校区 「生活インフラについて（評点）」



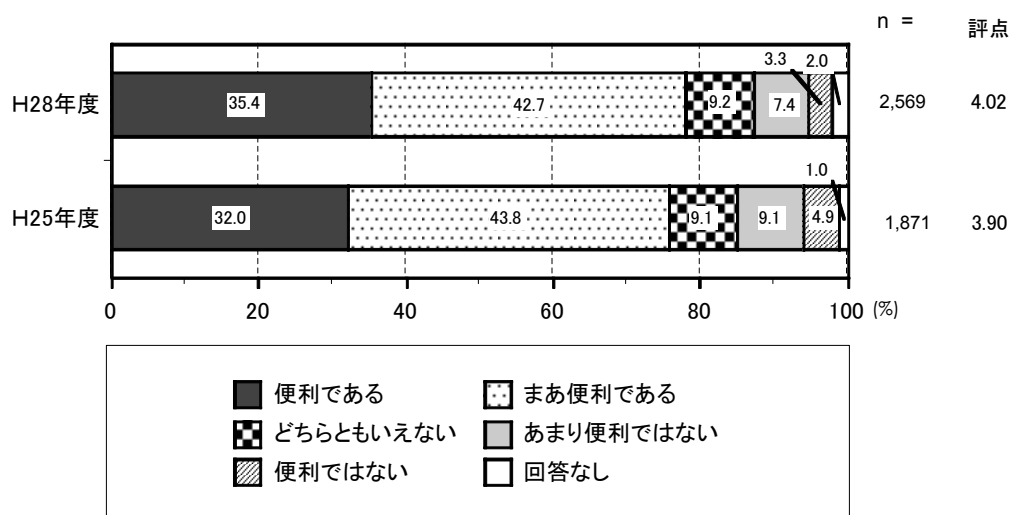
(1) 買い物、通院の便 (問 15 (1))

問 15 (1) お住まいの地域は、買い物や通院に便利ですか。【〇は1つ】

○買い物や通院の利便性について、「まあ便利である」が42.7%で最も多く、「便利である」(35.4%)と合わせた割合は78.1%で、「便利でない」(3.3%)及び「あまり便利でない」(7.4%)の合計10.7%を大きく上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-8-4)。

図4-8-4 買い物、通院の便 (前回比較)



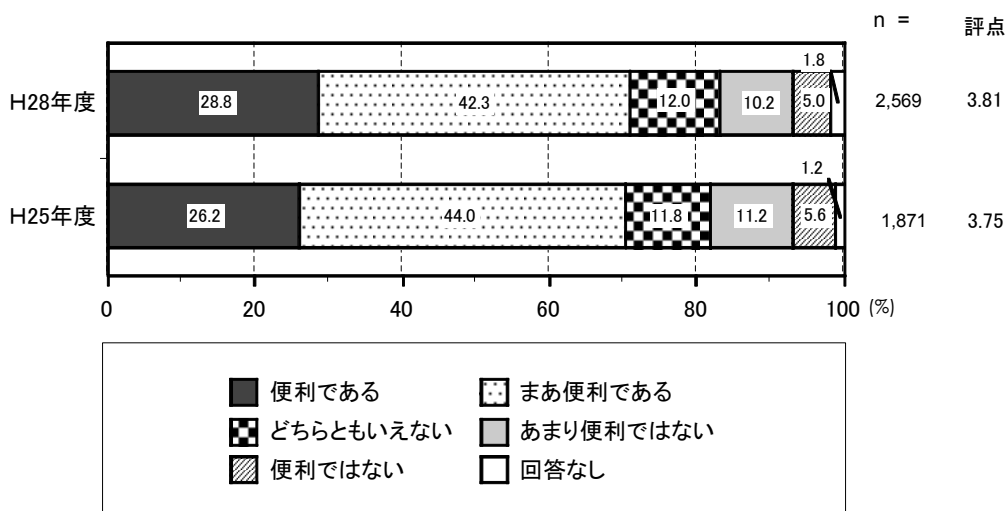
(2) 出かける際の移動の便 (問 15 (2))

問 15 (2) お住まいの地域は、出かける際の移動が便利ですか。【〇は1つ】

○出かける際の移動が便利かについて、「まあ便利である」が42.3%で最も多く、「便利である」(28.8%)と合わせた割合は71.1%で、「便利でない」(5.0%)及び「あまり便利でない」(10.2%)の合計15.2%を大きく上回っています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-8-5)。

図4-8-5 出かける際の移動の便 (前回比較)



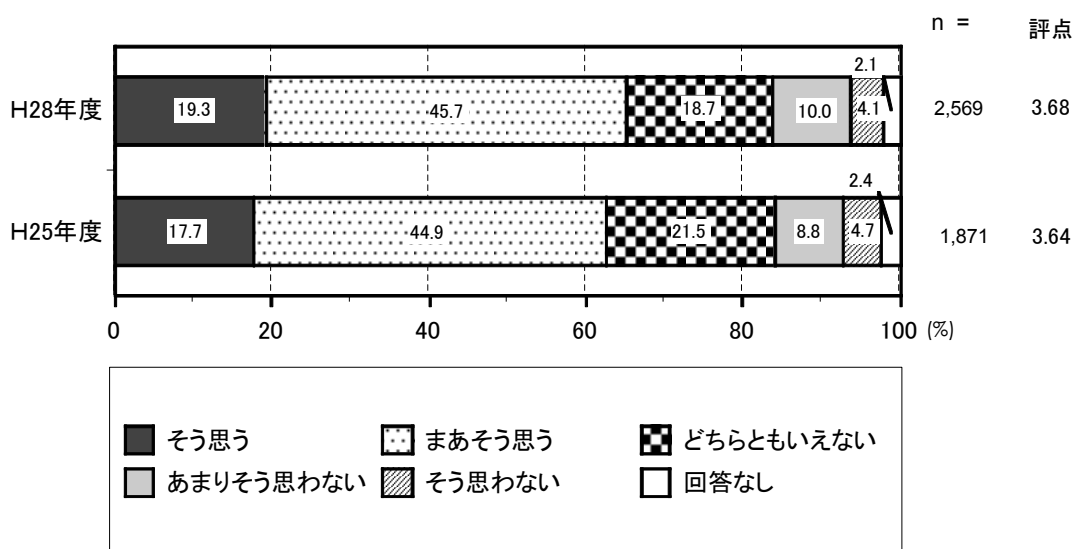
(3) 出かける際の移動の安全 (問 15 (3))

問 15 (3) お住まいの地域は、出かける際の移動の安全が確保されていると思いますか。【○は1つ】

○出かける際の移動の安全について、「まあそう思う」が45.7%で最も多く、「そう思う」(19.3%) と合わせた割合は65.0%で、「そう思わない」(4.1%) 及び「あまりそう思わない」(10.0%) の合計14.1%を大きく上回っています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません (図 4-8-6)。

図 4-8-6 出かける際の移動の安全 (前回比較)



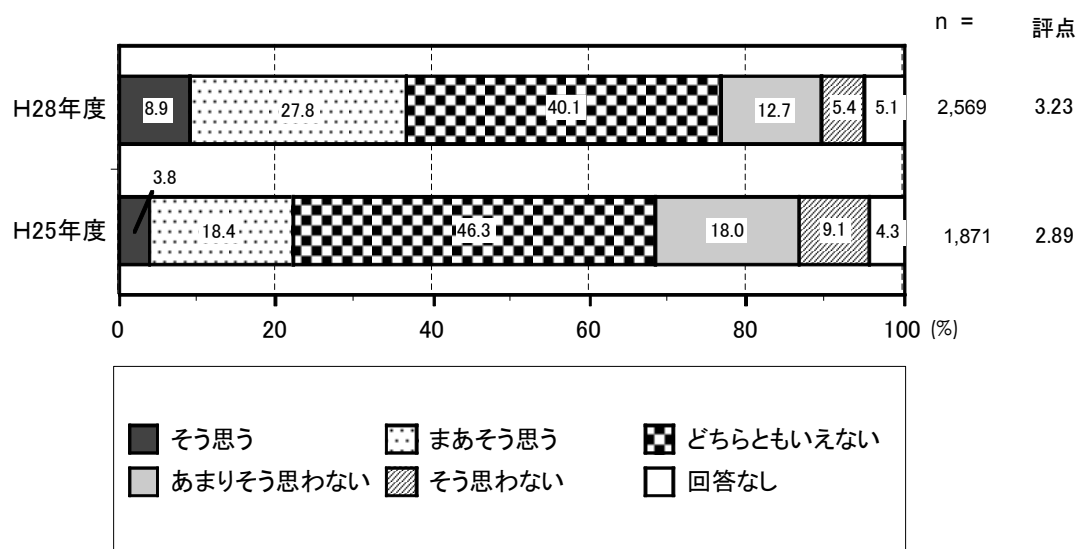
(4) 就業環境 (問 15 (4))

問 15 (4) お住まいの地域（長久手市及びその周辺地域）では、仕事が見つかりやすく就業しやすい環境（パート労働も含む）にあると思いますか。【〇は1つ】

○住まいの地域が就業しやすい環境にあると思うかについて、「どちらともいえない」が40.1%と最も多くなっていますが、「そう思う」及び「まあそう思う」を合わせた割合も36.7%と多く、「そう思わない」及び「あまりそう思わない」の合計（18.1%）と比べて18.6ポイント高くなっています。

○平成25年度調査結果と比べると、「そう思う」が5.1ポイント、「まあそう思う」が9.4ポイント高くなっており、就業しやすい環境だと評価する人が多くなっています（図4-8-7）

図4-8-7 就業環境（前回比較）



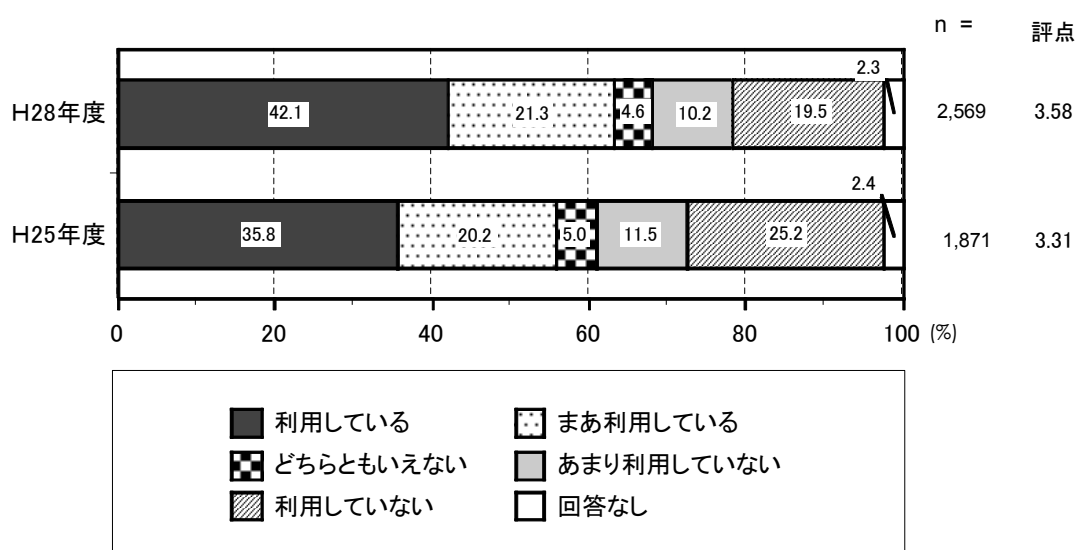
(5) インターネットや電子メールの利用 (問 15 (5))

問 15 (5) インターネット (ツイッターやフェイスブック、ライン等も含む) や電子メールをコミュニケーション手段として利用していますか。【○は1つ】

○インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているかについて、「利用している」が42.1%で最も多く、「まあ利用している」(21.3%) と合わせた割合は63.4%あり、半数以上がインターネット等を利用しています。

○平成 25 年度調査結果よりも「利用している」が6.3 ポイント高くなっており、インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用している人は7.4 ポイント高くなっています (図 4-8-8)。

図 4-8-8 インターネットや電子メールの利用 (前回比較)



要点

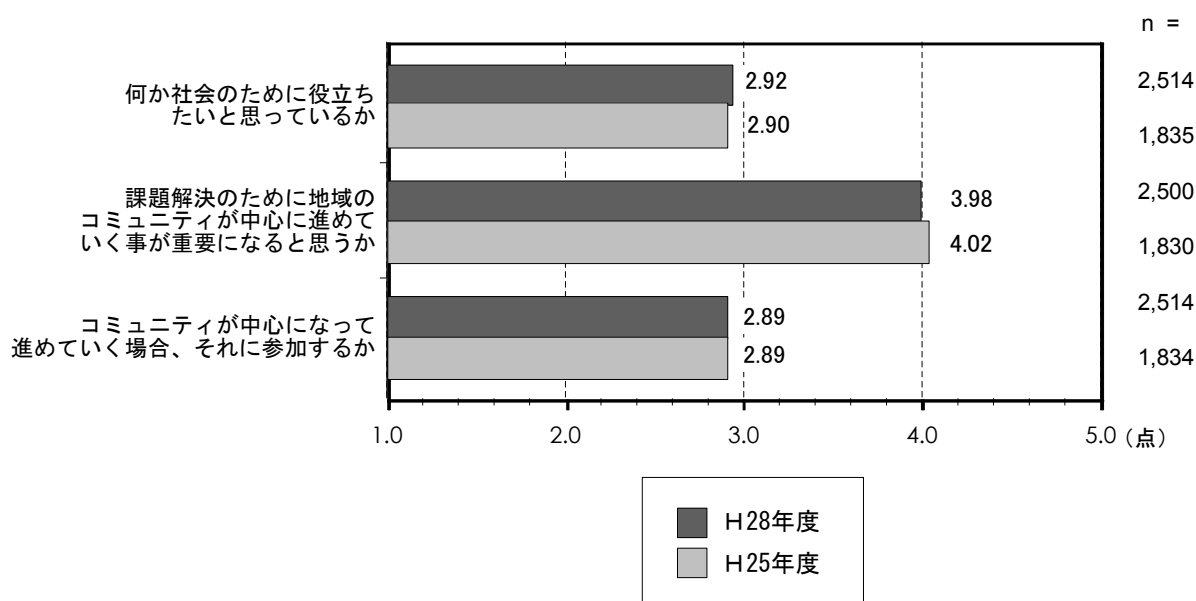
「課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか」の評点が最も高い一方で、「何か社会のために役立ちたいと思っているか」や「コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか」の評点が低い水準にとどまっています。地域が主体となったコミュニティ活動の重要性への理解に比べて、自らが地域づくりの担い手として役割を持ち活動に参加するという意識は低い状況にあることがうかがえます。

また、この結果は前回調査とほぼ同様の結果となっています。

全体

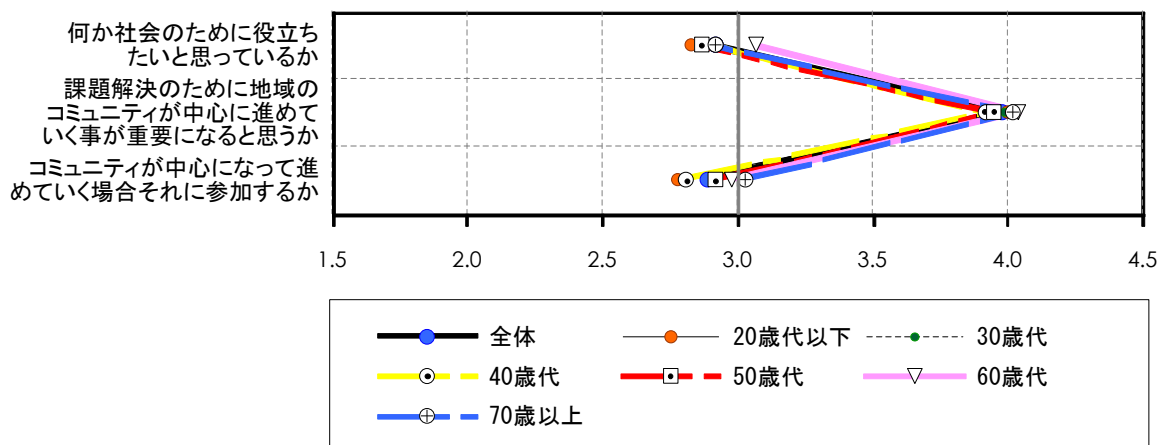
- 「課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか」の評点が3.98に比べて、「コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか」の評点が2.89と低く、また「何か社会のために役立ちたいと思っているか」の評点も2.92と低くなっています。
- 平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図4-9-1）。

図4-9-1 まちづくりにおける地域の役割について（評点：前回比較）



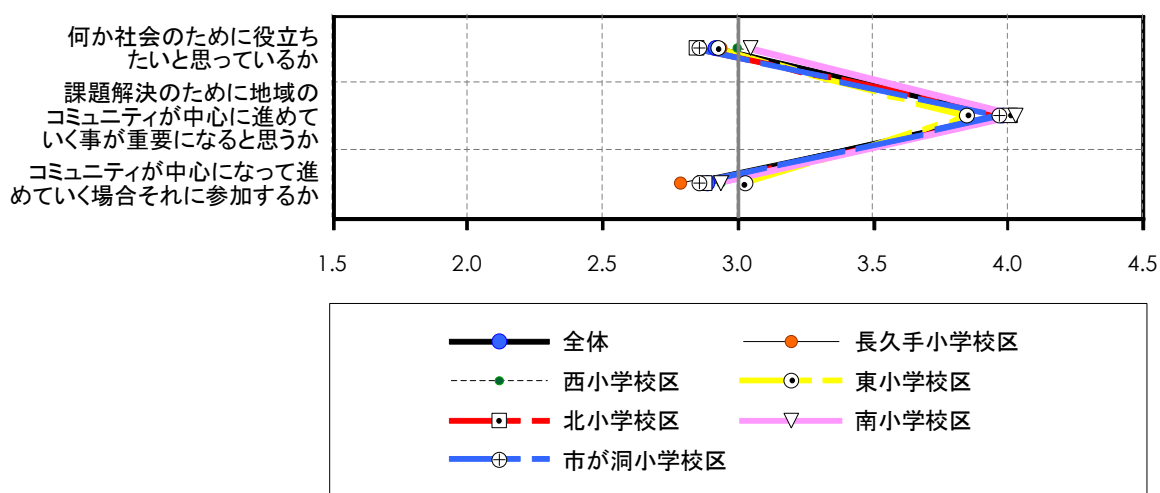
- 「何か社会のために役立ちたいと思っているか」については、60 歳代（3.07）の評点が若干高くなっていますが、年齢別による大きな違いはみられません。
- 「コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか」については、大きな違いはみられませんが、若干年齢が高くなるにつれて評点が高くなっており、70 歳代以上で3.03 となっています（図 4-9-2）。

図 4-9-2 年齢 「まちづくりにおける地域の役割について（評点）」



- 小学校区別に見ても、全体平均と比べて大きな違いはみられません（図 4-9-3）。

図 4-9-3 小学校区 「まちづくりにおける地域の役割について（評点）」



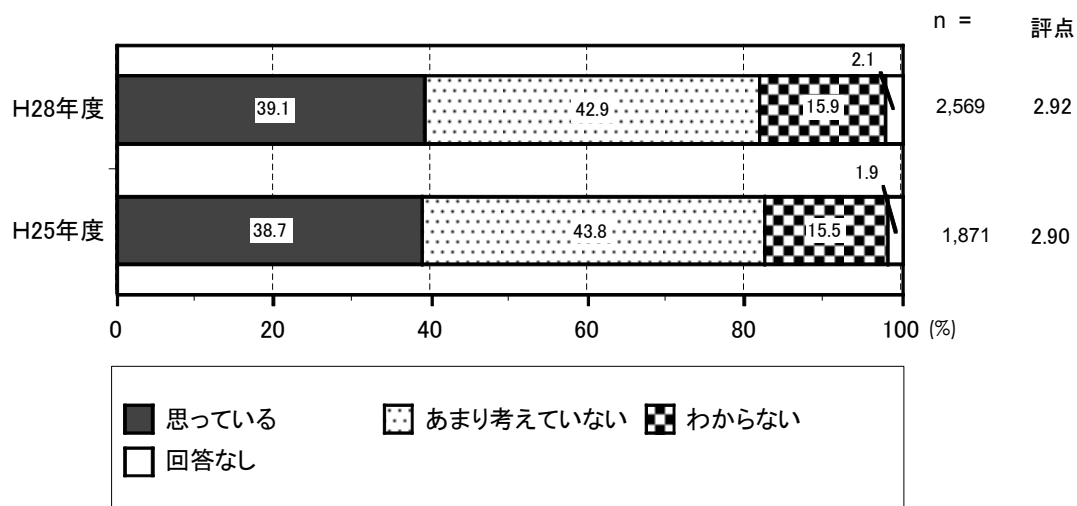
（１）地域における社会貢献の意思（問 16）

問 16 あなたは、日ごろ地域社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。【○は1つ】

○社会のために役立ちたいと思っているかについて、「あまり考えていない」が42.9%と最も多く、「思っている」(39.1%)を3.8ポイント上回っています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-9-4）。

図 4-9-4 地域における社会貢献の意思（前回比較）



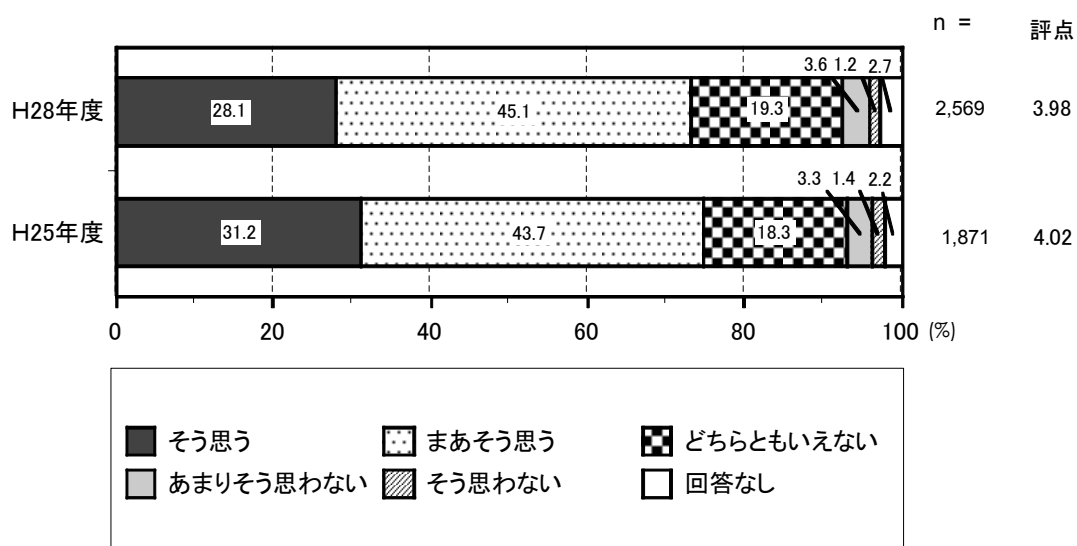
（２）課題解決におけるコミュニティの重要性（問 17）

問 17 地域にはさまざまな課題があると思われますが、このような課題を解決していくためには、地域のコミュニティが中心になって進めていくことが今後ますます重要になると思いますか。【○は1つ】

○地域の課題解決のためにコミュニティの役割が重要かについて、「まあそう思う」が45.1%で最も多く、「そう思う」(28.1%)との合計は73.2%で、多くの人が地域コミュニティの重要性を認識しています。

○平成 25 年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません（図 4-9-5）。

図 4-9-5 課題解決におけるコミュニティの重要性（前回比較）



(3) 地域コミュニティへの参加の意思 (問18)

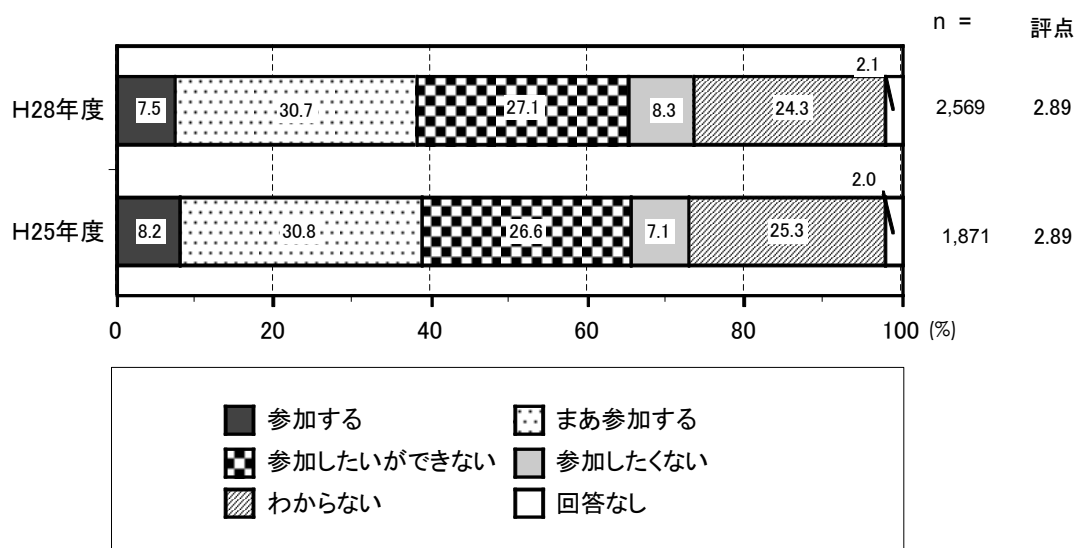
問18 問17のような取組などを地域コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加しますか。
【〇は1つ】

○地域コミュニティへの参加の意思について、「まあ参加する」が30.7%で最も多く、「参加する」(7.5%)と合わせた割合は38.2%となっています。さらに、「参加したいができない」の27.1%を加えると、全体の65.3%が参加の意向を示しています。問17の結果でみたように、多くの市民がコミュニティの重要性を感じていながらも、実際はなかなか参加できない状況にある市民が少なくない状況にあります。

○「参加したくない」は8.3%にとどまっています。

○平成25年度調査結果と比べてほとんど変化はみられません(図4-9-6)。

図4-9-6 地域コミュニティへの参加の意思 (前回比較)



問18で「3. 参加したいができない」「4. 参加したくない」に「○」を付けた方は、その理由をご記入ください。

○「仕事で忙しい」という理由が280件と最も多くあげられています。これも含めて、「子育てで忙しい」(58件)や「とにかく時間がない」(77件)など、忙しさを理由としてあげる市民が多い状況です。

○また、「健康上の理由」(77件)や「高齢のため」(66件)など健康面や加齢による体力の衰えなどを理由としてあげる市民も少なくありません。

○問17の結果でみたように多くの市民がコミュニティの重要性を感じていながらもその一方で、「ご近所づきあいが煩わしく面倒」(22件)や「自分や家族のことを優先」(32件)、「苦手、自信がない」(28件)という理由をあげる市民もみられます。また、「(参加の)きっかけや機会がない、わからない」(35件)というコミュニティ推進の施策的課題につながるような理由もみられます(図4-9-7)。

図4-9-7 地域コミュニティの活動に「参加したいができない」「参加したくない」理由

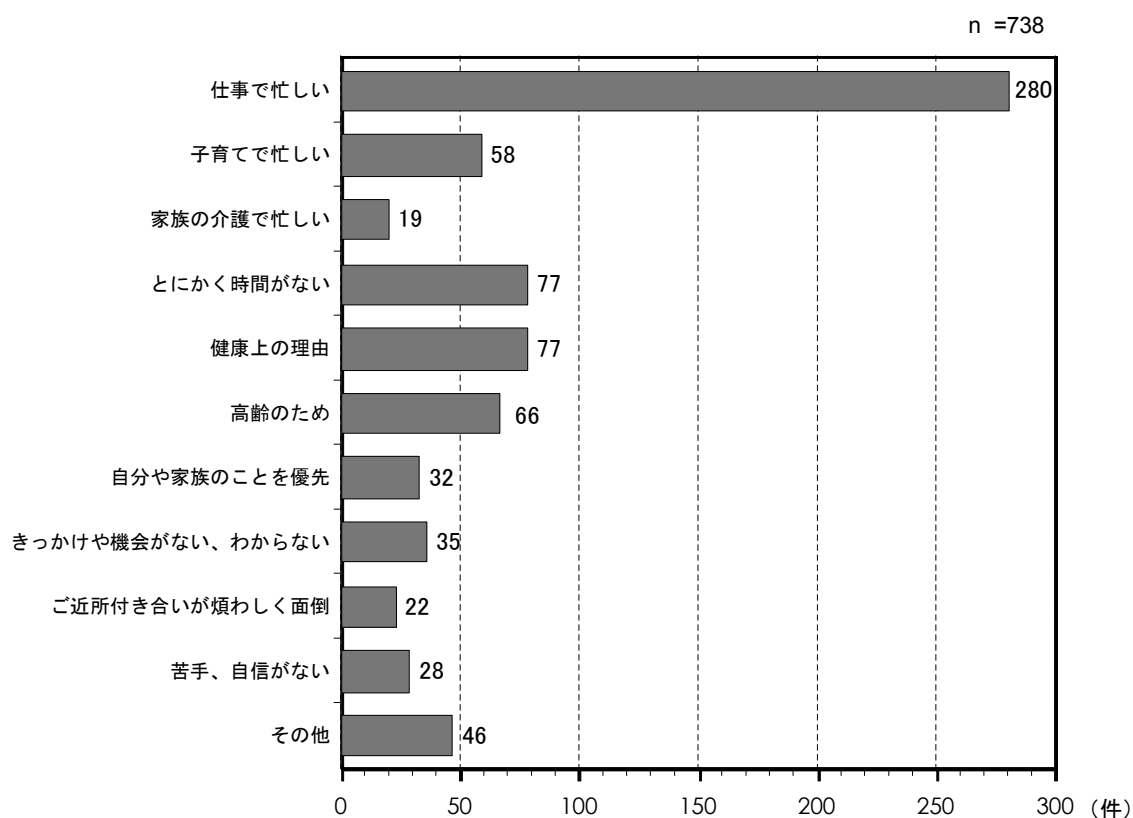


表4-9-1 地域コミュニティの活動に「参加したいができない」「参加したくない」主な理由(抜粋)

分類	主なご意見(抜粋)
1: 仕事で忙しい	・ 仕事が忙しいため。 ・ 仕事と育児があるため。 ・ 就業中のため、体力的に無理。 ・ 単身赴任のため。 ・ 仕事が土日関係なく入るため。土日出勤、平日休みなど。 ・ フルタイムで夫婦共働きのため。
2: 子育てで忙しい	・ 子どもが小さいため。 ・ 育児があるため。 ・ 子どもがまだ小さく、仕事もあり時間的に余裕がない。 ・ 子どもがまだ小さい。移動する手段がない。 ・ 子連れだとむずかしい。預け先が確保できない。 ・ 子育て、家事で時間が取れない。

分類	主なご意見（抜粋）
3：家族の介護で忙しい	・介護があるため。 ・夫が2年半ほど病院に入っている。時間に余裕がない。 ・介護が必要な主人がいるのもっと自由な時間が欲しい。 ・遠距離で両親の介護をしているため。 ・義母を静岡市内まで主人と交代で介護に出かけている。 ・認知症の主人がいるため。
4：とにかく時間がない	・時間がつくれない。 ・時間がない。 ・忙しいので。 ・余裕がない。 ・日時的に予定があり、合わない事が多い。 ・ほとんど家にいないため。
5：健康上の理由	・健康上の理由から。 ・障がい者なので。 ・自分の身体に自信がない。 ・体力的に無理があるため。 ・身体がしんどくなる。 ・歩行が困難なため。
6：高齢のため	・高齢のため。 ・年齢的に無理。 ・高齢となり体力的に動けなく他人に迷惑をかける。 ・96歳の老齢にて参加したいができないと思う。 ・高齢のためあまり役に立つとも思われない。 ・高齢なので足でまといになるから。
7：自分や家族のことを優先	・現在、娘夫婦の孫の面倒をみているため。 ・自分の生活で手いっぱい。余裕がない。 ・旅行をしていることが多いため。 ・家を空けるのがむずかしい。 ・自分と家族の健康面のため。 ・家族に高齢者がいるから。
8：参加のきっかけや機会、必要な情報が不足	・地域コミュニティ内容とか活動状態を知らないため。 ・参加したことがないので、その輪に入りにくい。 ・ご近所等お付き合いもなく参加しづらい。 ・どこで何をしているのかわからない。 ・地域の人はほとんど知らないため。 ・溶け込みにくい。
9：ご近所づきあいが煩わしく面倒	・面倒。 ・自分が人から干渉されるのが好きではないので。 ・マンションに住んでいるので、マンション内だけで良い。 ・声の大きな人が幅をきかせているから。 ・人と交わるのがおっくう。 ・他人と話しをしたくない。
10：苦手、自信がない	・人付き合いが苦手。 ・人とのコミュニケーションが苦手。 ・人に迷惑をかけるのは嫌い。かけられるのも嫌い。 ・一緒に参加する人がいないので、一人では不安。 ・他人に対して協調性がない。 ・参加する勇気がない。
11：その他	・独り暮らしのため。 ・興味がない。 ・本来は市が行うべきだと思うので。 ・将来的に転出する予定だから。 ・常時住んでいないので。 ・関わりたくない。

第5章 考察

(1) アドバイザーによる考察

『市民の幸せ実感調査データによる「幸せで住みよいまち長久手」の現在』

草郷孝好

はじめに

長久手市は、2016年の「住みよさランキング¹」（東洋経済新報社『都市データパック 2016年版』）では、全国第二位にランク付けされるなど、全国でも指折りの住みよい都市の一つとして定評を得つつある。このランキングは、安心度、利便度、快適度、富裕度、住居水準充実度の5つの観点から、公的統計データを用いて、各都市の持つ住みやすさを測っている。住みよさの評判を得ることはよいが、気になるのは、長久手市で実際に生活する住民によるまちの住みよさの評価はどういうものなのか、であり、幸せ度の高い長久手につながる住みよさを実現しつつあるのかどうか、という点である。

長久手市は、2050年に日本一幸せなまちの実現を目指し、その目標に向けさまざまな取り組みを展開している。その活動の一つとして、ながくて幸せのモノサシづくりに着手、市民と市役所職員の中から有志が協働チーム（ながくて幸せ実感調査隊）となり、ながくて市民の幸せとは何か、幸せなまちの状態の掘り下げ、幸せなまちの評価項目などについて議論し、2013年に「ながくて幸せ実感調査」を行った。この調査結果をもとに、幸せなまちづくりにつなげていくための種や芽を探す活動（ながくて幸せ実感広め隊）が始まり、2017年には、ながくての幸せ実感の現在を確かめるために2回目の調査が実施された。

本調査は、長久手の生活当事者である市民と行政の有志が、幸せで住み続けたいまちを構想し、その実現を側面サポートするツールとして開発した市民意識調査である。市民目線で、生活の質の高い幸せで住みつづけたいまちを実現するためのツールとして、デザインされ、調査で収集されたデータを活用して、まちづくりに重要な役割を果たす市民による地元ながくての評価を行い、評価結果をもとに改善につなげることを目指している。それは、先の住みよさランキングのような外部者による一律の評価とは異なる長久手市独自の視点と性格を持つものである。

そこで、2013年と2017年に収集された生活実感データをもとに、内部者（生活当事者である市民）の視点で幸せ感や、市民の幸せ感を左右する8つの領域－「健康（こころとからだ）」「子育て・教育」「環境（自然と生活）」「つながり（個人と地域）」「防災・防犯」「福祉」「文化・生涯学習」「生活インフラ」－の動向に焦点をあてて、内部者の視点で長久手のまちの現状評価に関する分析を試みる。

¹ 「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5つの観点に分類し、採用15指標について、それぞれ平均値を50とする偏差値を算出、その単純平均を総合評価としてランキングしたもの。

(1) 個別の質問項目の動向

まず、幸せ度や8つの領域ごとの動きを見る前に、調査票の個別質問項目ごとに、2回の調査結果から、目新しい動きがあるかどうか、動向²を確認してみる。「図4-0-3 暮らしやお住まいの地域（生活実感）について」（第2編第4章、91ページ）は、2013年と2017年の調査結果をもとにして、8つの領域で選定した質問項目の平均得点をグラフ化している。大半の項目において、1回目（2013年）と2回目（2017年）の調査の間で、大きな動きは見られない。しかし、興味深いのは、いくつかの項目で、プラス（増加）やマイナス（減少）の変化が見られることである。

プラスの変化が見られた質問項目を挙げると、「就業しやすい環境にあるか」、「インターネットや電子メールをコミュニケーション手段に利用しているか」、「子育てや教育に関する設備や施設が整っているか」、「自宅以外の居場所があるか」、「お客・来場者として地域の活動や行事に参加しているか」、「災害時の避難所と避難方法を知っているか」、「買い物や通院に便利か」、「たつせがあるか」などである。2013年から2017年の4年間で、長久手市が市民主導の地域コミュニティ基盤形成に向けた様々な取り組みを展開してきたことが調査結果から読み取れる。他方、「日頃から環境に配慮した生活をしているか」、「現在、将来の自分または家族の介護に対して不安を感じるか」、「日常的に近所づきあいをしているか」などは、マイナスの変化を示している。環境、つながり、福祉といった領域であるだけに、長久手をよりよいまちにしていくために、重点的に取り組むべき課題に気づかせてくれる。

市民の幸せ実感調査データを活用し、長久手市における暮らしを市民目線で多面的に評価することは、長久手市のまちの改善に生かすことができる。たとえば、前回よりもマイナスと評価された項目がわかれば、マイナスの理由を探る、今後改善するための方策や取り組みを検討する、あるいは、他の項目よりも優先的に取り組むことを検討することができる。このように、個別項目の経年変化を把握することによって、まちの生活状況を把握できるのだが、長久手の掲げる「幸せに住みよいまち」を実現していくためには、幸せ感を左右する8つの領域の観点から調査データを整理しなおし、経年変化動向を探っておく必要がある。

(2) 8つの領域に関する市民評価の動向

8つの領域の市民評価動向を把握するため、2013年の1回目の調査データ分析時に行った「領域別平均得点」³を計測、分析した。そこで、2013年と2017年の領域別平均得点の

² 調査対象者は、両調査ともに、ランダムサンプリングによるものであり、パネル調査ではない。そのため、変化と断定することはできないので、「動向」と表記する。

³ 領域得点とは、各領域ごとに設定した質問項目（4項目から11項目まで）の回答結果を領域ごとに単純平均して算出している。

動向を確認しておく⁴。表1は、2013年と2017年の調査結果をもとにして作成した8つの領域項目（全領域回答者のみ（注3参照））の領域別得点である。

領域別平均得点で、各領域ごとの動向をみると、生活インフラ、防災防災、子育て教育、つながりがプラス、他方、健康と文化生涯教育がマイナスとなっている。生活インフラの差異は、明確ではあるものの、他項目では変化らしい変化は見られない。

表1：8つの領域の領域別平均得点（2013年、2017年）

調査年	健康	子育て教育	環境	つながり	防災防災	福祉	文化生涯学習	生活インフラ
2013	3.75	3.55	3.86	3.37	3.32	3.02	3.33	3.62
2017	3.70	3.59	3.87	3.40	3.38	3.02	3.29	3.75
動向	-0.05	0.04	0.01	0.03	0.06	0.00	-0.04	0.13

8つの領域を平均得点の高い順に並べると、環境、生活インフラ、健康、子育て・教育、つながり、防災防災、文化生涯学習、福祉となる。8つの領域の中では、つながり、防災防災、福祉といった地域の力が試される項目の評価が低い。幸せで住みよいまちを実現するには、個人と地域の持つつながり、地域の防災防災活動や多様な住民を包摂する福祉の実現が欠かせない。調査データから、長久手の幸せ感を高めるには、これら3つの領域に注力する必要があるといえる。

2013年と2017年の領域別平均得点同士を比べても、目立った変化はないようであるが、忘れてならないのは、これら8つの領域は、長久手市民の幸せな生活実現を具体化し、幸せ感を左右する領域であるという点である。領域別平均得点は、調査回答者の属性（性別、年齢層、職業、所得水準、家族構成、小学校区、居住歴）や総合的生活評価項目（幸せ感、生活への満足度、地域の住みやすさ、地域への愛情、今後の居住意向）との関係などを考慮せず、回答結果の単純平均を算出しただけにすぎない。そこで、長久手が目指す「幸せに住みつづけたいまち」の実現に沿って進んでいるかどうかを確認するため、市民の総合的生活評価項目との関係を掘り下げてみる必要がある。

（3）幸せ感と領域別平均得点の動向

まず、回答者の幸せ感と領域別平均得点の動向を見してみる。図1は、2017年の調査データをもとに、幸せ感の回答を4段階⁵にして、各段階ごとに、8領域の平均得点を算出したものである。興味深いことに、幸せ感の低いグループから幸せ感の高いグループへと進むにつれて、8つの領域全てにおいて、領域別平均得点が増加している。つまり、幸せ感の高い人ほど、多くの領域項目でよりよい生活状態にあることを示している。

⁴ 8つの領域ごとの得点算出の際、全回答の中から、8つの領域群の48指標すべてに回答しているもののみを抽出して、分析している。このため、2013年、2017年ともにサンプル数は各々416件、675件となっていることに留意されたい。

⁵ 回答者の得点分布割合を考慮し、素データ（0-10まで11段階で幸せ感を計測）を、幸福度低（0-4）、幸福度中低（5-6）、幸福度中高（7-8）、幸福度高（9-10）の4グループに分類して分析した。

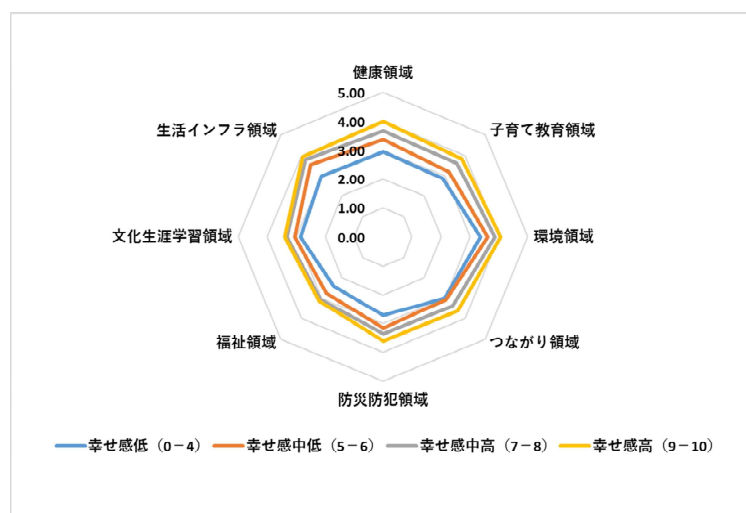


図1：幸せ感の度合い別8領域平均得点（2017年）

これは、理にかなっているといえるが、8領域すべてにおいて、両者が関係しあっている点の特筆すべきである。本調査の調査票は、2013年の調査設計時に実感調査隊メンバーが「幸せな長久手市を実現するために欠かせない要素」を意見交換し、8つの領域を抽出し、各領域ごとに調査項目と質問を練り上げて完成させたものである。したがって、幸せ感と8つの領域の間にみられる関係を確認できたことにより、本調査は、長久手の幸せなまちづくりを推進するうえで、活用に足るものであることを意味する。言い換えるなら、市民の幸せ実感を高めるのであれば、幸せ感を左右する総合的な生活評価である8つの領域の動向を把握し、どの領域のどの部分を改善していくべきかを検討するための材料を与えてくれる。どの項目に焦点をあてるべきかについては、簡便な方法として、8つの領域ごとに幸せ感のレベルに応じた領域別平均得点を算出し、その得点の分散（最低点と最高点の差の大きさ）に着目することである。分散が大きい、つまり、格差が大きい領域項目を優先的に改善していくことが考えられる。また、領域別平均得点が高いものから優先的に改善していくことも有効な方法であるだろう。

(4) 市民の評価による長久手の住みよさ

冒頭で紹介した「住みよい都市ランキング」で上位につける長久手市であるが、長久手市民自身はまちの住みよさについて、どのように評価しているのだろうか。長久手市民は、どれほど住みよいと評価しているのだろうか。住みよいことと幸せ感の度合いはどれほど関係しているのだろうか。

本調査では、長久手市の地域生活の総合的な評価として、「長久手を住みよいまちだと思いますか」、「今後も長久手に住み続けたいですか」の質問をしている。これらの質問への回答をもとに、長久手の住みよさについて当事者評価と8つの領域との関係から探ってみる。

図2は、住みよさの度合いと8つの領域別平均得点を表している。両者の間には、プラスの相関（+0.346）があり、幸せ感の度合いと同様、住みよいと思う人ほど、8つの領域の評価も高いことがわかる。回答者数は全体の5%程度に過ぎないが、「住みにくい」と回答した場合、すべての領域別平均得点が低いこと、それらの得点が「やや住みにくい」と回答したグループの得点との間の差異幅が大きい点が気になる。住みよさの度合いと今後住み続けたいか、という質問への回答との間にも、プラスの相関（+0.358）があり、住みにくい人ほど、長久手市から転出したいと考えていることがわかる。

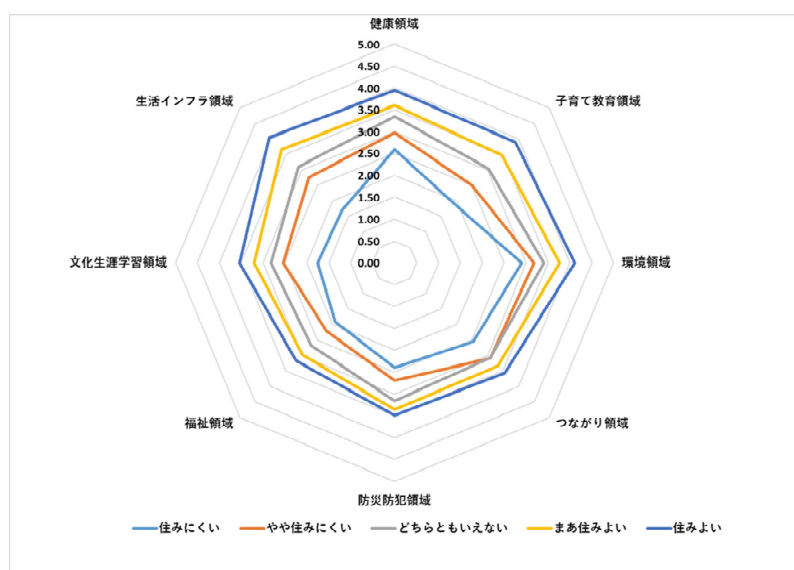


図2：住みやすさの評価と8領域平均得点（2017年）

確かに、「住みよさランキング」が示すように、長久手市民が現在の長久手市を住みよいまちと考えていることがわかる。ただ、相対的な割合は少ないかもしれないが、住みにくいと感じている人がいること、住みにくいと感じている人ほど、8つの領域の評価も低くなっていることには注意が必要である。また、「住みよさの評価」が高い人の中にも、幸せ感の低い人もいる。このように、住民の「幸せ感」を把握していくことによって、8つの領域からなる包括的な生活の質評価につなげていくことができる。

(5) 幸せのモノサシのキーワード：子どもと笑顔

本調査では、地域の子どものがのびのび育っているかどうか、笑顔で心豊かな生活ができているかについて尋ねている。表2は、この二つの質問への回答結果と幸せ感と住みよさの二つの生活評価の回答結果との間の相関を示している。「日頃から笑顔で心豊かな生活ができているか」と「幸せ感」との間にはやや強いプラスの相関（+0.540）があり、地域の子どものがのびのびと育っているか」と「住みよさ」の間にも、やや強いプラスの相関（+0.421）が確認できる。言いかえるならば、ながくての幸せのモノサシが目標に掲げるように、長久手の子どもたちが笑顔で暮らしていけるまちを実現することができれば、それと

ともに、市民の幸せ感を左右する 8 つの領域の状態も改善し、長久手市民の幸せ感や住みよさの評価も更に改善していくことが期待される。

表 2：幸せ感、住みよさ、笑顔と子どもの相関

	現在の幸せ感	長久手を住みよいまちだ と思うか	日頃から笑顔で心豊かな 生活ができていると思う か	地域の子どもたちは、の びのびと育っていると思 うか
現在の幸せ感	1	.346**	.540**	.298**
長久手を住みよいまちだ と思うか	.346**	1	.317**	.421**
日頃から笑顔で心豊かな 生活ができていると思う か	.540**	.317**	1	.329**
地域の子どもたちは、の びのびと育っていると思 うか	.298**	.421**	.329**	1

** 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

(6) 地域の宝と幸せ感

本調査では、地域の宝（風景、産物、文化、行事など）があるかどうかについても尋ねている。そこで、地域の宝を認識している人とそうでない人の間に、幸せ感や住みよさの点で違いが見られるのかどうかを検証してみたところ（図 3）、地域の宝を認識している人は、幸せ感も住みよさともに、高いことが確認できた。さらに、地域の宝があると回答している人には、長久手の宝についての自由記述の質問をした⁶。自由記述の中身は、第 2 編の調査結果報告を参照されたいが、長久手市は多様な魅力を持っていることがわかる。本調査の結果を幅広く共有することで、長久手の宝を具体的に確認し合うことに意義がある。まちの魅力は、まちに暮らす人々によって、見出され、磨きあげられて、宝物になっていく。長久手にある宝物を一つずつ増やしたり、地域の住民同士で共有することによって、市民の感じる幸せ感や住みよさがより高くなっていくことが期待される。

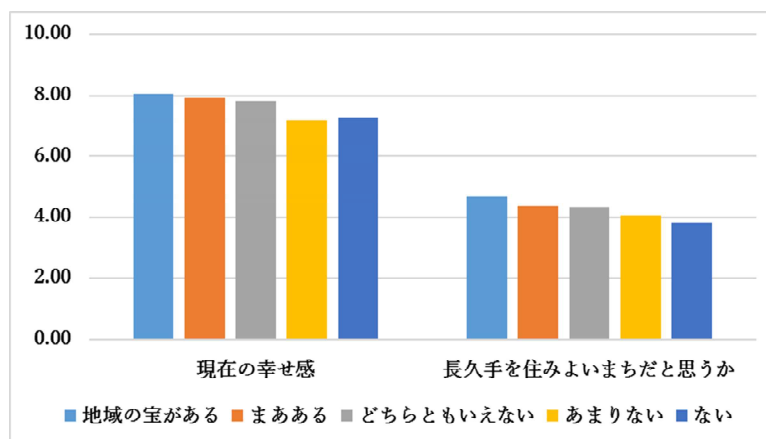


図 3：地域の宝の有無と幸せ感と住みよさ

⁶ 詳細は、第 2 編のアンケート調査結果報告書を参照していただきたい。

おわりに

幸せ実感調査の目的は、長久手市が掲げる住民主導で幸せな生活を実現できるまちづくりの実現に向けて、長久手市における生活の現状評価を市民の立場から行っている。幸せ感をまちづくりの総合的な評価として疑問を感じるという人の中には、「そもそも幸福とは、一人ひとりの感じ方の違いや幸福に影響を与える要素が随分と違う可能性が高いのだから、幸せ感のデータで把握するのは問題ではないのか」と、疑問を投げかける人がいる。しかし、今回、2回の調査データをもとにしての長久手市の幸せ感と8つの領域の関係の分析から、市民の評価する幸せ感は、想定された以上に、現実のまちの状況に適応した多面的かつ包括的な優れたモノサシであることが明らかになった。幸せ感の高いグループは、異なる8つの領域全てにおいて、領域別平均得点が高いこと（つまり、自己評価による生活状態の良好さを示す）、反対に、幸せ感が低いグループになると、8つの領域全てにおいて、領域別平均得点は低く、自己評価による生活状態はもうひとつである。もしも、幸せ感の変動と相関するのが、8つの全領域ではなく、その中の特定の領域とはまったく相関していないのであれば、幸せ感で包括的生活評価をすることに留意が必要になる。しかし、長久手の2回の調査データによれば、幸せ感データによって、市民自身による生活評価に活用することに問題はないといえるだろう。

また、2回分の調査により、幸せ実感調査が、幸せ感や8つの領域に関する長久手市民によるまちのくらしの動向評価に活用できることがわかってきた。そこで、本調査の調査票の更なる改善や調査実施方法などの検討により、今後、長久手のしあわせのモノサシによる長久手のまちづくりの進捗状況評価を継続的に実施していくことが長久手のまちづくりに役立つことが期待される。

(2) 担当職員による考察

その１ 地域のつながりがあるまちは、子育てしやすいまち

「子育て・教育分野」のアンケート項目は全部で6つあり、そのうち5つの質問と幸せ感は、弱い相関があるという結果がでました（表2-1-1、63ページ）。子育て環境がよいまちは、幸せ実感が高いまちと言えます。

今、長久手市では、市民のみなさんが、まちに関心を持ち、まちづくりに参加する機会をたくさんつくっています。まちづくりに参加することが、子育て・教育分野にどう関係するのかについて、考えてみました。

若い世代の転入者が多く、子どもが増加しつづけている長久手市。日本経済新聞では、「子育てしやすいまち」全国第1位にもなりました。

では、実際に住んでいる市民の実感はどうなのでしょう。

【子育て・教育分野のアンケート項目】

	アンケート項目	H28 評点	H25 評点
1	市は安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思う	3.92	3.94
2	地域の子どもたちはのびのびと育っていると思う	3.87	3.85
3	地域に子育てに関するサービスや施設が整っていると思う	3.43	3.30
4	地域に子育てや教育などについて相談できる人・場所がある	3.20	3.11
5	子どもとのコミュニケーションは十分とれている ①家庭内	4.03	4.03
6	②地域	2.86	2.84

項目1，2にあるとおり、まちや地域で見ると、子育て・教育環境はよいと感じている人は多いようです。

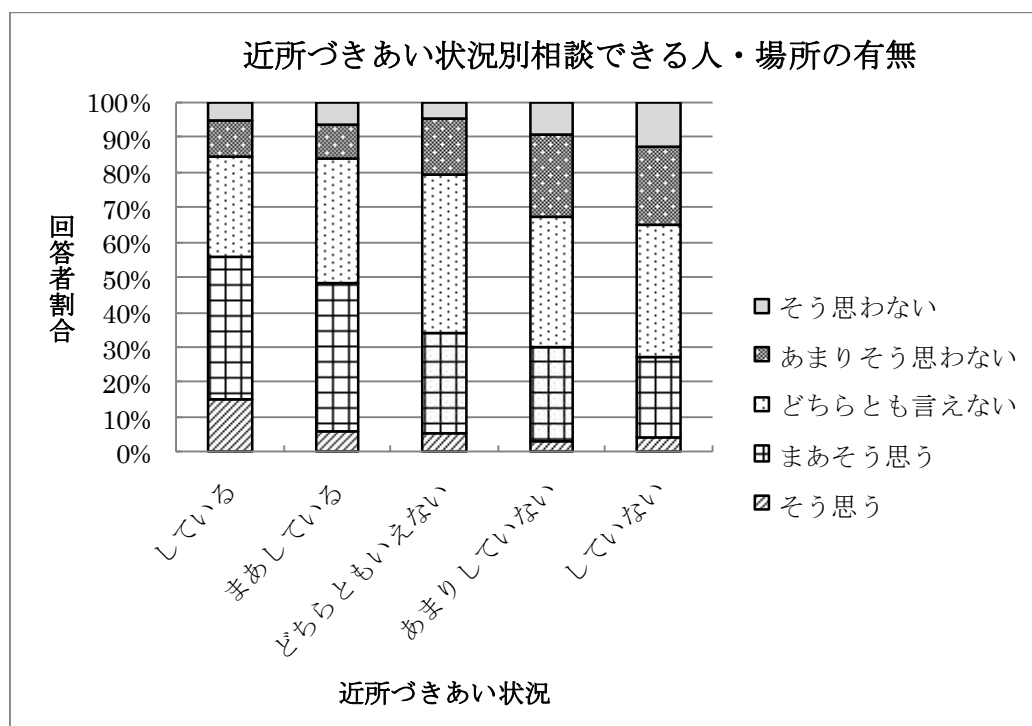
それに対して、個人の实感を聞いた項目3，4は、項目1，2の評点より低くなっています。

これらの項目の回答者の約6割が、子育て世代である30、40代の方であり、総合的には「子育てしやすい」とは思っている、実際の子育ての現場では様々な課題がありそうです。

項目3について、今後も市の施策や、NPO等の活動によって地域における子育てサービスや施設の充実が図られれば、評点（項目に対して肯定的に回答する人の数）を上げていくことが可能であると考えられます。

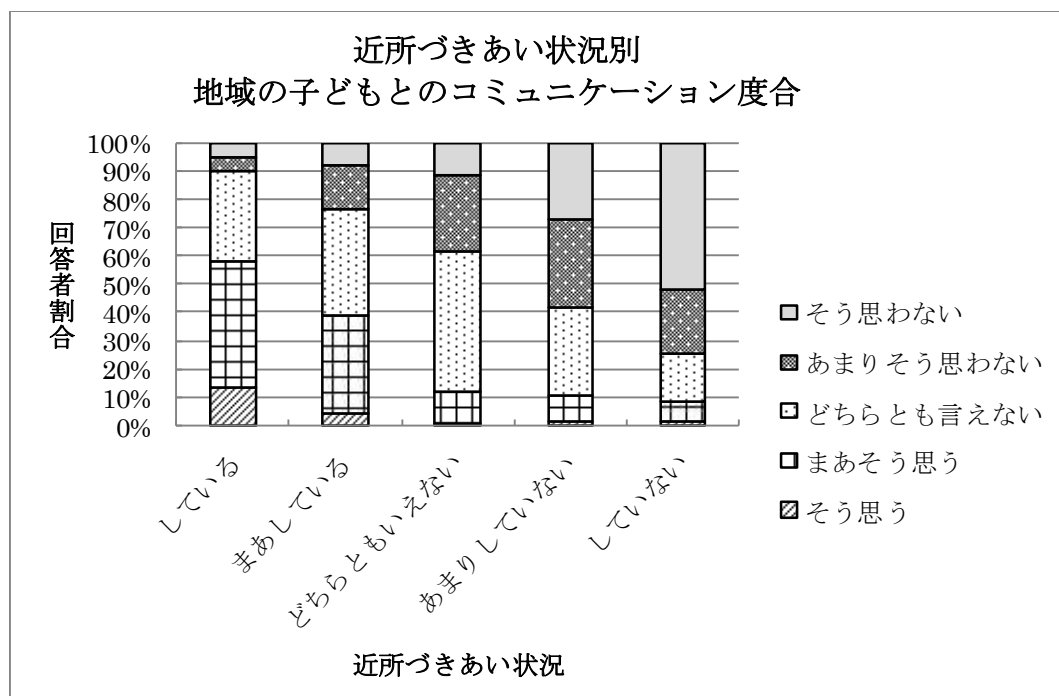
項目4については、ライフスタイルが多様化し、市が提供する既存のサービスを利用しにくい方もいるかもしれません。市の取組だけでは、子育てや教育に関して相談できる人・場があるという人を増やしていくことは難しいと考えられます。そこで、子どもを持つ親が、身近な隣、近所の人に気軽に相談できるよう、地域が地域の子どもの子育てに関わるができるまちづくりが必要ではないでしょうか。

ここで、近所づきあい状況と子育てや教育について相談できる人・場の有無の関係について見てみます。



近所づきあいをしている人ほど、4の項目に肯定的な回答（そう思う・まあそう思う）をしていることが分かります。日常の近所づきあいや、ご近所とのよい関係づくりにつながる地域活動への参加は、困りごと等を相談する人や場ができる、一つの要因になると考えられます。

次に、近所づきあい状況と地域の子どもとのコミュニケーション度合の関係について見てみます。



近所づきあいをしている人ほど、地域の子どもとのコミュニケーションが十分とれていると感じていることもわかりました。

アンケートの結果から分かるように、まちに関心を持ち、地域とつながることは、子育てや教育環境の向上につながり、子どもの幸せ、ひいてはまちの幸せに直結すると言えるのではないのでしょうか。

幸せのモノサシの総合指標（目標）は、「地域で子どもの笑顔を育てるまち」（16ページ参照）としました。子どもたちが家庭はもちろん、地域で出会う大人たちのふるまいが、子どもの幸せにつながるだろうという考えからです。

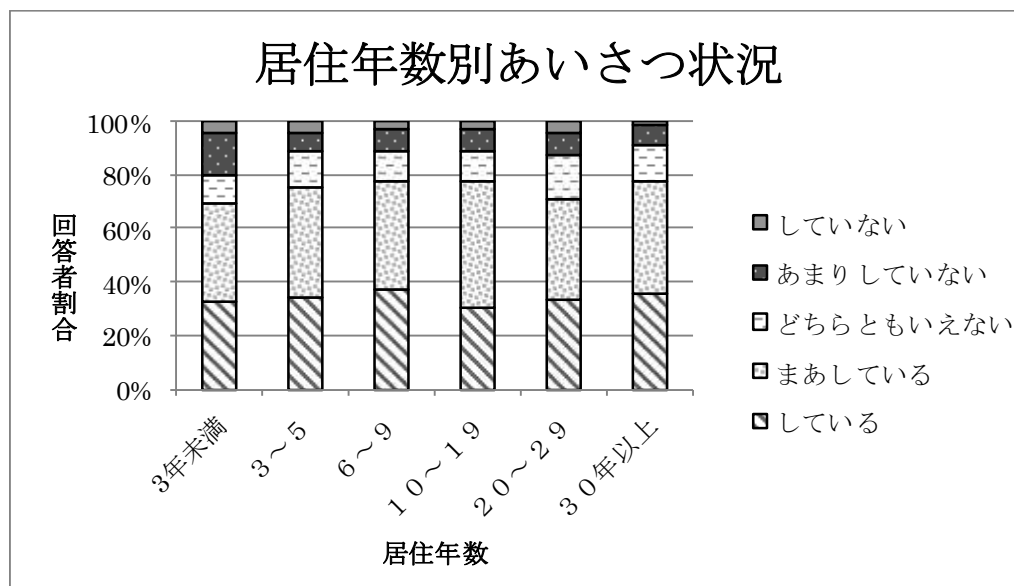
そのためには、地域で役割を持って活躍する大人が増やすことが大切であり、その第一歩はあいさつ、そして地域（まちづくりへの）参加であると考えています。

その２ 時間がかかっても、地域のつながりをつくろう！

アンケート項目の中で、他と比べて評点が低い「地域のつながり分野」と居住年数の関係について調べました。

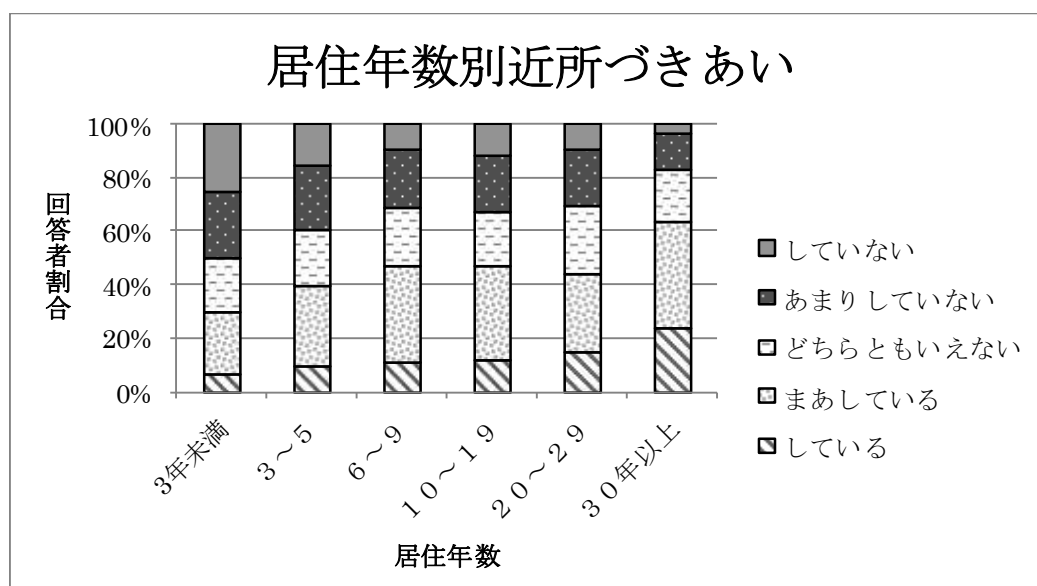
具体的には、あいさつ、近所づきあい及び近所づきあい満足度と居住年数とのクロス分析です。

まず、居住年数別のあいさつ状況を見てみます。



全ての居住年数で、「している」、「まあしている」は、3年未満、20～29年の居住年数が他の居住年数に比べ低く70％程度になっているものの、他の居住年数になると75％と高くなっていますがそれほど大きな差は見られません。

次に、居住年数別の近所づきあい状況を見てみます。

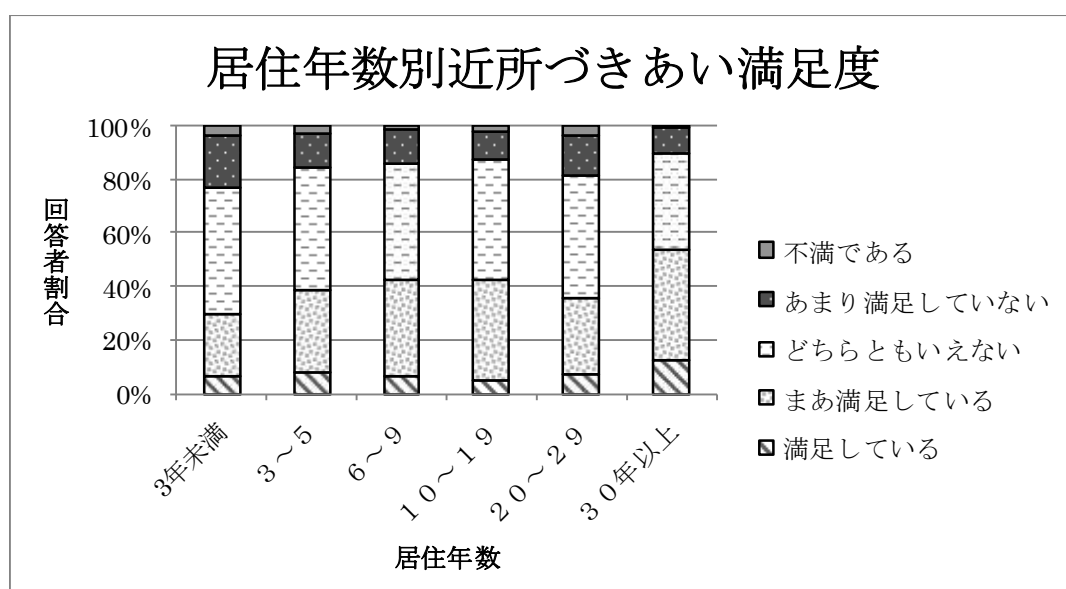


3年未満については、「まあしている」「どちらともいえない」「あまりしていない」「していない」がほぼ同じとなっており、「している」が極端に少なくなっています。

居住年数が3年以上になると、「まあしている」がどの居住年数でも一番多くなっています。

そして、居住年数6～9年、10～19年になると、「している」と「していない」が同数程度になり、その後「している」が「していない」を上回るようになり、居住年数が長いほど、近所づきあいをよくしていることがわかります。

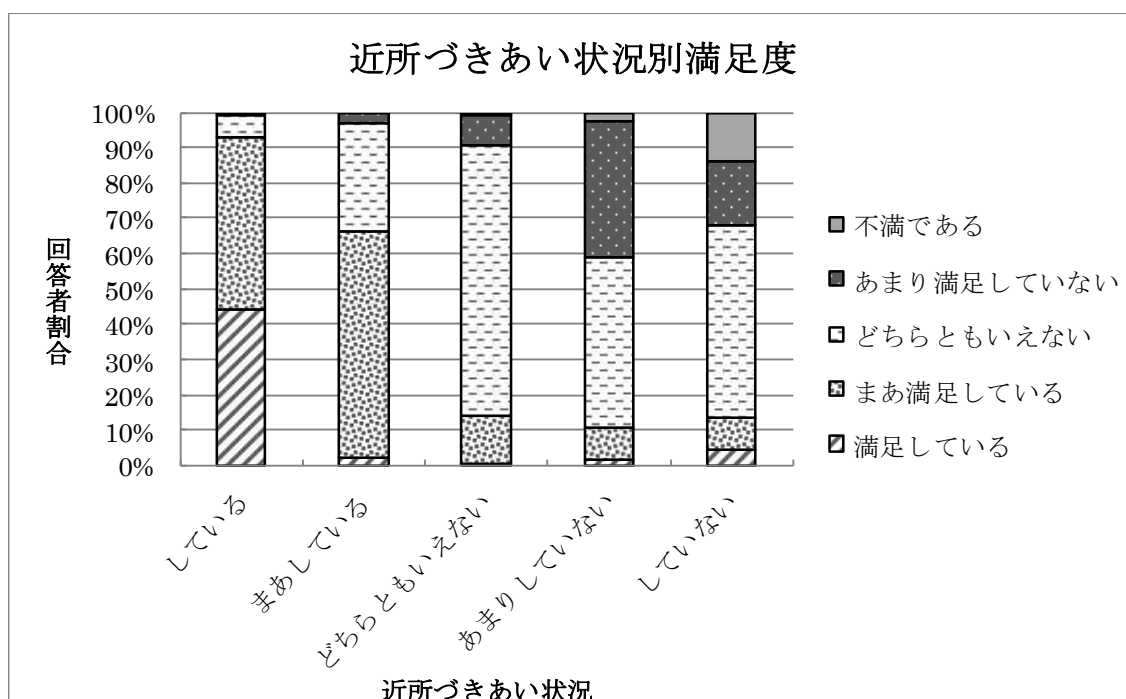
次は、居住年数別近所づきあい満足度を見てみます。



3年未満で、「満足している」「まあ満足している」の割合は30%に対し、30年以上になると50%になっており、居住年数が長いほど、満足度も高くなっています。

ただし、あいさつ状況、近所づきあい、近所づきあい満足度全てにおいて、居住年数20～29年が10～19年に比べ「している」「まあしている」、「満足している」「まあ満足している」の割合が低くなっている点が少し気になる点です。

それでは、近所づきあい状況と近所づきあいの満足度はどうでしょうか。



「近所づきあいをしている」と回答している方は、近所づきあいに「満足している」又は「まあ満足している」の割合が93%と高くなっています。

それに比べ、近所づきあいを「まあしている」と回答している方の「満足している」「まあ満足している」の割合は66%、「どちらともいえない」が33%と激減している点が気になるところです。

そして、近所づきあいを「あまりしていない」と回答した方の40%弱は、近所づきあいに「あまり満足していない」と回答しています。

以上のことから、近所づきあいの満足度、つまり「近所の人との付き合いがあってよかった」と思えるような関係づくりに取り組むことによって、近所づきあいの機会も増えていくと考えられます。また、近所づきあいをしたくても、きっかけがなくてしていないという方のための機会づくりも必要です。

このように居住年数別の分析をした結果、あいさつは居住年数に関係なくできるものの、近所づきあいになると、それ相応の時間が必要であることがわかります。

人と人とのつながりは、一朝一夕にできるものではありませんが、時間はかかっても、地道に取り組んでいきましょう！

資料編

1. 評点算出結果一覽表 (年齡別、小學校區別)

問3 生活の満足度の評点

年齢別	平均値	20 歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(6) 家族関係	3.87	4.01	3.98	3.89	3.80	3.77	3.78	2,468
(7) 友人関係	3.83	4.04	3.88	3.81	3.76	3.77	3.81	2,479
(11)生活全般	3.68	3.77	3.73	3.67	3.60	3.66	3.67	2,479
(2) 就業状況	3.64	3.68	3.69	3.67	3.57	3.60	3.56	1,884
(3) 健康状況	3.64	3.86	3.76	3.76	3.46	3.51	3.49	2,497
(8) 職場の人間関係	3.62	3.66	3.68	3.65	3.52	3.57	3.50	1,668
(4) 自由な時間、充実した余暇	3.46	3.60	3.23	3.34	3.32	3.69	3.76	2,494
(5) 仕事や趣味、社会貢献などの 生きがい	3.40	3.56	3.32	3.38	3.35	3.46	3.44	2,462
(1) 家計の状況	3.37	3.49	3.33	3.39	3.26	3.34	3.46	2,501
(10)仕事と生活のバランス	3.33	3.22	3.22	3.30	3.40	3.47	3.53	1,784
(9) 地域コミュニティや近所との関 係	3.28	3.15	3.30	3.33	3.18	3.25	3.35	2,464

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(6) 家族関係	3.87	3.82	3.92	3.71	3.92	3.88	3.90	2,468
(7) 友人関係	3.83	3.87	3.86	3.74	3.86	3.82	3.80	2,479
(11)生活全般	3.68	3.63	3.73	3.61	3.68	3.71	3.70	2,479
(2) 就業状況	3.64	3.53	3.68	3.52	3.69	3.70	3.66	1,884
(3) 健康状況	3.64	3.50	3.76	3.66	3.72	3.64	3.59	2,497
(8) 職場の人間関係	3.62	3.58	3.63	3.56	3.64	3.66	3.64	1,668
(4) 自由な時間、充実した余暇	3.46	3.38	3.58	3.32	3.43	3.55	3.43	2,494
(5) 仕事や趣味、社会貢献などの 生きがい	3.40	3.32	3.50	3.36	3.41	3.45	3.35	2,462
(1) 家計の状況	3.37	3.24	3.44	3.17	3.44	3.40	3.43	2,501
(10)仕事と生活のバランス	3.33	3.27	3.35	3.32	3.30	3.45	3.32	1,784
(9) 地域コミュニティや近所との関 係	3.28	3.37	3.29	3.28	3.28	3.26	3.24	2,464

※問3 生活の満足度の評点については、平均値の評点が高い項目順に並べています。

問8 健康について

年齢別	平均値	20 歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1) 健康的な暮らしができていると思うか	3.26	3.18	2.91	3.03	3.21	3.56	3.74	2,539
(2) 気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか	3.84	3.78	3.62	3.71	3.80	4.02	4.14	2,542
(3) 健康的な食生活ができていると思うか	3.76	3.61	3.61	3.67	3.65	3.94	4.06	2,544
(4) ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はあるか	3.61	3.63	3.52	3.53	3.60	3.65	3.79	2,538
(5) 日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか	3.74	3.83	3.71	3.72	3.68	3.69	3.81	2,541
(6) 病院やクリニックが充実していると思うか	3.96	3.94	3.87	3.86	3.85	4.00	4.21	2,542

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1) 健康的な暮らしができていると思うか	3.26	3.31	3.35	3.18	3.27	3.25	3.14	2,539
(2) 気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか	3.84	3.92	3.77	3.96	3.73	3.89	3.83	2,542
(3) 健康的な食生活ができていると思うか	3.76	3.76	3.79	3.69	3.79	3.77	3.72	2,544
(4) ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はあるか	3.61	3.62	3.68	3.58	3.61	3.62	3.56	2,538
(5) 日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか	3.74	3.69	3.79	3.63	3.78	3.72	3.73	2,541
(6) 病院やクリニックが充実していると思うか	3.96	3.99	4.10	3.42	4.06	3.94	3.93	2,542

問9 子育て・教育について

年齢別	平均値	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	件数
(1) 安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか	3.92	3.95	3.88	3.92	3.95	3.92	3.99	1,679
(2) 地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか	3.87	3.88	3.94	3.92	3.76	3.81	3.85	1,771
(3) 子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか	3.43	3.49	3.39	3.42	3.37	3.51	3.48	1,715
(4) 子育てや子どもの教育などについて相談できる人、場所があるか	3.20	3.27	3.40	3.16	3.04	2.97	3.22	1,511
(5)-① 家庭内での子どもとのコミュニケーション	4.03	4.24	4.18	4.12	3.94	3.75	3.71	1,438
(5)-② 居住地域の子どもとのコミュニケーション	2.86	2.71	2.91	2.91	2.63	2.76	3.04	1,548

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1) 安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか	3.92	3.89	3.98	3.76	4.04	3.89	3.91	1,679
(2) 地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか	3.87	3.82	3.86	3.86	3.98	3.86	3.88	1,771
(3) 子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか	3.43	3.47	3.63	2.95	3.49	3.46	3.38	1,715
(4) 子育てや子どもの教育などについて相談できる人、場所があるか	3.20	3.17	3.35	3.18	3.28	3.15	3.15	1,511
(5)-① 家庭内での子どもとのコミュニケーション	4.03	3.94	4.06	4.00	4.11	3.99	4.06	1,438
(5)-② 居住地域の子どもとのコミュニケーション	2.86	2.88	2.86	2.99	2.90	2.80	2.81	1,548

問10 自然やごみなどの環境について

年齢別	平均値	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	件数
(1) 豊かな自然環境があると思うか	3.35	3.31	3.35	3.38	3.33	3.40	3.32	2,546
(2) 公園や屋外の遊び場があるか	4.08	4.15	4.26	4.13	4.01	3.93	3.99	2,550
(3) まち並みはきれいだと思うか	3.84	3.89	3.95	3.88	3.79	3.75	3.78	2,554
(4) ごみ・資源の分別がされていると思うか	4.05	3.87	4.00	3.96	3.98	4.11	4.28	2,552
(5) 日頃から環境に配慮した生活をしているか	3.75	3.52	3.64	3.67	3.79	3.83	4.01	2,555

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1) 豊かな自然環境があると思うか	3.35	3.44	3.16	3.94	3.21	3.36	3.37	2,546
(2) 公園や屋外の遊び場があるか	4.08	3.98	4.17	3.84	3.99	4.17	4.31	2,550
(3) まち並みはきれいだと思うか	3.84	3.70	3.87	3.73	3.80	3.86	4.08	2,554
(4) ごみ・資源の分別がされていると思うか	4.05	4.09	4.05	4.14	4.05	3.94	4.06	2,552
(5) 日頃から環境に配慮した生活をしているか	3.75	3.78	3.82	3.68	3.76	3.73	3.74	2,555

問11 人や地域のつながりについて

年齢別	平均値	20 歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1)-① 地域活動や行事への参加 (スタッフとして)	2.13	1.54	1.84	2.18	2.26	2.25	2.43	2,554
(1)-② 地域活動や行事への参加 (お客・来場者として)	2.45	1.88	2.60	2.56	2.36	2.44	2.50	2,523
(2)-① 日常的なあいさつ等(あいさ つ)	3.94	3.78	3.91	3.94	3.92	3.98	4.01	2,560
(2)-② 日常的なあいさつ等ー近所 づきあい	3.20	2.63	3.00	3.14	3.09	3.36	3.67	2,562
(2)-③ 日常的なあいさつ等(地域と のつながり)	3.33	3.09	3.29	3.35	3.29	3.30	3.53	2,554
(3) 自宅以外の居場所があるか	2.97	3.00	2.86	2.86	2.70	2.91	3.46	2,551
(4) 「たつせ」があるか	2.70	2.73	2.61	2.67	2.52	2.69	2.95	2,541
(5)-① 困った時に頼りになる知人・ 友人の有無(居住地域)	3.14	3.10	3.11	3.21	2.89	3.03	3.33	2,557
(5)-② 困った時に頼りになる知人・ 友人の有無(市内)	3.20	3.12	3.26	3.28	2.96	3.04	3.38	2,507
(5)-③ 困った時に頼りになる知人・ 友人の有無(市外)	3.98	4.26	4.24	3.99	3.85	3.85	3.75	2,503
(6) 国籍や文化の異なる人々にと っても住みやすいと思うか	3.34	3.44	3.21	3.27	3.33	3.41	3.54	2,026

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1)-① 地域活動や行事への参加 (スタッフとして)	2.13	2.07	2.14	2.55	2.09	2.05	2.13	2,554
(1)-② 地域活動や行事への参加 (お客・来場者として)	2.45	2.49	2.43	2.69	2.32	2.50	2.50	2,523
(2)-① 日常的なあいさつ等(あいさ つ)	3.94	3.90	3.87	4.00	4.04	3.86	4.03	2,560
(2)-② 日常的なあいさつ等ー近所 づきあい	3.20	3.42	3.10	3.55	3.21	3.04	3.10	2,562
(2)-③ 日常的なあいさつ等(地域と のつながり)	3.33	3.42	3.29	3.48	3.38	3.25	3.27	2,554
(3) 自宅以外の居場所があるか	2.97	3.01	3.06	2.95	2.98	2.88	2.98	2,551
(4) 「たつせ」があるか	2.70	2.73	2.69	2.80	2.73	2.63	2.68	2,541
(5)-① 困った時に頼りになる知人・ 友人の有無(居住地域)	3.14	3.23	3.15	3.24	3.17	3.08	3.03	2,557
(5)-② 困った時に頼りになる知人・ 友人の有無(市内)	3.20	3.32	3.26	3.26	3.20	3.18	3.08	2,507
(5)-③ 困った時に頼りになる知人・ 友人の有無(市外)	3.98	3.88	4.13	3.91	3.97	3.93	4.08	2,503
(6) 国籍や文化の異なる人々にと っても住みやすいと思うか	3.34	3.31	3.39	3.30	3.31	3.37	3.39	2,026

問12 防災・防犯について

年齢別	平均値	20 歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1) 災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか	2.35	1.83	2.34	2.34	2.19	2.45	2.55	2,164
(2) 災害に対する自主的な備えをしているか	3.12	2.84	3.06	3.13	3.05	3.19	3.30	2,545
(3) 災害時の避難所と避難方法を知っているか	3.60	3.17	3.42	3.63	3.62	3.80	3.81	2,539
(4) 治安が良く、安心して暮らせるか	3.58	3.85	3.56	3.52	3.46	3.54	3.69	2,543
(5) 安全安心を守る取組が行われているか	3.73	3.86	3.75	3.79	3.71	3.60	3.73	2,043

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1) 災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか	2.35	2.35	2.30	2.67	2.28	2.48	2.23	2,164
(2) 災害に対する自主的な備えをしているか	3.12	3.15	3.15	2.98	3.15	3.09	3.16	2,545
(3) 災害時の避難所と避難方法を知っているか	3.60	3.57	3.64	3.63	3.64	3.70	3.52	2,539
(4) 治安が良く、安心して暮らせるか	3.58	3.54	3.63	3.45	3.77	3.40	3.62	2,543
(5) 安全安心を守る取組が行われているか	3.73	3.50	3.86	3.47	4.01	3.75	3.66	2,043

問13 福祉について

年齢別	平均値	20 歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1) 地域で困った人への助け合い はできていると思うか	2.96	3.02	2.90	2.95	2.90	2.89	3.12	2,532
(2) 市の福祉サービスや市内の福 祉事業者のサービスを知ってい るか	2.52	2.12	2.14	2.39	2.48	2.76	3.15	2,546
(3) 高齢者や障がいのある人を手 助けをすることができると思う か	3.76	3.67	3.75	3.73	3.80	3.85	3.76	2,536
(4) 現在(あるいは将来の)、自分ま たは家族の介護に対して不安 を感じるか	2.33	2.45	2.33	2.27	2.12	2.32	2.49	2,540
(5)-① 高齢者にとって暮らしやす い	3.10	3.24	3.09	3.00	3.03	3.03	3.25	1,909
(5)-② 障がいのある人にとって暮 らしやすい	2.85	3.05	2.78	2.83	2.76	2.84	2.97	1,718

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1) 地域で困った人への助け合い はできていると思うか	2.96	2.96	2.99	3.09	3.06	2.83	2.91	2,532
(2) 市の福祉サービスや市内の福 祉事業者のサービスを知ってい るか	2.52	2.65	2.58	2.61	2.51	2.47	2.39	2,546
(3) 高齢者や障がいのある人を手 助けをすることができると思う か	3.76	3.81	3.80	3.74	3.79	3.71	3.73	2,536
(4) 現在(あるいは将来の)、自分ま たは家族の介護に対して不安 を感じるか	2.33	2.33	2.42	2.29	2.37	2.30	2.24	2,540
(5)-① 高齢者にとって暮らしやす い	3.10	3.10	3.18	2.81	3.17	3.10	3.08	1,909
(5)-② 障がいのある人にとって暮 らしやすい	2.85	2.88	2.88	2.50	2.93	2.90	2.86	1,718

問 14 文化・生涯学習について

年齢別	平均値	20 歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1) 長久手の歴史や伝統文化に関心があるか	3.35	3.22	3.29	3.31	3.31	3.42	3.49	2,544
(2) 芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか	3.41	3.25	3.41	3.46	3.36	3.37	3.49	2,548
(3) 長久手市はあなたの知的興味や知識能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか	3.06	3.08	3.00	3.00	2.97	3.07	3.27	2,545
(4) お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があるか	2.81	2.88	2.76	2.83	2.78	2.79	2.87	2,497

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1) 長久手の歴史や伝統文化に関心があるか	3.35	3.34	3.45	3.44	3.36	3.37	3.24	2,544
(2) 芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか	3.41	3.39	3.49	3.44	3.45	3.42	3.34	2,548
(3) 長久手市はあなたの知的興味や知識能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか	3.06	3.08	3.14	3.02	3.07	3.07	3.02	2,545
(4) お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があるか	2.81	3.02	2.80	3.06	2.77	2.78	2.65	2,497

問 15 生活インフラについて

年齢別	平均値	20 歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1) 買い物や通院に便利か	4.02	4.11	4.07	4.06	4.00	4.01	3.88	2,518
(2) 出かける際の移動が便利か	3.81	3.90	3.78	3.80	3.84	3.91	3.71	2,523
(3) 出かける際の移動の安全が確保されていると思うか	3.68	3.82	3.54	3.66	3.68	3.78	3.69	2,514
(4) 就業しやすい環境にあると思うか	3.23	3.26	3.23	3.33	3.25	3.18	3.13	2,438
(5) インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか	3.58	4.29	4.37	4.11	3.74	2.85	2.15	2,510

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1) 買い物や通院に便利か	4.02	3.90	4.14	2.66	4.23	4.33	4.10	2,518
(2) 出かける際の移動が便利か	3.81	3.78	4.03	2.91	3.91	4.18	3.57	2,523
(3) 出かける際の移動の安全が確保されていると思うか	3.68	3.71	3.87	2.94	3.67	3.96	3.56	2,514
(4) 就業しやすい環境にあると思うか	3.23	3.20	3.31	3.09	3.22	3.34	3.21	2,438
(5) インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか	3.58	3.28	3.62	3.48	3.65	3.62	3.83	2,510

まちづくりにおける地域の役割について

年齢別	平均値	20 歳代 以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
問 16 何か社会のために役立ちたいと思っているか	2.92	2.83	2.91	2.92	2.87	3.07	2.92	2,514
問 17 課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか	3.98	4.00	3.99	3.92	3.95	4.04	4.02	2,500
問 18 コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか	2.89	2.78	2.80	2.81	2.92	2.98	3.03	2,514

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
問 16 何か社会のために役立ちたいと思っているか	2.92	2.94	3.00	2.93	2.85	3.05	2.86	2,514
問 17 課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか	3.98	3.97	4.01	3.85	4.01	4.03	3.97	2,500
問 18 コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか	2.89	2.79	2.94	3.03	2.88	2.94	2.86	2,514

2. ながくて幸せ実感アンケート 調査票

第2回

長久手市民のみなさまへ

ながくて幸せ実感アンケート

ご協力おねがいします!

Q.1

何のためのアンケート？
結果は何につかわれるの？

A みなさんの幸せや日常生活に関する思いや地域に対する考えを知るためにアンケートを行い、今年度につくる「幸せのモノサシ」の基礎データとします。

Q.2

幸せのモノサシって何？

A 市民のみなさんの生活実感や地域の状態をチェックするためのモノサシです。モノサシで測った結果をまちづくりに活かしていきます。

Q.3

誰が幸せのモノサシを作るの？

A 『ながくて幸せ実感広め隊』でつくります。

Q.4

ながくて幸せ実感広め隊とは？

A 市民の幸せ実感を高めていくことを目指して活動している市民と市職員有志のチームです。

Q.5

めんどうだから
やらなくていい？

A いいえ、あなたの回答が必要です。出来るだけ多くの方の生活実感、幸せ実感を集めたいです。ぜひともご協力下さい。

Q.6

回答に何分くらいかかるの？

A 質問は 20 問です。10 分ほどで終わります。

この用紙は、ながくて幸せ実感広め隊と市が協力して作成しました。

お問い合わせ

長久手市市長公室経営企画課 ☎0561-56-0600

回答は、**平成29年1月16日(月)**までに、同封の封筒に入れて、ポストへ投函してください。



日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。長久手市では現在、市民のみなさまとともに様々な取組みを重ねながら「幸福度の高いまち」を目指しています。

このたび、市民と職員有志がともに取り組む「幸せのモノサシ」づくりに向け、市民のみなさまの幸せに対する実感や日常生活への思い、長久手や地域に対するお考えを伺うため、平成25年度に続き、第2回目『ながくて幸せ実感アンケート』（調査票）調査を実施します。

このアンケートで表されたみなさまの思いやお考えは、幸福度の高いまちの実現に向けた基礎データとして、今後のみなさまとの取組に活かしていきたいと思います。

市民のみなさまには、このアンケートの趣旨をご理解賜り、大変お手数とは存じますがご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

長久手市長
吉田一平

ご記入にあたって

- 1 この調査は、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から、無作為に選んだ5,000名の方に協力をお願いするものです。
- 2 この調査結果の集計や分析は統計的に処理いたしますので、個人の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることはございません。
- 3 ご記入の際に ご本人が都合により記入いただけない場合は、ご家族のどなたかお一人がご自身のこととして記入いただければ幸いです。
- 4 調査票の返送は、同封の返送用の封筒に入れていただき平成29年1月16日（月）までにポストにご投函をお願いします。

1. あなたの幸せ感についてお答えください。

問1 あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる数字（点数）を選んでください。【○は1つ】

「とても幸せ」 ←————→ 「とても不幸」
10点 9点 8点 7点 6点 5点 4点 3点 2点 1点 0点

また、その点数を選んだ理由がある方は、自由にご記入ください。なお、特に理由がない方は、問2にお進みください。



問2 次の8つの分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」を3つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。なお、「特に大事だと思う分野はない」という場合には、左端の欄に「9」を記入してください。

分野	内容
1. 健康	健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療など
2. 子育て・教育	地域の子育て環境、家庭教育など
3. 環境	自然環境・景観、ごみ出し、環境に配慮した生活など
4. つながり	地域活動や行事、近所付き合い、居場所や相談相手など
5. 防災・防犯	地域防災、家庭防災、地域の治安、安全安心への取組など
6. 福祉	地域福祉、介護、高齢者・障がい者福祉など
7. 文化・生涯学習	歴史伝統・芸術文化の土壌、生涯学習環境など
8. 生活インフラ	生活の利便性や安全性、就業確保、インターネットなど

●あなたにとって特に大事だと思う分野の回答欄

※「特に大事と思う分野はない」という場合は、左端の欄に「9」を記入してください。

問3 あなたは、次の(1)から(11)までの項目についてどの程度満足していますか。(1)から(11)までの項目それぞれについて、1～5の中から1つずつ選んでください。

※(2)、(8)、(10)については、あなたの就業状況や就業形態によって回答が難しい場合は、「6. 該当しない」に○をつけてください。

質問項目 \ 回答項目 (選択肢)	1 満足している	2 どちらかといえば満足している	3 どちらともいえない	4 不満である	5 不満である	6 該当しない
(1) 家計の状況 (所得・消費)	1	2	3	4	5	
(2) 就業状況 (仕事の有無・安定)	1	2	3	4	5	6
(3) 健康状況	1	2	3	4	5	
(4) 自由な時間、充実した余暇	1	2	3	4	5	
(5) 仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	1	2	3	4	5	
(6) 家族関係 (子育て、教育、夫婦、父母)	1	2	3	4	5	
(7) 友人関係	1	2	3	4	5	
(8) 職場の人間関係	1	2	3	4	5	6
(9) 地域コミュニティや近所との関係	1	2	3	4	5	
(10) 仕事と生活のバランス	1	2	3	4	5	6
(11) 生活全般 ※上記の(1)～(10)の項目を総合的にみた時の満足度	1	2	3	4	5	



2. 長久手の住み心地についてお答えください。

問4 長久手を住みよいまちだと思いますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|----------------|----------|
| 1. 住みよい | 2. まあ住み
よい | 3. どちらとも
いえない | 4. やや住み
にくい | 5. 住みにくい |
|---------|---------------|------------------|----------------|----------|

問5 長久手に愛着を感じていますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|---------------------|------------------|
| 1. 愛着を感じて
いる | 2. まあ愛着を
感じている | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり愛着を
感じていない | 5. 愛着を感じて
いない |
|-----------------|-------------------|------------------|---------------------|------------------|

問6 今後も長久手に住み続けたいですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 転出したい | 3. わからない |
|-----------|----------|----------|

問7 長久手には「魅力的な点」や「魅力的でない点」がありますか【〇はそれぞれ1つ】

また、それはどんなことですか。「1. ある」を選んだ方は、それぞれ3つまで記入してください。

「魅力的な点」 (好きなところ、良いところ、強み)	「魅力的でない点」 (嫌いなところ、悪いところ、弱み)
1. ある 2. ない (問8へ)	1. ある 2. ない (問8へ)
↓	↓
1 :	1 :
2 :	2 :
3 :	3 :



3. あなたの暮らしやお住まいの地域のことについてお答えください。

① 健康について

問8 次の(1)～(6)の各質問についてご回答ください。

(1) 体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(2) お住まいの地域では、気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境がありますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|------------------|----------|-------|

(3) 健康的な食生活ができていると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(4) ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はありますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|------------------|----------|-------|

(5) 日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(6) お住まいの地域では、病院やクリニックが充実していると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

② 子育て・教育について

問9 次の(1)～(5)の各質問についてご回答ください。

※ご家族の中にお子さんがいない、子どもと接する機会が少ないなどの理由から回答しにくい場合は、「6. 該当しない」に〇をつけてください。

(1) 長久手市は、安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない | 6. 該当しない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|

(2) お住まいの地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない | 6. 該当しない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|



(3) お住まいの地域には、子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思いますか。

【〇は1つ】

- | | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない | 6. 該当しない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|

(4) お住まいの地域には、子育てや子どもの教育などについて相談できる人がいる、あるいは、相談できる場所がありますか。【〇は1つ】

- | | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない | 6. 該当しない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|

(5) 子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。【〇は1つ】

①家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーション

- | | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない | 6. 該当しない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|

②お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーション

- | | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない | 6. 該当しない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|

③ 自然やごみなどの環境について

問10 次の(1)～(5)の各質問についてご回答ください。

(1) お住まいの地域では、自然の生き物(動植物)に触れ合うことができるなど、豊かな自然環境があると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(2) お住まいの地域には、公園や屋外の遊び場がありますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|------------------|----------|-------|

(3) お住まいの地域のまち並み(景観・風景)はきれいだと思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(4) お住まいの地域では、ルールにしたがって、ごみ・資源の分別がされていると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|----------|----------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. されている | 2. まあされてい
る | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりされ
ていない | 5. されていない |
|----------|----------------|------------------|------------------|-----------|

(5) 節電や節水、環境に配慮した製品の購入など、日頃から環境に配慮した生活をしていますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|-----------------|----------|
| 1. している | 2. まあしている | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりして
いない | 5. していない |
|---------|-----------|------------------|-----------------|----------|



④ 人や地域のつながりについて

問11 次の（１）～（６）の各質問についてご回答ください。

（１）過去３年以内に、お住まいの地域を良くしたり、地域を盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。【〇は１つ】

①スタッフとして

- | | | | | |
|-----------|-------------|--------------|---------------|------------|
| 1. 参加している | 2. まあ参加している | 3. どちらともいえない | 4. あまり参加していない | 5. 参加していない |
|-----------|-------------|--------------|---------------|------------|

②お客・来場者として

- | | | | | |
|-----------|-------------|--------------|---------------|------------|
| 1. 参加している | 2. まあ参加している | 3. どちらともいえない | 4. あまり参加していない | 5. 参加していない |
|-----------|-------------|--------------|---------------|------------|

（２）日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。【〇は１つ】

①あいさつ

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. している | 2. まあしている | 3. どちらともいえない | 4. あまりしていない | 5. していない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

②近所づきあい

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. している | 2. まあしている | 3. どちらともいえない | 4. あまりしていない | 5. していない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

③近所づきあいや地域とのつながり

- | | | | | |
|-----------|-------------|--------------|---------------|----------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している | 3. どちらともいえない | 4. あまり満足していない | 5. 不満である |
|-----------|-------------|--------------|---------------|----------|

（３）お住まいの地域には、自宅以外の居場所がありますか（集える場所、行きつけのお店など）。【〇は１つ】

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらともいえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|--------------|----------|-------|

（４）お住まいの地域であなたは「たつせ」がありますか。【〇は１つ】

※「たつせがある」とは、「立つ瀬がない」の対義語で、「だれもが地域で役割を担い、活躍し、必要とされ、生きがいを持って楽しく過ごすことができる」ことを表した長久手市の造語です。

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらともいえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|--------------|----------|-------|

（５）困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。【〇はそれぞれ１つ】

①お住まいの地域

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|-----------|--------|
| 1. いる | 2. まあいる | 3. どちらともいえない | 4. あまりいない | 5. いない |
|-------|---------|--------------|-----------|--------|



②市内

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|-----------|--------|
| 1. いる | 2. まあいる | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりいない | 5. いない |
|-------|---------|------------------|-----------|--------|

③市外

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|-----------|--------|
| 1. いる | 2. まあいる | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりいない | 5. いない |
|-------|---------|------------------|-----------|--------|

(6) 長久手市は、国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|----------|

⑤ 防災・防犯について

問12 次の(1)～(5)の各質問についてご回答ください。

(1) お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。【〇は1つ】

- | | | | | | |
|---------------|-----------------|-------------------|-------------------|----------------|---------------------|
| 1. 参加して
いる | 2. まあ参加
している | 3. どちらとも
もいえない | 4. あまり参加
していない | 5. 参加して
いない | 6. やっていること
を知らない |
|---------------|-----------------|-------------------|-------------------|----------------|---------------------|

(2) あなたの家庭では、災害に対する自主的な備えをしていますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|-----------------|----------|
| 1. している | 2. まあしている | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりして
いない | 5. していない |
|---------|-----------|------------------|-----------------|----------|

(3) 災害時の避難所と避難方法を知っていますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|----------|------------|------------------|------------|---------|
| 1. 知っている | 2. まあ知っている | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり知らない | 5. 知らない |
|----------|------------|------------------|------------|---------|

(4) お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせませんか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(5) お住まいの地域では、住民による登下校の見守り、夜間パトロールや防犯灯設置など、安全安心を守る取組が行われていますか。【〇は1つ】

- | | | | | | |
|---------------|-----------------|------------------|-------------------|----------------|---------------------|
| 1. 行われてい
る | 2. まあ行われ
ている | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり行わ
れていない | 5. 行われて
いない | 6. やっているこ
とを知らない |
|---------------|-----------------|------------------|-------------------|----------------|---------------------|

⑥ 福祉について

問13 次の(1)～(5)の各質問についてご回答ください。

(1) お住まいの地域では、地域で困った人への助け合いはできていると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|



(2) 市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っていますか。【〇は一つ】

- | | | | | |
|----------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. よく知ってい
る | 2. おおむね
知っている | 3. 少しは
知っている | 4. ほとんど知ら
ない | 5. まったく知ら
ない |
|----------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|

(3) 高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っている人など、まちで困っている人がいるとき、手助けをすることができますか。【〇は一つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(4) 現在（あるいは将来の）、自分または家族の介護に対して不安を感じますか。【〇は一つ】

- | | | | | |
|----------------|-------------------|------------------|-----------------|-----------|
| 1. 不安を感じな
い | 2. あまり不安を
感じない | 3. どちらとも
いえない | 4. やや不安を
感じる | 5. 不安を感じる |
|----------------|-------------------|------------------|-----------------|-----------|

(5) お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。【〇は一つ】

※ご家族の中や身近なところに高齢者や障がいのある人がいない、あるいは接する機会が少ないなどの理由から回答しにくい場合は、「6. 該当しない」に〇をつけてください。

①高齢者にとって暮らしやすい

- | | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わ
ない | 6. 該当しない |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|----------|

②障がいのある人にとって暮らしやすい

- | | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わ
ない | 6. 該当しない |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|----------|

⑦ 文化・生涯学習について

問14 次の(1)～(4)の各質問についてご回答ください。

(1) 長久手の歴史や伝統文化（「小牧・長久手の戦い」の地になったことや地域の昔話、棒の手等のお祭りなど）に関心がありますか。【〇は一つ】

- | | | | | |
|----------|----------------|------------------|-----------------|----------|
| 1. 関心がある | 2. まあ関心が
ある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり関心が
ない | 5. 関心がない |
|----------|----------------|------------------|-----------------|----------|

(2) 長久手市は、芸術文化（演劇やコンサート、美術展など）に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思いますか。【〇は一つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(3) 長久手市は、あなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会（生涯学習活動を行う機会）に恵まれていると思いますか。【〇は一つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|



(4) お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化、行事など)がありますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|------------------|----------|-------|

*「3」～「5」に「〇」を付けた方は問15へお進みください。

(4)で「1. ある」「2. まあある」に「〇」を付けた方は、あなたがお住まいの地域の「宝」であると思うものを、具体的にあげてください。

⑧ 生活インフラ(交通や買い物生活など)について

問15 次の(1)～(5)の各質問についてご回答ください。

(1) お住まいの地域は、買い物や通院に便利ですか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|----------|----------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. 便利である | 2. まあ便利で
ある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり便利で
はない | 5. 便利ではない |
|----------|----------------|------------------|------------------|-----------|

(2) お住まいの地域は、出かける際の移動が便利ですか。【〇は1つ】

※出かける際の移動とは、リニモやバスなどの公共交通機関、自動車や自転車、徒歩など、日常的に利用している交通手段を指します。

- | | | | | |
|----------|----------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. 便利である | 2. まあ便利で
ある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり便利で
はない | 5. 便利ではない |
|----------|----------------|------------------|------------------|-----------|

(3) お住まいの地域は、出かける際の移動の安全が確保されていると思いますか。【〇は1つ】

※出かける際の移動とは、リニモやバスなどの公共交通機関、自動車や自転車、徒歩など、日常的に利用している交通手段を指します。

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(4) お住まいの地域(長久手市及びその周辺地域)では、仕事が見つかりやすく就業しやすい環境(パート労働も含む)にあると思いますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

(5) インターネット(ツイッターやフェイスブック、ライン等も含む)や電子メールをコミュニケーション手段として利用していますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|-----------|-----------------|------------------|-------------------|------------|
| 1. 利用している | 2. まあ利用して
いる | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり利用
していない | 5. 利用していない |
|-----------|-----------------|------------------|-------------------|------------|

⑨ まちづくりにおける地域の役割について

問16 あなたは、日ごろ地域社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。【〇は1つ】

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1. 思っている | 2. あまり考えていない | 3. わからない |
|----------|--------------|----------|



問 17 地域にはさまざまな課題があると思われますが、このような課題を解決していくためには、地域のコミュニティが中心になって進めていくことが今後ますます重要になると思いますか。

【〇は1つ】

※地域の課題とは、例えば、ひとり暮らし高齢者などの見守り支援や防犯・防災、子育てや青少年の健全育成、環境保全など、その地域が日常的に抱える問題が考えられます。

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|------------------|------------------|-----------|

問 18 問 17 のような取組などを地域コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加しますか。【〇は1つ】

- | | | | | |
|---------|-----------|-------------------|----------------|----------|
| 1. 参加する | 2. まあ参加する | 3. 参加したい
ができない | 4. 参加したく
ない | 5. わからない |
|---------|-----------|-------------------|----------------|----------|

※「1」「2」「5」に「〇」を付けた方は、問 19 へお進みください。

問 18 で「3. 参加したいができない」「4. 参加したくない」に「〇」を付けた方は、その理由をご記入ください。

4. あなたご自身についてお答えください。

問 19 次の（１）～（１１）の各質問についてご回答ください。

（１）あなたの性別は、どちらですか。【〇は1つ】

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

（２）あなたの年齢は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 | 4. 30～34歳 |
| 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 | 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 |
| 9. 55～59歳 | 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70～74歳 |
| 13. 75～79歳 | 14. 80歳以上 | | |

（３）あなたの職業は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | | | |
|---------|------------------|--------|---------|
| 1. 農林業 | 2. 自営業 | 3. 会社員 | 4. 公務員 |
| 5. 団体職員 | 6. アルバイト、パートタイマー | 7. 学生 | 8. 家事専従 |
| 9. 無職 | 10. その他（ ） | | |

（４）あなたの家庭全体の年収（年金を含む。）はどのくらいですか。（現在お住まいの世帯でお答えください。）【〇は1つ】

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100～300万円未満 | 3. 300～500万円未満 |
| 4. 500～700万円未満 | 5. 700～1000万円未満 | 6. 1000万円以上 |

（５）あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | | |
|-------------------|---------------|---------|
| 1. 自宅（家事専従・無職を除く） | 2. 自宅以外の市内 | 3. 名古屋市 |
| 4. 尾張旭市 | 5. 瀬戸市 | 6. 豊田市 |
| 7. 日進市 | 8. 1～7以外の愛知県内 | 9. 愛知県外 |
| 10. 通勤・通学に該当しない | | |



(6) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | | |
|-----------------|------------|------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 2. 一戸建て借家 | 3. 分譲マンション |
| 4. 賃貸マンション・アパート | 5. 社宅、官舎、寮 | 6. 県営住宅 |
| 7. その他 () | | |

(7) あなたには配偶者がいますか。【〇は1つ】

- | |
|------------------------------------|
| 1. 現在、配偶者がいる（婚姻届の有無にかかわらず、お答えください） |
| 2. 結婚していたが、離婚・死別等で現在は配偶者がいない |
| 3. 結婚したことはない |

(8) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 単身世帯（一人暮らし） | 2. 夫婦だけ |
| 3. 自分（たち）と子、又は自分（たち）と親（二世世代家族） | 4. 親と子と孫（三世世代家族） |
| 5. その他 () | |

(9) あなたの同居のご家族には、次のいずれかにあてはまる方がいますか。あなたご自身を含めて、あてはまる人をすべて選んでください。

- | | | |
|---------------|---------------------|-----------------|
| 1. 乳児（1歳未満） | 2. 幼児（1歳から小学校入学前まで） | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生 | 6. 大学（院）生・専門学校生 |
| 7. 65～74歳の高齢者 | 8. 75歳以上の高齢者 | 9. あてはまる人はいない |

(10) あなたの小学校区はどこですか。【〇は1つ】

※ご不明の方は、同封の「＜参考＞ 小学校区 区域一覧」を参考にして選んでください。※

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1. 長久手小学校区 | 2. 西小学校区 | 3. 東小学校区 |
| 4. 北小学校区 | 5. 南小学校区 | 6. 市が洞小学校区 |

(11) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。【〇は1つ】

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 3年未満 | 2. 3～5年 | 3. 6～9年 |
| 4. 10～19年 | 5. 20～29年 | 6. 30年以上 |

5. ながくて幸せ実感アンケートの今後について

問20 長久手というまちの姿をみなさまと共有するため、今後も定期的にこのアンケートを継続します。あなたは、今後もこの調査に協力していただけますか。（3年に1度程度を予定しています。）

- | | |
|----------|------------|
| 1. 協力したい | 2. 協力したくない |
|----------|------------|

問20で「1」に「〇」を付けた方、問22で「1」か「2」に「〇」を付けた方で、差し支えなければお名前と住所を教えてください。今後の具体的な取組の際にご案内させていただきたいと思います。なお、個人情報の取り扱いには十分留意し、この取組以外には利用いたしません。

(お名前)

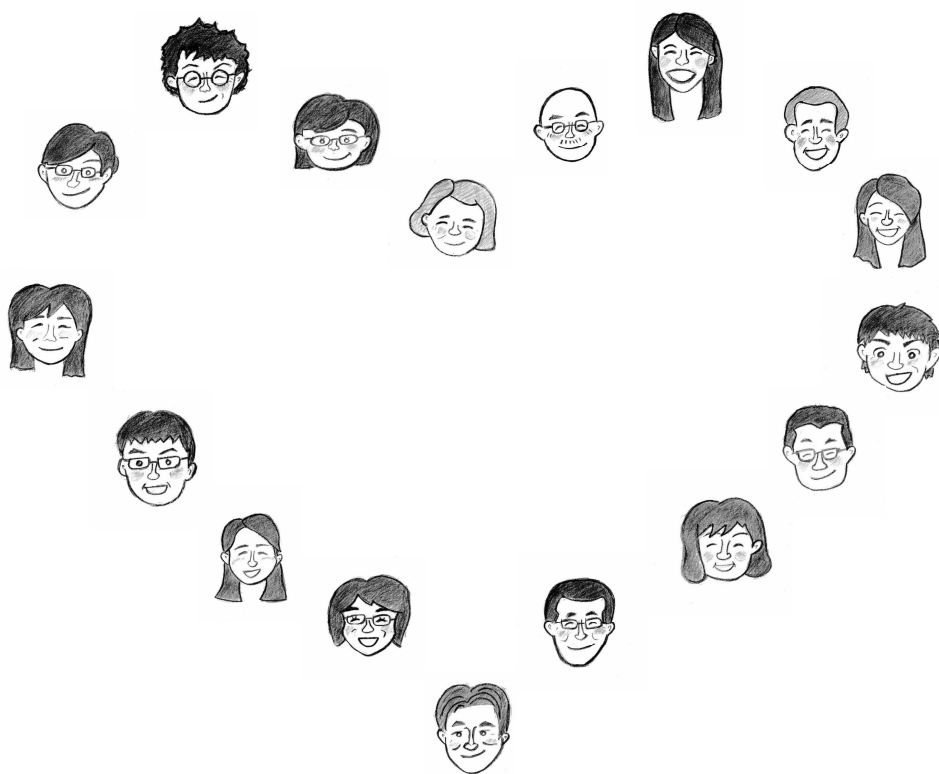
(ご住所)

〒
長久手市

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

この調査票を同封の返送用封筒（切手不要）に入れて、

平成29年1月16日（月）までにポストへ入れてください。



ながくて幸せのモノサシづくり報告書

平成29年3月 発行

編集・発行

長久手市（市長公室経営企画課）

〒480-1196 愛知県長久手市岩作城の内60番地1

電話 0561-56-0600 FAX 0561-63-2100

メール keiei@nagakute.aichi.jp

ホームページ <http://www.city.nagakute.lg.jp/index.html>

